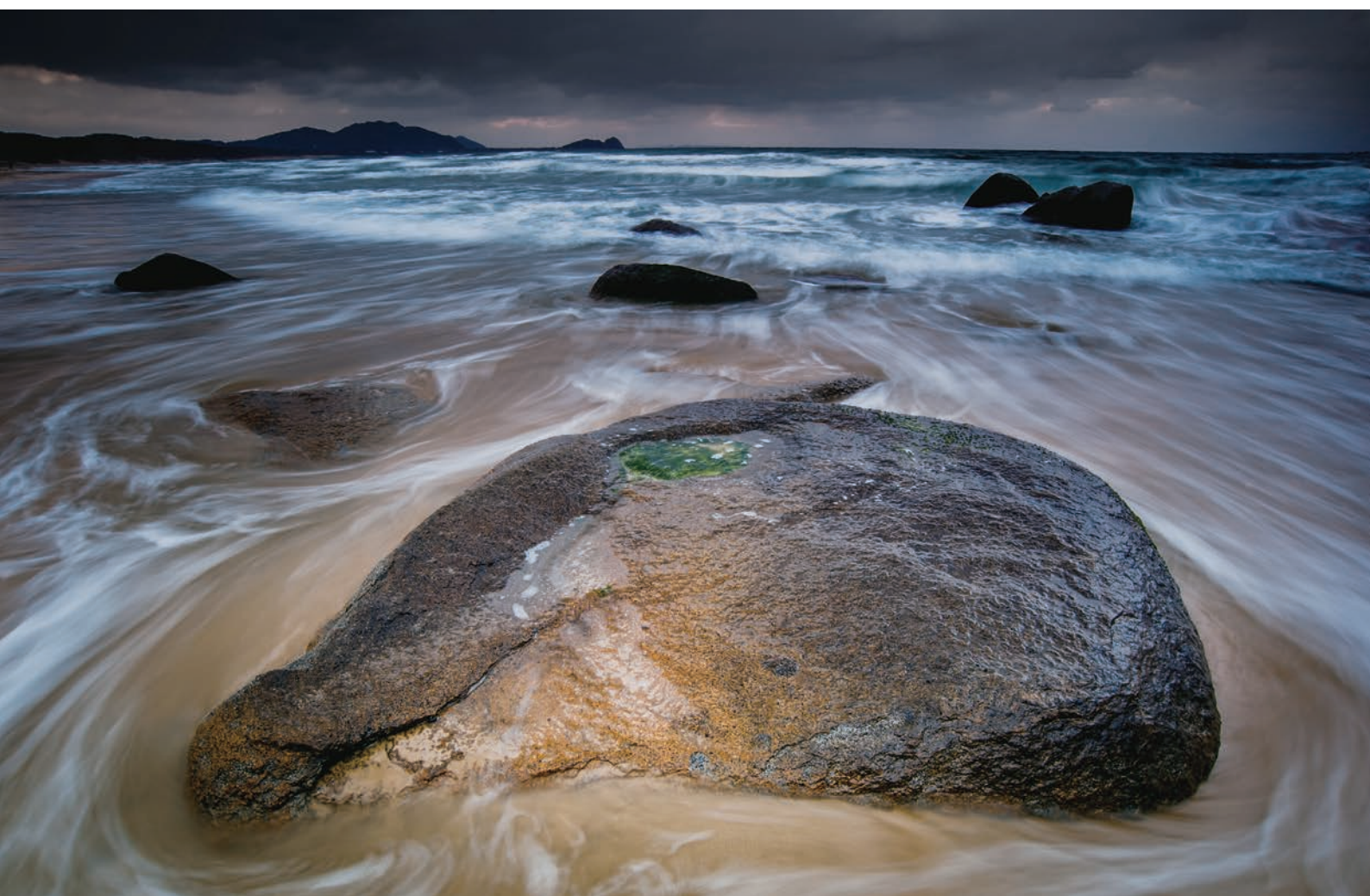


# 宵 振

2016年12月 35号



福岡歯科大学同窓会

《巻頭フォト》

2016 年福岡県美術展会員（審査員）作品

## 「荒 天」

玄界灘も冬ともなると海は荒れ、海岸線にも様々な表情が感じられます。

福岡市 尾崎 浩史（9 期）

撮影場所：前原市糸島半島野北海岸

撮影日時：2012.2.19 7:39

カメラ：Nikon D700

レンズ：AF NIKKOR 18-35 mm

露光量：0.8 秒（f 22）

「表紙題字：故 松本洋一名誉学長 書」

## 目 次

|                                   |                                                                |                |           |     |
|-----------------------------------|----------------------------------------------------------------|----------------|-----------|-----|
| 巻 頭 言                             | ご挨拶                                                            | 福岡歯科大学同窓会会長    | 宮 口 厳……   | 1   |
| 挨 拶                               | ご挨拶                                                            | 福岡学園理事長        | 水 田 祥 代…… | 2   |
| 〃                                 | ご挨拶                                                            | 福岡歯科大学学長       | 石 川 博 之…… | 4   |
| 〃                                 | 環境大臣政務官就任                                                      | 衆議院議員          | 比嘉奈津美……   | 5   |
| 〃                                 | 着任の挨拶                                                          | 口腔顔面美容医療センター教授 | 山 下 潤 朗…… | 6   |
| 〃                                 | 教授就任のご挨拶                                                       | 再生医学研究センター教授   | 大 野 純……   | 7   |
| 〃                                 | 耳鼻咽喉科分野教授就任のご挨拶                                                | 耳鼻咽喉科学分野教授     | 山 野 貴 史…… | 8   |
| 退 職 の 挨 拶                         | あともう一走り                                                        | 冠橋義歯学分野教授      | 佐 藤 博 信…… | 9   |
| 〃                                 | 福岡歯科大学を退職するにあたって                                               | 生体工学分野教授       | 松 家 茂 樹…… | 11  |
| 福岡歯科大学同窓会                         | 役員名簿（本部役員、地区会会長、学内・府県同窓会会長・評議員）                                |                | ……        | 12  |
| 学 園 紹 介                           | 「福岡看護大学」設置準備室からご挨拶                                             | 福岡看護大学設置準備室長   | 窪 田 恵 子…… | 17  |
| 〃                                 | まだまだ少ない小児歯科専門医                                                 | 成育小児歯科学分野教授    | 尾 崎 正 雄…… | 19  |
| 本 部 会 務 報 告                       | 平成27年度福岡歯科大学同窓会評議員会・総会並びに特別講演会                                 |                | 持 山 達 郎…… | 21  |
| 〃                                 | 第63回全国歯科大学同窓・校友会懇話会                                            |                | 要 光……     | 22  |
| 〃                                 | 平成27年度九州5大学歯学部同窓会連絡協議会                                         |                | 小 柳 進 祐…… | 23  |
| 〃                                 | 第69回九州歯科大学大会                                                   |                | 小 柳 進 祐…… | 25  |
| 〃                                 | 学術事業報告 第33回臨床セミナー・第29回学術講演会・2016年度臨床スキルアップセミナー                 |                | 葛 西 秀 夫…… | 27  |
| 〃                                 | 〃 第32回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会                                    |                | 粉 浩 一……   | 28  |
| 〃                                 | 〃 第6回 ICOI Fellowship 養成コース                                    |                | 粉 浩 一……   | 29  |
| 〃                                 | 福祉厚生からのお知らせ                                                    |                | 水 谷 匡 秀…… | 29  |
| 〃                                 | ご逝去のお知らせ                                                       |                | ……        | 30  |
| 〃                                 | 平成28年熊本地震支援（義援金）について                                           |                | ……        | 30  |
| 開 学 記 念 講 演                       | ～福岡歯科大学の創造、成長、充実そして未来へ～                                        |                |           |     |
| 〃                                 | ～創造期～                                                          | 同窓会副会長         | 武 井 俊 哉…… | 31  |
| 〃                                 | ～成長期～                                                          | 口腔外科学分野        | 泉 喜和子……   | 36  |
| 〃                                 | ～充実期～                                                          | 歯周病学分野         | 村 上 弘……   | 38  |
| 誌 上 講 座                           | パノラマエックス線撮影法の基本                                                | 画像診断学分野        | 香 川 豊 宏…… | 40  |
| 私 の 臨 床                           | ピエゾ（Piezoelectric device）の臨床応用                                 | 福岡市開業          | 馬 場 正 英…… | 51  |
| 学 会 報 告                           | 第23回日本歯科医学会総会・第69回九州歯科大学大会・福岡歯科大学同窓会懇親会                        |                |           |     |
| 〃                                 | 福岡県地区会会長                                                       | 中 四 良……        | 63        |     |
| 学 術 振 興 事 業                       | 第69回九州歯科大学大会 in 福岡 福岡歯科大学同窓会懇親会 実行委員長                          | 秋 山 達 也……      | 66        |     |
| 〃                                 | 「American Academy of Periodontology（アメリカ歯周病学会）での発表を終えて」        |                |           |     |
| 〃                                 | 歯周病学分野                                                         | 駒 井 悠 里……      | 67        |     |
| 熊 本 地 震 報 告                       | American Academy of Periodontology 102nd Annual Meeting 歯周病学分野 | 有 田 晴 一……      | 69        |     |
| 〃                                 | 熊本地震の報告と支援へのお礼                                                 | 熊本県同窓会会長       | 川 壽 俊 明…… | 71  |
| 〃                                 | 福歯大同窓会が私の誇り                                                    | 同窓会理事          | 吉 永 修……   | 72  |
| 〃                                 | 南阿蘇村での歯科医療支援活動に参加して                                            | 有床義歯学分野        | 都 築 尊……   | 73  |
| 同 窓 会 だ よ り                       | 「組織」                                                           | 中国地区会長         | 西 谷 展……   | 75  |
| 〃                                 | ご挨拶                                                            | 福岡県南同窓会会長      | 岡 浩 司……   | 76  |
| 〃                                 | 同窓会会長就任のご挨拶                                                    | 福岡県東同窓会会長      | 今 田 圭 二…… | 77  |
| 〃                                 | 会長就任ご挨拶                                                        | 佐賀県同窓会会長       | 浦 嘉 訓……   | 78  |
| 〃                                 | 近畿ブロック連絡協議会・学術講演会・大阪府同窓会設立20周年記念式典                             |                |           |     |
| 〃                                 | 大阪府同窓会副会長                                                      | 木 下 剛 一……      | 79        |     |
| O B 会 だ よ り                       | 福岡歯科大学ヨット部創部40周年祝賀会について                                        | 高野弘一郎……        | 80        |     |
| 〃                                 | マイコン部・DTP 部 OB 会創設の報告                                          | 角 野 吉 宏……      | 82        |     |
| 同 窓 生 ト ー ク                       | 三期生還暦同窓会                                                       | 粉 浩 一……        | 84        |     |
| 〃                                 | 幻の17期生卒業アルバムを作ってみました！                                          | 伊 藤 憲 央……      | 85        |     |
| 〃                                 | 福岡歯科大学13期生25周年同窓会                                              | 中 田 宏……        | 87        |     |
| 親 子 で 頑 張 る 同 窓 生                 | 福岡歯科大学 体育学部                                                    | 藤崎 誠／誠一……      | 88        |     |
| 〃                                 | 親子で小児歯科                                                        | 石 井 香／華子……     | 89        |     |
| 〃                                 | 生涯研修                                                           | 大 和 哲／寛明……     | 90        |     |
| 〃                                 | 「次世代の息子へ」                                                      | 安西洋一／寛真……      | 91        |     |
| 〃                                 | 「信頼される歯科医に」                                                    | 藤本健司／啓貴……      | 92        |     |
| 〃                                 | 社会人となった息子との学び                                                  | 下田恒久／武明……      | 93        |     |
| 学 園 通 信                           | 福岡学園はいま                                                        | 福岡学園企画課……      | 94        |     |
| 学 生 だ よ り                         | 健康まるごと福岡学園「第42回田の歯科祭」                                          | 豊 田 真 顕……      | 106       |     |
| 昇 格 者 紹 介 ・ 称 号 者 ・ 学 位 取 得 者 紹 介 |                                                                |                | ……        | 108 |
| 会 務 報 告                           |                                                                |                | ……        | 112 |
| 会 計 報 告                           |                                                                |                | ……        | 115 |
| 福岡歯科大学同窓会会則・諸規則                   |                                                                |                | ……        | 118 |
| 編 集 後 記                           |                                                                | 劉 中 憲……        | 133       |     |

## ご 挨 拶



福岡歯科大学同窓会

会 長 宮 口 厳

全国の同窓生の皆様におかれましては、平素より本会の会務運営に多大なるご理解、ご支援ならびにご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。福岡歯科大学同窓生は現在4,298名となり、各地区で活躍されている先生方が増えていることは大変喜ばしいことであります。

さて本学園は、水田祥代先生を第4代理事長としてお迎えし、福岡学園、福岡歯科大学の体制が一新され、着実に日々進歩を遂げているところです。また、水田理事長が多年にわたる小児外科医学の充実・発展に尽力した功績が評価され、世界小児外科学会連合から The Lifetime Achievement Awards、ヨーロッパ小児外科学会から女性で初めての EUPSA HONORARY MEMBER、米国外科学会から日本人初の Honorary Fellowship of the American College of Surgeons を授与されました。このことは学園と同窓生にとっても大変名誉なことでもあります。水田理事長におかれましては今後もお元気で活躍され、学園の発展にご尽力いただけるものと思います。

また、我が同窓生では平成28年8月5日、比嘉奈津美衆議院議員（8期）が環境大臣政務官にご就任されました。平成27年11月に香川豊宏講師（15期）が画像診断学分野准教授に昇任、平成28年5月には都築尊講師（18期）が有床義歯学分野准教授に昇任されました。平成28年4月より高橋裕教授（3期）が本学医科歯科総合病院副病院長に選任されました。加えて、平成28年4月1日、馬場篤子講師（12期）と山田和彦講師（13期）が病院准教授の称号を頂きました。同窓会としては後輩が更に活躍できるよう今後とも後援してまいりたいと思います。

福祉厚生関連では平成28年4月に発生した熊本地震に際し、本同窓会は熊本県歯科医師会災害対策本部へ義援金として100万円を送金いたしました。また本同窓会では理事会・評議員会・総会の決議に従い各地区同窓会からの義援金を募り、10月に行われた九地連において熊本県同窓会へ310万円をお渡しすることが出来ました。これもひとえに、同窓生の

皆様の心温まるご支援のお蔭と感謝申し上げますとともに、福岡歯科大学同窓生を誇りに思います。更に福岡学園では、熊本地震にて被災された方々の経済的負担を軽減し、受験生の進学機会の確保を図るため、入学志願者の受験料免除、入学予定者の入学金免除という特別措置を実施しています。また、九地連からの依頼で被災地に2回、歯科医療スタッフの派遣も行っていました。

本年6月に行われました定例の同窓会総会特別講演会では、水田理事長より、「学校法人福岡学園の現状とこれから」と題してご講演いただきました。福岡学園の今後の展望として、新病院の建設、敷地内に保育所の設置、50周年記念講堂の建設など学生、同窓生、教職員が誇れる大学、入りたい大学を目指していくこととお話しされました。

平成28年7月27日学園記念日・開学記念式典が執り行われました。式典には学内外の関係者約250名が出席し、表彰式および同窓生による特別記念講演が行われました。

平成28年8月31日には待望の福岡看護大学の認可書が文部科学省より交付されました。これを受けまして、正式に学校法人福岡学園福岡看護大学の開学が決定いたしました。これは医療・保健・福祉の総合学園として口腔医学のスペシャリストを生み出す環境づくりに必要不可欠であり、口腔から全身への健康支援ができる看護師の育成にも皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年10月21～23日、九州では初の第23回日本歯科医学会総会が水田会頭のもと執り行われました。9,197名の参加をいただき、盛会裏に終了いたしました。これもひとえに水田会頭をはじめ多くの同窓生や関係者の皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

今後同窓会といたしましては、母校及び本会の発展に寄与し更に皆様方のご期待に添えるような活動を行ってまいりたいと思うところです。最後になりましたが、同窓生の皆様のご更なるご活躍、ご発展を祈念致し、私の挨拶といたします。

## ご挨拶



学校法人 福岡学園  
理事長 水田 祥代

福岡歯科大学同窓会の皆さまにおかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

本年は福岡学園におきまして、第23回日本歯科医学会総会を主幹校として主宰するという記念すべき年となりました。

皆さまご存知のように、日本歯科医学会総会は、日本歯科医師会と日本歯科医学会が歯科医学の科学及び技術の研究成果を総合的に普及開発することを目的に、4年に一度開催されており、1949年（昭和24年）第1回総会が東京で開催されて以来、今回で23回を数える歴史と権威のある歯科界最大の学術集会です。

5年前、名誉会頭である、故田中健藏先生に本総会の主幹校のお話を頂いたことから始まりましたが、田中先生は「大変だけど大学のために！」とお引き受けになり、準備を進めておられました。先生の急逝により私が引き継ぐ結果となりましたが、このことに関して私は迷いました。私は歯科医師でもありませんし、福岡学園に就職して5年目でしたし、田中先生のようなカリスマ性もパワーもありませんので、会員の方々に違和感がないかを心配したからです。そこで、平成27年3月3日に福岡学園理事長に就任後すぐに日本歯科医学会住友雅人 会長

と、日本歯科医師会大久保満男 会長（当時）に、「会頭」を日本歯科医学会に戻して、検討し直すか、あるいは故田中先生を会頭のままにして、私が会頭代行ではいかがかとお伺いしました。しかし、お二人からは、理事長を継いだ君が会頭も継いで下さい、サポートはしますからと言っていただきました。

そこで、会頭を引き継ぐことを本学園の役員会、理事会及び幹事校である九州内4大学でご賛同いただき、北村準備委員長をはじめ各委員会の委員長も留任となり、また、2月に就任した石川福岡歯科大学学長に準備委員会副委員長になってもらい、総会史上初めて関門海峡を渡り、九州はここ福岡の地での学会へ向けて go! go! となりました。

本総会では、夢を持って歯科医療の未来を創造していただきたいという思いを込めて、最新の知識や技術とともに、健康に暮らしていくための歯科医療の重要性を福岡の地から広く社会に発信したいと考え、メインテーマを「歯科医療 未来と夢（New Paradigm for Dental Medicine : Its Futures and Our Dreams）」として、再生医療を始めとする先端的な医療の展開、口腔医療の担う新しい歯科医療の展開、健康寿命をキーワードにした医療間連携、介護—医療連携など、多岐にわたる国際色豊かな学術プログラムを編成するとともに、一般市民の方々を対象に「口から食べて豊かな人生」をテーマとした公開フォーラムならびにパネル展示や歯科相談等を行う市民イベントを企画いたしました。

目玉となる開会講演については、故田中先生の強い希望でノーベル生理学・医学賞受賞者の山中伸弥先生に、前回大会の川添会頭を通してお願いされて

いました。ただ、とてもお忙しい先生ですので、日程調整がむずかしく、やっと2015年9月にOKができました。向井千秋先生とは私が日本外科学会や日本学術会議などご縁がありましたので、直接会って宇宙飛行士の歯に関するお話をお願いしました。2015年11月に新しくした学会のポスターには開会講演のお二人の写真を載せることができ、これで学会が半分終わったような気分になりました。

山中先生のご講演は先生のお仕事の関係で当日11:30開始となり、金曜日の午前中に聴衆が集まってくれるか心配しましたが、皆さまご存知のように山中先生の「iPS細胞研究の現状と医療応用に向けた取り組み」、向井先生の「宇宙飛行から学んだこと—有人宇宙探査と歯科医学への期待—」と題したご講演は、2,000人のメイン会場のほかに中継会場も数カ所準備しておりましたが、どの会場も立ち見が出るほどの大盛況となりました。いまさらながらお二人の偉大さに感動しております。そして、お二人のご講演は歯科大学の学生や医療短期大学の学生たちにも深い感銘を与えました（彼らの感想文もまた感動ものでした）。

事前登録は2016年4月から始まりましたが、出足が悪くやきもきました。

しかし、従来のような団体登録は経費が無駄になる恐れがあることからしないと決めていましたので、歯科医師会や同窓会にお願いして個人毎の登録を推進していただきました。その結果9,128名の方々に登録いただきました。各地の同窓会の先生方には大変お世話になり、ありがとうございます。

2016年8月になると、学会当日の担当などについ

て細かくシナリオを作るように指示し、それに沿って担当者を石川学長が中心となって決めてくれました。また、同窓会の先生方にも当日お願いしたい担当部署があり、これについては本学の高橋教授に取りまとめていただきました。8月から10月にかけて大学の教員が全員集合し、3回シナリオの読み合わせや、担当部署の確認を行いました。この過程において大学関係者が心ひとつになって同じ方向を向き、学会へ向けて歩みだしました。

「福岡歯科大学ではできないよ」という声もあったと聞きますが、学園全体、同窓会の皆さまが一致団結して今回の学会ができたことは、私たちのみならず、若い人たちの誇りになると思います。私は「福岡学園・福岡歯科大学、よくやった!」と独りごちています。

最後になりましたが、第23回日本歯科医学会総会を盛会理に無事終えることができましたことは、日本歯科医師会・日本歯科医学会、都道府県歯科医師会ならびに全国歯科大学・歯学部関係者および各同窓会・校友会等の皆さま方の格別なご理解とご支援の賜と衷心より感謝申し上げます。

また、九州内4大学（九州歯科大学、九州大学大学院歯学研究院、長崎大学歯学部、鹿児島大学歯学部）に幹事校としてご参画いただくとともに、九州地区連合歯科医師会の先生方には第69回九州歯科医学大会を併催としてご協力を賜りましたことを感謝いたします。また、日本デンタルショー2016福岡を併催し、総会を盛り上げていただきました日本歯科商工協会の皆さまに厚く御礼申し上げます。

## ご挨拶

福岡歯科大学  
学 長 石川 博之

福岡歯科大学同窓会の皆様方におかれましては、ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。また日頃から、大学に多大なご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

まず昨年10月から1年間の大学の教員人事について、ご紹介申し上げたいと思います。教授につきましては、平成27年10月1日付で皮膚科学分野に古村南夫先生（前職：久留米大学医学部准教授）、同年12月1日付で口腔顔面美容医療センターに山下潤朗先生（前職：ミシガン大学歯学部アシスタントプロフェッサー）、平成28年2月1日付で再生医学研究センターに大野純先生（前職：本学病態構造学分野講師）、同年7月1日付で耳鼻咽喉科学分野に山野貴史先生（前職：本学同分野准教授）、10月1日付で口腔腫瘍学分野に平木昭光先生（前職：本学同分野准教授）が任命されました。また、同期間には3名の先生が准教授に、8名の先生が講師に採用または昇任となりました。本学の卒業生では、昨年11月1日付で香川豊宏先生が画像診断学分野准教授に昇任し、本年5月1日付で都築尊先生が有床義歯学分野准教授、吉田兼義先生が同分野講師に昇任しました。また、口腔医療センターでは、本年7月1日付で横上智先生が講師に昇任し、8月1日付で中村恵子先生（前職：九州歯科大学助教）が講師に採用となりました。本学の卒業生の先生方には、学生や若手の先生方の目標となるべく、教育、研究および臨床面でますますのご活躍を期待しております。

さて、今年の4月14日と16日には、2度にわたって熊本・大分で大きな地震が発生し、多くの方々が

被災されました。本学の同窓生の中にも、今なお震災の影響が大きく残られている方もいらっしゃると思います。被災された方々に心からお悔やみとお見舞いを申し上げます。大学では、15日から2日間にわたり国立阿蘇青少年交流の家での新入生研修会が予定されていましたが、14日夜には、急遽阿蘇での研修会を中止し、翌日大学で研修を行うこととしました。その後、直ちに在校生保護者および同窓生の被災状況の調査、また被災した在校生の教育支援（個別の補講や公休など）を実施いたしました。さらに、日本歯科医師会および九州地区連合歯科医師会の要請により、2度にわたって歯科医療支援チームを派遣しました。本学チームは主に老健施設や障害者施設をまわり、いわゆる災害弱者の方々の口腔管理を担当し、嚥下評価および口腔ケアを中心に活動を行いました。JMATなどの災害時医療団体と協力しながら高度な多職種医療連携を行うことができたが、これも地元の同窓生の皆様のご支援によるものと感謝いたします。

今（10月1日現在）、大学では10月21日から3日間の日程で開催されます第23回日本歯科医学会総会に向けて、会頭の水田理事長の指揮のもと、直前の準備に取り組んでおります。本総会の開催にあたりましては、同窓生の皆様に様々な面で強力なご支援とご協力をいただきました。深く感謝申し上げます。おかげさまで、学術、広報・出版、会場運営や式典の準備も順調に進み、事前登録者数も1万1千人を超えるに至りました。この我が国の歯科界で最も大きな学会大会の開催は、本学の歴史のマイルストーンとなることは、言うまでもありません。「背振35号」が発刊されるころには、無事終了していることを願っております。本総会のテーマは、「歯科医療 未来と夢」です。総会では、歯科医療の未来に向かって、先端的な知見とともに歯科医療の現状と課題が討論されます。大学では、学生が将来の夢をもって歯科医師を目指す教育を実現することが、大きな役割と考えています。同窓生の皆様方におかれましては、今後とも変わらぬご指導ご鞭撻を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## 環境大臣政務官就任



衆議院議員

比嘉 奈津美（8期）

8期卒業、衆議院議員の比嘉奈津美です。このたび8月5日の第3次安倍第2次改造内閣で、環境大臣政務官を拝命しましたことをご報告致します。同窓の皆様の日頃からのご支援あつてのことと感謝申し上げます。私の環境省の政務官としての所管は、自然保護、国立公園の充実、公害への対応、温暖化対策と温暖化に伴う感染症等、非常に範囲が広く多岐にわたります。私自身が希望して環境省を選びましたが、9月15日には、沖縄本島北部の3村を『やんばる国立公園』に指定することができました。全国では33番目の国立公園です。今後は、奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島世界遺産の世界自然遺産の登録を目指していきます。

歯科医師から国会議員への転換もなかなか不思議な道のりでしたが、現在政務官として忙しい日々が続いています。常に進化をもって対応したいとつくづく感じます。私には大きな分岐点がいくつかありました。私の一番最初のチャレンジは、18年ほど前、ワインを極めたいとの一心で、沖縄から福岡のワインスクールに毎週木曜日、2年間通ったことでした。その後、ワインエキスパートを取得し、沖縄でワインの講座を担当することになり、進化したいという気持ちは、いくつかのライセンスの獲得という形になりました。そして、フランスワインブルゴーニュの騎士を叙任。ある日、『ジャパンワインチャレンジというアジアでいちばん大きなワインコンテストの国際審査員をしてみないか?』という依頼がきました。世界各国から参加する有名なワインのプロ、特にマスターオブワインといって、世界に約300人しかいない人々とワインのジャッジができるのか、流暢でない語学で大丈夫なのか? 不安の中の挑戦でした。新しい世界に踏み出し、私は非常

に幸せに流れに乗れたのかもしれませんが。それも好きな分野で。感性豊かに知識を吸収し、それを上手に使うことを学んでいった結果でこれまでと違う世界で活動するようになっていきました。

私のもう一つの分岐点はカンボジアにあります。カンボジアはボルボト派の内戦で医療人や教育者が粛清されました。平和になり沢山の子どもが生まれ、学校や医療機関が足りない状況なのです。それを知り、友人が学校を創り、私は学校の子どもの歯科治療に出向きました。電気も水道も無い中でできるのは、痛みのある乳歯の抜歯でした。ひとりヤシの木の下で仕事をしました。大変充実した時間です。医療人として心から感謝され必要とされる。素晴らしいことです。私は、子ども達からエネルギーをもらいました。そして、この子ども達がいつの日か、私を思い出し、優しい気持ちになればそれでいいと考え、数年間、年に2回ほどカンボジアに足を運びました。ドアを開けると色々なことが見えてきます。動くか動かないか? 決断できるかどうか? ドキドキしながら進化を選ぶかどうか? 全て己れの選ぶ道だと思います。歯科医療は患者さんひとりひとりと人間性の対話だと今つくづく感じ、政治家として歯科医師の仕事の重さを背負っている気がします。医療人、また特殊な基地問題を抱える沖縄県の国会議員として、そして、環境大臣政務官の職責を果たせるよう進化して参ります。今後ともよろしくお願い申し上げます。



## 着任の挨拶



口腔顔面美容医療センター

教授 山下 潤朗

平成27年12月1日に福岡歯科大学口腔顔面美容医療センターに教授として着任しました。原稿を書いている今日が10月17日なので、着任してからすでに10か月経っています。この10か月間忙しく仕事をしてきました。4月には、諸先生方の助けを借りて、先端包括歯科プログラムを立ち上げました。1期生は、インプラント学分野の宮崎先生と冠橋義歯学分野の高江洲先生の2名です。この先端包括歯科プログラムは補綴／歯周病専門医プログラムで、補綴治療と歯周治療の専門的な技術と知識を2年間かけて包括的に学びます。内容は濃いです。このプログラムを修了した学生は、先端包括歯科分野でさらに教育・臨床・研究に励み、将来の補綴、歯周病の領域におけるリーダーとして、専門医の資格を取得し、臨床あるいは教育の現場で活躍することが期待されています。実際の授業では、講師陣による講義だけではなく学生によるプレゼンテーションと文献抄読も毎週あり、講師陣との質疑応答を通じて理解を深めていきます。臨床ケースでは、全ての症例で予後を見据えた綿密な治療計画を立て多角的に症例を分析する能力を習得します。症例検討会では、経験豊かな諸先生方による質問攻めを基本とし、経験からではなく文献に基づく客観的な診療アプローチができるように、講師陣も頑張っています。プログラムでは、まず「保険治療ありき」ではなく、まず「歯科治療ありき」が治療計画の本質だと考えています。現実の歯科治療は保険システムに強く影響を及ぼすのは言うまでもありません。しかし、理想的な治療方針を構築する能力がなければよい保険治療は供給できないと我々は考えています。この先端包括歯科プログラムで、どんどん成果をあげていき、知名度も高め、やがては、閉塞している日本の卒後教育に風穴を開けることができれば、最高です。

研究室も立ち上げました。私は歯科医ですが生物学基礎実験にも力をいれています。骨学全般が専門領域ですが、特に力を入れている研究領域は、副甲

状腺ホルモン（PTH）、破骨細胞、骨再生です。現在、米国国立衛生研究所（NIH）にサポートしていただいている顎骨壊死の研究プロジェクトがあり、そのために3人のポスドクを雇い、私の指導のもとにチーム全体一丸となってプロジェクトを進めています。近い将来、我々の仕事が顎骨壊死のメカニズムを解明するだろうと自惚れています。

基礎研究も大切ですが、ここは歯科教育の場でもあるので、教育に関する研究も重要だと考えています。本年は冠橋義歯学分野の若手を率い補綴実習教育の評価法に一石を投じる画期的な研究を3つ立案し、そのうち2つを遂行しました。それらの成果は補綴学会で発表し、多くの先生方に高く評価していただき、補綴実習教育改革の手ごたえを感じました。来春頃には、世界の歯科教育学術誌に成果を発表します。今後は、臨床実習のあり方、授業のあり方、臨床試験のあり方、卒後教育のあり方について、その長所と短所をよく吟味し、時代のニーズに合う新しいスタイルの確立を模索していく所存です。

私は、福岡歯科大学が私立であるという強みを活かし、国立大学ではなかなか踏み込めないところに、勝機をみつけるようなアプローチを今後とっていきたいと思っています。「日本に福岡歯科大学包括歯科プログラムあり」と世界から認めらるような、そんなプログラムに育てていきたいと思っています。

どうぞ宜しくお願い申し上げます。

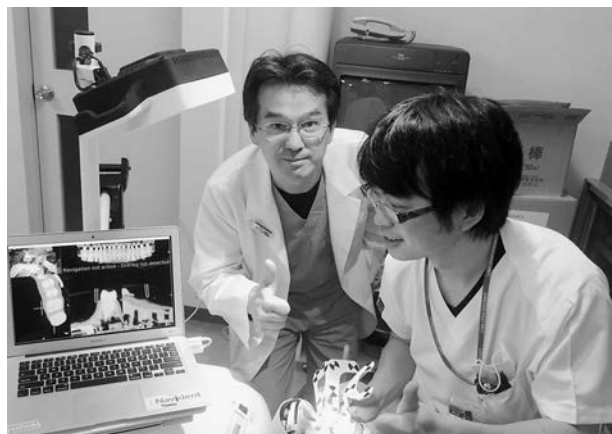
1963年に大阪市旭区にうまれる。

北海道大学歯学部を卒業後、東京医科歯科大学で補綴を学ぶ。1998年に渡米。

ベイラー歯科大学、テキサス大学補綴科勤務を経て、ミシガン大学で歯周病を学ぶ。

2006年よりミシガン大学 Assistant Professor

米国歯周病専門医、米国歯科医師免許、補綴学会指導医・専門医の資格をもつ。



## 教授就任のご挨拶



再生医学研究センター  
教授 大野 純

2016年2月1日付けで再生医学研究センターの教授を拝命いたしました。同窓会の皆様におかれましては、益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。

私は2001年に明海大学・口腔病理学講座から、本学・病態構造学分野（谷口邦久教授）に赴任いたしました。15年前に赴任した時には、ご近所の方との会話で、こちらの言葉の語尾アクセントに戸惑い、質問をされているのに頷いているなどのことも多くありました。しかし、子供達があっという間に博多弁となり、徐々に慣れて行きました。

本センターは、山崎 純教授をセンター長として、多くの大学院生がここで研究をしています。私は、先代の福島忠男教授の後を継いで2代目として専属教員として仕事をしています。センターでの研究は、再生医療に関するものですが、特に歯科治療をサポートできる再生医療法の開発を目指しています。具体的には、幹細胞の培養法を工夫して、模倣歯周組織複合体の形成に取り組んでいます。この複合体を歯槽骨欠損部に投与すれば、骨造成のみならず骨周囲の歯周組織の回復も期待できると思います。

また、病理診断に関しても、福岡歯科大学医科歯科総合病院・病理診断科長の橋本修一教授の許可を頂いて、現在も行っています。特に、細胞診に関しては専門医の資格を持っていますので、ご相談くだ

さい。

今後とも、本センターが大学院生の研究拠点として、また歯科診療に貢献できる再生医療の実現に向けて精一杯取り組んでいく所存でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

### 〈略歴〉

- 1982年3月 私立城西歯科大学歯学部歯学科 卒業
- 1982年4月 城西歯科大学歯学部口腔病理学講座  
助手
- 1987年8月 カリフォルニア大学サンフランシスコ  
校皮膚研究室 研究員
- 1989年9月 明海大学歯学部口腔病理学講座 助手
- 2000年4月 埼玉医科大学第二病理学講座 非常勤  
講師
- 2001年4月 福岡歯科大学学生体構造学講座病態構造  
学分野 講師
- 2001年10月 厚生労働省 死体解剖資格（病理解剖  
第7498号）
- 2006年8月 日本病理学会 口腔病理専門医  
（第130号）
- 2011年4月 日本病理学会 口腔病理専門医研修指  
導医（第130号）
- 2013年12月 日本臨床細胞学会 細胞診専門医（細  
胞診専門歯科医）（第8020号）
- 2016年2月 福岡歯科大学再生医学研究センター  
教授  
現在に至る

## 耳鼻咽喉科分野教授就任のご挨拶



総合医学講座  
耳鼻咽喉科学分野  
教授 山野 貴史

平成28年7月1日付けで総合医学講座耳鼻咽喉科学分野教授を拝命しました。

平成7年福岡大学医学部を卒業後、福岡大学医学部耳鼻咽喉科医局に入局いたしました。

入局後は、耳鼻咽喉科の一般的な疾患、口蓋扁桃の摘出や鼓膜のチュービング、耳下腺や顎下腺の良性疾患の手術、また、突発性難聴や顔面神経麻痺の内科的な治療などを行ってきました。悪性腫瘍に関しては、大学をはじめ九州がんセンターでスタッフとして2年間勤務し、咽頭癌、喉頭癌、甲状腺癌、頸部食道癌などの手術、術前後の放射線、化学療法を併用した治療を経験してきました。再建手術の場合には形成外科と連携しての手術も行っていました。

福岡大学筑紫病院では、小児いびきに対する口蓋扁桃摘出や内視鏡下のアデノイド切除術を最も多く経験しました。近年、耳鼻咽喉科での鼻副鼻腔手術のほとんどは内視鏡で行っており、現在の福岡大学耳鼻咽喉科教授である坂田俊文先生より指導を受け、鼻閉に対する粘膜下甲介切除や鼻中隔湾曲症、鼻漏などに対する上顎洞根治術や篩骨洞根治術、前頭洞根治術など多岐にわたる術式を経験させて頂きました。

歯科との境界領域である、顎下腺、耳下腺疾患についても症例が多く、顎下腺に関しては摘出術のような外科的治療から穿刺吸引細胞診での組織診断、エコー、CT、MRIの読影、耳下腺に関しては流行性耳下腺炎等の炎症性疾患や木村氏病など自己免疫疾患の診断治療も多く経験しました。また、顔面神経をモニタリングしての浅葉、深葉腫瘍摘出の外科的治療に関しても積極的に行っていました。

研究面では基礎研究に関しては大学院で内耳毒性に関する研究を始め、西オーストラリア生理学教室への留学を経て現在に至るまで一貫したテーマとして取り組んでいます。点耳薬剤による局所治療は、

慢性中耳炎などの炎症性耳疾患において有用な治療であり、最近では耐性菌の問題もあって、その薬剤の選択については非常に重要なテーマです。日常臨床で耳内に投与されている主な薬剤の安全性において、動物モデルを使用した電気生理学的な検討を行っています。現在までに市販され中耳炎の治療に繁用されている抗菌薬の点耳剤である、タリビット点耳、ホスミシン点耳の2剤についての安全性を実証した論文が自身の博士号論文となりました。その後も研究を継続し、大学内に研究チームを組織してイソジン液やピオクタン液なども検討しております。

臨床においては、福岡大学赴任時より現在まで、咽喉頭疾患、特に嚥下障害について力を入れて取り組んでおります。嚥下内視鏡検査と嚥下造影検査を併用して、その結果に基づいた嚥下リハビリテーション、嚥下機能改善手術や誤嚥防止手術などの外科的治療まで経験してきました。特に、脳血管疾患や甲状腺癌、肺癌、食道癌等の術後に起こる声帯麻痺の症例に対して、声帯内方移動術と嚥下リハビリテーションを組み合わせた治療を積極的に行ってきました。福岡歯科大学に赴任してからは、嚥下障害の診断から治療までの流れを構築するために、院内に血管造影剤を使用した嚥下造影検査を導入し、例えば誤嚥したとしても他の造影剤と比較し排出されやすいように安全性を高め、正しい誤嚥の評価ができるようにしました。嚥下内視鏡検査については着色水を使用した結果を、電子カルテから動画で閲覧できるようにし、両方ともに赴任して2年間で定着してきています。また、今まで他の施設ではあまり行われていなかった回復期リハビリテーション病院への嚥下内視鏡での往診、口腔期の問題である義歯の調節や口腔ケアは歯科医師に、咽頭期の障害は嚥下改善手術や嚥下防止手術の適応を含め耳鼻咽喉科医が診察するなどシステム化をすすめ、今までにはない効率的な嚥下障害の治療形態を整えつつあります。また、同一敷地内にある介護老人保健施設サンシャインシティ、内科、高齢者歯科と共同で、肺炎の再発を予防しながら経口摂取を長く継続できるような方法を模索中です。さらに、平成28年4月からは当院で初めての言語聴覚士を採用して頂き、嚥下障害以外にも構音障害や発声障害に対する治療にも取り組んでおります。

耳鼻咽喉科は歯科と隣接しており、副鼻腔炎や頭頸部癌、嚥下障害など両科にまたがる部分が多くあります。特に私のような咽喉頭専門の耳鼻科医は少数であり、他の歯科大学ではできないような充実した教育や臨床研究ができると考えています。

どうぞよろしくお願いいたします。

## あともう一走り



咬合修復学講座  
冠橋義歯学分野

教授 佐藤 博信

1998年（平成10年）4月に歯科補綴学講座（旧歯科補綴学第2講座：松浦智二教授）の、後任教授として本学に赴任し18年と半年が過ぎようとしています。月日の経つのは早いもので、光陰矢の如しとはよく言ったものだと、つくづく感じる今日この頃です。就任当時は本学の大改革として大講座制の移行が進められており、2001年（平成13年）からは冠橋義歯学分野、有床義歯学分野、口腔インプラント分野の3つからなる咬合修復学講座の教授として活動をしてきました。2002年（平成14年）には有床義歯学分野の羽生哲也教授が退任され、新進気鋭の高橋裕教授、口腔インプラント学分野松浦正朗教授（その後、城戸寛史教授）の3人のトロイカ体制で、何とかというよりは、すごくうまく講座の運営ができてきたものだと思います。

医科でも歯科でも普通の産業界も同じなのかもしれませんが、統合と専門分化の戦いというか、切磋琢磨というべきかわかりませんが、歴史は常に繰り返されるものであることを実感しています。すなわち、どちらもが大事で、そのバランスがうまくとれていることが重要です。1998年（平成10年）当時、歯科のどの分野にも関係したことかもしれませんが、歯科補綴の専門領域でも、口腔インプラントにどう関わっていくかがまず大きな課題でした。すなわち、歯科補綴が工学的（機械的）背景を基盤としたものから、機能的側面ならびに生物学的側面さらに社会的側面（クオリティーオブライフ、審美的側面、心理的側面など）の充実をさせねばならない重要な過渡期にあり、これらに対応すべくひたすら

走ってきたというのが、私の福岡歯科大学での活動であったように思います。そのような中、最も重視してきたことは口腔インプラントに対する対応です。松浦正朗教授が私の教授就任から遅れること7ヶ月、鶴見大学から本学口腔インプラント科の教授に就任され、翌年本学出身の城戸寛史現教授が九州歯科大学から赴任されました。2002年（平成14年）からは羽生哲也教授の後任として同じく本学出身の高橋裕先生は有床義歯学分野の教授に就任されるとともに、インプラントチームの和の中に参加され、2人3脚、いや4人5脚くらいの体制で、口腔インプラントを含めた包括的歯科補綴専門領域の充実、推進を図りました。現在、福岡歯科大学口腔インプラントセンターが日本の西の雄として活動できしており、大変うれしく思っています。教授としての残任期間も残りわずかとなりましたが、まだ慌ただしく、この文書もヨーロッパ口腔インプラント学会（EAO）に招待参加のためパリに向かう機上でタイピングをしているような状態です。

その後も2007年（平成19年）を境として、補綴・インプラント分野にはデジタル革命の大波が押し寄せてきました。鋳造からCAD／CAM補綴へと50年に一度といわれる大革命は現在も進行中です。これはバイオロジーからテクノロジーへの揺り戻しといえるかもしれません。医科の分野でも内視鏡、ロボット手術に代表されるMIとデジタルの流れは早く、歯科も医科もその対応に本当に大変です。また、iPSをはじめとする再生医学という生物学的側面の進化もあり、後身の諸君も自分自身も走り続けなければならない状況には変わりなく、人生は大変かと思いますが、世の中とはこのようなものでしょう。とりあえず、来年3月までもうひと走りして、よかったと思える振り返りをしたく考えています。

学内では長年、学務委員会委員をはじめアニマルセンター長、口腔歯学部門長、情報図書館長などの要職を務めさせていただき、診療、教育、研究に務めてきました。また、学外では日本補綴学会を始め、日本口腔インプラント学会、日本顎関節学会、日本審美歯科学会、日本教育学会等で理事、常任理事等を務め、国内外の多くの先生との交流を持つこ

## 退職の挨拶

とができ、また、学内や本学同窓会等のたくさんの講演会等で、多くの方々のお世話になりました。2008年（平成20年）には口腔医学の検証と視察のため、アメリカ、カナダの5大学を当時の田中健蔵理事長、北村憲司学長、内藤徹教授と訪問し、多くの情報が得ることができたことなども大きな思い出となり、成果も本学に還元できたものと思っています。また、2014年（平成26年）には日本補綴歯科学会第122回学術大会（写真参照）を、2015年（平成27年）に第6回日本デジタル歯科学会の学術大会を福岡国際会議場で主催させていただきました。また、2003年（平成15年）の日本補綴歯科学会九州支部の学術大会では本学同窓会の高嶺明彦副会長の全面的協力を得、支部学術大会を初めて沖縄の地で開催することもできました。これらの学会の開催には同門である宮口巖同窓会長をはじめとする本学同窓

会の後援をはじめ、同窓の先生には多くの御参加、協力いただき感謝の念に絶えません。改めて御礼申し上げます。

研究ならびに関連の補助金獲得、診療、教育と松浦尚志准教授には一肩ならず頑張ってくださいましたし、また、多くの医局員の助けでここまで何とか歩んできました。まだまだ、医局員や同窓の先生方との思い出を書きたいことが山のようにありますが、紙面の残りが少なく、そもそも原稿締め切りに間に合っておらず、機内での書きものにも少々疲れましたので、このあたりで筆をおかせていただきます。

最後に改めてご支援いただきました同窓会並びに同窓の先生に改めて御礼申し上げますとともに、今後とも変わらずお付き合いをよろしくお願いいたします。



## 福岡歯科大学を退職するに あたって



歯科医療工学講座  
生体工学分野

教授 松家 茂樹

2006年9月1日付けで本学歯科医療工学講座生体工学分野に赴任して10年が経過し、今年度末の3月31日付けで退職することになりました。在任中は、同窓会の諸先生方にはいろいろとお世話になり深く感謝申し上げます。

私と福岡歯科大学との関わりは1977年の夏ごろであったかと思います。当時、私は九州大学歯学部歯科理工学教室で助手として働いており、石膏の脱水反応についての研究を行っていました。その頃、福岡歯科大学には三津木力先生といわれる石膏の研究に造詣の深い方がおられました。詳しい内容は記憶にないのですが、実験についてご相談したいことがあり研究室を訪ねました。その際、大学を案内していただき本分野の前任教授である宮崎光治先生をご紹介いただきました。その当時、九大と福歯大の理工学教室の間では、歯科理工学関連の学会が異なるため交流はありませんでした。しかし、1980年頃から両学会の統合の話し合いがもたれ1982年に新しく日本歯科理工学会が発足しました。新学会では九州地区にある5つの大学歯学部が九州支部となり、支部活動を行うことになりました。1回目の支部会が九大で開催され宮崎先生と再会しました。それ以来、宮崎先生とは学会活動等公私にわたる付き合いが始まりました。特に、私の米国留学にもご尽力いただき、ついでにと言っては何ですが、私の家内（当時、九大歯学部第2保存科勤務）も一緒に留学できるように手配していただきました。このように、私と福歯大特に宮崎先生との関わりが深かったのも、私が福歯大にお世話になった一因でもあると

思います。

福歯大で勤務した10年について感じたことを述べます。赴任前は、学部生相手の講義・実習は1コマ90分で計算して年に20コマ足らず、ほとんどが大学院生相手の研究指導で日々生活していました。ところが、赴任後は、1コマ80分と短くなったものの、総回数は年100コマを超える学部生相手の講義・実習が主な仕事となりまさに180°転換といった日常になってしまいました。そのため、講義資料作りに追われる毎日となり、大変だったことを思い出します。おまけに、所属する講座は教養系の物理学を含む大講座であり、詳細は省きますが、所属教員が続けて退職してしまい物理の講義も私の所属講座から応援を出すといった羽目になり、講義実習担当が一気に倍増してしまいました。このような状況が今も続いており、言い訳かもしれませんが、研究の方は本学でこれといった成果も出ずに終わることになってしまいました。ただ、ここ数年は研究体制も徐々に充実してきて、前理事長の田中先生や現理事長の水田先生、本田前々学長、北村前学長、石川現学長のご尽力もあり、必要な研究設備・装置はほぼ十分整備されてきました。研究成果については、現教員や私の退職後に赴任するであろう教授に期待したいと思います。大学での教育研究活動以外では、本学赴任後に就任したボーリング部の顧問として新歓および追い出しコンパやオールデンタルへの参加で、学内とは違った形で学生達との交流やOBの先生方と知り合えたことは良い思い出となりました。また、毎年行われる父兄懇談会では各地のご父兄の皆様方から学生についての多種多様なご相談を受けたり、教員として気づかされることが多々あり勉強になりました。

最後になりましたが、福岡歯科大学同窓会の先生方におかれましては、益々のご発展を祈念申し上げます。

# 福岡歯科大学同窓会本部役員

平成28年 4 月 1 日～平成30年 3 月31日

| 役 職                | 氏 名<br>E-Mail アドレス                                                     | 期  | 地 区          | 勤 務 先                         |        | 郵便番号・住所                                                                          | tel                          | fax                          |
|--------------------|------------------------------------------------------------------------|----|--------------|-------------------------------|--------|----------------------------------------------------------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 会 長                | 宮 口 嚴<br>miyaguchi1953@hotmail.co.jp                                   | 1  | 長 崎          | 宮 口 歯 科 医 院                   | 診<br>自 | 852-8154 長崎県長崎市住吉町11-20<br>852-8154 長崎県長崎市住吉町11-20                               | 095-849-2238<br>095-848-3838 | 095-849-2389                 |
| 副 会 長<br>(総合対策)    | 寺 尾 隆 治<br>t9154@bronze.ocn.ne.jp                                      | 1  | 佐 賀          | 寺 尾 歯 科 医 院                   | 診<br>自 | 849-1411 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲50-3<br>849-1411 佐賀県嬉野市塩田町大字馬場下甲50-3                     | 0954-66-2142<br>0954-66-2142 | 0954-66-5422                 |
| 副 会 長<br>(総合対策)    | 長 尾 博 通<br>h1127naga@ybb.ne.jp                                         | 1  | 大 分          | 長 尾 歯 科 医 院                   | 診<br>自 | 879-4403 大分県玖珠郡玖珠町大字帆足279<br>816-0073 福岡県福岡市博多区西春日1-1-26                         | 0973-72-7122<br>092-592-5586 | 0973-72-3613<br>092-592-5586 |
| 副 会 長<br>(総合対策)    | 勝 俣 辰 也<br>can92320@pop02.odn.ne.jp                                    | 1  | 福岡西          | かつまた歯科小児歯科医院                  | 診<br>自 | 813-0041 福岡県福岡市東区水谷1-6-15<br>813-0041 福岡県福岡市東区水谷1-6-15                           | 092-683-1011<br>092-683-1022 | 092-683-1112                 |
| 副 会 長<br>(総合対策)    | 高 嶺 明 彦<br>akihiko@ryukyuu.ne.jp                                       | 6  | 沖 縄          | たかみね歯科クリニック                   | 診<br>自 | 900-0032 沖縄県那覇市松山1-9-2<br>901-2114 沖縄県浦添市安波茶1-8-18                               | 098-866-0648<br>098-879-7114 | 098-860-2666                 |
| 副 会 長<br>(広 報)     | 武 井 俊 哉<br>takeid.c.2009@gol.com                                       | 2  | 福岡西          | 武 井 歯 科 医 院                   | 診<br>自 | 813-0012 福岡県福岡市東区香椎駅東4-26-10<br>813-0012 福岡県福岡市東区香椎駅東3-14-15-211                 | 092-662-7132<br>092-672-9635 | 092-683-1486<br>092-672-9635 |
| 副 会 長<br>(学 術)     | 岩 本 憲 明<br>izakidc7@chive.ocn.ne.jp                                    | 2  | 福岡西          | (医) 社団プラタナス会<br>いざき 歯 科 医 院   | 診<br>自 | 810-0067 福岡県福岡市中央区伊崎3-13<br>810-0042 福岡県福岡市中央区赤坂3-1-27-901                       | 092-725-2626<br>092-733-8418 | 092-725-3287<br>092-733-1704 |
| 副 会 長<br>(福祉厚生)    | 神 田 晋 爾<br>ksinj58119@car.ocn.ne.jp                                    | 4  | 福岡西          | 神 田 歯 科 医 院                   | 診<br>自 | 819-0006 福岡県福岡市西区姪浜駅南1-6-22<br>810-0073 福岡県福岡市中央区舞鶴1-3-47-1008                   | 092-882-5255                 | 092-882-7059                 |
| 副 会 長<br>(会 計)     | 馬 場 篤 子<br>babaatsu@college.fdcnet.ac.jp                               | 12 | 学 内<br>(福岡西) | 福岡歯科大学 成長発達歯学<br>講座 成育小児歯科学分野 | 診<br>自 | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1<br>194-0041 福岡県福岡市城南区七隈8-10-27                        | 092-801-0411<br>092-214-9613 | 092-801-0692<br>092-214-9613 |
| 副 会 長<br>(組 織)     | 野 口 芳 彰<br>noguchi.do@tuba.ocn.ne.jp                                   | 13 | 香 川          | 野 口 歯 科 医 院                   | 診<br>自 | 768-0040 香川県観音寺市杵田町乙1947-1<br>768-0040 香川県観音寺市杵田町乙1947-1                         | 0875-25-3900<br>0875-25-3900 | 0875-25-1888<br>0875-25-1888 |
| 副 会 長<br>(関 東)     | 千 原 眞 治<br>info@chihara-net.net                                        | 1  | 関 東          | ち は ら 歯 科 医 院                 | 診<br>自 | 181-0001 東京都三鷹市井ノ頭2-7-8 三鷹プラザ202号<br>194-0041 東京都町田市玉川学園4-23-10                  | 0422-49-2753<br>0427-29-1626 | 0422-46-9454                 |
| 副 会 長<br>(四 国)     | 井 手 正 洋<br>ideocchi@almond.ocn.ne.jp                                   | 1  | 愛 媛          | (医) 洋仁会 井手歯科                  | 診<br>自 | 799-2430 愛媛県松山市北条辻1352<br>790-0872 愛媛県松山市昭和町43                                   | 089-992-0026<br>089-992-0026 | 089-993-2214<br>089-993-2214 |
| 副 会 長<br>(近 畿)     | 山 村 哲 也<br>yamamurashika@mocho.ocn.ne.jp/<br>tetsuya.yama@docomo.ne.jp | 6  | 大 阪          | (医) 純歯会 山村歯科医院                | 診<br>自 | 559-0033 大阪府大阪市住之江区南港中2-1-99<br>545-0037 大阪府大阪市阿倍野区帝塚山1-16-27                    | 06-6613-2020<br>06-6659-1232 | 06-6613-0123<br>06-6659-1232 |
| 副 会 長<br>(中 国)     | 西 谷 展 展<br>nob-nish@bd6.so-net.ne.jp                                   | 9  | 広 島          | に し や 歯 科 医 院                 | 診<br>自 | 720-0056 広島県福山市本町1-10<br>720-0056 広島県福山市本町1-10                                   | 084-928-4545<br>084-928-4545 | 084-928-4891<br>084-928-4891 |
| 副 会 長<br>(九 州)     | 松 島 一 夫<br>dent0240@aol.com                                            | 8  | 沖 縄          | まつしま 歯 科 医 院                  | 診<br>自 | 904-0115 沖縄県中頭郡北谷町美浜1-1-10<br>904-0115 沖縄県中頭郡北谷町美浜1-1-10                         | 098-936-0648<br>098-936-0240 | 098-936-0011                 |
| 副 会 長<br>(福岡東)     | 今 田 圭 二<br>imada_dental_office_buzen@yahoo.co.jp                       | 21 | 福岡東          | 歯 科 今 田 医 院                   | 診<br>自 | 828-0021 福岡県豊前市八屋2010-1<br>828-0011 福岡県豊前市四郎丸731-1                               | 0979-82-5041<br>0979-83-3048 | 0979-82-5518<br>0979-83-3048 |
| 副 会 長<br>(福岡西)     | 中 四 良<br>s-nakado@jff.so-net.ne.jp                                     | 5  | 福岡西          | (医) 中 歯 科 医 院                 | 診<br>自 | 814-0022 福岡県福岡市早良区原8-17-3<br>814-0161 福岡県福岡市早良区飯倉2-25-1                          | 092-866-0418<br>092-831-8747 | 092-866-0417<br>092-831-8747 |
| 副 会 長<br>(福岡南)     | 岡 浩 司<br>okadentalclinic@topaz.plala.or.jp                             | 7  | 福岡南          | 岡 歯 科 医 院                     | 診<br>自 | 830-0013 福岡県久留米市櫛原町124-8<br>830-0003 福岡県久留米市東櫛原町1228-6                           | 0942-35-1184<br>0942-34-6065 | 0942-35-1190<br>0942-34-6065 |
| 副 会 長<br>(福岡北)     | 浅 尾 武 武<br>tekeado@yahoo.co.jp                                         | 10 | 福岡北          | 浅 尾 歯 科 医 院                   | 診<br>自 | 803-0831 福岡県北九州市小倉北区日明2-15-7<br>803-0831 福岡県北九州市小倉北区上到津2-3-9-901                 | 093-561-3169<br>093-592-1385 | 093-561-3169                 |
| 専 務 理 事            | 持 山 達 郎<br>mochitatsu@coffee.ocn.ne.jp                                 | 13 | 福岡西          | 持 山 歯 科 医 院                   | 診<br>自 | 810-0001 福岡県福岡市中央区天神3-3-3<br>819-0014 福岡県福岡市西区豊浜1-13-5                           | 092-712-3900<br>092-517-6165 | 092-716-0389<br>092-517-6165 |
| 常 務 理 事<br>(総 務)   | 石 本 圭 圭<br>keishika2001@kif.biglobe.ne.jp                              | 16 | 福岡北          | (医) RINKY<br>いしもと圭歯科医院        | 診<br>自 | 807-0856 福岡県北九州市八幡西区八枝4-3-7<br>819-0167 福岡県福岡市西区今宿3-27-10                        | 093-602-6480<br>092-518-5245 | 093-602-6481<br>092-518-5245 |
| 常 務 理 事<br>(総 務)   | 稲 井 哲 郎<br>inaidental.171@lup.bbq.jp                                   | 16 | 福岡西          | 稲 井 歯 科 医 院                   | 診<br>自 | 819-1123 福岡県糸島市神在489-76<br>810-0064 福岡県福岡市中央区地行3-27-32                           | 092-322-9771<br>092-739-1755 | 092-322-9772<br>092-739-1755 |
| 常 務 理 事<br>(福祉厚生)  | 水 谷 匡 秀<br>mizutani.m6480@spice.ocn.ne.jp                              | 6  | 福岡西          | 水 谷 歯 科 医 院                   | 診<br>自 | 819-1314 福岡県糸島市志摩師吉131-43<br>819-1314 福岡県糸島市志摩師吉131-43                           | 092-327-2342<br>092-327-2390 | 092-327-2342                 |
| 常 務 理 事<br>(組 織)   | 高 山 義 之<br>yoshi3287@yahoo.co.jp                                       | 15 | 福岡西          | アイランドシティ<br>デンタルクリニック         | 診<br>自 | 813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉3-2-5-2F<br>813-0017 福岡県福岡市東区香椎照葉4-2-1-912                  | 092-662-4618<br>092-662-4623 | 092-662-4613<br>092-662-4623 |
| 専 務 理 事<br>(広 報)   | 白 本 光 七<br>shinomoto1953@ybb.ne.jp                                     | 2  | 福岡西          | (医) 光仁会白本歯科医院                 | 診<br>自 | 811-0204 福岡県福岡市東区奈多3-3-37<br>811-0204 福岡県福岡市東区奈多3-3-37                           | 092-607-7554<br>092-606-8286 | 092-607-7554<br>092-606-8351 |
| 常 務 理 事<br>(広 報)   | 劉 中 憲<br>ryuchuken@yahoo.co.jp                                         | 14 | 福岡西          | バンダ小児歯科医院                     | 診<br>自 | 813-0001 福岡県福岡市東区唐原7-1-3 エスプランサ1F                                                | 092-673-1180                 | 092-403-6300                 |
| 常 務 理 事<br>(学 術)   | 粉 浩 一<br>hegi@drive.ocn.ne.jp                                          | 3  | 福岡西          | へ ぎ 歯 科 医 院                   | 診<br>自 | 810-0001 福岡県福岡市中央区天神1-14-16 三栄ビル6F<br>814-0022 福岡県福岡市早良区原2-13-13                 | 092-741-8212<br>092-822-9460 | 092-741-8212<br>092-822-9460 |
| 常 務 理 事<br>(学 術)   | 葛 西 秀 夫<br>info@kasai-dental.com                                       | 6  | 福岡西          | (医) か さい 歯 科 医 院              | 診<br>自 | 816-0082 福岡県福岡市博多区麦野1-29-8<br>816-0082 福岡県福岡市博多区麦野1-29-8                         | 092-581-0796<br>092-582-4372 | 092-573-6111                 |
| 常 務 理 事<br>(企画・情報) | 小 柳 進 祐<br>skoyana@cableone.ne.jp                                      | 12 | 佐 賀          | 小 柳 歯 科 医 院                   | 診<br>自 | 849-0503 佐賀県杵島郡江北町惣領分1898<br>849-0926 佐賀県佐賀市若宮1-7-4                              | 0952-86-2574<br>0952-31-4919 | 0952-86-2574                 |
| 常 務 理 事<br>(会 計)   | 西 原 義 一<br>y-3185@fa2.so-net.ne.jp                                     | 3  | 福岡西          | 西 原 歯 科 医 院                   | 診<br>自 | 819-1139 福岡県糸島市前原南1丁目14-3<br>819-1139 福岡県糸島市前原南1丁目14-3                           | 092-323-5600<br>092-323-5600 | 092-324-6326<br>092-324-6326 |
| 理 事<br>(総 務)       | 芝 池 寛 寛<br>dpfiif300@ezweb.ne.jp                                       | 4  | 大 阪          | 芝 池 歯 科 医 院                   | 診<br>自 | 583-0886 大阪府羽曳野市恵我之荘1-2-2<br>583-0885 大阪府羽曳野市南恵我之荘1-1-20                         | 072-955-8815<br>072-955-3236 | 072-955-8815<br>072-955-3236 |
| 理 事<br>(総 務)       | 吉 永 修<br>osamu@yoshinagashika.com                                      | 4  | 熊 本          | (医) 徳治会 吉永歯科医院                | 診<br>自 | 869-0521 熊本県宇城市松橋町浦川内824-8<br>869-0521 熊本県宇城市松橋町浦川内207-17                        | 0964-32-5801<br>0964-32-5805 | 0964-32-3571<br>0964-32-5807 |
| 理 事<br>(総 務)       | 秋 山 達 也<br>dental-a@vega.ocn.ne.jp                                     | 7  | 福岡南          | 秋 山 歯 科 医 院                   | 診<br>自 | 834-0034 福岡県八女市大字高塚151-5<br>833-0005 福岡県筑後市大字長浜2385-6                            | 0943-22-7711<br>0942-52-3359 | 0943-22-7741                 |
| 理 事<br>(総 務)       | 石 田 哲 也<br>idc4180@nike.eonet.ne.jp                                    | 9  | 大 阪          | 石 田 歯 科 医 院                   | 診<br>自 | 583-0991 大阪府南河内郡太子町春日1726-1<br>583-0991 大阪府南河内郡太子町春日1726-1                       | 0721-98-4180<br>0721-98-1182 | 0721-98-4401                 |
| 理 事<br>(総 務)       | 浦 嘉 訓<br>urayoshi@po.saganet.ne.jp                                     | 12 | 佐 賀          | 浦 歯 科 医 院                     | 診<br>自 | 849-0918 佐賀県佐賀市兵庫南4-1-29<br>840-0851 佐賀県佐賀市天祐1-7-5                               | 0952-28-7070<br>0952-29-4566 | 0952-28-7078<br>0952-29-4566 |
| 理 事<br>(福祉厚生)      | 泉 幸 三                                                                  | 2  | 福岡西          | 泉 歯 科 医 院                     | 診<br>自 | 814-0123 福岡県福岡市城南区長尾3-1-29 ファイン・ビュー東2F<br>814-0123 福岡県福岡市城南区長尾3-1-29 ファイン・ビュー東6F | 092-552-6333<br>092-552-7727 | 092-552-6348                 |
| 理 事<br>(福祉厚生)      | 佐々木 次 郎<br>sasakidc1721@k8.dion.ne.jp                                  | 2  | 長 崎          | 佐々木 歯 科 医 院                   | 診<br>自 | 851-3101 長崎県長崎市西海町1755-260<br>851-3101 長崎県長崎市西海町1755-200                         | 095-884-1721<br>095-884-3109 | 095-884-1731                 |

| 役 職           | 氏 名<br>E-Mail アドレス                         | 期  | 地 区          | 勤 務 先                            |        | 郵便番号・住所                                                            | tel                           | fax                          |
|---------------|--------------------------------------------|----|--------------|----------------------------------|--------|--------------------------------------------------------------------|-------------------------------|------------------------------|
| 理事<br>(福祉厚生)  | 高 森 晴 己                                    | 2  | 福岡北          | 高 森 歯 科 医 院                      | 診<br>自 | 803-0846 福岡県北九州市小倉北区下津1-3-7<br>803-0846 福岡県北九州市小倉北区下津1-3-7         | 093-581-9152<br>093-581-9152  | 093-581-9152                 |
| 理事<br>(福祉厚生)  | 白 本 光 鶴<br>qq266ym9@beach.ocn.ne.jp        | 3  | 福岡南          | し ろ も と 歯 科<br>小児歯科クリニック         | 診<br>自 | 837-0917 福岡県大牟田市草木1033-2<br>837-0917 福岡県大牟田市草木1033-2               | 0944-53-2418<br>0944-53-2418  | 0944-53-2418<br>0944-53-2418 |
| 理事<br>(福祉厚生)  | 新 郷 陽 二<br>f250-lm@docomo.ne.jp            | 4  | 福岡西          | し ん ご う 歯 科 医 院                  | 診<br>自 | 814-0103 福岡県福岡市城南区鳥飼5-6-3 1F<br>814-0113 福岡県福岡市城南区田島6-1-21         | 092-822-8811<br>092-871-0620  | 092-822-8811                 |
| 理事<br>(福祉厚生)  | 安 倍 敬 治<br>keijiabe@ae.auone-net.jp        | 4  | 福岡北          | 安 倍 歯 科                          | 診<br>自 | 805-0017 福岡県北九州市八幡東区山王1-15-10<br>806-0077 福岡県北九州市八幡西区沖田2-12-3      | 093-671-3946<br>093-612-1950  | 093-671-4000<br>093-612-1950 |
| 理事<br>(福祉厚生)  | 中 山 敬 介<br>gori8021@gmail.com              | 20 | 学 内<br>(佐賀)  | 福 岡 歯 科 大 学<br>口腔医療センター          | 診<br>自 | 812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-2-1<br>814-0165 福岡県福岡市早良区次郎丸3-5-18-202     | 092-409-1050<br>092-864-6906  | 092-409-1051                 |
| 理事<br>(福祉厚生)  | 小 篠 政 之<br>hksxm9432000@yahoo.co.jp        | 29 | 福岡南          | お ざ さ 歯 科 医 院                    | 診<br>自 | 813-0002 福岡県福岡市東区下原1-14-3<br>814-0171 福岡県早良区野芥1-23-23-808          | 092-663-5252<br>090-7440-1690 | 090-663-5355                 |
| 理事<br>(組 織)   | 山 本 順 一<br>yamajun11@gmail.com             | 10 | 福岡西          | 山 本 歯 科 医 院                      | 診<br>自 | 811-1302 福岡県福岡市南区井尻4-3-37<br>816-0873 福岡県春日市日の出町2-25               | 092-581-4397<br>092-592-5635  | 092-592-5635                 |
| 理事<br>(組 織)   | 八 重 岡 由 実                                  | 13 | 福岡西          | 第 2 空 港 口 歯 科 医 院                | 診<br>自 | 812-0066 福岡県福岡市東区二又瀬14-7 コンフォート二又瀬1F                               | 092-623-4658                  |                              |
| 理事<br>(組 織)   | 原 精 一 郎<br>doctor@hara-dental.net          | 21 | 長 崎          | は ら 歯 科 医 院                      | 診<br>自 | 852-8117 長崎県長崎市平野町23-1 2F                                          | 095-842-6622                  | 095-842-6623                 |
| 理事<br>(組 織)   | 手 島 澄 将<br>info@tesima-clinic.com          | 22 | 福岡東          | て し ま 歯 科 ク リ ニ ッ ク              | 診<br>自 | 820-0203 福岡県嘉麻市平1433-1<br>820-0116 福岡県飯塚市多田88-40                   | 0948-42-6623<br>0948-82-0525  | 0948-42-6635<br>0948-82-0525 |
| 理事<br>(組 織)   | 事 喜 和 子<br>kiwahan@college.fdcnet.ac.jp    | 22 | 学 内<br>(福岡西) | 福岡歯科大学 口腔・顎顔面<br>外科学講座 口腔外科学分野   | 診<br>自 | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1<br>810-0034 福岡県福岡市中央区笹丘1-28-31-803      | 092-801-0411<br>092-733-0077  | 092-801-1288                 |
| 理事<br>(組 織)   | 鳥 尾 直 弘                                    | 23 | 福岡北          | み か も 歯 科                        | 診<br>自 | 820-0112 福岡県飯塚市有井334-12 2F<br>820-0112 福岡県飯塚市有井334-12              |                               | 0948-82-4682                 |
| 理事<br>(組 織)   | 杉 本 大 輔<br>dsgeidoku@nifty.com             | 24 | 福岡西          | 杉 本 歯 科 医 院                      | 診<br>自 | 815-0081 福岡県福岡市南区那の川1-7-14<br>815-0081 福岡県福岡市南区那の川1-7-14           | 092-531-6480<br>092-401-0258  | 092-531-6580                 |
| 理事<br>(広 報)   | 佐 藤 殺 野<br>tuyoshi@viola.ocn.ne.jp         | 3  | 長 崎          | 佐 藤 歯 科 診 療 所                    | 診<br>自 | 852-8107 長崎県長崎市浜口町11-14<br>852-8107 長崎県長崎市浜口町11-14                 | 095-844-5477<br>095-844-5477  | 095-847-6568<br>095-847-6568 |
| 理事<br>(広 報)   | 廣 瀬 武 尚<br>thirole145@gmail.com            | 4  | 福岡西          | く わ の 歯 科 ク リ ニ ッ ク              | 診<br>自 | 810-0004 福岡県福岡市中央区渡辺通2-7-14<br>814-0153 福岡県福岡市城南区樋井川2-1-49-4       | 092-734-2147<br>092-866-3008  | 092-734-3147<br>092-866-3008 |
| 理事<br>(広 報)   | 三 箇 正 賢<br>rmjir906@yahoo.co.jp            | 18 | 福岡北          | さ ん か 歯 科 医 院                    | 診<br>自 | 806-0055 福岡県北九州市八幡西区幸神4-7-10<br>806-0000 福岡県北九州市八幡西区下藤田4-3-1-1408  | 093-641-3641<br>093-641-3641  | 093-641-3631                 |
| 理事<br>(広 報)   | 後 藤 加 寿 子<br>kazuko@college.fdcnet.ac.jp   | 21 | 学 内          | 福 岡 医 療 短 期 大 学<br>歯 科 衛 生 学 科   | 診<br>自 | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1<br>814-0104 福岡県福岡市城南区別府6-5-1-601        | 092-801-0439<br>092-863-6666  | 092-801-4473                 |
| 理事<br>(広 報)   | 重 富 澄 保<br>shigetomi-dc@eos.ocn.ne.jp      | 24 | 福岡西          | 重 富 歯 科 医 院                      | 診<br>自 | 811-1355 福岡県福岡市南区松原5-10-32<br>815-0075 福岡県福岡市南区長丘5丁目18-10-704      | 092-567-6633<br>092-561-4567  | 092-567-6622                 |
| 理事<br>(広 報)   | 廣 松 亮<br>hiromatsu@college.fdcnet.ac.jp    | 32 | 学 内<br>(福岡南) | 福岡歯科大学 口腔治療<br>学講座 歯周病学分野        | 診<br>自 | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1<br>814-0175 福岡県福岡市早良区田村4-24-60-106      | 092-801-0411<br>090-8664-4773 | 092-801-4909                 |
| 理事<br>(広 報)   | 熊 谷 徹 弥<br>veryroll@vodafone.ne.jp         | 36 | 福岡西          | 福岡歯科大学 成長発達歯<br>学講座 成育小児歯科学分野    | 診<br>自 | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1<br>814-0033 福岡県福岡市早良区有田7-19-7           | 092-801-0411                  | 092-801-0692                 |
| 理事<br>(学 術)   | 江 崎 和 久<br>kazu1239@me.com                 | 8  | 福岡南          | 睡 眠 科 学 研 究 所<br>江 崎 歯 科 内 科 医 院 | 診<br>自 | 834-0052 福岡県八女市新庄1266-1<br>834-0052 福岡県八女市新庄1701-1                 | 0943-22-5809<br>0943-23-1239  | 0943-22-2632                 |
| 理事<br>(学 術)   | 重 松 久 幹<br>shigematu_hisa@jcom.home.ne.jp  | 8  | 福岡西          | 重 松 歯 科 医 院                      | 診<br>自 | 814-0022 福岡県福岡市早良区原6-29-2<br>814-0022 福岡県福岡市早良区原6-29-2             | 092-847-7733<br>092-847-7733  | 092-847-7744<br>092-847-7744 |
| 理事<br>(学 術)   | 鬼 塚 得 也<br>toku3500@yahoo.co.jp            | 14 | 福岡北          | オ ニ ツ カ 歯 科 医 院                  | 診<br>自 | 802-0981 福岡県北九州市小倉南区企救丘5丁目21-7<br>802-0981 福岡県北九州市小倉南区企救丘5-21-7    | 093-965-8110                  |                              |
| 理事<br>(学 術)   | 香 川 豊 宏<br>kagawat1@college.fdcnet.ac.jp   | 15 | 学 内<br>(香川)  | 福岡歯科大学 診断・全身管<br>理学講座 画像診断学分野    | 診<br>自 | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1<br>819-1137 福岡県糸島市南風台1-5-8              | 092-801-0411<br>092-844-1021  | 092-801-4909                 |
| 理事<br>(学 術)   | 椿 誠<br>tbkdc@hf.rim.or.jp                  | 16 | 熊 本          | 椿 歯 科 ク リ ニ ッ ク                  | 診<br>自 | 862-0950 熊本県熊本市中央区水前寺3丁目15-20<br>862-0950 熊本県熊本市中央区水前寺3丁目15-20 2F  | 096-381-6561<br>096-381-5350  | 096-381-6664<br>096-381-5350 |
| 理事<br>(学 術)   | 松 永 興 昌<br>nylic99@yahoo.co.jp             | 16 | 福岡西          | 松 永 歯 科 ク リ ニ ッ ク                | 診<br>自 | 810-0022 福岡県福岡市中央区薬院3-3-5-2F<br>814-0104 福岡県福岡市城南区別府7-5-35-403     | 092-401-4618<br>092-851-1880  | 092-401-8148<br>092-851-1880 |
| 理事<br>(学 術)   | 飯 田 聖 子<br>maebarudc@gmail.com             | 17 | 福岡西          | ま え ば る 歯 科 医 院                  | 診<br>自 | 819-1117 福岡県糸島市前原西1丁目8-27<br>819-0006 福岡県福岡市西区荻浜駅南1丁目4-4 アンビルⅡ1303 | 092-324-6615<br>092-883-3145  | 092-324-6615                 |
| 理事<br>(学 術)   | 松 尾 康 平<br>mdc@feel.ocn.ne.jp              | 18 | 福岡西          | MATSUO DENTAL CLINIC             | 診<br>自 | 812-0895 福岡県福岡市博多区竹下4-14-12<br>819-0046 福岡県福岡市西区西の丘2-3-1-602       | 092-436-8497<br>092-892-6267  | 092-436-8558<br>092-892-6267 |
| 理事<br>(学 術)   | 野 上 堅 太 郎<br>nogamik@college.fdcnet.ac.jp  | 22 | 学 内<br>(福岡西) | 福岡歯科大学 診断・全身管<br>理学講座 麻酔管理学分野    | 診<br>自 | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1<br>814-0011 福岡県福岡市早良区高取2-14-12-405      | 092-801-0411                  | 092-801-4909                 |
| 理事<br>(学 術)   | 山 本 勝 己<br>katsuki@college.fdcnet.ac.jp    | 22 | 学 内<br>(福岡西) | 福岡歯科大学 咬合修復学<br>講座 口腔インプラント学分野   | 診<br>自 | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1<br>814-0134 福岡県福岡市城南区飯倉1-1-53           | 092-801-0411<br>092-831-1757  | 092-801-4909                 |
| 理事<br>(学 術)   | 古 賀 め ぐ み<br>megumi19770401@hotmail.co.jp  | 23 | 福岡西          | こ が 歯 科 ク リ ニ ッ ク                | 診<br>自 | 814-0171 福岡県福岡市早良区野芥3-4-23<br>814-0113 福岡県福岡市城南区田島2-2-16           | 092-863-8868<br>092-982-0861  | 092-863-8868<br>092-982-0861 |
| 理事<br>(学 術)   | 津 江 文 武<br>roguecain@college.fdcnet.ac.jp  | 25 | 学 内<br>(福岡南) | 福 岡 歯 科 大 学<br>口腔医療センター          | 診<br>自 | 812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前3-2-1<br>814-0171 福岡県福岡市早良区野芥6-24-8          | 092-409-1050<br>092-984-3048  | 092-409-1051                 |
| 理事<br>(学 術)   | 葉 山 揚 介<br>hayama-shika@opal.ocn.ne.jp     | 26 | 福岡東          | は や ま 歯 科 医 院                    | 診<br>自 | 820-0067 福岡県飯塚市川津370-4<br>820-0067 福岡県飯塚市川津370-4                   | 0948-26-8148<br>0948-26-8148  | 0948-21-0002<br>0948-21-0002 |
| 理事<br>(学 術)   | 花 水 麻 美<br>www.asami.com@hotmail.co.jp     | 30 | 福岡西          | 医)一徳会 DENTAL<br>CLINIC 桜 坂 南     | 診<br>自 | 810-0033 福岡県福岡市中央区小笹5丁目5-21クレイアート小笹<br>811-2301 福岡県糟屋郡粕屋町上大隈1067   | 092-525-4618<br>092-948-1524  | 092-525-4619<br>092-948-1524 |
| 理事<br>(学 術)   | 立 岡 油 子<br>kira30@college.fdcnet.ac.jp     | 31 | 学 内<br>(熊本)  | 福岡歯科大学 成長発達歯<br>学講座 成育小児歯科学分野    | 診<br>自 | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1<br>814-0175 福岡県福岡市早良区田村2-9-18-101       | 092-801-0411<br>090-8761-0587 | 092-801-4473                 |
| 理事<br>(学 術)   | 柳 本 慎 太 朗<br>ichiryukai.kumamoto@gmail.com | 34 | 福岡西          | 藤 崎 駅 商 店 街 通 り<br>歯 科 ク リ ニ ッ ク | 診<br>自 | 814-0011 福岡県福岡市早良区高取1-2-21<br>819-0022 福岡県福岡市西区福重3丁目22-3-204号      |                               |                              |
| 理事<br>(学 術)   | 安 里 啓<br>nankulu.nankuru.123@gmail.com     | 36 | 福岡東          | は や ま 歯 科 医 院                    | 診<br>自 | 820-0067 福岡県飯塚市川津370-4<br>820-0043 福岡県飯塚市西町7-77-605                | 0948-26-8148<br>090-9786-1211 | 0948-21-0002                 |
| 理事<br>(企画・情報) | 田 中 靖 彦<br>toystory@camel.plala.or.jp      | 12 | 長 崎          | 医) 恵 和 会<br>タナカ・デンタル・クリニック       | 診<br>自 | 850-0851 長崎県長崎市古川町6-35 タナカビル3F<br>850-0851 長崎県長崎市古川町6-35 タナカビル7F   | 095-824-3281<br>095-823-3645  | 095-822-4699<br>095-823-3645 |

| 役 職           | 氏 名<br>E-Mail アドレス                      | 期  | 地 区          | 勤 務 先                          |        | 郵便番号・住所                                                                   | tel                          | fax                          |
|---------------|-----------------------------------------|----|--------------|--------------------------------|--------|---------------------------------------------------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 理事<br>(企画・情報) | 荒 瀬 陽 一<br>arase@araseshika.com         | 12 | 熊 本          | 荒 瀬 歯 科 医 院                    | 診<br>自 | 861-8010 熊本県熊本市東区上南設2-2-2 ゆめタウンサンビアン3F<br>860-0863 熊本県熊本市中央区坪井2-10-10-602 | 096-349-7342<br>096-288-0258 | 096-649-7343<br>096-288-0285 |
| 理事<br>(企画・情報) | 吉 岡 和 彦<br>mappun0@gmail.com            | 25 | 福岡西          | よしおか歯科医院                       | 診<br>自 | 810-0014 福岡県福岡市中央区平尾3丁目6-8 武石ビル2F<br>810-0034 福岡県福岡市中央区笹丘3-20-2           | 092-521-6007                 | 092-521-6007                 |
| 理事<br>(企画・情報) | 田 代 剛<br>tasssy0_0@mac.com              | 26 | 佐 賀          | 田 代 歯 科 医 院                    | 診<br>自 | 849-3201 佐賀県唐津市相知町相知1940<br>849-3218 佐賀県唐津市相知町中山4485-9                    | 0955-62-2217                 | 0955-62-3595                 |
| 理<br>(会 計)    | 北 村 勝 文<br>kitamurad@yahooc.co.jp       | 9  | 福岡西          | きたむら歯科医院                       | 診<br>自 | 819-1138 福岡県糸島市前原駅南2丁目12-1<br>814-0155 福岡県福岡市城南区東油山3-22-4                 | 092-322-3588<br>092-862-3429 | 092-322-3588                 |
| 理<br>(会 計)    | 東 義 隆<br>east28dental@yahoo.co.jp       | 21 | 長 崎          | 東 歯 科 医 院                      | 診<br>自 | 852-8134 長崎県長崎市大橋町23-1<br>852-8132 長崎県長崎市扇町28-18                          | 095-844-1443<br>095-847-4336 | 095-844-1443<br>095-847-4336 |
| 理<br>(会 計)    | 橘 一 史<br>mibugisidenn1976@yahoo.co.jp   | 27 | 長 崎          | た ち ば な 歯 科                    | 診<br>自 | 850-0874 福岡県長崎市魚の町3-12-2 F<br>852-8122 長崎県長崎市西山台2-5-1                     | 095-823-5363<br>095-847-1758 | 095-826-4087                 |
| 顧<br>問        | 升 井 一 朗<br>ichirom@college.fdcnet.ac.jp | 1  | 学 内<br>(福岡西) | 福岡医療短期大学<br>歯 科 衛 生 学 科        | 診<br>自 | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1<br>810-0024 福岡県福岡市中央区桜坂1-11-13-3               | 092-801-0411<br>092-205-1683 | 092-801-4473                 |
| 顧<br>問        | 梶 谷 剛<br>yoshiy-1952-0109@docomo.ne.jp  | 1  | 福岡西          | はるデンタルクリニック                    | 診<br>自 | 818-0005 福岡県筑紫野市原407-1<br>816-0814 福岡県春日市春日9-107                          | 092-918-6480<br>092-595-1930 | 092-918-6481<br>092-595-1930 |
| 顧<br>問        | 永 尾 禮 二<br>qqw92hwd@arrow.ocn.ne.jp     | 1  | 福岡南          | 永尾禮二歯科医院                       | 診<br>自 | 830-0072 福岡県久留米市安武町安武本1598-7<br>830-0072 福岡県久留米市安武町安武本1598-7              | 0942-26-4180<br>0942-26-4180 | 0942-27-2522<br>0942-27-2522 |
| 顧<br>問        | 友 添 秀 樹<br>tomozoe_dc@yahoo.co.jp       | 2  | 福岡南          | 友 添 歯 科 医 院                    | 診<br>自 | 839-0863 福岡県久留米市国分町1176-8                                                 | 0942-22-4618<br>0942-32-3931 | 0942-21-0324                 |
| 顧<br>問        | 斉 藤 武 史                                 | 2  | 福岡東          | 新飯塚歯科医院                        | 診<br>自 | 820-0005 福岡県飯塚市新飯塚13-27<br>820-0005 福岡県飯塚市新飯塚13-27                        | 0948-22-7273<br>0948-22-7273 | 0948-22-7783<br>0948-22-7783 |
| 顧<br>問        | 尾 崎 正 雄<br>mozaki@college.fdcnet.ac.jp  | 3  | 学 内          | 福岡歯科大学 成長発達歯学<br>講座 成育小児歯科学分野  | 診<br>自 | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1<br>814-0104 福岡県福岡市城南区別府6-22-5-501              | 092-801-0411<br>092-845-1688 | 092-801-0692                 |
| 顧<br>問        | 木 村 孝 一                                 | 3  | 大 阪          | 木 村 歯 科 医 院                    | 診<br>自 | 572-0063 大阪府寝屋川市春日町19-23<br>572-0063 大阪府寝屋川市春日町19-23                      | 072-826-8838<br>072-827-3933 | 072-826-8839<br>072-827-3933 |
| 顧<br>問        | 深 井 修 一                                 | 3  | 山 口          | 深 井 歯 科 医 院                    | 診<br>自 | 747-0835 山口県防府市西浦2686-6<br>747-0835 山口県防府市西浦2066-3                        | 0835-29-1807<br>0835-29-3330 | 0835-29-0875                 |
| 顧<br>問        | 高 橋 裕<br>ytakaha@college.fdcnet.ac.jp   | 3  | 学 内<br>(福岡北) | 福岡歯科大学 咬合修復学<br>講座 有床義歯学分野     | 診<br>自 | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1<br>814-0022 福岡県福岡市早良区原6-19-5-405               | 092-801-0411<br>092-841-6281 | 092-801-0513<br>092-841-6281 |
| 顧<br>問        | 藤 田 勝 也<br>fujitak@orange.ocn.ne.jp     | 3  | 福岡東          | フジタ歯科医院                        | 診<br>自 | 822-0032 福岡県直方市下新入624-4<br>822-0032 福岡県直方市下新入624-4                        | 0949-28-3636<br>0949-28-3637 | 0949-28-3636<br>0949-28-3637 |
| 顧<br>問        | 佐 伯 和 道<br>kazu_s1201@ezweb.ne.jp       | 4  | 福岡北          | 佐 伯 歯 科 医 院                    | 診<br>自 | 802-0003 福岡県北九州市小倉北区米町1-2-17<br>803-0835 福岡県北九州市小倉北区井堀1-17-17             | 093-531-4955<br>093-582-7563 | 093-531-4957<br>093-582-7563 |
| 顧<br>問        | 矢 野 尚 一<br>show@light.ne.jp             | 4  | 福岡北          | 矢 野 歯 科 医 院                    | 診<br>自 | 806-0028 福岡県北九州市八幡西区熊手2-4-25-2F<br>807-0841 福岡県北九州市八幡西区の場町11-16           | 093-631-2402<br>093-631-3470 | 093-622-4062<br>093-613-3470 |
| 顧<br>問        | 山 田 俊 介<br>ydc1985@icloud.com           | 4  | 宮 崎          | 山 田 歯 科 医 院                    | 診<br>自 | 880-0912 宮崎県宮崎市大字赤江414-3<br>880-0912 宮崎県宮崎市大字赤江414-3                      | 0985-54-7272<br>0985-54-7272 | 0985-54-7273<br>0985-54-7273 |
| 顧<br>問        | 城 戸 寛 史<br>hkido@college.fdcnet.ac.jp   | 6  | 学 内<br>(福岡北) | 福岡歯科大学 咬合修復学<br>講座 口腔インプラント学分野 | 診<br>自 | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1<br>814-0002 福岡県福岡市早良区西新5-8-5-303               | 092-801-0411<br>092-821-7999 | 092-801-0513<br>092-821-7999 |
| 顧<br>問        | 比 嘉 奈 津 美<br>h14601@shugiin.go.jp       | 8  | 沖 縄          | 衆 議 院 議 員                      | 診<br>自 | 100-8981 東京都千代田区永田町2-2-1 衆議院第一議員会館517号<br>904-0021 沖縄県沖縄市胡屋1-18-17        | 03-3508-7261<br>098-937-9011 | 03-3508-3531<br>098-937-9011 |
| 顧<br>問        | 原 田 孝 昭                                 | 12 | 福岡北          | 原 田 歯 科 医 院                    | 診<br>自 | 806-0021 福岡県北九州市八幡西区黒崎2-9-18 2F<br>806-0021 福岡県北九州市八幡西区熊西2-13-19-208      | 093-621-7407<br>093-622-3059 | 093-621-7407                 |
| 監<br>事        | 臼 杵 辰 雄                                 | 1  | 福岡南          | 臼 杵 歯 科 医 院                    | 診<br>自 | 838-0065 福岡県朝倉市一木95-4<br>838-0065 福岡県朝倉市一木95-4                            | 0946-24-3691<br>0946-24-3692 | 0946-22-1982                 |
| 監<br>事        | 原 文 夫                                   | 2  | 福岡西          | ア ン プ ル 歯 科                    | 診<br>自 | 811-1346 福岡県福岡市南区老司1-17-34<br>810-0033 福岡県福岡市中央区小笹3丁目20-11-501            | 092-565-8148<br>092-533-2909 | 092-565-8239<br>092-533-2909 |

## 地区会会長

| 地区会 | 府県      | 役職                                       | 氏名<br>E-Mail アドレス                   | 期                            | 勤 務 先                         | 郵便番号・勤務（開業）先住所                      | tel          | fax          |
|-----|---------|------------------------------------------|-------------------------------------|------------------------------|-------------------------------|-------------------------------------|--------------|--------------|
| 学 内 | 学 内 会 長 | 香 川 豊 宏<br>kagawat1@college.fdcnet.ac.jp | 15                                  | 診断・全身管理理学講座<br>画 像 診 断 学 分 野 | 814-0193<br>福岡県福岡市早良区田村2-15-1 | 092-801-0411                        | 092-801-4909 |              |
| 福岡県 | 福 岡 西   | 福岡県地区会会長                                 | 中 四 良<br>s-nakadc@jf7.so-net.ne.jp  | 5                            | (医) 中 歯 科 医 院                 | 814-0022<br>福岡県福岡市早良区原8-17-3        | 092-866-0418 | 092-866-0417 |
| 九 州 | 沖 縄     | 九州地区会会長                                  | 松 島 一 夫<br>dent0240@aol.com         | 8                            | まつしま 歯 科 医 院                  | 904-0115<br>沖縄県中頭郡北谷町美浜1-1-10       | 098-936-0648 | 098-936-0011 |
| 中 国 | 広 島     | 中国地区会会長                                  | 西 谷 展<br>nob-nish@bdf6.so-net.ne.jp | 9                            | にしや 歯 科 医 院                   | 720-0056<br>広島県福山市本町1-10            | 084-928-4545 | 084-928-4891 |
| 四 国 | 愛 媛     | 四国地区会会長                                  | 井 手 正 洋<br>idecchi@almond.ocn.ne.jp | 1                            | (医) 洋仁会 井手歯科                  | 799-2430<br>愛媛県松山市北条辻1443-14        | 089-992-0026 | 089-993-2214 |
| 近 畿 | 兵 庫     | 近畿地区会会長                                  | 八 木 隆 史                             | 1                            | 八 木 歯 科 医 院                   | 673-0552<br>兵庫県三木市志染町中自由ヶ丘2-411     | 0794-85-0882 | 0794-85-0882 |
| 中 部 | 中 部     | 中部地区会会長                                  | 伊 藤 恒 一<br>daiichi-shika@hb.tp1.jp  | 2                            | 中 津 第 一 歯 科 医 院               | 508-0032<br>岐阜県中津川市栄町4-26           | 0573-66-1577 | 0573-66-1578 |
| 関 東 | 関 東     | 関東地区会会長                                  | 中 野 裕 次<br>yuji_0603@nifty.com      | 6                            | な か の 歯 科 医 院                 | 130-0011<br>東京都墨田区石原2-15-9 交楽堂ビル2 F | 03-3829-0008 | 03-3829-0008 |

## 学内・府県同窓会会長・評議員

| 地区会   | 府県  | 役職                    | 氏 名<br>E-Mail アドレス                               | 期  | 勤 務 先                            | 郵便番号・勤務（開業）先住所                  | tel          | fax          |
|-------|-----|-----------------------|--------------------------------------------------|----|----------------------------------|---------------------------------|--------------|--------------|
| 学 内   |     | 地区会会長・府県会長<br>(本部理事)  | 香 川 豊 宏<br>kagawat1@college.fdcnet.ac.jp         | 15 | 診断・全身管理学講座<br>画 像 診 断 学 分 野      | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1      | 092-801-0411 | 092-801-4909 |
|       |     | 評 議 員                 | 都 築 尊<br>tsuzuki@college.fdcnet.ac.jp            | 18 | 咬 合 修 復 学 講 座<br>有 床 義 歯 学 分 野   | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1      | 092-801-0411 | 092-801-4909 |
|       |     | 評 議 員                 | 玉 置 幸 雄<br>tama@college.fdcnet.ac.jp             | 19 | 成 長 発 達 歯 学 講 座<br>矯 正 歯 科 学 分 野 | 814-0193 福岡県福岡市早良区田村2-15-1      | 092-801-0411 | 092-801-4909 |
| 福 岡 県 | 福岡東 | 府 県 会 長<br>(本部副会長)    | 今 田 圭 二<br>imada_dental_office.buzen@yahoo.co.jp | 21 | 歯科今田医院                           | 828-0021 福岡県豊前市八屋2010-1         | 0979-82-5041 | 0979-82-5518 |
|       |     | 評 議 員                 | 中 尾 浩 子                                          | 5  | 中尾歯科医院                           | 828-0021 福岡県豊前市八屋1677           | 0979-82-1828 | 0979-82-1828 |
|       |     | 評 議 員                 | 赤 川 大 五 郎                                        | 19 | 赤川歯科医院                           | 824-0033 福岡県行橋市北泉5-10-2         | 0930-26-6480 | 0930-26-6555 |
|       | 福岡西 | 地区会会長・府県会長<br>(本部副会長) | 中 四 良<br>s-nakadc@jf7.so-net.ne.jp               | 5  | (医) 中歯科医院                        | 814-0022 福岡県福岡市早良区原8-17-3       | 092-866-0418 | 092-866-0417 |
|       |     | 評 議 員                 | 日 高 英 治<br>mthidaka@io.ocn.ne.jp                 | 5  | 日高歯科医院                           | 811-3101 福岡県古賀市天神5-3-2          | 092-944-4156 | 092-944-4176 |
|       |     | 評 議 員                 | 西 原 浩 平                                          | 10 | 西原歯科医院                           | 816-0832 福岡県春日市紅葉ヶ丘西3-32        | 092-582-2700 | 092-582-2700 |
|       |     | 評 議 員                 | 出 光 裕 紀                                          | 10 | 出光歯科クリニック                        | 811-4146 福岡県宗像市赤間5-1-27         | 0940-35-6565 | 0940-35-6576 |
|       |     | 評 議 員                 | 粉 泰 生<br>hegishika@bridge.ocn.ne.jp              | 11 | 粉歯科医院                            | 815-0041 福岡県福岡市南区野間1-9-26       | 092-541-0987 | 092-541-0987 |
|       |     | 評 議 員                 | 花 田 道 人                                          | 23 | 志摩歯科クリニック                        | 819-1302 福岡県糸島市志摩町吉田23-1        | 092-327-5225 | 092-327-5226 |
|       | 福岡南 | 府 県 会 長<br>(本部副会長)    | 岡 浩 司<br>okadentalclinic@topaz.plala.or.jp       | 7  | 岡歯科医院                            | 830-0013 福岡県久留米市櫛原町124-8        | 0942-35-1184 | 0942-35-1190 |
|       |     | 評 議 員                 | 吉 田 亨<br>yoshida-agree@tau.bbiq.jp               | 11 | よしだ歯科                            | 837-0906 福岡県大牟田市倉永35-3          | 0944-58-4618 | 0944-58-4630 |
|       |     | 評 議 員                 | 野 田 慎 一 朗<br>nodadental1010@yahoo.co.jp          | 21 | のた歯科・小児歯科                        | 830-0422 福岡県三潴郡大木町高橋533-1       | 0944-75-9700 | 0944-75-9701 |
|       | 福岡北 | 府 県 会 長<br>(本部副会長)    | 浅 尾 武<br>tekeado@yahoo.co.jp                     | 10 | 浅尾歯科医院                           | 803-0831 福岡県北九州市小倉北区日明2-15-7    | 093-561-3169 | 093-561-3169 |
|       |     | 評 議 員                 | 坂 口 佳 代 子<br>mckysk0503@yahoo.co.jp              | 14 | 坂口歯科医院                           | 802-0038 福岡県北九州市小倉北区神幸町10-3     | 093-531-2660 | 093-531-2166 |
|       |     | 評 議 員                 | 安 本 勝 観<br>hibikino.dental@roval.ocn.ne.jp       | 17 | ひびきのデンタルクリ<br>ニック                | 808-0135 福岡県北九州市若松区ひびきの1-3      | 093-695-3168 | 093-695-3168 |
| 九 州   | 佐 賀 | 府 県 会 長<br>(本部理事)     | 浦 嘉 訓<br>urayoshi@po.saganet.ne.jp               | 12 | 浦歯科医院                            | 849-0918 佐賀県佐賀市兵庫南4-1-29        | 0952-28-7070 | 0952-28-7078 |
|       |     | 評 議 員                 | 山 口 倫 仁<br>ryama@po.saganet.ne.jp                | 7  | やまぐち歯科医院                         | 840-0202 佐賀県佐賀市大和町久池井931-8      | 0952-62-4848 | 0952-62-3892 |
|       |     | 評 議 員                 | 田 邊 隆<br>tanabedc@festa.ocn.ne.jp                | 10 | たなべ歯科医院                          | 847-0056 佐賀県唐津市坊主町436-1         | 0955-73-7183 | 0955-75-2334 |
|       |     | 評 議 員                 | 酒 井 正 男<br>ms-dental@b3.bunbun.ne.jp             | 14 | 酒井歯科医院                           | 840-0811 佐賀県佐賀市大財5-11-30        | 0952-23-8417 | 0952-22-7938 |
|       | 長 崎 | 府県会長・評議員              | 小 川 豊 久<br>toyohisa@ngs2.cncm.ne.jp              | 5  | 小川歯科医院                           | 852-8061 長崎県長崎市滑石3-1-8-101      | 095-857-8010 | 095-855-3845 |
|       |     | 評 議 員                 | 寺 崎 宏<br>terasaki@ngs2.cncm.ne.jp                | 5  | 寺崎歯科医院                           | 852-8125 長崎県長崎市小峰町3-31          | 095-847-9232 | 095-844-9737 |
|       |     | 評 議 員                 | 渡 邊 知 英<br>tomosika@ngs2.cncm.ne.jp              | 13 | わたなべ TOMO 歯科医院                   | 850-0832 長崎県長崎市油屋町1-2MOTO ビル2 F | 095-820-8030 | 095-820-8030 |
|       | 熊 本 | 府県会長・評議員              | 川 峯 俊 明<br>kawasaki@kd5.so-net.ne.jp             | 1  | 川崎歯科医院                           | 860-0801 熊本県熊本市中央区安政町2-26       | 096-352-8008 | 096-352-8012 |
|       |     | 評 議 員                 | 伊 藤 明 彦<br>akkunito@sa2.gyao.ne.jp               | 5  | 伊藤歯科医院                           | 861-1112 熊本県合志市幾久富建山1909-1206   | 096-248-5688 | 096-274-5688 |
|       |     | 評 議 員                 | 宇 治 寿 隆<br>uji-taka@helen.ocn.ne.jp              | 7  | 宇治歯科医院                           | 862-0971 熊本県熊本市中央区大江6丁目25-26    | 096-363-0145 | 096-364-5534 |
|       |     | 評 議 員                 | 椿 賢<br>johzan.tdc@festa.ocn.ne.jp                | 18 | 城山椿歯科クリニック                       | 860-0068 熊本県熊本市西区上代4-11-10      | 096-312-5711 | 096-312-5712 |
|       | 大 分 | 府県会長・評議員              | 長 尾 威                                            | 4  | ながお歯科                            | 870-0921 大分県大分市萩原3-1-15         | 097-556-8575 | 097-556-8575 |
|       |     | 評 議 員                 | 上 田 源<br>smiley@hop.ocn.ne.jp                    | 5  | ウエダ歯科                            | 874-0848 大分県別府市大畑6-1            | 0977-21-8855 | 0977-21-8820 |
|       | 宮 崎 | 府 県 会 長<br>(本部顧問)     | 山 田 俊 介<br>ydc1985@icloud.com                    | 4  | 山田歯科医院                           | 880-0912 宮崎県宮崎市大字赤江414-3        | 0985-54-7272 | 0985-54-7273 |
|       |     | 評 議 員                 | 林 昇 文<br>swlindc@wing.ocn.ne.jp                  | 5  | 林歯科医院                            | 880-0033 宮崎県宮崎市神宮西1-9           | 0985-29-2350 | 0985-26-8241 |

| 地区会 | 府県  | 役職                    | 氏 名<br>E-Mail アドレス                      | 期  | 勤 務 先        | 郵便番号・勤務（開業）先住所                   | tel          | fax          |
|-----|-----|-----------------------|-----------------------------------------|----|--------------|----------------------------------|--------------|--------------|
| 九州  | 宮 崎 | 評 議 員                 | 陶 山 隆<br>suyama527@beach.ocn.ne.jp      | 6  | 陶山歯科医院       | 880-0023 宮崎県宮崎市和知川原2-6-1         | 0985-24-7774 | 0985-24-7825 |
|     | 鹿児島 | 府県会長・評議員              | 要 光<br>kaname55@jb3.so-net.ne.jp        | 11 | かなめ歯科医院      | 890-0045 鹿児島県鹿児島市武1-43-12        | 099-252-9667 | 099-252-9557 |
|     |     | 評 議 員                 | 山 之 内 伸                                 | 1  | 山之内歯科医院      | 898-0015 鹿児島県枕崎市西本町58            | 0993-72-0477 | 0993-72-1198 |
|     | 沖 縄 | 地区会会長・府県会長<br>(本部副会長) | 松 島 一 夫<br>dent0240@aol.com             | 8  | まつしま歯科医院     | 904-0115 沖縄県中頭郡北谷町美浜1-1-10       | 098-936-0648 | 098-936-0011 |
|     |     | 評 議 員                 | 城 間 吉 弘<br>shiroma@shiomashika.com      | 4  | しろま歯科医院      | 901-2127 沖縄県浦添市屋富祖1-3-6          | 098-878-6121 | 098-873-1471 |
|     |     | 評 議 員                 | 幸 地 克<br>kouchi.katsu@amber.plala.or.jp | 5  | こうち歯科医院      | 904-0003 沖縄県沖縄市住吉1-2-26 2 F      | 098-939-3454 | 098-939-3454 |
| 中国  | 山 口 | 府県会長・評議員              | 佐 々 木 猛<br>dentsasaki@mx52.tiki.ne.jp   | 1  | 佐々木歯科医院      | 759-5331 山口県下関市豊北町神田1222-1       | 083-786-1818 | 083-786-1855 |
|     |     | 評 議 員                 | 児 玉 昭 彦<br>akodama@modha.ocn.ne.jp      | 5  | 児玉歯科医院       | 753-0011 山口県山口市宮野下3106-1         | 083-932-7800 | 0839-32-7877 |
|     | 広 島 | 地 区 会 会 長<br>(本部副会長)  | 西 谷 展<br>nob-nish@bd6.so-net.ne.jp      | 9  | にしや歯科医院      | 720-0056 広島県福山市本町1-10            | 084-928-4545 | 084-928-4891 |
|     |     | 府県会長・評議員              | 今 井 正 人<br>imaide@imai-dental.com       | 6  | いまい歯科医院      | 730-0043 広島県広島市中区富士見町12-7        | 082-241-6480 | 082-241-6480 |
|     |     | 評 議 員                 | 村 上 誠 一<br>tomoaya525@gmail.com         | 7  | 村上歯科クリニック    | 739-0424 広島県廿日市市前空5丁目2-5         | 0829-50-6500 | 0829-50-6480 |
|     | 島 根 | 府県会長・評議員              | 青 笹 之 夫<br>bluesasa@mx.miracle.ne.jp    | 2  | 青笹歯科医院       | 697-0033 島根県浜田市朝日町7-12           | 0855-23-0641 | 0855-23-0859 |
|     | 岡 山 | 府県会長・評議員              | 平 滋<br>sanabomo@tv.ne.jp                | 4  | ひら歯科医院       | 708-0884 岡山県津山市津山北378-4          | 0868-23-1212 | 0868-23-1213 |
|     | 愛 媛 | 地 区 会 会 長<br>(本部副会長)  | 井 手 正 洋<br>idecchi@almond.ocn.ne.jp     | 1  | (医) 洋仁会 井手歯科 | 799-2430 愛媛県松山市北条辻1443-14        | 089-992-0026 | 089-993-2214 |
|     |     | 府 県 会 長               | 窪 田 將 臣<br>masaomi@sky.plala.or.jp      | 1  | 窪田歯科医院       | 799-0101 愛媛県四国中央市川之江町2562        | 0896-58-2114 | 0896-58-2115 |
|     | 高 知 | 府 県 会 長               | 苅 坂 幸 一<br>ozaka@ninus.ocn.ne.jp        | 3  | オザカ歯科診療所     | 781-0270 高知県高知市長浜5199-3          | 088-841-5340 | 088-841-5347 |
| 国   | 香 川 | 府 県 会 長               | 吉 田 良 二<br>yosi222@violin.ocn.ne.jp     | 5  | 吉田歯科医院       | 762-0023 香川県坂出市加茂町620-21         | 0877-48-3355 | 0877-48-3225 |
|     |     | 評 議 員                 | 平 田 昌 邦<br>dental-hirata.m@dune.ocn.jp  | 14 | 平田歯科医院       | 763-0043 香川県丸亀市通町37              | 0877-22-2758 | 0877-22-1561 |
|     |     | 評 議 員                 | 笠 井 真 一<br>kdc.2010@nifty.com           | 24 | もり歯科矯正歯科     | 761-1701 香川県高松市香川町大野149-3        | 087-813-8217 | 087-813-8218 |
|     | 徳 島 | 府 県 会 長               | 野 口 圭 司                                 | 2  | 野口歯科医院       | 770-0937 徳島県徳島市富田橋1-27           | 088-625-4810 | 088-625-4810 |
| 近畿  | 大 阪 | 府 県 会 長<br>(本部理事)     | 石 田 哲 也<br>idc4180@nike.eonet.ne.jp     | 9  | 石田歯科医院       | 583-0991 大阪府南河内郡太子町大字春日1726-1    | 0721-98-4180 | 0721-98-4401 |
|     |     | 評 議 員                 | 中 岡 俊 智<br>nakaoka@maido.zaq.jp         | 12 | (医) 謙信会      | 572-0084 大阪府寝屋川市香里南之町27-30       | 072-813-1482 | 072-813-1482 |
|     | 京 都 | 府 県 会 長               | 葉 山 義 則<br>hayamayt@d8.dion.ne.jp       | 6  | 葉山歯科医院       | 606-0851 京都府京都市左京区下鴨東梅ノ木41-2     | 075-702-8788 | 075-702-8788 |
|     | 兵 庫 | 府 県 会 長               | 藤 田 忠 篤                                 | 2  | フジタ歯科医院      | 651-0088 兵庫県神戸市中央区小野柄通7-1-14F    | 078-291-8855 | 078-291-8856 |
|     |     | 地 区 会 会 長・<br>評 議 員   | 八 木 隆 史                                 | 1  | 八木歯科医院       | 673-0552 兵庫県三木市志染町中自由ヶ丘2-411     | 0794-85-0882 | 0794-85-0882 |
|     | 和歌山 | 府県会長・評議員              | 藤 田 知 則<br>t.fujita0924@docomo.ne.jp    | 8  | 藤田歯科診療所      | 644-0011 和歌山県御坊市湯川町財部835-4       | 0738-24-3948 | 0738-24-3948 |
|     | 奈 良 | 府 県 会 長               | 堀 内 志 厚                                 | 1  | 堀内歯科医院       | 632-0094 奈良県天理市前裁町119-21         | 0743-62-4836 | 0734-71-8718 |
|     | 滋 賀 | 府 県 会 長               | 野 村 信 人<br>nomura-shika@ric.hi-ho.ne.jp | 5  | 野村歯科医院       | 522-0023 滋賀県彦根市原町180-28          | 0749-26-5183 | 0749-26-5183 |
|     | 中 部 | 地区会会長・府県<br>会 長・評 議 員 | 伊 藤 恒 一<br>daiichi-shika@hb.tp1.jp      | 2  | 中津第一歯科医院     | 508-0032 岐阜県中津川市栄町4-26           | 0573-66-1577 | 0573-66-1578 |
| 関 東 | 関 東 | 地区会会長・府県<br>会 長・評 議 員 | 中 野 裕 次<br>yuji_0603@nifty.com          | 6  | なかの歯科医院      | 130-0011 東京都墨田区石原2-15-9 交楽堂ビル2 F | 03-3829-0008 | 03-3829-0008 |

## 「福岡看護大学」設置準備室 からご挨拶



福岡看護大学  
設置準備室

室長 窪田 恵子

昨年（平成27年）4月から看護大学設置準備室長を拝命し、「福岡看護大学」開学に向け教員3名と事務職2名で準備を開始し、平成28年10月現在では着任予定教職員を合わせて14名になりましたことをご報告致します。

平成28年8月31日付で文部科学大臣から福岡看護大学の設置認可を受け、平成29年4月1日に晴れて開学する運びとなりましたことをご報告致します。

同窓会の皆様方には、いろいろとご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。看護大学設置準備室は、福岡歯科大学7階にあり、同窓会室と同じフロアで、折々に励ましや労いのお言葉をかけていただきました。また、同窓会の皆様向けの通信に「福岡看護大学」広報のリーフレットを同封していただくなどのご協力に、改めてお礼を申し上げます。

さて、歯科医師の皆様は看護職についてどのようなイメージをお持ちでしょうか。

看護師と准看護師の資格があることはご存知でしょう。1996年に厚生労働省が看護師養成を一本化する方針を示してから早20年が過ぎ、実現に至らず准看護師養成は続いています。一方、看護教育環境は大きく変化しています。日本経済の順調な伸びに支えられ、女子の進学率の上昇や専門職・自立志向の高まり、医療の高度化・専門化は、看護教育を大学化へと加速し、看護系の大学は平成28年4月現在で254校になりました。福岡県内は、すでに看護学科をもつ大学が12校あります。

このような中で、看護大学設置準備室長として着任して1年半が過ぎようとしています、これまで

同窓会の皆様とお話する機会がありませんでしたので、自己紹介を兼ねてご挨拶させていただきます。

私は、福岡大学病院での看護師、看護師長、附属看護専門学校での教員を経て、西南女学院大学及び福岡女学院看護大学教授として看護教育に携わってきました。福岡女学院看護大学では、開学時から教務部長として教学支援に専念し、実習施設の開拓、建学の理念の実現に向けたカリキュラム改正、第三者評価機構認証評価への対応など新設大学ならではの大変さを実感し、もう二度と看護大学の立ち上げはしないと心に決めていました。ところが当時の水田祥代常務理事との出会いから一変しました。水田理事長の魅力に引っ張られ辞退しようとの思いは、見事に覆り現在に至っています。強いリーダーシップと「やると決めたら絶対やる」「できないという言葉は水田理事長には通用しない」ということを肌で感じ、前に進むのみでした。

平成27年4月に着任して、文部科学省への大学設置申請書の提出は10月末でしたので、準備期間は7カ月しかありませんでした。振り返れば幾多の壁がありましたが、最も心労が大きかったことは、教員組織を形成するための人の確保です。認可されるかどうかわからない時期に就任承諾書を提出していただく訳です。提出いただいた先生方の将来に責任を負うことを思うと眠れない日々がありました。

次に悩んだことは、他大学との差別化を図るために看護大学としての特徴を打ち出すことでした。

学校法人福岡学園では、いち早く口腔を臓器の一つとして、全身との関連を重視する「口腔医学」の理念に基づき口腔の健康を通じて全身の健康に貢献できる歯科医師の育成を実践されてきた教育研究実績があります。そのため福岡看護大学の特徴として、大学設置の趣旨に「口腔医学」を「看護学」に取り入れ、人々の健康、増進、回復を目指すことにしました。文部科学省の専門委員からは、注目されましたが、審査意見がつかしました。検討を重ね、お陰様で、口腔医学を取り入れた特徴ある教育課程を構築することができました。

大学設置認可申請書を完成させるまでは、毎月

## 学園紹介

1～2回は文部科学省に出向き、助言をもらっては修正の繰り返しでした。水田理事長にはご多忙の中、準備室メンバーと石橋企画課長を含め一緒に申請書の読み合わせ、修正の繰り返しに時間を割いていただき、ご指導を受けることができ感謝申し上げます。最終的には申請書一式で厚さ10cmのA4ファイルが4冊になりました。そのファイルを審査用として指定冊数の製本が段ボール箱8個に詰め終えた時は、準備室に歓声が起こりました。この申請書類は各部署からの応援があって完成させることができ、学校法人福岡学園の教職員が一丸となって大事業を成功させたことを実感しました。

現在、学生確保のための広報活動、オープンキャンパスなどに力を注ぎ、来年4月の開学に向け遺漏がないよう準備しています。今後とも、福岡歯科大学同窓生の皆様方のご指導、ご支援を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。



平成29年竣工予定

### 福岡看護大学 入学試験情報

#### 2017年度一般入試

| 試験区分 |     | 募集人数 | 出願期間（最終日の16時必着）       | 試 験 日  | 合格発表    | 入学手続締切日 |
|------|-----|------|-----------------------|--------|---------|---------|
| 一般入試 | A日程 | 約55名 | 2017年 1/10（火）～1/30（月） | 2/7（火） | 2/15（水） | 3/2（木）  |
|      | B日程 | 約8名  | 2017年 2/13（月）～2/28（火） | 3/9（木） | 3/14（火） | 3/24（金） |

#### ◎選抜方法

|      |     |                                                                                         |                   |
|------|-----|-----------------------------------------------------------------------------------------|-------------------|
| 一般入試 | A日程 | 必須 外国語：コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰ<br>選択 数学（数学Ⅰ・数学A）、生物（生物基礎・生物）、化学（化学基礎・化学）から1教科選択 | 国語：国語総合（古文、漢文を除く） |
|      | B日程 | 必須 外国語：コミュニケーション英語Ⅰ、コミュニケーション英語Ⅱ、英語表現Ⅰ<br>個人面接                                          |                   |

男女共学  
定員100名

取得可能  
資格

◎看護師国家試験受験資格  
◎養護教諭二種免許\*

◎保健師国家試験受験資格（選択制定員10名）  
◎第一種衛生管理者免許\*

\*保健師国家試験合格後申請



## まだまだ少ない小児歯科専門医



成長発達歯学講座  
成育小児歯科学分野

教授 尾崎 正雄（3期）

福岡歯科大学成育小児歯科学分野は、1973年に故吉田穰教授のもとで西日本地区において初めての小児歯科教室として開講し、今年で43周年を迎えました。当時の医局員は3名、研究補助員1名でのスタートでした。1974年3月には待望の小児歯科診療室が完成し、現在の診療体系が確立されました。当時の日本は、むし歯の洪水状態で当科に来院された

患者さんには、数か月の診療待ちをして頂くほどの状態だったそうです。初代小児歯科教授である故吉田教授と2代目の本川渉教授の下で38年間の歳月を掛けて小児歯科診療室が作られてきました。その間に、小児の齲蝕は減少し、また、バブルがはじけて経済が縮小すると共に少子高齢化を迎えました。この時期に小児歯科教室の後継者として選ばれた私がすべきことは、教室として新たな診療体系と研究体系に移行することを念頭に置いて、働いております。

現在の医局員は、教授6年目の私尾崎、岡暁子准教授、馬場篤子講師（病院准教授）、助教3名、医員4名、大学院生6名、専攻生が4名そして研修医2名、臨床教授の久芳陽一先生、橋本敏昭先生、石井香先生、また、教室を支える同門会員は151名となりぎやかな教室になってきました。本教室は、スタートの頃からの伝統で、上下関係に関わりなく仲良く診療と研究を行っています。現在の医局は、



現在の小児歯科メンバー

## 学園紹介

若手医局員と学生への指導を兼ねて、毎週2回、朝8時からの早朝カンファレンスと週一回夕方に行われる症例検討会を行い、臨床面での幅と質の向上を図っています。また、週一回の抄読会や年6回日曜日に行われる小児口腔医療研究会により歯科知識と研究のためのスキルアップを行っています。

本分野は海外との交流が深く、韓国全北大学歯科大学校との姉妹関係が20年以上続いており、2年毎に開催されている合同研究発表会も11回開催されています。

小児歯科は、縦割りの科から年齢を軸とした横割りの医療、すなわち各人の包括的医療を目指し、今でいうヘルスプロモーティング (Well-being) を目的として生まれました。日本小児歯科学会が設立されたのが1963年で、小児歯科が社会的に認知され、多数の小児歯科専門を掲げる先生が開業しました。その間、良質で責任ある医療を小児へ提供する目的で、標榜医が出来、医療の質への不安から、認定医制度、さらに専門医制度へと発展をとげています。本学小児歯科出身の小児歯科専門医は34名、内専門医指導医は8名に上ります。しかしながら、小児歯科専門医の数は、年少人口が全国民の13%に対して歯科医師の約1%に過ぎず、小児歯科医療において

は十分な数であるとは言えません。地方では良質な小児歯科治療を受けられない小児も多くみられます。小児人口と比べて小児歯科専門医が不足しているのは明らかです。現在、当科に送られてくる紹介患者は、以前とは大分異なっており、不正咬合や過剰歯や埋伏歯の摘出を中心とした手術目的に紹介で来院される患者様が増加しています。特に上顎正中埋伏過剰の症例では、本学に歯科用 cone-beam CT が導入されてからは、安全に早期摘出が可能となりましたので、低年齢児の紹介患者が急増しています。治療に際しては、成長期にある小児の口腔における機能的および形態的特徴を理解した上で、その異常を形態的、機能的にいち早く発見し、治療していくことが咬合育成にとって重要であり、小児歯科医の務めであると考えています。

私達は、8020運動の出発点が小児歯科であることを年頭に、日本の将来を支える子供たちの健康を守るためにも、小児歯科の必要性を学生や研修医に教育し、優れた小児歯科専門医を育てたいと考えています。これからもスタッフ一同、福岡歯科大学の小児歯科が日本国内で高く評価されるような仕事をしたいと思っておりますので、応援をお願いします。



小児歯科の診療風景

## 本部会務報告

### 平成27年度福岡歯科大学同窓会 評議員会・総会並びに特別講演会

平成28年6月11日（土）ホテル福岡ガーデンパレスに於いて第3回福岡歯科大学同窓会地区会長会議が開催された。各地区会会長より地区会の現況報告がなされ、その他同窓会本部への要望や本部からの伝達事項を検討し地区会長会議を終了した。

その後、平成27年度福岡歯科大学同窓会評議員会・総会が開催された。評議員会では議長選出により議長は、福岡県西地区の粉泰生評議員、副議長に福岡県東地区の赤川大五郎評議員が選出され、物故会員に対する黙祷が厳かに捧げられた。続いて宮口会長の挨拶から報告事項、議事へと進行された。本年度の議事は7議案が原案通り可決承認された。評議員会終了後、休憩を挟み総会が開催され、議長に学内同窓会の都築尊先生、副議長に熊本県地区の椿



賢先生が選出され、評議員会報告等が行われ滞り無く総会が終了した。

総会終了後、特別講演として学校法人福岡学園理事長水田祥代先生による『学校法人福岡学園の現状とこれから』と題しご

講演いただいた。熊本地震に関する学園対応の報告、また、学園現況として、学生教育、国試対策、人材育成、経営などについて、今後の取り組みと展望についてお話された。最後に「同窓生・教職員が誇れる大学、学生が入りたい大学」を目指していくことです。と話され講演を締めくくられた。

その後、懇親会に移り福岡学園理事長水田祥代先生、福岡歯科大学学長石川博之先生にご祝辞を頂き、高橋裕先生による乾杯の御発声をもって開宴となり、比嘉奈津美先生より国政報告がなされ、和やかな雰囲気の中、同窓生の懇親が深められ、皆で校歌斉唱を声高らかに歌い全日程を終了した。

（専務理事 持山達郎）



## 第63回全国歯科大学同窓・ 校友会懇話会

平成28年7月2日（土）に鹿児島市城山観光ホテルにて、第63回全国歯科大学同窓・校友会懇話会（当番校：鹿児島大学歯学部同窓会、村上慎一郎会長）が開催され、本会より宮口巖会長、高嶺明彦副会長、持山達郎専務理事、鹿児島県同窓会会長要光が参加した。

当番校の鹿児島大学歯学部同窓会村上慎一郎会長の挨拶から始まり、来賓の日本歯科医師会堀憲郎会長、鹿児島県歯科医師会森原久樹会長、鹿児島大学歯学部長宮脇正一先生の挨拶があった。

講演では、鹿児島県出身の筑波大学教授 前野哲博先生が、「地域医療における人材育成と展開」講演を行い、地域医療を支える総合診療専門医の養成を唱えられた。次に福岡歯科大学客員教授病院長補佐樋口勝規先生が、「健康長寿社会に貢献する歯科医療人の育成」と題し講演を行い、超高齢社会における歯科の需要について、歯学臨床歯学教育の改革、多職種連携・地域医療に向けた大学病院の取り組み、今後の歯科医療について、認定総合歯科医なる制度を創設し専門医との2段階制にして地域医療連携をもたせ、すべてのライフステージに対応できる歯科医療制度が必要だと提唱された。

その後、今回のテーマについてディスカッションが行われ、鹿児島大学中山座長、東京医科歯科大学



浅野先生、岡山大学高橋先生から医歯学教育についての現状、医療連携の問題点などについてのご質問、その質問を含め前野先生および樋口先生との活発な討議となった。

ディスカッション後は休憩をはさみ、各大学からの報告の後、次々期当番校が徳島大学歯学部同窓会となることが決定、次期当番校である岡山大学同窓会会長千原敏裕先生より2017年10月21日 ANA クラウンプラザホテル岡山にて開催予定であることが報告された。

講演協議終了後、休憩をはさみホテルの庭園から桜島をバックに集合写真の撮影を行い懇親会へと進んだ。懇親会では、鹿児島大学歯学部長宮脇正一先生と私、要が、コラボしてマジック・ショーを行ったが、微妙な空気になったことは今でも申し訳なく思っている。が、懇親会は、母校愛を改めて確認する有意義な会であったことは言うまでもない。

（鹿児島県同窓会会長 要 光）



## 平成27年度九州5大学 歯学部同窓会連絡協議会

平成28年3月12日（土）の16時より、小倉ステーションホテルにおいて、平成27年度九州5大学歯部同窓会協議会が行われた。福岡歯科大学同窓会からは、宮口会長、岩本副会長、神田副会長、持山専務理事、小柳常務理事、鬼塚理事の6名が参加した。

協議題と各大学同窓会の回答は以下の通りであった。

### 1. 未入会対策について

#### (1) 入会者を増やすためにどのようなことをされていますか？

##### ○長崎大学同窓会（以下長大）：

各地域支部活動の強化とともに、各支部との連携を図る。

各卒期で節目の周年事業を援助など、縦と横でアピールしている。

##### ○鹿児島大学同窓会（以下鹿大）：

鹿児島大学歯学部同窓会では卒業と同時に全員同窓会員となる。

同窓会費（年間5,000円）を連続して5年間滞納すると、会員資格停止となり、会報誌の送付が停止、卒後研修委員会主催の研修会への参加費が会員外扱いとなる。

会員資格停止者を減らすための取り組みとして、2年ほど前に住所把握している資格停止者に会費納入お願いを送付して会費入金をお願いした。また、今年度名簿作成を外部委託業者をお願いし、会員の住所把握に力を入れている。

##### ○九州大学同窓会（以下九大）：

九大では卒業と同時に全員が同窓会会員となるため、「未入会」ということはない。「会費未納者」ということでお答えする。

- ・辛抱強く呼びかけをする：学生時代から同窓会との繋がりをもたせる（次項）
- 5年目同窓会の開催。未納額の通知と納入のお願い（3年以上の未納で会員資格停止）。
- ・会員特典の充実：講演会等の参加費の減額。派遣医システム。

##### ○福岡歯科大学同窓会（以下福歯）：

入会のしおり等を作成して、文書にて案内している。各県同窓会に依頼し同窓生の移動と勧誘を行っている。また、会費の各県同窓会一括納入を推進し、各県同窓会が同窓生を誘いやすくしている。

##### ○九州歯科大学同窓会（以下九歯）：

- ・同窓会本部に入会促進委員会を設置。各都道府県支部においても入会促進委員を設置し、会員異動について本部との情報交換を行う。
- ・大学祭に同窓会として出店。
- ・メールマガジン「九歯マガジン」配信。各都道府県、クラブ、同期生、大学の活動をモニターから投稿してもらい、登録者に配信している。
- ・研修歯科医に対して同窓会説明会及びスキルアップセミナーの開催。
- ・入会促進モデル地区（今回は山口県）を選定し、各都道府県支部における入会促進のひな形を作成する。
- ・同窓会紹介のリーフレットの作成。

#### (2) 学生を入会させるためにどのような取り組みをされていますか？どのタイミングで入会勧誘されていますか？

##### ○長大：

現在のところ、学生会員制度は無い。卒業時に自動的に入会となり、4年分の年会費を前納頂いている。実は、5年目からが会費納入について問題となっている。

##### ○鹿大：

学生は、入学時に同窓会準会員としての入会金を2万円入金してもらうよう会則・振込用紙等を合格通知と同封してもらっている。



○九大：

学生会員として6年間2万円の会費としている。

- ・入学時に入学手続き書類と一緒に学生会員の入会パンフレットの送付
- ・入学式当日に会長が新入生対象に同窓会の案内と会員証の配布
- ・学年代表（各学年2名）との懇談会で同窓会活動を説明し未納者に案内（年1回10月）。

○福歯：

入学式の日、大学の説明後父兄に対して30分程度入会案内を役員で行っており、8割が入会していた。

○九歯：

- ・準会員として学生会員を設定。
- ・Welcoming KDU の開催。入学式後に新入生の父兄、新入生との交流会を実施。
- ・学生交流会の開催。
- ・国試慰労会を国試翌日に開催。学生時代入会のメリットの説明および研修先の情報収集に努める。
- ・学生自治会への支援（年間100万円、ほかに体育祭の支援10万円）
- ・本部役員に学生理事を登用

(3) 女性会員を増やすために何か対策をとられていますか？

女性歯科医師にとって同窓会の魅力とは何でしょうか？

○長大：

女性会員向けのセミナーを10年ほど前から行っている。

担当の女性理事がセミナー、懇親会を企画している。

○鹿大：

現在女性会員への企画を検討中であるが、具体的には進展していないのが現状である。せめて今年度から同窓会理事に女性を登用しようとしたが実現しなかった。

○九大：

4年前から女歯会として、女性歯科医師限定の食事会を開催（年1回、11月）。

○福歯：

特に行っていない。検討中。

○九歯：

- ・本部役員に女性副会長を登用。
- ・女性歯科医師・歯科学学生の交流会（リーフの会）を開催。
- ・女性会員向けにリーフの会だよりを発刊
- ・次年度の新規事業予定として
  - ①復職支援ネットワークの創設
  - ②託児付き研修会の実施
  - ③マタニティ白衣の貸し出し

(4) 卒後研修が終わった後の会員の連絡先確保

○長大：

各卒期のメーリングリストで把握可能だと思うが、本部同窓会は現住所のみ名簿業者と共に検索している。

○鹿大：

卒後研修後の住所については学年評議員にお願いして住所把握に努めているがなかなかうまくいっていないのが現状である。

○九大：

現在のところ個人的な情報に頼るのみである。今後、支部との情報交換を密に行うよう計画している。

○福歯：

卒業者が決まった時点で、移動届を学務課の協力のもと全員に配布し回収している。各県同窓会に協力していただき把握するよう努力している。

○九歯：

- ・入会促進委員会でアンケートを実施。専任理事と委員長が学生・研修歯科医と交流を深め、ラ



インを通じてアンケートを実施している。

- ・国試慰労会・研修歯科医に対する説明会で、住所の変更時には異動届の提出をお願いしている。

## 2. 全国歯科大学同窓・校友会懇話会（全歯懇）について

### ○長大：

全歯懇では、決議などのシステムがないため、会として発信や提言をすることができない。従って、親睦会という範疇を抜けきれないと思っている。

大がかりなテーマを元に何らかの形を残そうとする愚行は避けて、純粋に親睦を深める方が得策だと考えている。

### ○鹿大：

本同窓会は歴史も浅くまだまだ組織としても不十分で、全歯懇に参加し全国の同窓会活動の状況や日本歯科医師会の情報を得られることは今後の活動に大変参考になる。色々な先生方にお会いすることが明日への活力となっているような気がする。

### ○九大：

全国の大学同窓の懇親・情報交換の場としての存在意義はあると思う。

### ○福歯：

歴史と伝統のある会なので、意味づけしていくのは大変であると思う。

### ○九歯：

29校もある歯科大学同窓会が一堂に会する、ということは素晴らしいことだと思う。しかしそれを意義ある大会にするためには主幹校の並々ならぬ英知努力が必要になると思う。あの広い会場で勇気を振り絞って挙手をして、活発な意見交換はできるのか？各校の代表者は自院を1～2日休診にして参加するため、単なる懇親だけではもったいないと思う。

九歯大としては隔年に1回、あるいは4年に1回の開催を提案したい。

（常務理事 小柳進祐）

## 第69回九州歯科医学大会

平成28年10月22日（土）午後2時より、福岡国際会議場メインホールにおいて、「美味しく食べて、おしゃべり上手は健康長寿」と題して、第69回九州歯科医学大会が開催されました。

第68回九州歯科医学大会副会長による開式の辞ののち、九州地区連合歯科医師会長谷宏一会長が、「熊本地震の被災者に対してお見舞いを申し上げる。九地連では、災害時総合救援マニュアルに則り、速やかに歯科医療従事者の派遣を行ったが、今後も出てきた課題を検討する必要がある。また、今後、超高齢社会に進むにつれ、地域包括支援での歯科の役割は重要度を増し、時代に即した歯科医療を提供するために、今回のテーマは大いに役立つ物と考えている」と式辞を述べられました。その後、本日の公演者紹介があり、公演が始まりました。

最初に、大久保満男元日本歯科医師会会長が、「高齢者歯科医療からみえてきたこと—健康寿命の延伸を求めて—」と題して講演されました。

### 【講演1】

我が国の高齢化は、世界のどの国も経験したことのない速度で進行している。

ご存知の8020運動は、平成元年に起こり、当時平均寿命がまだ80歳になっていない時代に作られた。これは世界でも注目された活動だった。高齢者にとって、なんでも食べられることは大きな誇りであり、最期まで自分の歯で食べられることでより良い人生を送る手助けをするのが、我々歯科医師の使命である。歯を多く残すことは手段でありそこから得られる結果が大切である。

急速に進む超高齢化に対して、社会が対応する時間がなく、75歳になるまでに亡くなる方が少ない現状では、かなりの方が要介護になることを意味する。以前のような家族で介護することは、もはや不可能で社会全体で、システムとして高齢者を支えなければ成り立たない社会になりつつある。

また、認知症の問題もある。認知症は加齢と共に確実に増える病気であり、要支援、要介護に期間が、今後長くなることを意味する。その期間を出来



るだけ短くすることが大切で、誕生から死までの時間を精一杯生きるために、歯科医療になにができるかを考えていきたい。

このような状況下で、日本歯科医師会が歯科医療の意義を宣言した。

1つ目は、歯科保険と歯科医療を通じて、健康寿命を延ばすこと。つまり8020運動の達成である。

2つ目は、もし健康寿命が尽きて要介護の状態になっても、歯科医療の提供により、自分の口から食べ、その人の生活の質を支えること。

3つ目は、人生の終わりを迎える終末期にも、歯科医療を提供することにより、最後まで口から食べて、昨日食べたものが美味しかったと言って亡くなる状況を支えること。

超高齢社会で「食べる」という当たり前のことが生きる気力に繋がり、認知症を遅らせることに繋がる事を理解し、我々もそれに貢献しなければならない。

次に、辻哲夫東京大学高齢社会総合研究機構特任教授が「地域でのフレイル克服の実践・プロジェクトで見た事」と題して講演されました。

## 【講演2】

2030年には、75歳以上の方が人口の5分の1を占め、人類未知の世界へ突入する。その中で、あらゆる分野で物の考え方とシステムの変換が求められる。大部分の人が大なり小なり人の世話になるような虚弱な期間を経て死に至る人生を迎えるようになっているので、医療の目標は、できる限り後期高

齢期の生活の自立を維持することが基本となる。

また、要介護になることが当たり前の時代では、この時期のQOLを確保することも重要になる。この課題の解決の為に予防及びケアの両面へのウイングの展開が求められ、生活習慣病予防及び現在の介護予防を更に発展させた概念であるフレイル（虚弱）予防の強化、在宅医療を含む多職種連携による在宅ケアの推進を目指している。

その中でも歯科口腔機能の維持が重要で、歯の保全に加えて摂食嚥下機能や口腔内の清潔を維持する口腔ケアに歯科界の活躍が求められる。

柏プロジェクトでは、虚弱化の過程の中で、早期の口腔内の虚弱化予防が重要との事で、そのフォローに歯科は重要な役割を担う。食べることは生きる喜びであり高齢期にあっても自立を維持し、最後まで食べ続けることができるようにするため、生活を支える医療の橋頭堡として歯科の役割は重要である。

次に、ジャズシンガーの綾戸智恵さんが「母の介護を通して」と題して講演されました。

## 【講演3】

母は、自分に何度も「死ぬのに産んでごめん」と言われ、意味が分からなかったが、今では理解できる。介護は、自分でできることと人の力を借りなければできないことがあり、本人にも生きる楽しみがなければ回復は難しい。生きる小さな意味を見つけることが大切である。

講演後、3者による鼎談がなされ、痴呆症の人にいかに関心の目標を与えるかが大切、高齢者に出来るだけ自分でできることを減らさない介護が必要、などの話がありました。

その後、感謝状授与式を経て、閉会となりました。

（常務理事 小柳進祐）

## 学術事業報告

### ●第33回臨床セミナー・第29回学術講演会・ 2016年度臨床スキルアップセミナー

平素より福岡歯科大学同窓会活動にご協力ご理解を賜り誠に有難うございます。

平成28年2月14日、福岡歯科大学口腔医療センター研修室にて、第33回臨床セミナー、ホワイトニング最前線！「ホームとオフィスホワイトニングの未来像—色調改善から審美修復の実践と勘所を学ぶ—」と題して、福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯分野臨床教授の松永興昌先生を講師に、次世代のホワイトニングシステムについてセミナーを開催いたしました。



第33回臨床セミナー

また、今年度の学術講演会は、平成28年3月6日、福岡県歯科医師会館大ホールにて「天然歯保存の可能性を探る—補綴の立場から—」をメインテーマに開催いたしました。今回の講演会では日常臨床における天然歯の保存の可能性と限界にこだわり、福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野教授佐藤博信先生に「天然歯の咬合可能性を探る」と題しての基調講演を、そして山口県下関市開業の福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野臨床准教授大村祐進先生に「機能性・審美性・長期安定性を考慮した咬合再構成」、愛知県名古屋市で補綴臨床総合研究所開設の中村健太郎先生に「なぜ、人は咬合が不可欠なのか？」と題して、それぞれの立場からご講演頂きました。器材展示業者を合わせ150名の参加となり、質疑応答も定刻を過ぎても行われ、盛会に終わり大変有意義な講演会となりました。



第29回学術講演会

2013年度より、日常臨床で重要なテーマについて福岡歯科大学講座、同窓開業医、他大学開業医の先生から最新の情報を提供していただき、皆様の臨床に役立つ内容の「臨床スキルアップセミナー」を新しく企画し3年になりました。

2016年度臨床スキルアップセミナー、第1回は、平成28年6月23日（木）「エンドアラカルト」をテーマに開催いたしました。講師陣は、吉松歯科医院、森川秀則先生「歯内療法を成功に導くために—細菌学的考察を踏まえて—」、酒井歯科医院、酒井和正先生「改善を導く為の歯内療法—根尖の拡大方法の違いについて—」、はやま歯科医院、葉山揚介先生「エンドマテリアルを活用した歯内療法」平井歯科クリニック、平井友成先生「移植・再植の歯内療法」基本的事項からアドバンスまで講演して頂き解りやすく大変好評でした。

第2回は、平成28年8月25日（木）「CAD、CAM」をテーマに福岡歯科大学咬合修復学講座冠橋義歯学分野、篠崎陽介先生「CAD/CAMシステムの臨床への応用」について日本最先端機器での臨



2016年度臨床スキルアップセンター1回



2016年度臨床スキルアップセミナー2回

床応用を講演頂きました。歯科のじみよ子クリニック、野地美代子先生「CAD/CAM 時代に知っておきたいシステムの基礎と形成・接着のポイント」について開業医の立場から講演頂きデジタルデンティストリーの現状と展望を拝聴いたしました。

第3回は、平成28年10月27日（木）「低侵襲の歯科治療」をテーマに坂田歯科医院、坂田憲彦先生「保存修復治療編歯随保存への挑戦—Make Teeth Alive—」雑賀歯科医院、雑賀伸一先生「歯周治療編、歯周治療における低侵襲の必要性—その適応症と現実—」むらかわ歯科クリニック村川達也先生、「インプラント治療編、手技的側面からみる低侵襲インプラント治療を考える」を講演して頂き低侵襲歯科治療についてどう向き合うか適応症と問題点を考察した素晴らしい内容でした。

来年、2017年度の臨床スキルアップセミナーは、6月22日（木）、8月24日（木）、10月26日（木）第4木曜日の19：30～21：45、会場を福岡県歯科医師会館5F視聴覚室にて予定いたしております。今後も「臨床スキルアップセミナー」を通じて皆様にさ



臨床スキルアップセミナー3回

らなる充実した臨床セミナーを企画して参りますので、より多くのご参加をお願い申し上げます。

学術委員会活動を通じて時代の変遷に適応し進化をしながら、母校と共に同窓会も成熟し、皆様にさらなる充実した魅力ある同窓会づくりに学術委員一同貢献出来たら幸いです。同窓各位のご協力を宜しくお願い申し上げます。

（常務理事 葛西秀夫）

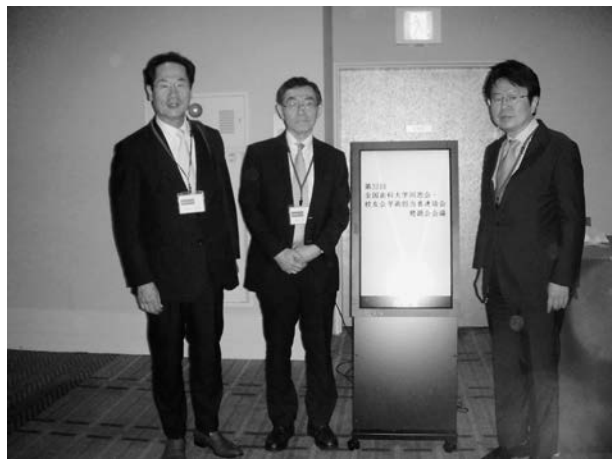
## ●第32回全国歯科大学同窓会・ 校友会学術担当者連絡会

平成28年8月20日（土）午後、新潟大学歯学部同窓会の主管による第32回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会がホテルラングウッド新潟にて開催された。参加校数は27校70名で、本会から岩本副会長、葛西、杓常務理事の3名が出席した。

まず報告事項として、①連絡網の確認およびHP関連について、②第31回学術連絡会および収支報告がなされた。

議題として、①学術連絡会の会計報告および監査報告とその承認について、②次期第33回学術連絡会の開催について九州歯科大学・九州大学・福岡歯科大学の3校が主管し、福岡市での開催の日程、場所等の提案が審議された。③次々期第34回主管校は日本歯科大学、第35回主管校には日本大学が決定した。

協議題として、無料招待制度のアンケートについて報告され、その制度のルールが承認された。また研修会報告書の一覧表書式について報告があった。



その他の報告で、本会の岩本副会長が本年10月福岡で開催される第23回日本歯科医学会総会参加への呼びかけを行った。

協議テーマとして、「同窓会学術イベントを成功させるために何が必要か」について新潟大学歯学部同窓会学術部部長の奥田一博先生の進行で、同大学同窓会の企画した事例を提示し、そこから導きだされるキーワードを抽出し、学術イベント成功のための要因を皆で討議した。

最後に「同窓会学術活動に期待すること」をテーマに日本歯科医学会会長の住友雅人先生の講演が行われた。10月の福岡開催の日本歯科医学会総会に、各大学同窓会の学術担当者も是非出席し、どのような事が話題になっているかを感じ取り、それを各大学同窓会の学術活動に生かしてはどうかと提案された。

その後、懇親会が行われ、各校同窓会の親睦が深められ、例年にない半日という短時間のタイムスケジュールの中、有意義な連絡会となった。

(学術常務理事 粉 浩一)

## ●第6回 ICOI Fellowship 養成コース

福岡歯科大学同窓会特別支援事業として ICOI Fellowship 養成コースを行っており、6 回目のコースを平成27年9月から平成28年2月まで5回に渡って福岡歯科大学の講義室と福岡歯科大学口腔医療センターで行った。

ICOI は1972年に設立された世界最大規模の国際的な口腔インプラント学会で、ICOI Fellowship はインプラント専修医に相当する国際的な資格である。

本コースは申請に必要な生涯研修 (CE) クレジット75時間のうち60時間を一度に取得でき、講師陣は福岡歯科大学咬合修復学講座口腔インプラント学分野の城戸寛史教授をはじめ福岡歯科大学内外のスペシャリストを講師に依頼し、インプラントに必要な解剖、内科学、画像診断等の基礎的な内容から、上顎洞底挙上手術についてやコンピューターシミュレーションのハンズオン、軟組織のマネジメントのハンズオンコースとアドバンスなトレーニング



グまで含んでいる。今回はラテラルアプローチによるサイナスリフトのライブ OP も行われた。

また Fellowship の受験のために必要な提出資料の作成やプレゼンテーションの作り方、試験の準備を手伝い、今まで多くの受講者が、Fellowship を取得されている。

(常務理事 粉 浩一)

## 福祉厚生からのお知らせ

平素より同窓会の活動に関しましてご理解とご協力を賜りましてありがとうございます。さて、平成28年4月14日、16日未明、平成28年熊本地震が発生して半年が過ぎました。まだまだ余震が続く不安な状況の中で大変ご苦勞をされていると思います。被災された同窓生の皆様、またご家族の皆様に心よりお見舞いを申し上げますと共に1日も早い関係各位の復旧、日常生活が震災前と変わりなく過ごせるようにと心から祈念申し上げます。

ここ近年各地で起こっている異常気象による自然災害、(局所的豪雨、竜巻) 台風等による自然災害、河川の氾濫、家屋浸水等 マスコミ、報道でよく目

にします。同窓会としましては、会員相互扶助の精神に基づき、福祉厚生をはかることを目的とし福祉共済規則を設けています。規則に則り給付金の支給を行っていますので今一度ご確認をお願いします。最後に同窓生の皆様の健康をお祈りいたします。

(常務理事 水谷匡秀)

## ご逝去のお知らせ

薦田 茂先生（４期、愛媛県）平成27年９月４日  
伊地知浩之先生（５期、兵庫県）平成27年９月17日  
檜崎 康治先生（２期、福岡県）平成28年２月20日

古田 修一先生（16期、福岡県）平成28年２月20日  
長田 辰彦先生（３期、鹿児島県）平成28年３月22日  
吉田 泰文先生（１期、佐賀県）平成28年６月６日  
池田 浩先生（４期、福岡県）平成28年８月６日  
田中 稔也先生（12期、福岡県）平成28年８月25日  
坂井 弘樹先生（12期、福岡県）平成28年10月４日  
吉川 和徳先生（18期、福岡県）平成28年10月21日  
山本 智之先生（５期、広島県）平成28年10月25日  
林 昇文先生（５期、宮崎県）平成28年11月15日  
多賀 一仁先生（１期、大阪府）平成28年12月６日  
川平 謙吾先生（10期、鹿児島県）平成28年12月11日

## 平成28年熊本地震支援（義援金）について

ご周知のとおり平成28年４月14、16日に熊本地方を震源とする最大震度７の地震が発生しました。家屋の倒壊・土砂災害など大きな傷跡を残しました。被災された同窓生に対し心よりお見舞い申し上げます。

さて、本部同窓会では地震直後に熊本県歯科医師会へ100万円の義援金を送らせていただきました。また、熊本地震で被災した同窓生に対し、全国の都道府県同窓会へ義援金支援の協力要請のお願いをいたしました。お陰様で310万円の義援金を募ることができました。集めた義援金は、10月22日（土）西鉄グランドホテルで開催された「第69回九州歯科医学大会福岡歯科大学同窓会懇親会」において大阿蘇会会長（熊本県同窓会）の川寄俊明先生（１期）へお渡しすることができました。寄せられた義援金は大阿蘇会を介し被災された同窓生へ配布されます。協力支援いただいた全国同窓会会員の皆様に心より御礼申し上げます。

今年は特に全国で様々な自然災害・事故等が相次いで発生しております。同窓の皆様におかれましては十分に留意して行動して頂きたいと思えます。同窓会では各地で発生した際の皆様の安否の情報を収集しておりますので、ご一報下さいますようお願いいたします。

義援金協力いただきました各地区同窓会の詳細は下記のとおりです。

福岡歯科大学同窓会会長 宮口 厳

|          |         |
|----------|---------|
| 学内同窓会    | 岡山県同窓会  |
| 福岡県地区同窓会 | 四国地区同窓会 |
| 佐賀県同窓会   | 大阪府同窓会  |
| 長崎県同窓会   | 京都府同窓会  |
| 大分県同窓会   | 兵庫県同窓会  |
| 宮崎県同窓会   | 和歌山県同窓会 |
| 鹿児島県同窓会  | 滋賀県同窓会  |
| 沖縄県同窓会   | 奈良県同窓会  |
| 山口県同窓会   | 中国地区同窓会 |
| 広島県同窓会   | 関東地区同窓会 |
| 島根県同窓会   | 本部同窓会他  |

(順不同)



九州歯科医学大会福岡歯科大学同窓会懇親会  
平成28年10月22日 西鉄グランドホテル

# 学校法人福岡学園 開学記念式典記念講演 ～福岡歯科大学の創造、成長、充実そして未来へ～



出席者全員による校歌斉唱

学校法人福岡学園開学記念式典が平成28年7月27日に厳かに執り行われました。福岡歯科大学は昭和47年7月27日に文部大臣から設置認可を受け、昭和48年4月に開学し今年で43年目を迎えました。以前は、創立記念日として9月27日が便宜的に休校になっていましたが、今年、水田祥代理事長の提案で、初めて記念式典が開催されました。名誉教授称号授与、永年勤続者表彰（職員）、最優秀教育改善賞表彰（教職員）、特待生表彰（本学生）、特別奨学生表彰（短大生）が行われました。加えて、「福岡

歯科大学の創造、成長、充実 そして未来へ」のテーマで、記念講演が開催されました。演者には、「創造期」について武井俊哉本部同窓会副会長（2期）、「成長期」を泉 喜和子本部同窓会理事、口腔・顎顔面外科学講座講師（22期）、「充実期」を村上 弘口腔治療学講座助教（31期）が学園から指名を頂き、講演することになりました。

本学の歴史を踏まえた懐かしく心温まる講演で、最後には出席者全員で校歌を斉唱し、母校愛深まる会となりました。出席者は248名でした。



## ～創造期～

福岡歯科大学同窓会  
副会長 武井 俊哉  
(2期)

### ◆74088

本学に入学して、42年の月日が流れました。「74088」は、私の学籍番号で、「74」は1974年（昭和49年）入学ということで、2期生として100名入学しました。最近では、女子学生が3～4割と多い様ですが、この頃は、1割程でした。「73…」の1期



生は、271名の過剰な入学者数などで社会問題化しまして、しばらく、マスコミをにぎわせました。ちなみに「72」の昭和47年7月27日が本学の大学設置認可の年となります。

入学した頃は、オイルショック、「トイレトペーパーがスーパーにない」など、世の中は不景気

な時代でした。歯科医師が少ないという時代の要請を受け、新設私立歯科大学・歯学部が次々と設立された頃でした。学生時代は、野球部に所属していました。九州歯科大学、九州大学歯学部には、なかなか勝てませんでしたが、大学4年の時のオールデンタルで優勝できたのが思い出となっています。

1期生が入学した1973年の航空写真です（図1）。この頃は、病院棟と教養棟しかありませんで、大学周囲は、殆ど田んぼでした。この教養棟が、現在の福岡医療短期大学です。柔・剣道場は名ばかりで、プレハブ小屋でした。9階建ての本館もありませんでした。野球のグラウンドは整備されておらず、石拾いの時間もありました。懐かしい写真です。

#### ◆解剖（口腔解剖学第Ⅱ講座）に残る

卒業して、口腔外科に進もうと思いましたが、その前に頭頸部の局所解剖をしようと、単純な思いで解剖に残りました。生々しい骨を提示して、恐縮ですが、安心して下さい。これは、教材用の精巧にできた模型です（図2）。実は、私と同期の斉藤武史先生が理事長をしている九州歯科技工専門学校で、13年程、口腔解剖を教えています、その教材模型です。教室のネームプレートは36年前、解剖に入門した時のものです。



図2

#### ◆本学を授業料ゼロで卒業した人物

当時の教室の集合写真です（図3）。この頃、教室は本館8階の今の第3会議室の所がありました。前列中央が、恩師の大森忠雄教授です。教授の寛大さで、私は基礎の教室に10年も残れたのだと思います。教授の右隣が、藤 英俊助教授ですが、のちに、大森先生の後任で教授になられ、最後には母校の水産大学校理事長にまでなられました。後列左からのりやす2番目が濱田法康先生で、彼は本学に十数年奉職



図3

したのち、35歳の時、一念発起し本学に優秀な成績で入学しています。当時の三宅芳郎理事長の配慮で、2年生に編入、授業料は半分となり、しかも卒業するまで特待生でさらに授業料半分となり、結局授業料ゼロで卒業しています。そんな卒業生は彼だけです。濱田先生は、宮崎県立延岡高校の1年先輩でもあります。

1981年秋の解剖実習の頃です（図4）。当時の解剖実習室は、現在の医療短期大学の1階奥の所がありました。私が、若干26歳、まわりの学生諸君は7期生で、彼らもう50代なかばになっています。卒業生のだれもが、解剖実習室、仏間などは思い出のひとつになっている様です。



図4

#### ◆10年間の台湾原住民の形質人類学的調査

解剖学は、人類学の分野とも関わりがありますが、大森教授は人類学にも造詣が深く、1979年から1988年の10年間、毎年春に、台湾本島の山岳地帯に居住する原住民の形質人類学的調査を実施されました。私も卒業した年（1980年）から9年間、学術調査隊の一員として参加しました。図5は台湾北部山岳地帯に居住するタイヤル族の女性ですが、昔は顔に入墨をする風習があったようで「紋面」と申します。成人になった証、また部族の違いを表していた



図5  
ようです。1984年春、調査中のある中学校での集合写真です（図6）。調査隊員は、教室員、研究生などで構成されました。

9年も調査に参加しますと、多少、北京語も覚えめました（図7）。北京語で、「歯」は「牙<sup>キバ</sup>」で、「歯科医師」は「牙医<sup>キバイ</sup>」と表記し北京語で「ヤーイー」と発音しますが、たとえば「ヤースーゾーペンレンヤーイー」と申しますと、「私は、日本の歯科医師です」という意味になります。



#### ◆あかもん きば 赤門の牙物語

色々と解剖の仕事に携わるうちに、「歯の人類学」に興味をもち、調査で得た資料を使って研究をして

いました。しかし、研究に行き詰まりを感じていました。卒業5年目頃でした。何も見えぬまま、基礎での仕事をやめようと思い始めていました。

そんな矢先、1985年11月8日、福岡市で小学館主催の文化講演「日本人の起源」が開催されました。実は、この演者の方が、私の悩める研究生活を再び燃えさせたのです。講演終了後の控室に無謀にも訪ね、突然の面会の趣旨を話しますと、「近いうちに連絡して下さい」と名刺を頂きました。この方は、当時、東京大学理学部人類学教室教授の埴原和郎<sup>はにはらかずろう</sup>先生でした。専門は、形質人類学で、古い人骨から「日本人の起源」を研究されていました。また、歯の形態からも人類諸集団の系統分化を研究されていました。埴原先生が東大大学院時代、我々の教科書だった「歯の解剖学」の著者である東京大学医学部解剖学第二講座の藤田恒太郎<sup>つねたろう</sup>教授に師事されています。

そんなわけで、1985年11月21日朝、東京大学の赤門の前に立っていました（図8）。この年から5年程、「歯の人類学」についてご指導頂きました。私にとっては、この時が、10年間の基礎解剖での仕事のターニングポイントとなりました。

図9は、平成元年5月、日本小児歯科学会総会を



表1 文部省科学研究費補助金採択課題（昭和63年度）人類学

|          |     |                                   |             |            |       |
|----------|-----|-----------------------------------|-------------|------------|-------|
| 63740473 | 481 | ヒト上科において分子進化速度は一定とみなすことができるか      | 東京大学理学部助手   | 植田信太郎      | 900   |
| 63740474 | 481 | ヒト大腿骨の形態に見られる力学的適応度の時代差           | 東京大学理学部助手   | 高橋 秀雄      | 900   |
| 63740475 | 481 | 台湾 Atayal 族の歯冠形態に関する研究            | 福岡歯科大学歯学部助手 | 武井 俊哉      | 800   |
| 63740476 | 481 | 霊長類の社会構造を支える行動学的因子の研究             | モンキーセ研究員    | 山極 寿一      | 900   |
| 63740477 | 481 | 吸気抵抗の付加による生体負担の増大<br>一年齢差、人種差について | 労働省産医総研研究員  | 安河内 朗      | 900   |
| 計 5 件    |     |                                   |             |            | 4,400 |
| 合 計      |     |                                   | 466 件       | 407,800 千円 |       |

九州大学（歯学部）が主催で開催された時の写真です。左から3人目の方が埴原先生で、特別講演の演者として来福されました。右から2人目が本学小児歯科学講座の本川<sup>わたる</sup>渉名誉教授です。この時の埴原先生の特別講演のテーマは「日本人の形成史－骨と歯を中心にして－」でした。

#### ◆東大、京大に本学はさまれる

1988年5月初旬、最後の台湾調査から帰国すると、文部省の科学研究費補助金の交付内定の通知書が、机の上に置いてありました。思わずニヤッとして、胸が高鳴ったのを覚えています。理学分野人類学の若手研究者への症例研究枠は5枠で、最近の歯科医師国家試験と同様になかなか難関でした。

「赤門の御利益」か、当たったのです。東京大学と本学の名前が並ぶのも不思議な感じで、また、この「モンキーセ」は、京都大学霊長類研究所の関連施設で「日本モンキーセンター」の略称のことです。東大と京大に本学がはさまれた感じは、私にとっては誠に有難いことだと思いました（表1）。

ここで、母校への思いを述べさせていただきますと、時代を越えて、目標・テーマは違っても、また、教育者・研究者・臨床家・学生であれ、福岡歯科大学という看板を背負ってこれまで皆さん頑張ってきたわけですから、現役の大学の先生方、学生の皆さん、是非、目標に向かって追いつくあるいは挟み込まれるようになってほしいものです。歯科医師国家試験合格率でたとえるならば、私立東京歯科大学が国公立大学を超えてここ何年もトップを維持しています。その様な気持ちで、本学も一丸となって頑張りたいと思います。

#### ◆おかげさまで、学位記乙第一号

平成元年、本学は、大学院の完成年度を迎えました。この春、大学院「課程博士」の「甲」が卒業し、春から「論文博士」の「乙」が受付を開始しました。私も、科研費の「台湾 Atayal 族の歯冠形態に関する研究」の同じテーマ・内容で論文投稿しました。有難いことに、平成元年7月31日に学位記を授与して頂きました。当時の大学新聞です（図10）。学長は、細菌学の萩原義郷先生でした。新聞の4人の中に、若かりし頃の、高橋 裕教授がおられます。

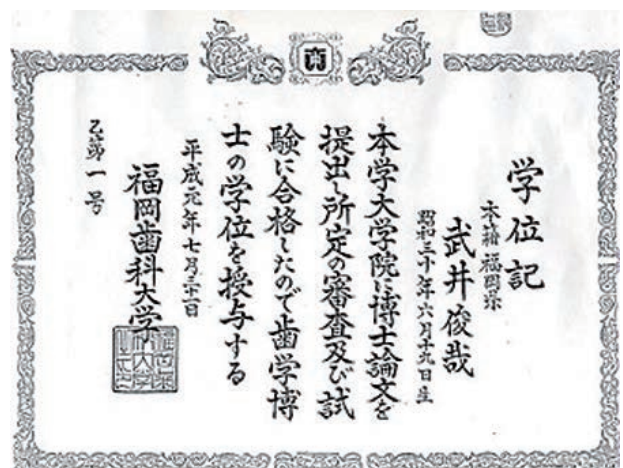


図11

お蔭様で、「乙第一号」を頂きました（図11）。実は、恩師の大森教授も久留米大学医学部大学院の「乙第一号」を授与されたということで、この偶然にも当時、大変驚きました。この学位論文は、平成2年7月、日本でも100年以上の歴史を有する「人類学雑誌」に掲載公表されました。「赤門の牙物語」はひとまず完結しました。卒業して10年目、35歳でした。

#### ◆10年で、解剖をやめる

その頃、九州歯科大学の前学長・理事長であった福田<sup>じんいち</sup>仁一先生が、当時、福岡大学医学部歯科口腔外科学講座の助教授でしたが、解剖の教室に時折来られていました。当時の解剖の藤 英俊助教授と九州歯科大学時代から懇意にされていて、病理組織のディスカッションなどでお見えになっていました。私は、一段落したせいもあり、また福田先生の登場もあり、久しく忘れていた口腔外科への思いが、再び募りはじめました。平成2年秋、悩んだあげく、結果、基礎での10年の仕事に区切りを付け、平成2年9月、福大医学部歯科口腔外科学講座の研究生として入局しました。

あれから、26年ほど経ちました。現在の武井歯科医院のスタッフです（図12）。



図12

最近思うのですが、私の周りでお世話になっている人達の共通点に気づきました。それは、水田祥代理事長、宮口 厳同窓会長、そして、昨年逝去されました故田中健蔵前理事長、いずれも長崎県出身です。実は家内も長崎県は、大村市の出身です。

今回の講演にあたり、スライド等、色々と綺麗にアレンジして頂きました同窓会の小柳進祐常務、また、予演会で適切なアドバイスを頂いた本学園香月俊博事務局次長、総務課和才広輝氏、馬場篤子同窓

会副会長そして家内にもこの場を借りて、お礼を申し上げます。

#### ◆レーザーポインターに込められた思い

さて、本日使用していますこのレーザーポインターですが、実は、先月（6月26日）、九州歯科大学の父兄後援会総会に呼ばれました。しばらく後援会の役員をしていたことで、感謝状を頂きましたが、これは、その時の記念品でレーザーポインター付ボールペンです。今日の記念講演を前にしてこの記念品をもらったことに思いをはせますと、本学を苦勞して創られた穂坂恒夫初代理事長を始めとする九州歯科大学同窓会の先人の先生方の思いが、時を越えて九州歯科大学父兄後援会を介して私に何かを託されたのではないかという、ご縁を感じました。

#### ◆両親に感謝



図13

愚息は、臨床研修医を終え、今、本学6期卒業の鹿児島<sup>の</sup>北園俊司先生（医療法人 きたぞの歯科矯正）のところでお世話になっています。これは、今年の5月、家内と鹿児島に挨拶に行った時のものです（図13）。息子が福岡に戻ってくるまで、もう少し頑張らねばと思っているところです。

最後に、私の両親は父89歳、母88歳で宮崎県は延岡市の老人ホームで元気にしています。月に1回は陣中見舞いに帰省しています。両親が私を本学に入学させてくれたことに、改めて感謝したいと思います。

#### 謝辞

学校法人福岡学園開学記念式典におきまして、このような話す機会を与えていただきました水田祥代本学園理事長ならびに宮口 厳本学同窓会長に、厚く御礼申し上げます。

## ～成長期～

## 福岡歯科大学と共に歩いた、私の21年間



福岡歯科大学  
口腔・顎顔面外科学講座  
口腔外科学分野

講 師 泉 喜和子 (22期)

私たち22期の卒業は、2000年3月、学園の成長期に相当し、“ミレニアム”と騒いだ年です。秀才や華やかな美人はおりませんでした。真面目で、穏やかな学年でした。卒業して16年となりますが、まだ5名の同期の桜が大学のスタッフとして日夜、研鑽を積んでおります。2年先輩となる20期生が国家試験合格率95%を達成し、初の私立歯科大学全国1位！となりました。私たちの合格率は81%、私立で2位。このとき国立平均87%、私立平均64%、全国で12位、私たちも満更ではありませんが、20期生の95%が如何に素晴らしいか、お分かりと思います。

さかのぼること1994年、入学試験は、現在の福岡医療短期大学で行われ、当時は教養棟と呼んでおりました。大学2年生までの教養課程、解剖実習も含めて、そちらで過ごしました。3年生に進級すると本館に通学します。当時、自宅は友泉亭近くでしたので、12番の西鉄バスに乗って、友泉亭から福大病院を経由して、野芥、田隈小学校、歯科大前で降りる通学路でした。今でこそ、外環状線が通り、その上を高速が走り、地下鉄がありますが、当時の交通機関は車もしくはバスしかなく、ずっと田舎道、車なら20分の距離ですが、50分程かかります。退屈な通学でしたが、今の季節ですと彼岸花の美しさに目を奪われ、季節を知ることができ、今の忙しさを思えば、贅沢な時間だったかもしれません。今はこの12番のバスは福大から片江方面に経路が変わり、福大病院から本学に向かうバスは無くなっているようです。

変化はバスだけではなく、講義のスタイルにも見られます。講義室に大きな黒板が4面ありますが、現在は学生に講義プリント配布するため、黒板に板書することが無くなりました。当時は講義する先生も私たち学生も、手と目と耳をフル回転させなければならず、寝る暇は無かった様に思いますが、それも遠い思い出に過ぎません。

4年生では臨床科目の講義と実習、5年生の登院実習では、男女共に上着はブルーのケーシー、男子は白ズボン、女子は紺色のズボンを着用しました。その3年前までの5年生女子はスカートが実習着でしたので、女子の社会的位置づけが変化し始めた時でした。また、大講座制となる前でしたので、各臨床科は2教室ありスタッフの先生が多く、じっくり実習できたと記憶しています。6年生の前期は登院実習から解放され、よく講義を抜け出しましたが、後期になると国家試験を意識し、合格に向かってがむしゃらに過去問題を解きました。

卒業式を迎え、どこに入局すべきか迷いました。なぜか、第二口腔外科の先生に引っ張られ大学院生となりました。まだ研修医制度がなかったため、即、大学院1年生です。大講座制になったばかりで、ラグビーを愛する強面の“ごっつい”先生の多い熱い？厚い？医局でした。入局当初は、カンファレンス室の机ふき、コーヒー作り、コーヒー出しから、食事やおやつの調達まで、雑用係のために入局したのかと腹立たしい思いをしましたが、先生方の好みを知り、世間話を聞き、社会人としての心構えを養われた時代でした。また入局して数年は、春に紅白まんじゅうが医局員全員に配られました。これは国家試験合格率1位になったことを意味し、国家試験合格率が高いというのが大学の特徴の一つとなりました。

入局当時の主任教授であった本田武司先生は、私が大学院を修了した2014年に学長となられ、医局を離れられましたが、当時助教授だった7期の下田恒久先生の下で顎関節の研究をさせて下さいました。



2002年 下田先生執刀手術の第1助手を務める



2013年 留学先のスタッフと学会会場で再会



2004年 病院新年会同期（麻醉科・野上講師）と琉球舞踊、三線を披露



2015年 次世代講師によって開催された顎変形症セミナーでの一場面

おそらく、下田先生との出会いがなければ、専門を顎変形症とする今の私は無かったでしょう。私は2005年よりオペレーターとして立ち、ノコギリを手にして、顎切りをしております。それまでの下田先生の顎変形症手術では、理由は分からぬとも黙って、ペースを落とさないアシスタントをする！、これだけでしたが、今、非常に役に立っています。また大先輩である1期生の升井一朗先生より、別の角度から顎変形症を指導して頂きました。現教授の池邊先生が赴任されてからも、顎変形症に関する判断は任せて頂き、口腔外科臨床を広く学ぶため、2011年にドイツ留学を致しました。第二口腔外科の伝統というべきか、福岡歯科大学は顎変形症の手術数が多いと知られていますので、私はそれを絶やさない

ように後輩を育てていきたいと思っております。

最後に、女性歯科医師ということからお話しますと、顎変形症の手術をするのは国内に5名もおりません。ですから、女性口腔外科医の現状はなかなか注目されず、小児歯科や矯正歯科に比べ、男女共同参画の取り組みは非常に遅れています。しかし、ようやく口腔外科学会で、“女性口腔外科医のために”というシンポジウムが生まれ、私はランチョンセミナーで講演することとなりました。福岡歯科大学の看板を背負う気持ちで望みたいと思います。

## ～充実期～



福岡歯科大学  
口腔治療学講座  
歯周病学分野

助 教 村上 弘 (31期)

開学記念式典で講演をさせていただいた31期卒業の村上弘と申します。今回、その時の内容を『背振』にも掲載して欲しいというお話をいただきましたので講演内容を少しだけではありますが文章にしたいと思います。

私は早良区に引っ越しもせず長く住んでいますので福岡歯科大学周辺の変化をずっと見てきました。私が生まれたのは昭和54年、本館が出来たのが昭和53年ですので本館が私の1つ上の先輩になります。10期くらいまでの同窓の先生はご存知かと思いますが、当時の大学の周辺は田んぼしかありませんでした。私の幼い記憶にも、9階建ての建物が田んぼばかりの田舎の中、遠くに見えていたのを憶えています。当時の母の思い出なのですが、私を福岡歯科大学に連れてくるとすごく機嫌がよかったみたいです。それも2、3歳の頃の私は車が大好きでミニカーをたくさん集めていたのですが、ここに来ると憧れの本物のスーパーカーが普通に駐車してあるので、それを見に来ることでテンションが上がっていたようです。もしかしたら福岡のスーパーカーブームの中心は母校の駐車場であったかもしれません。

それから40年程が経過して大学周辺も大きく様変わりしました。敷地の東側の道路は4車線に拡張整備されて、この6月からは敷地内にバスの停留所が出来ました。さらに、福岡都市高速、福岡市営地下鉄七隈線が整備され、非常に利便性が良くなり、遠方から通われる学生や患者さんも増えたと感じます。実際、私の患者さんでも佐賀、熊本、大分、長崎などから来られる方もいらっしゃいます。また、

北側にはサンシャインプラザ、サンシャインシティといった介護施設が建設され、現在は看護大学の建設が進んでいます。これらの施設の併設により、福岡歯科大学の目指す『口腔医学』を実践する人材育成を可能にしていると思います。現在、学部生のカリキュラムに施設での介護実習が組み込まれており、これからの超高齢社会の中で必要な全身疾患を持つ患者への対応が出来る歯科医師の育成に力を入れています。

私が入学したのが2003年です。それから今に至るまで変化がいくつもありましたが、その中でも大きなものを3つ程紹介したいと思います。

一つ目はCBT、OSCEの導入です。ご存知でない先生もいらっしゃると思いますが、これらはともに文部科学省の意向により2006年から導入されたテストで、臨床実習（登院実習）前に学生の能力と適性を評価し、質を保証することを目的に行うものです。CBTは知識を問う客観試験で、コンピュータを使って行います。基礎・臨床ともに幅広い知識を問う内容で、写真を使用した問題がほとんどです。OSCEは基本的な診療技能および態度を問う客観的臨床能力試験で、模擬患者や模型を使って実際に患者さんに行う診療行為が出来るかを問うテストです。学生時代もこの試験には悩ませられましたが、教員となってからもテストの準備・運営・採点などで時間を取られて頭を悩ませられています。

二つ目は海外研修の導入と拡充が挙げられると思います。2006年から1週間くらいの短期の交換留学を行っています。私もそのメンバーに選出され上海交通大学に短期留学をしてきました。その時の引率



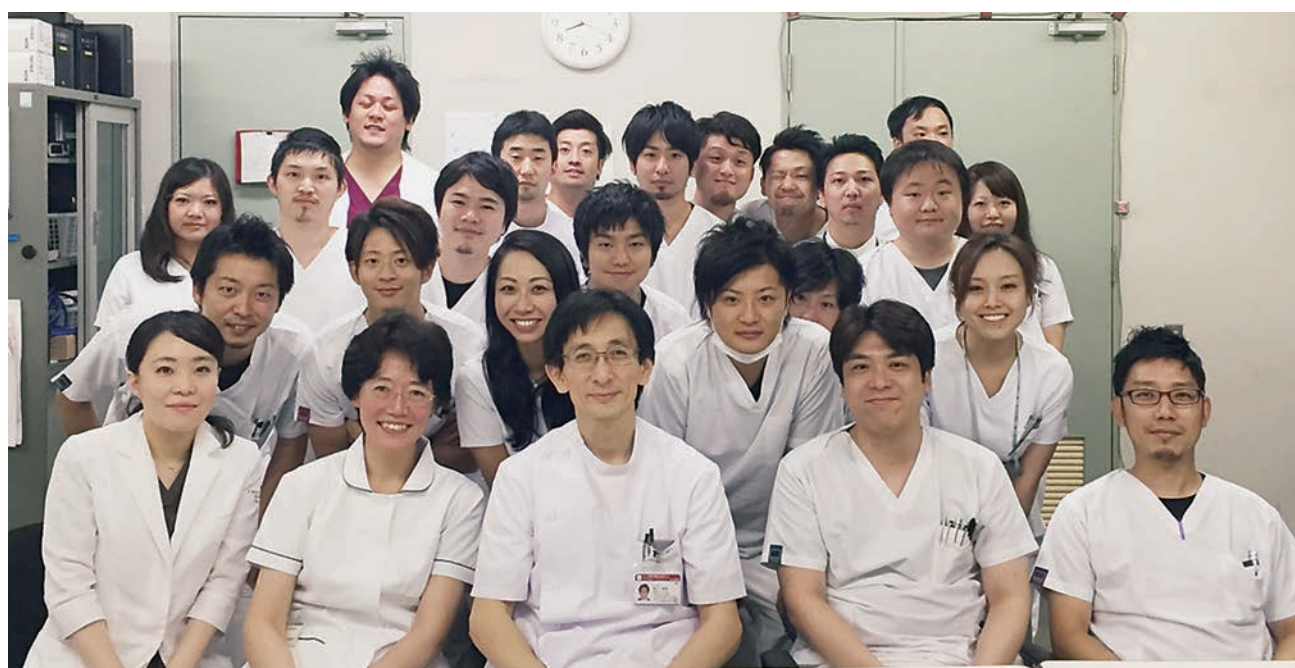
の先生は湯浅教授と泉准教授で、中国の歯科診療、教育環境などを見学し、特に、その病院の大きさと患者数の多さには驚かされました。夜は毎晩のように懇親会を開いていただき、遅くまで親睦を深めました。これ以降、海外研修の拡充が進み、現在では、中国医科大学、カナダのブリティッシュコロンビア大学、韓国のキョンヒ大学と定期的に交流を行っています。

三つ目は歯科医師国家試験の競争試験化が挙げられ、これがもっとも大きな変化ではないかと思います。これは2006年の厚労省と文科省の基本方針として供給過剰傾向の歯科医師数削減のため、各大学の定員削減と国家試験の合格基準の引き上げが示されたことに端を発します。2007年から2,400人に合格者を固定し、2013年以降は2,000人に固定されています。それに伴い、8割あった合格率が6割ほどにまで下がっており、近年、本学も合格率の低迷に悩まされているのが現状です。しかし、私たち31期生はそんな厳しい状況の中、新卒の合格率は私立大学1位でした。これは31期生の誇りでもあります。本学の学生はそれだけのポテンシャルを持っていることを示しています。学年で一丸となって切磋琢磨することが出来れば、これ以上の結果も可能だと思います。ただ、本人たちが変わらなければダ



メです。大学のカリキュラムを教員から言われる通りにこなしているようでは難しいでしょう。本人たちが奮起してくれることを先輩として願っています。

他にも臨床研修医の義務化、学生の出席確認の方法の変遷などありますが、大きな変化というのはこのくらいだと思います。講演の内容すべては文章に出来ていませんが、少しでも『充実期』における変遷がお伝え出来たのではないかと考えております。これから学園として看護大学の設置、医科歯科総合病院の新設など、まだまだ大きな変化が待ち受けています。この中で同窓生としては『飛躍期』へと学園全体が盛り上がってくれることを信じて結びとさせていただきますと思います。



## パノラマエックス線撮影法の基本



福岡歯科大学診断・全身管理学講座画像診断学分野

香川 豊宏 (15期)

歯科領域のエックス線画像検査はアメリカ合衆国の歯科医師 C. Edmund Kells が1896年に世界で初めて口腔内にフィルムを挿入して歯のエックス線撮影を行い根管治療に利用したのが始まりである。その後、1900年代の初頭に Price, Cieszynski, Dieck らにより二等分法が、McCormack により平行法が開発されている。続いて、1949年に Paatero によりパノラマエックス線撮影法が開発された。そして、1990年に歯科のエックス線画像検査の革命というべきものとして、歯科用 Cone-Beam CT (CBCT) が登場した。

歯科用 CBCT が革新的な機械として登場して四半世紀以上が経過した現在であるが、依然として、二等分法をはじめとする口内法およびパノラマエックス線撮影法の重要性は高く、歯科領域の診断においては欠かすことができない基本的な撮影法である。

本講座ではパノラマエックス線撮影法の基本について述べる。なお、各図の QR コードはお手持ちのスマートフォン、タブレットで読み込むと当該コンテンツの動画などを見ることが可能である。参考にしていきたい。

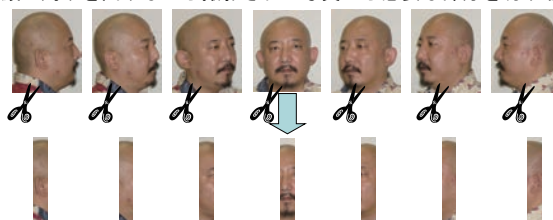
### 1. パノラマエックス線撮影法の原理

パノラマエックス線撮影法はその機構に2つの特徴を持つ。1つは、顎骨の展開像であるということ、もう1つは断層撮影であるということである。

#### (1) 顎骨の展開像としてのパノラマエックス線撮影

例えば顔の展開写真を作成しようと思えば、カメラを持って顔の周りを回りながら撮影を行い、得た写真を合成することで作ることができる (図1)。

顔の周りを回りながら撮影された写真から必要な部分を切り取る



これらを合成すると、人の顔のパノラマ写真が完成



図1 顔の展開写真の作成

これと同様に、馬蹄形に湾曲した三次元の顎骨を一平面の展開像として描出するためには顔の周りをエックス線で少しずつ撮影をしながら回す必要がある。そのため、細い隙間を空けた鉛製の絞り (スリット) を用いる。このスリットをエックス線管球 (以下、管球) の前およびフィルムや CCD/CMOS (以下、フィルム) の前に設置することで、細いビーム状のエックス線を作成する (図2)。このビーム状のエックス線を患者の頭部の周囲で270度回転させながら少しずつ撮影を行うことにより、顎

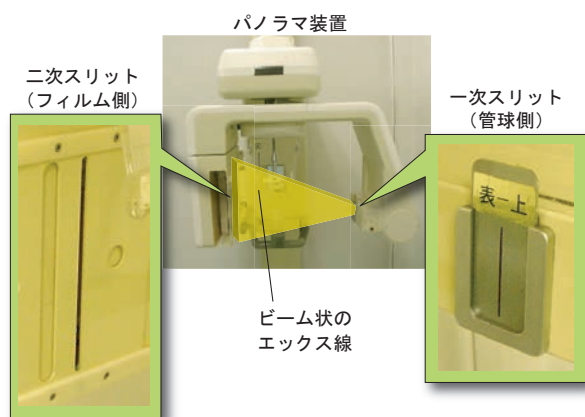


図2 パノラマエックス線撮影のスリット  
細い隙間の空いた鉛の板 (スリット) でビーム状のエックス線を作る。

骨の展開像を得ることができる (図3)。

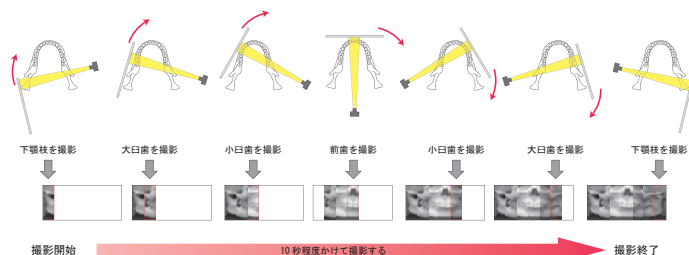


図3 パノラマエックス線撮影の概念図  
パノラマエックス線撮影はビーム状のエックス線を回転させて少しずつ撮影を行う。



## (2) 断層撮影としてのパノラマエックス線撮影

パノラマエックス線撮影は管球とフィルムがただ単に顔の周りを回っているわけではない。回転中心が顎骨に沿って動きながら撮影を行っている。通常は管球とフィルムの間に存在するものが重積像として描出される。しかし、管球とフィルムを目的の部分を中心に動かしながら撮影を行うと回転中心近くの領域だけを描出することができる (図4)。

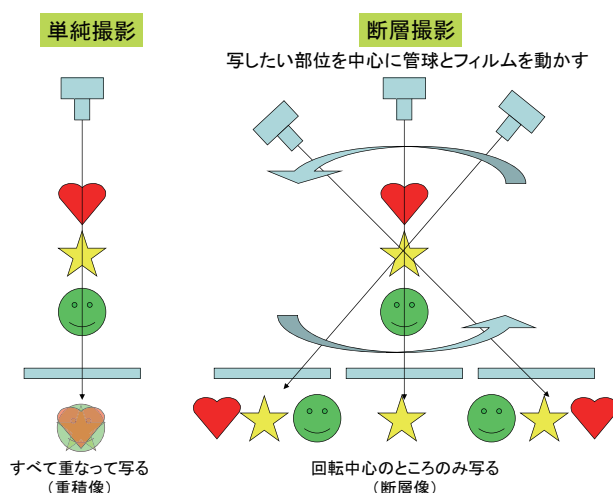
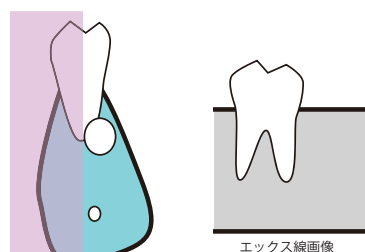


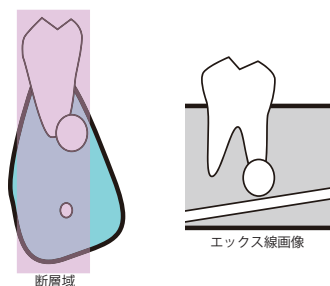
図4 断層撮影の原理

断層撮影は観察したものを中心に管球とフィルムを回転させることで、回転中心 (この場合は星マーク) に存在するものだけを写し出すことができる。

パノラマエックス線撮影はこの断層撮影の技術を活用して、湾曲した顎骨部分のみをフィルム上に描出している。断層撮影においてフィルム上に写る範囲のことを「断層域」という。従って、断層域の範囲に入らないものはフィルムに描出されない (図5)。



a 断層域内に根尖病巣、下顎管が入っていないため、画像に描出されない



b 断層域内に根尖病巣、下顎管が入っているため、画像に描出される

図5 断層域とそのエックス線画像

断層域に入らないものは画像に描出されないため、確実に見たいものを断層域内に入れなければならない。

パノラマエックス線撮影の断層域は顎骨に合わせて馬蹄形をしている。しかし、その厚みは一定ではなく、前歯部が最も狭く5mmで、小臼歯部で10mm、大臼歯部で15mmと後方に行くに従い、断層域は広がる（図6）。この断層域をきちんと顎骨に合わせるためには3つの基準平面の設定が重要となる。

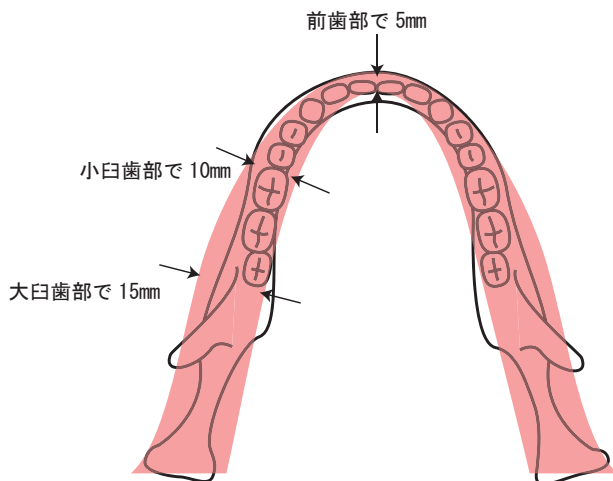


図6 パノラマエックス線撮影の断層域

パノラマエックス線撮影の断層域は前歯部に行くに従い狭くなっていく。

## 2. パノラマエックス線エックス線撮影の3つの基準平面

パノラマエックス線エックス線撮影には3つの基準平面が存在する。(1)フランクフルト平面（眼耳平面）、(2)正中矢状平面、(3)口角線（前歯部断層域の設定線）である。これらの3つの平面を撮影前に確実に合わせることが重要である。

### (1) フランクフルト平面

フランクフルト平面——耳珠上縁と眼窩下縁を結んだ平面——が床と平行になるように頭部の上下的な角度を設定する。フランクフルト平面が床と平行になった際には、人の顔はまっすぐ前を向いた状態となる。患者を横から見た時に少しでも「上を向いている」「下を向いている」と感じたときにはフランクフルト平面は床と平行になっていない。チンレストを上下に調節し、合わせ直す必要がある。

### (2) 正中矢状平面

正中矢状面をフィルムの中心を表すビームに合わせる。患者の正面に設置してある鏡を見て、患者本人に合わせてもらうのがよい。その際にビームが顔の真ん中にあっても、後頭部が左右に回転してずれていることもあるため注意を要する。

### (3) 口角線

口角線はフランクフルト平面、正中矢状平面を合わせた後、頭部をしっかりと固定してから最後に設定を行う。ビームを前後に動かして通常は上顎犬歯の遠心面に来るように設定する。口角線を前後に動かすと、それに応じて管球とフィルムの前後的な位置が移動する。そのため、断層域の位置が前後に移動することになる。口角線の位置づけは前歯部の画像の明瞭さを決定付ける重要な操作である。

・3つの基準平面が正しく設定された場合

左右の歯の大きさ、上顎洞、下顎枝の幅はほぼ左右対称性を有し、パノラマエックス線画像上の咬合平面は少し下方に湾曲した状態で描出される（図7）。この湾曲はSpeeの湾曲が左右で映り込むことにより描出されている。

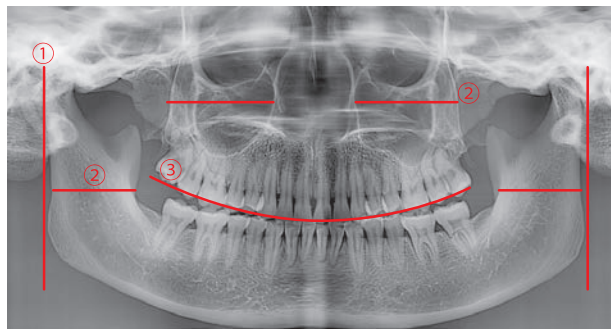


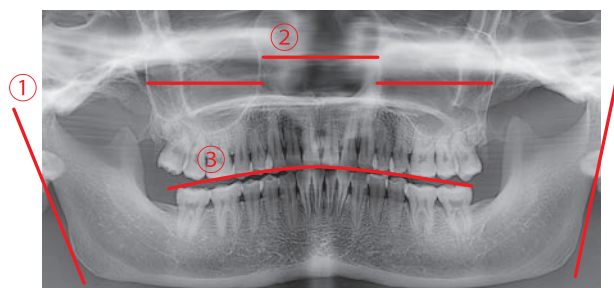
図7 3つの基準平面を正しく合わせた場合のパノラマエックス線画像

- ① 下顎枝後縁はほぼまっすぐになる。
- ② 左右の下顎枝・上顎洞は左右対称性を示す。
- ③ 咬合平面は左右のSpeeの湾曲を再現し、少し下方にカーブを描く。

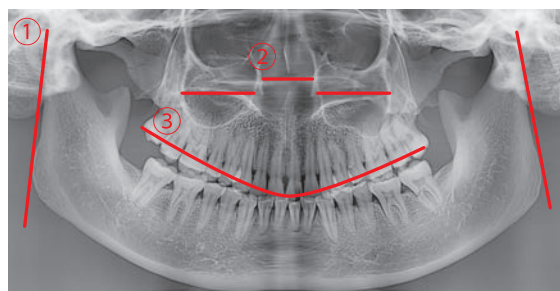
・基準平面が正しく設定されなかった場合

#### (a) フランクフルト平面が上下に傾いた場合

フランクフルト平面が上に傾いた（顎を上げた）位置づけで撮影を行うと、下顎枝後縁は外側に開い



a フランクフルト平面が上に傾いた（顎を上げすぎた）場合



b フランクフルト平面が下に傾いた（顎を下げすぎた）場合

図8 フランクフルト平面が上下に傾いた場合のパノラマエックス線画像

a フランクフルト平面が上に傾いた（顎を上げすぎた）場合

- ① 下顎枝後縁は外に開いて、関節頭がフィルムから切れる。
- ② 鼻腔、左右上顎洞は外側に拡大する。
- ③ 咬合平面は「へ」の字になる。

b フランクフルト平面が下に傾いた（顎を下げすぎた）場合

- ① 下顎枝後縁は内側に倒れ込む。
- ② 鼻腔、左右上顎洞は内側に縮小する。
- ③ 咬合平面は「V」の字になる。

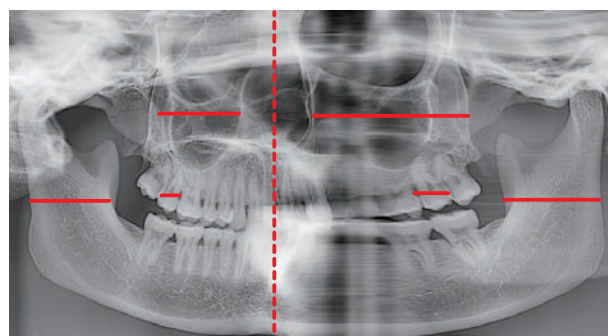
た状態となり、上顎部が左右に拡大して描出される。また、パノラマエックス線画像上の咬合平面は「へ」の字に湾曲して描出される（図8 a）。

逆にフランクフルト平面が下に傾いた（顎を引いた）位置づけで撮影を行うと、下顎枝後縁は内側に倒れ込んだ状態に描出される。また、パノラマエックス線画像上の咬合平面は「V」の字に湾曲して描出される（図8 b）。

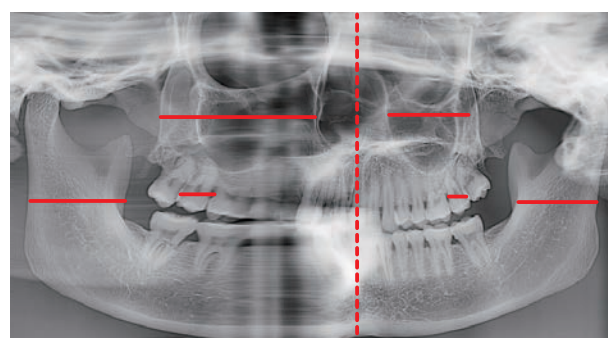
(b) 正中矢状面が左右に向いた場合

正中矢状面が正中を示すビームから左右にずれた位置づけで撮影を行うと、向いた方向のパノラマエックス線画像上の正中から半側が縮小して描出され、反対側の半側は縮小して描出される。すなわ

ち、正中が右側に向いた状態で撮影を行うとパノラマエックス線画像の右側半側が縮小し、左側半側が拡大されて描出されてしまう（図9）。



a 正中矢状面が右に向いた場合



b 正中矢状面が左に向いた場合

図9 正中矢状面が左右にずれた場合のパノラマエックス線画像

a 正中矢状面が右に向いた場合

右側構造物は水平方向に縮小し、左側は拡大する。

b 正中矢状面が左に向いた場合

左側構造物は水平方向縮小し、右側は拡大する。

(c) 口角線が前後にずれた場合

口角線が正しい位置（上顎犬歯の遠心面）よりも前方に設定をして撮影を行うと、断層域は前歯部よりも前方に位置した状態になるため、前歯部は拡大したぼけ像として描出される（図10a）。正しい位置よりも後方に設定をして撮影を行うと、断層域は前歯部よりも後方に位置した状態になるため、前歯部は縮小したぼけ像として描出される（図10b）。



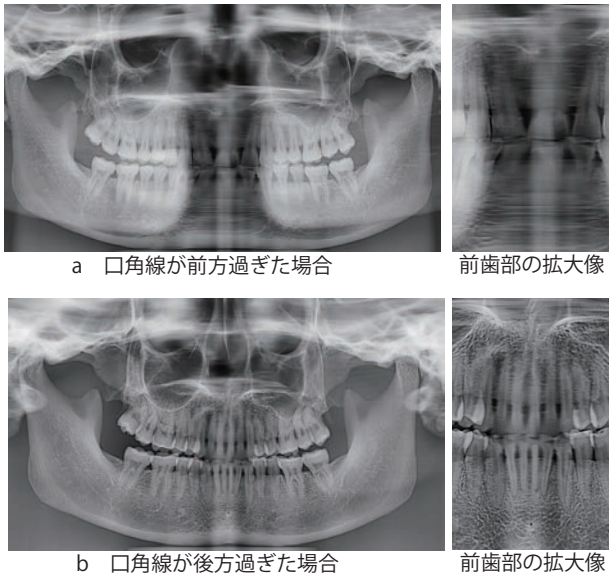


図10 口角線が前後にずれた場合のパノラマエックス線画像

- a 口角線が前方過ぎた場合  
前歯部は拡大したばけ像として描出される。
- b 口角線が後方過ぎた場合  
前歯部は縮小したばけ像として描出される。

### 3. パノラマエックス線撮影の Tips

パノラマエックス線撮影は3つの基準平面を確実に合わせることで基本的な画像を得ることができる。しかし、撮影時に少しの工夫を行うことで診断がより高い画像を得ることが可能となる。

#### (1) 切端位で撮影を行う

前歯部の断層域は5 mm と非常に狭いため、中心咬合位で撮影を行うと上下前歯の根尖部はぼけを生じてしまうことが多い。撮影時の顎位を切端位にすることで下顎前歯が少し前方に位置づけることができ、下顎前歯の根尖が断層域に入りやすくなる(図11)。

#### (2) 上顎位と下顎位を使い分ける

切端位であっても、上顎前歯の根尖は断層域から外れやすい。そのため、上顎前歯部が診断の主な目的でパノラマエックス線撮影を行う場合は、フランクフルト平面を少し下方に傾けて(少し顎を引いた状態)撮影を行う。この位置づけによって上顎前歯

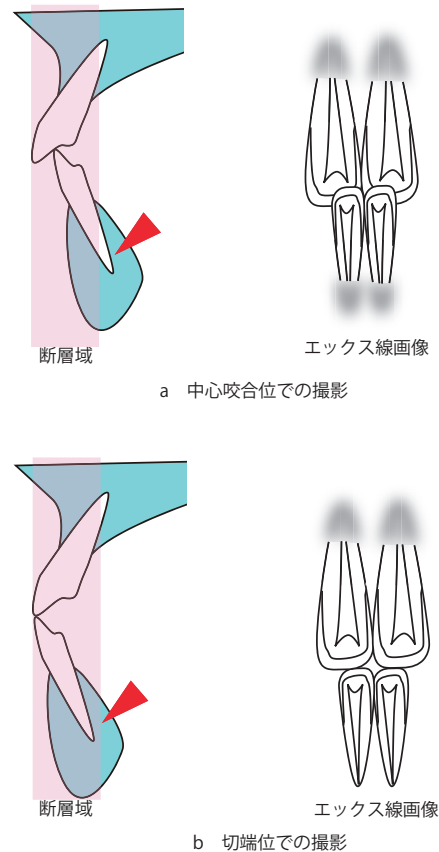


図11 中心咬合位と切端位におけるパノラマエックス線撮影の概念図

- a 中心咬合位での撮影  
上下顎前歯部の根尖は断層域から外れてしまうことが多い。そのため、上下顎とも前歯部の根尖はぼけてしまう。
- b 切端位での撮影  
下顎前歯部の根尖は断層域に入りやすくなる。その結果、上顎はぼけるが、下顎前歯の根尖は明瞭に写る。

の歯軸が垂直になるため、断層域に入りやすくなり、上顎前歯の根尖まで鮮明な画像を得ることができる。これを上顎位という(図12a)。

逆に下顎前歯部が診断の主な目的でパノラマエックス線撮影を行う場合は、フランクフルト平面を少し上方に傾けて(少し顎を上げた状態)撮影を行う。同様に下顎前歯の歯軸が垂直になるため、断層域に入りやすくなり、下顎前歯の根尖まで鮮明な画像を得ることができる。これを下顎位という(図12b)。

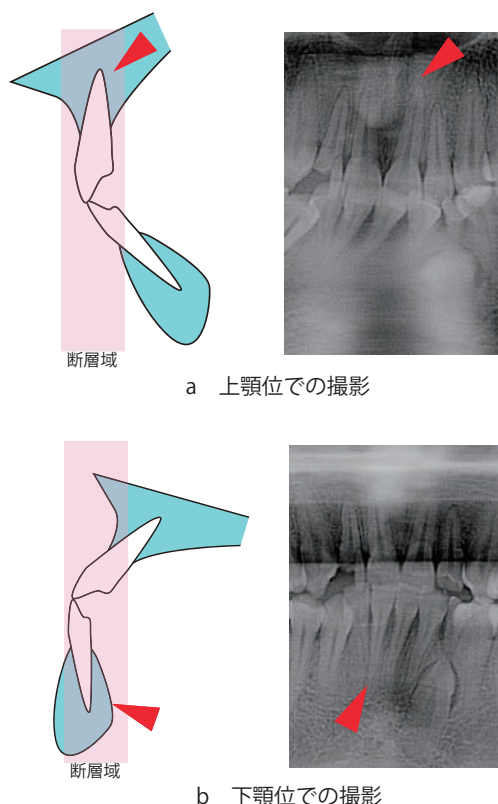


図12 パノラマエックス線撮影の上顎位と下顎位

- a 上顎位での撮影  
顎を少し引くことで上顎の歯軸が垂直になる。そのため、上顎前歯は歯冠から根尖まで断層域に入り、明瞭に描出される。
- b 下顎位での撮影  
顎を少し上げることで下顎の歯軸が垂直になる。そのため、下顎前歯は歯冠から根尖まで断層域に入り、明瞭に描出される。

### (3) 舌を口蓋に付ける

通常、パノラマエックス線撮影の際に舌の位置は意識しないと思われるが、撮影前に患者に舌の位置を変えてもらうだけで上顎歯列の根尖部の画像が非常に見やすくなる。

何も指示を行わない場合は、撮影時に舌は安静な状態であるため、舌背面と口蓋の間に空気が介在することになる。空気はきわめてエックス線の透過性が高いため、空気層が上顎歯列の根尖部に強い透過像として重複し、根尖部の診断能が低下してしまう。これを回避するためには撮影直前に、患者に舌を口蓋につけてもらうのがよい。具体的には「機械

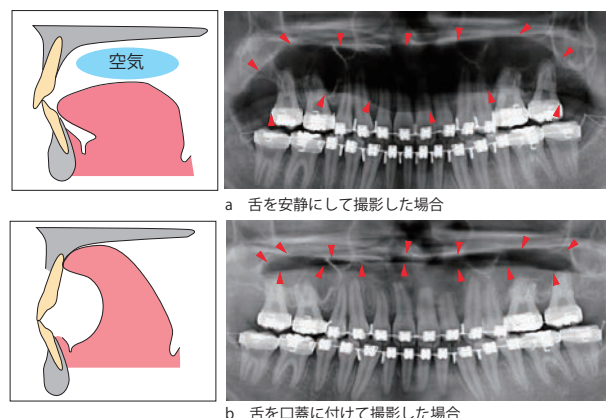


図13 パノラマエックス線の撮影時の舌位置の違いによる画像への影響

- a 舌を安静にして撮影した場合  
舌と口蓋の間に介在する空気層（矢頭）が透過像となって、上顎歯列の根尖部に映り込む。その結果、根の吸収が診断できなくなっている。
- b 舌を口蓋に付けて撮影した場合  
空気層は排除され（矢頭）、上顎歯列の根尖部は明瞭に観察できる。その結果、矯正による根の吸収の確認が可能となった。

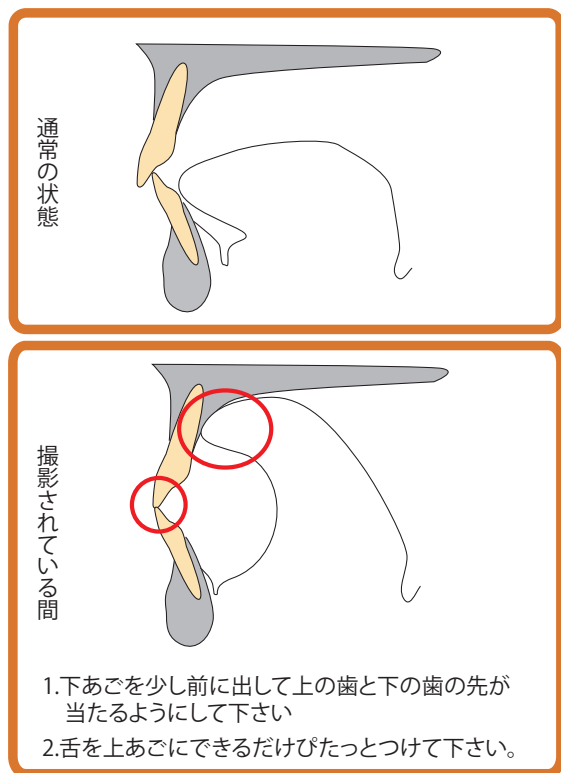
が動いている間、ベロを上の前歯の裏側にべたっと付けておいてください」と指示を行う。口蓋に舌を付けると空気層が排除されるため、コントラストの低下を防ぐことができる。図13は矯正治療の経過観察で、上顎前歯部の根吸収を疑い、パノラマエックス線撮影を行った症例である。当初、舌の位置を指示しなかったため、口腔の空気の陰影により根吸収の診断ができなくなっている。そのため、再撮影時に舌の指示をしたところ、空気の陰影が排除され根吸収が明瞭に観察可能となった。

QR リンク先に患者への説明パンフレット（PDF）を掲載しているので、ダウンロードして撮影前の説明に活用していただければ幸いです（図14）。



## 4. パノラマエックス線撮影における防護衣

パノラマエックス線撮影に使用するエックス線は前述の通り非常に細いビーム状を呈している。そのため、パノラマエックス線撮影における散乱線の発生量はわずかである。加えて、エックス線の投影方



撮影時間は15秒間です。この間できるだけこの状態を維持して下さい。  
この状態が無理な場合は遠慮なく撮影者の方へ申し出て下さい。

図14 福岡歯科大学医科歯科総合病院放射線診断科で  
使用しているパノラマエックス線撮影時の患者  
説明用パンフレット

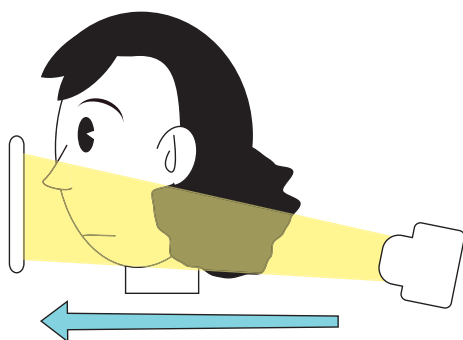


図15 パノラマエックス線撮影のエックス線照射方向  
エックス線はやや下方から上方に向けて照射されて  
いる。また、前歯を撮影するときには後方から前方に照  
射されている。

向はやや下方から上方に向けて照射されている（図15）。そのため、パノラマエックス線撮影における首から下方へのエックス線の被曝線量はほぼゼロである。逆に防護衣を装着することで防護衣の陰影が前歯部に映り込んでしまうことがある。また、回転する機械に防護衣の肩の部分が当たり撮影が妨げら

れる場合もある。これらの理由から基本的にはパノラマエックス線撮影に防護衣は不要である。

しかし、妊婦や放射線被曝を気にする患者に対しては安心を与えるため防護衣を着せる場合もある。その場合にはエックス線は患者の後方から前方に向かって照射されているため口内法とは逆に防護衣は背中から着せる（図16）。



図16 防護衣を着けてパノラマエックス線撮影をして  
いる風景

パノラマエックス線撮影では基本的に防護衣は必要ないが、防護衣を着せる場合は背中から着せる。

## 5. パノラマエックス線画像の特徴

パノラマエックス線撮影法は管球とフィルムを顔の周りで回しながら少しずつ撮影を行っているため、画像の部位によって写っている方向が異なる。画像の両端の方は顎骨の側面観であり、中央付近は正面観として描出されている。このことはパノラマエックス画像を読影する際に非常に重要となる（図17）。

また、パノラマエックス線画像には上下顎骨はもとより、上顎洞、顎関節にいたる広い範囲が映し出されている。その広い撮影範囲は、初診時に顎顔面領域のスクリーニングを行う時に有効である。しかし、先に述べたようにパノラマエックス線画像は断層撮影像であるため、断層域に入った領域だけが鮮

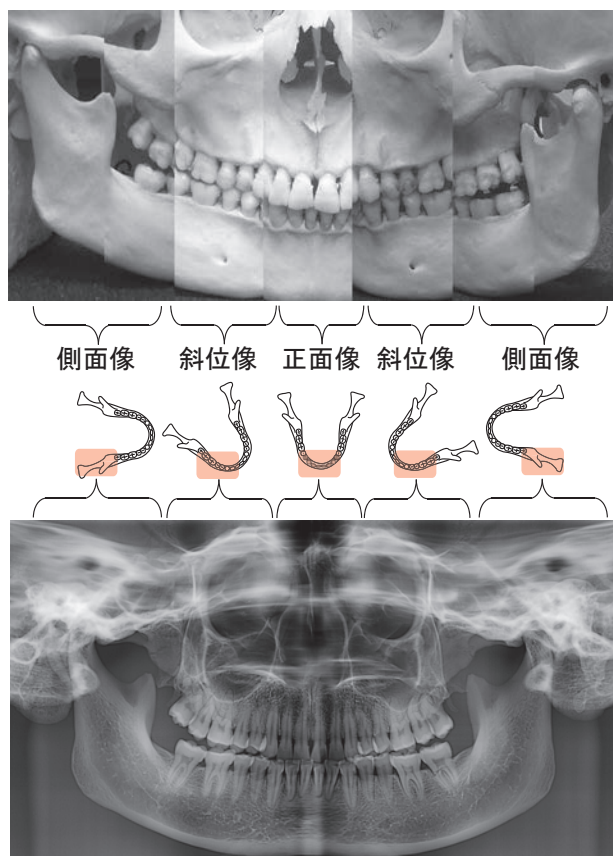


図17 パノラマエックス線画像の部位による観察方向

明に写っているにすぎない。従って、パノラマエックス線画像に「異常像が写っていないこと」＝「その患者の顎骨内に病変が存在しない」という判断は誤っていることを常に頭に入れておく必要がある。また、パノラマエックス線画像には断層域内の領域が描出された「実像」の部分と、断層域以外の領域が描出された「虚像」の部分がある。次に述べるエックス線解剖と障害陰影について深く理解をしておく必要がある。

## 6. パノラマエックス線画像の解剖

図のようにパノラマエックス線画像には下方は舌骨、上方は眼窩に至る範囲の顎顔面領域の硬組織や一部軟組織が様々映り込んでいる。そのうち、歯科領域の診断で重要なものを図に示す（図18）。これらはすべて断層域内に入った実像を示している。



図18 パノラマエックス線画像の主な解剖

- ①鼻中隔 ②下鼻甲介（上顎洞を横切って写る） ③眼窩 ④骨口蓋 ⑤上顎洞 ⑥翼口蓋窩 ⑦関節突起 ⑧外耳孔 ⑨茎状突起 ⑩耳たぶ ⑪舌骨 ⑫下顎管 ⑬オトガイ孔 ⑭軟口蓋 ⑮筋突起 ⑯頸椎（実像） ⑰鼻涙管 ⑱パノラマ無名線（上顎骨の頬骨突起後面）

## 7. パノラマエックス線画像の障害陰影

パノラマエックス線画像には上記の実像のほか、障害陰影（Ghost image）と呼ばれる虚像が映り込んでいる。この障害陰影は時に読影の邪魔となり、誤診を招く原因にもなるため注意を要する。パノラマエックス線画像の障害陰影としては4種類存在する。

### (1) 頸椎の障害陰影

前歯部を撮影している際には、管球は頭部の真後ろ、フィルムは頭部の前方に位置している。そのときに頭部の後方から照射されたエックス線は頸椎を通してフィルムに到達しなければならない。エックス線が頸椎で吸収された結果、頸椎の陰影が不明瞭な不透過像として前歯部の像に重複して映り込んでしまう。これが頸椎の障害陰影である（図19）。この頸椎の障害陰影の重複により前歯部は診断が困難になってしまう。また、頸椎

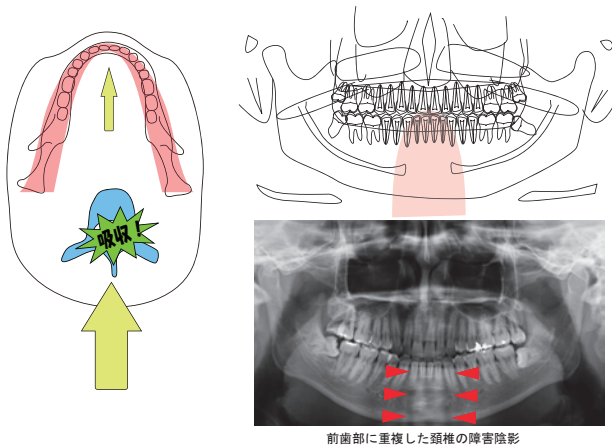


図19 頸椎の障害陰影

前歯部を撮影する際に頸椎でエックス線が吸収されてしまうため、不明瞭な不透過像として前歯部に写り込んでしまう。

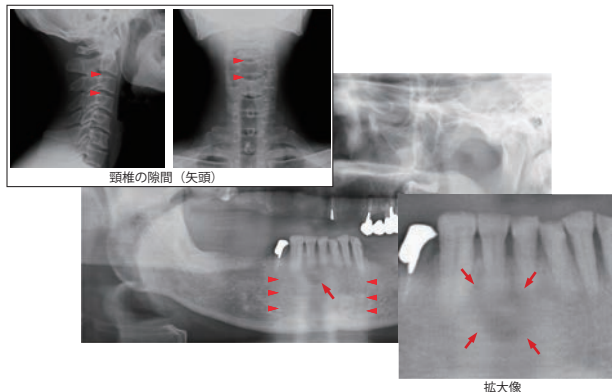
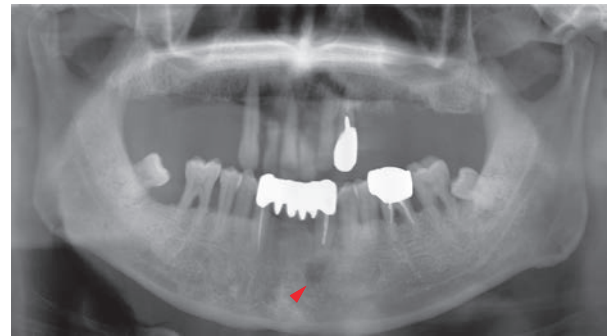
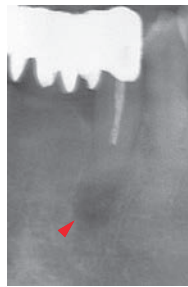


図20 頸椎と頸椎の隙間が透過像として写り込んだ例  
頸椎の障害陰影 (矢頭) 内に見られる頸椎の隙間の透過像 (矢印)。下顎前歯の根尖病巣と誤診しやすいため注意が必要である。

の障害陰影は不透過像だけではない。頸椎と頸椎の間の隙間 (図20) が透過像として、前歯部の根尖近くに映り込んでしまうことがある。部位によっては根尖病巣と誤診をしかねないほど、はっきりと映り込む場合もあるため注意を要する。図21の症例は実際に頸椎の障害陰影を根尖病巣と誤って診断をしてしまった例である。パノラマエックス線画像において下顎左側犬歯の根尖から連続する透過像を認めたため、犬歯の根尖性歯周炎と診断を行った (図21a, b)。しかし、追加で撮影を行った口内法においては犬歯の根尖部に異常陰影は認められなかった (図21c)。そのため、



a パノラマエックス線画像



b aの拡大図



c 口内法



d 歯科用CBCT

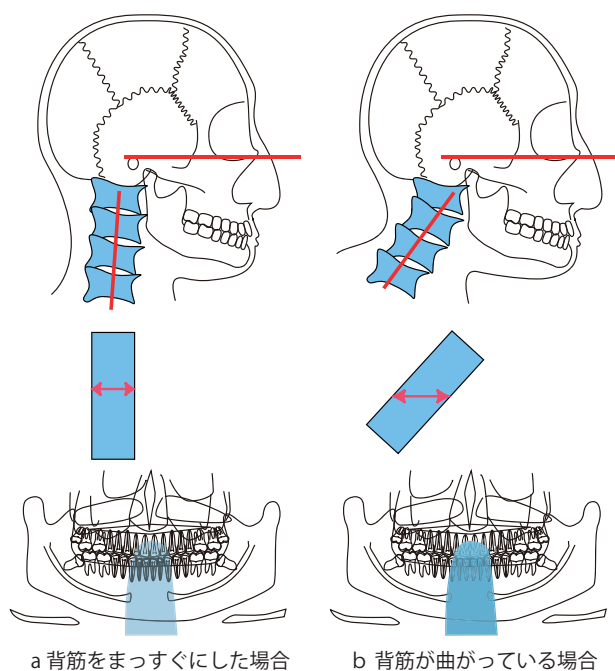
図21 パノラマエックス線画像にて頸椎の障害陰影の透過像部を根尖病巣と誤診した例

歯科用CBCT検査で根尖部の確認を行ったところ、根尖周囲の骨梁に異常は認められなかった (図21d)。頸椎の障害陰影の一部が根尖病巣様に見えただけであった。

この頸椎の障害陰影の出現を可能な限り少なくするためには、撮影時に背筋をまっすぐに伸ばした体勢で顎をチンレストにのせなければならない。背筋をまっすぐ伸ばした時と比較して、背筋が曲がった状態では頸椎をエックス線が通過する距離が長くなるため、より障害陰影が強く出現してしまう (図22)。患者をパノラマエックス線装置に誘導する際に一言、「背筋をまっすぐ伸ばして顎をのせてください」と説明することが重要である。

## (2) 反対側の下顎枝の障害陰影

これも頸椎の障害陰影と同様の理由で出現する。右側大白歯から下顎枝にかけての撮影をしている際には、右側にフィルムが位置し、管球は左側に存在する。左側から照射されたエックス線は、まず下顎骨の左側骨体を透過してから右側の



a 背筋をまっすぐにした場合

b 背筋が曲がっている場合

図22 背筋の角度と障害陰影の発生程度

背筋が曲がっていると頸椎の障害陰影は出やすくなる。

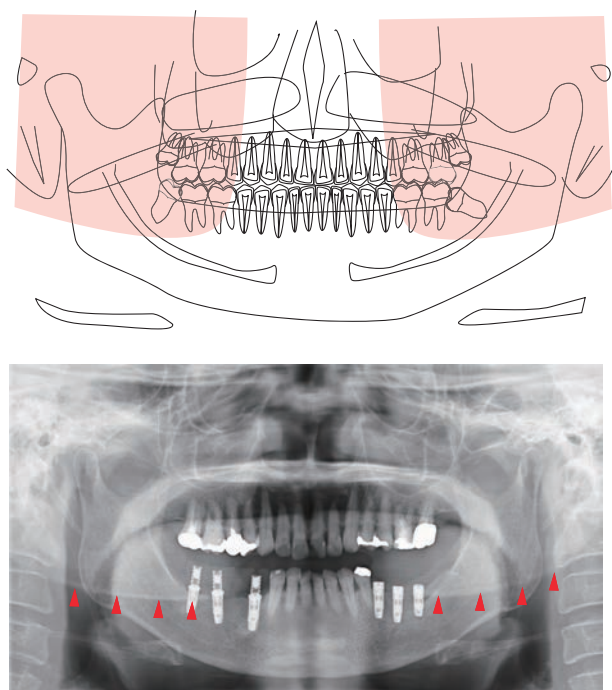


図23 対側の下顎枝の障害陰影

臼歯部から下顎枝にかけて反対側の下顎骨の障害陰影（矢頭）が重複する。

骨体に到達する。そのため、左側の下顎枝の陰影が不明瞭な不透過像として右側に重複して映り込

んでしまう。これが反対側の下顎枝の障害陰影である（図23）。

この障害陰影も臼歯部の歯槽骨のコントラストを低下させ、歯槽骨の不透過性が亢進しているように見えてしまう。炎症性的変化と誤診をしない様に気をつけなければならない。

### (3) 含気腔（咽頭・口腔の気道陰影）の障害陰影

これは頸椎や対側の下顎枝の障害陰影と異なり、透過像として映り込む障害陰影である。口腔内や咽頭内の空気層によってエックス線の透過性が亢進し、鼻腔から下顎角部にかけて帯状の透過像が映り込む。これが含気腔の障害陰影である（図24）。この陰影のため、下顎枝の診断は困難になってしまう。特に外傷の場合に下顎角部や下顎頸部の骨折が見えにくくなってしまふことが多い。

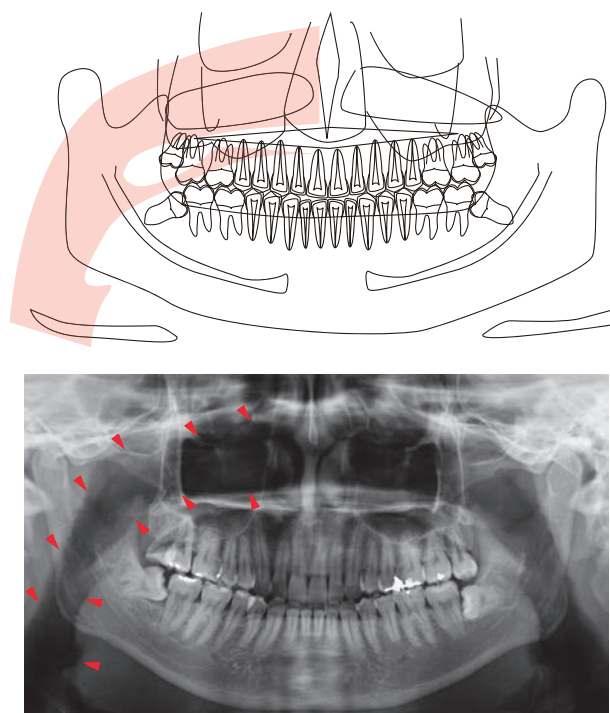


図24 含気腔の障害陰影

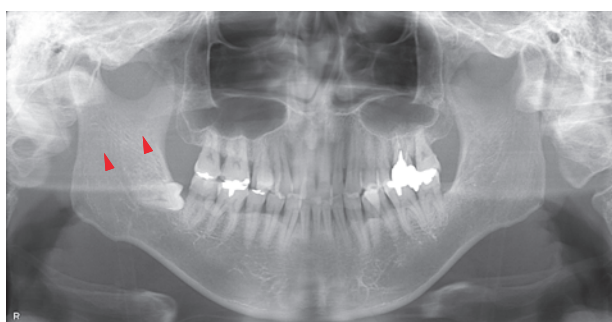
鼻腔・口腔から咽頭にかけての空気層によって透過像の陰影が重複している。

含気腔の障害陰影は、撮影直前に患者に息を吐いた状態で止めてもらい、そのまま撮影終了まで我慢をしてもらうことで発現を減らすことができ

る。息を吐いた状態で止めておくことにより、含気腔内の空気の量を減らした状態で撮影を行うことができるため、含気腔の障害陰影が出現しにくくなる（図25）。具体的には照射スイッチに手をかけた状態で「鼻で軽く息を吸って、（少し間を置いて）、そのままゆっくり吐きます。そのまま機械が止まるまで10秒ほど息を止めておいてください。」と説明し、直後にスイッチを押し撮影を始めるとよい。



パノラマエックス線撮影時の息止め：なし



パノラマエックス線撮影時の息止め：あり

図25 パノラマエックス線撮影時の息止めの有無による画像の違い

パノラマエックス線撮影時に患者に息止めをしてもらったほうが含気腔の障害陰影の発生が少ない

#### (4) 人工物の障害陰影

基本的に首から上の金属可撤物（ネックレス、ピアス、可撤性義歯など）は撮影前に外しておくことが原則である。しかし、誤って装着したまま撮影を行ってしまうと、その金属製可撤物が障害陰影としてエックス線画像上に映り込んでしまう。ネックレスは下顎前歯部の骨梁に重複して写り込み、前歯部の読影の妨げになってしまう。特に気をつけなければならないのがピアスの陰影である。ピアスは下顎枝後縁の外側に実像として映

り込む以外に、反対側の下顎枝の障害陰影と同様に反対側の上顎洞付近に虚像（障害陰影）として写ってしまう（図26）。上顎洞の診断の妨げになってしまうため、注意が必要である。

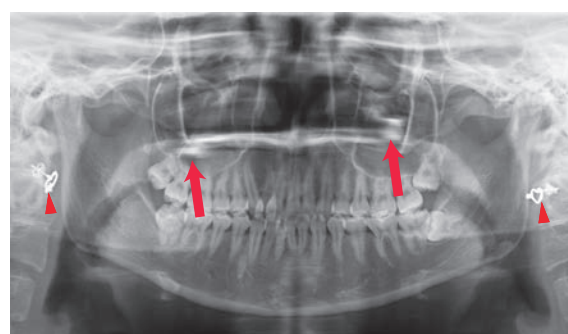
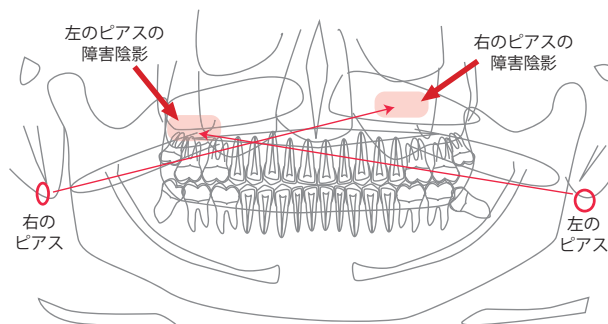


図26 ピアスの実像とその障害陰影

反対側のやや上方（上顎洞部）にピアスの障害陰影が重なる。右側上顎洞のピアスの障害陰影は左側のピアスのものである。矢頭：ピアスの実像、矢印：ピアスの虚像（障害陰影）

## 8. 最後に

パノラマエックス線撮影法は歯科領域においては欠くことができない必須の検査法である。顎骨のスクリーニングを行うのに非常に有用であるため、一般歯科医院においても日常的に撮影が行われている。しかし、正しい位置づけで撮影を行わなければ、思わぬ像のゆがみが出現してしまい、誤診につながる可能性もある。これまでのことを念頭に正しい撮影法を行うことが正確な診断を行う第一歩である。

なお、著者の HP に他の検査法や診断法についてのコンテンツを掲載している。併せて日常の診療に活用していただけたら幸いである。

著者の HP <http://radiology.nobody.jp/>



# 



ばば歯科クリニック・歯学博士・日本口腔インプラント学会専門医・  
 近未来オステオインプラント学会専門医・  
 福岡口腔インプラント研究会会員・JUC 会員

福岡市開業 馬場 正英（6期）

### 

近年の歯科医療発展のスピードは目覚ましいもの  
 がある。歯科用コンビーム CT、マイクロスコー  
 プ、CAD/CAM、Piezoelectric device 等、機器普  
 及に伴い適応症の拡大と治療安全の向上が報告され  
 ているが、新しい機器の導入においては、その長  
 所、短所を十分に理解し、使用目的を明確にして導  
 入することが重要であると考え。当院では2007年  
 から Piezoelectric device を導入し外科、インプラ  
 ント、ペリオ、矯正治療に活用している。

本稿では、Piezoelectric device（バリオサージ  
 京セラメディカル）について、インプラント治療を  
 中心に、従来の回転型切削器具との安全性の相違点  
 について考察し、術式と症例を供覧する。

### 

図 1-a



図 1-a 初診時デンタル X 線写真  
 上顎右上中切歯歯冠が崩壊し根尖病変が認められる。  
 左上中切歯周囲歯槽骨の骨吸収像が認められる。

図 1-b

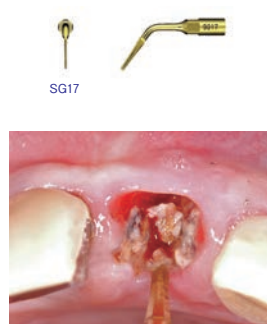


図 1-b 歯周靱帯切断時咬合面観写真

SG17を使用し、歯冠環状靱  
 帯の切離を行った。チップを  
 歯肉溝に確実に挿入し、上下  
 に細かく動かしながら歯牙全  
 周の歯周靱帯を切断する。次  
 に薄めのヘーベルを用いて歯  
 根をできるだけ弱い力で脱臼  
 させる。

### 

図 1-c

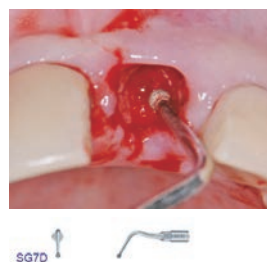


図 1-c 抜歯窩咬合面観写真

SG7D を抜歯窩に挿入しチッ  
 プを骨面に当て骨面を一層研  
 削する。この時キャビテー  
 ション効果を利用し抜歯窩内  
 の汚染物質を同時に洗浄す  
 る。

図 1-d



図 1-d 抜歯窩研削時デンタル X 線写真

チップは軽く骨面に接触させ  
 て上下、前後左右、に一定の  
 場所に強く圧接することがな  
 いようにする。

図 1-e



図 1-e 縫合時咬合面観写真

抜歯後骨移植材を填入しコラーゲン製剤を設置しクロスマットレス縫合した。

図 1-f



図 1-f 術直後デンタルX線写真

移植材が抜歯窩内を満たしていることを確認した。

## ソケットプリザベーション

### 術式のポイント

抜歯後の残存歯槽骨の温存には、抜歯時に出来るだけ歯槽骨にダメージを与えない配慮が必要である。歯周靱帯の切断に SG17 を使用することによって深い位置まで靱帯の切断ができ、薄いヘーベルの挿入が容易になる。場合によってはヘーベルを使用せず脱臼できる。ヘーベルを挿入し脱臼しない時は、もう一度 SG17 を使用し歯周靱帯の切断を行い再度ヘーベルを挿入する。

抜歯窩内の搔爬は最初に鋭匙を使用する。次に SG7D を使用し骨面を一層研削する。キャビテーション効果によって抜歯窩内の研削と洗浄が同時にできる。

### 従来法と比較した場合のピエゾの優位性

ソケットプリザベーションにおいて従来のヘーベルと鋭匙のみを使用すると、次の問題点（欠点）が考えられる。

| ヘーベルと鋭匙のみ使用                       | ピエゾを併用                                 |
|-----------------------------------|----------------------------------------|
| 歯周靱帯の切断が不十分で歯槽骨を挫滅させやすい。          | 歯周靱帯の切断が容易になりヘーベルの挿入が容易になり、歯槽骨を挫滅しにくい。 |
| 嚢胞や根尖病変がある抜歯窩の搔爬が不十分になる場合がある。     | キャビテーション効果によって抜歯窩内の搔爬と洗浄が同時に行える。       |
| 下顎管や上顎洞に近接している抜歯窩の場合搔爬が行えない場合がある。 | 下歯槽神経や上顎洞を損傷することなく抜歯窩の搔爬洗浄が可能。         |

## 歯根端切除

図 2-a



図 2-a 術前左上中切歯唇側面観口腔内写真

左上中切歯は適合の良い補綴物が装着されているが根尖に瘻孔を生じていた。

図 2-b

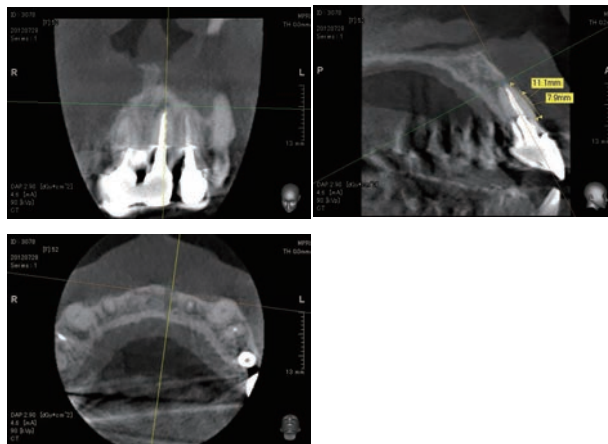


図 2-b 左上中切歯 CT Coronal Sagittal Axial 像  
左上中切歯の CT 所見より、根尖病変の位置を唇側歯頸部骨頂から約 11.1mm に病変上縁を確認した。

図 2-c



図 2-c 左上中切歯唇側面観口腔内写真

左上側切歯の CT 所見より、唇側歯頸部骨頂から約 7.9mm の位置に切開線を設定し粘膜を剥離翻転し病変による骨裂開を確認した。

図 2-d



図 2-d 左上中切歯唇側面観口腔内写真  
骨裂開部から SG7D を挿入し骨面を一層研削し鋭匙にて搔爬を行う。

図 2-e



図 2-e 左：左中切歯唇側面観口腔内写真  
右：同チップ挿入時のデンタルX線写真  
根尖部にもチップの先端を当てて研削しデブライドメントを行う。

図 2-f



図 2-f 左上中切歯唇側面  
観口腔内写真  
ピエゾを使用することにより  
根尖部搔爬後の外科的侵襲が  
少ないため出血も少ない。

図 2-g



図 2-g 左上中切歯唇側面  
観口腔内写真  
根尖部搔爬後、骨欠損部に自  
己血多血漿版フィブリンを添  
入した。

図 2-h

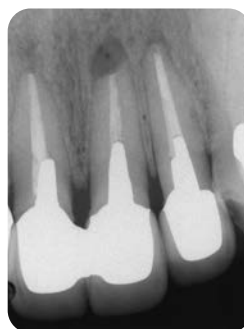


図 2-h 左上中切歯術後デン  
タルX線写真  
ピエゾを使用し安全に必要十分  
な病巣の除去を行った。

## 歯根端切除

### 術式のポイント

根尖周囲の病変は位置と病変の大きさによって上  
顎洞や下歯槽管に近接する場合があるが、当該部位  
の安全にデブライドメントするために SG7D を使用  
し歯根根尖病変部と骨面を一層研削する。

またキャビテーション効果で組織の研削と洗浄が  
同時に行える。

### 従来法と比較した場合のピエゾの優位性

歯根端切除術において従来の鋭匙のみを使用する  
と次の問題点（欠点）が考えられる。

| 鋭匙のみ使用                                       | ピエゾを併用                                   |
|----------------------------------------------|------------------------------------------|
| 嚢胞や根尖病変の搔爬が不<br>十分になる場合がある。                  | キャビテーション効果に<br>よって病変部搔爬と洗浄が<br>同時に行える。   |
| 下顎管や上顎洞に近接して<br>いる抜歯窩の場合搔爬が十<br>分に出来ない場合がある。 | 下歯槽神経や上顎洞を損傷<br>することなく病変部組織の<br>搔爬洗浄が可能。 |

## ルートリセクション

図 3-a



図 3-a 咬合時の違和感を主訴として来院した患者の  
初診時デンタルX線写真

左上 6 番頬側近心根の根尖に透過像が認められた。根  
管は遠心に向かって湾曲し、歯根長約 1/2 まで根充剤  
の不透過像が認められる。根充剤から根尖までは根管  
がレントゲン所見では認められず閉鎖していると判断  
し、感染根管治療は困難であると診断した。

図 3-b



P20-S、P25R-S、P25L-S

図 3-b 近心根抜根直後咬合面観写真

SG17を使用し、歯根分割を行い骨の鋭縁を整形する。つぎに SG7D にて上顎洞に近接している根尖病変部を注意深く除去し洗浄する。残存した歯根面と根分岐部はペリオ用チップ（P20-S、P25R-S、P25L-S）にてデブライドメントを行った。



図 3-c



図 3-c 近心根抜根12週後咬合面観写真

歯根面の切断面をペリオ用チップで滑沢にすることによって上皮の接合を促す。

図 3-d



図 3-d 近心根抜根後デンタルX線写真

近心根根尖部抜歯窩の上顎洞底線も明瞭に確認される。上顎洞への侵襲もなく病変の除去が確認された。

図 3-e



図 3-e 補綴物装着時咬合面観写真

フルメタルクラウンを装着。咬合時の違和感も解消された。

図 3-f



図 3-f 補綴物装着時デンタルX線写真

近心根根尖部抜歯窩の骨稜も明瞭である。

## ルートリセクション

### 術式のポイント

ルートリセクション時には残存歯槽骨の可及的温存と、歯根切断面の滑沢化が必要である。また歯根周囲に上顎洞や下歯槽管が存在する場合、損傷しない配慮が必要である。抜根を余儀なくされた歯根は、根分岐部病変や歯周組織炎に罹患している場合が多いため同時にデブライドメントも求められる。抜根と歯周靱帯の切断に SG17 を使用し、歯根と歯周靱帯を切断しルートチップの挿入を容易にする。

抜歯窩が上顎洞底や他の神経管等に近接する場合は、SG7D を注意深く弱圧にて使用し骨面を一層研削する。またキャビテーション効果によって抜歯窩内の研削と洗浄が同時にできる。歯根面はペリオ用チップ（P20-S、P25R-S、P25L-S）を使用し歯根表面を滑沢に仕上げ上皮の接合を促す。

### 従来法と比較した場合のピエゾの優位性

ルートリセクションにおいて従来のヘーベルとチゼル、バー、鋭匙のみを使用すると次の問題点（欠点）が考えられる。

| ヘーベル、チゼル、バー、鋭匙を使用                     | ピエゾを併用                                |
|---------------------------------------|---------------------------------------|
| 歯周靱帯の切断が不十分で、歯槽骨を挫減させやすい。             | 歯周靱帯の切断が容易になりヘーベルの挿入が容易になり歯槽骨を挫減しにくい。 |
| 嚢胞や根尖病変がある抜歯窩の搔爬が不十分になる場合がある。         | キャビテーション効果によって抜歯窩内の搔爬と洗浄が同時に行える。      |
| 下顎管や上顎洞に近接している抜歯窩の場合、搔爬が十分に出来ない場合がある。 | 下歯槽神経や上顎洞を損傷することなく抜歯窩の搔爬洗浄が可能。        |
| 歯根切断面の滑沢化に時間がかかる。                     | ペリオチップを使用して根面の滑沢化が効率的に行える。            |

# 矯正治療における上顎埋伏歯骨開窓

図 4-a



図 4-a 初診時口腔内写真

患者：14歳女性

主訴：歯並びを治したい。

診断：アングルⅡ級2類叢生

上顎左右乳歯Eは残存し上顎左右第2小臼歯は未萌出である。

図 4-b



図 4-b 初診時パノラマX線写真

上顎左右乳歯Eは残存し上顎左右第二小臼歯は歯冠を遠心に向け低位に埋伏している。左上第二大臼歯の歯胚は認められない。

図 4-c



図 4-c 矯正治療開始10ヶ月時のパノラマX線写真

左上乳歯Eは歯根が吸収し左上第二小臼歯の萌出傾向が認められるが、右上第二小臼歯の位置は初診時のパノラマX線写真と比較しても萌出傾向は認められない。

図 4-d



図 4-d 矯正治療開始12ヶ月口腔内写真

左上乳歯Eは自然脱落し左上第二小臼歯の歯冠の萌出が認められるが、右上乳歯Eは、まだ残存し右上第二小臼歯の萌出は認められない。

図 4-e



図 4-e 同上顎咬合面観写真

左上第二小臼歯は萌出したが、右上第二小臼歯は未萌出でパノラマエックス線写真においても顎骨内の位置に変化が認められなかったため、CTを撮影し診断を行った。

図 4-f

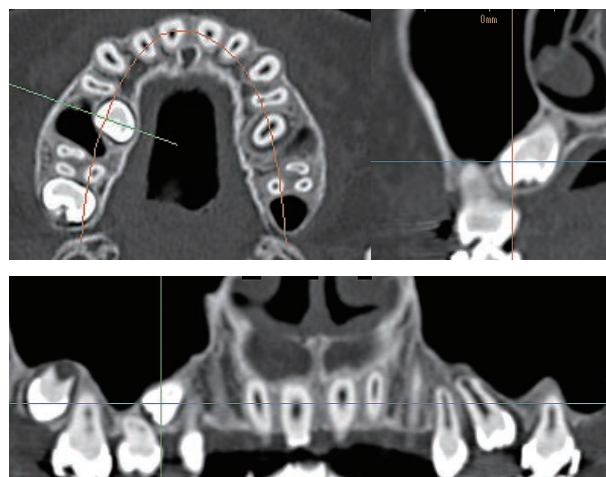


図 4-f CT画像 Axial. Coronal. Panoramic 像

CT画像 Axial. Coronal. Panoramic 像において右上第二小臼歯は歯冠部を遠心に向け口蓋側に埋伏しているのが認められた。同歯の頬側には上顎洞が近接しているため開窓時には注意が必要である。

図 4-g



図 4-g 右上乳歯 E 抜歯直後咬合面観口腔内写真  
右上乳歯 E の歯牙を被覆している頬側の骨は薄く脆弱であり上顎洞に近接しているため、SG17 を弱圧で使用し辺縁周囲骨を破壊しないように抜歯を行った。

図 4-h



図 4-h 右上乳歯 E 抜歯後 3 ヶ月咬合面観口腔内写真  
抜歯して 3 ヶ月経過観察を行った。  
上皮は成熟したが埋伏している第二小臼歯の萌出は認められない。

図 4-i



図 4-i 右上第二小臼歯粘膜剥離時、咬合面観口腔内写真  
右上乳歯 E を抜歯後、同部が上顎洞に近接しているため、上皮が成熟するのを待ち粘膜を剥離翻転した。頬側の皮質骨直下は上顎洞である。

図 4-j



図 4-j 右上第二小臼歯粘膜剥離時、咬合面観口腔内写真  
CT で確認した上顎洞底の位置を考慮して SG7D で被覆している骨を慎重に削合し歯冠部を露出しリングボタンを装着した。

図 4-k



図 4-k 右上第二小臼歯挺出開始 7 週経過時咬合面観口腔内写真  
歯冠方向を遠心頬側に向け挺出中である。  
頬側の歯槽部は脆弱で右上第二小臼歯は垂直的な動揺がある。

図 4-l



図 4-l 右上第二小臼歯挺出開始 14 週経過時咬合面観口腔内写真  
ブラケットを頬側に装着してローテーションを改善し正常な歯列の中に埋伏していた歯牙を参加させることができた。しかしまだ頬側の歯槽部は脆弱で右第二小臼歯は垂直的な動揺があるため慎重な経過観察を行った。

図 4-m



図 4-m 矯正治療開始 32 ヶ月経過時パノラマ X 線写真  
右上第二小臼歯根尖部の上顎洞線も明瞭に確認できる。同歯の骨植も改善しているが、左下第二大臼歯が左下第一大臼歯の遠心の干渉によって萌出が阻害され半埋伏になっているのが認められる。

図 4-n



図 4-n 左下第二大臼歯咬合面観写真  
歯冠の一部は認められるが半埋伏になっている。

図 4-o



図 4-o 左下第二大臼歯咬合面観写真  
軟組織は CO<sub>2</sub> レーザーにて切除し歯冠を露出させ、一部歯冠部遠心を覆っていた骨を SG7D で骨削合を行い、ブラケットとアップライトのためのワイヤーを装着した。

図 4-p



図 4-p アップライト開始 4 ヶ月経過時の左下第二大臼歯咬合面観写真  
遠心移動を伴ってほぼ歯冠は整直された。

図 4-q

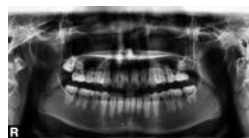


図 4-q 矯正治療終了時パノラマ X 線写真  
開窓し挺出した右上第二小臼歯（乳歯 E）とアップライトを行った左下第二大臼歯の位置が改善しているのが認められる。

図 4-r



図 4-r 矯正治療終了時口腔内写真  
埋伏していた右上第二小臼歯を、ピエゾを用いて安全に骨を開窓し機能的、審美的な歯列の中に配列することができた。

## 矯正治療における上顎埋伏歯骨開窓

### 術式のポイント

矯正治療時の晩期残存乳歯の抜歯は、抜歯時に出来るだけ歯槽骨にダメージを与えない配慮が必要である。歯周靱帯の切断は探針を使用するが骨植が良い場合には、SG17を用いて靱帯の切断を行い鉗子にて抜歯を行う。抜歯窩内の搔爬は行わない。

CTにて埋伏歯の位置、方向、上顎洞との位置を確認し開窓する部位を決定する。この症例では、埋伏歯の頬側に上顎洞が近接していたので歯槽頂から開窓した。また既に萌出している歯牙の歯根との位置も把握しておくことが重要である。

SD7G を使い埋伏歯を被覆している骨を少しずつ筆で絵を描くように研いで削合し、上顎洞粘膜を傷つけないように歯冠部にブラケットを装着できるスペースを獲得する。

挺出後も周囲の歯周組織が成熟し歯牙の垂直的な揺動が無くなるまで矯正装置は外さない。必要に応じて X 線写真で上顎洞底線の確認を行う。

## 従来法と比較した場合のピエゾの優位性

上顎埋伏歯骨開窓において従来の回転切削バーを使用すると次の問題点（欠点）が考えられる。

| 回転切削バー使用                      | ピエゾを使用                         |
|-------------------------------|--------------------------------|
| 上顎洞粘膜に接した場合、上顎洞粘膜が裂開する可能性が高い。 | 軽く触れた程度では上顎洞粘膜は裂開しない。          |
| 埋伏歯に接した場合、歯冠表面を傷つけ易い。         | 歯冠に触れても傷つけないので、歯冠周囲の骨を十分削合できる。 |
| 外科的な侵襲が多い。                    | 外科的侵襲が少ない。                     |

## キャビテーション効果による洗浄後の GBR

図 5-a

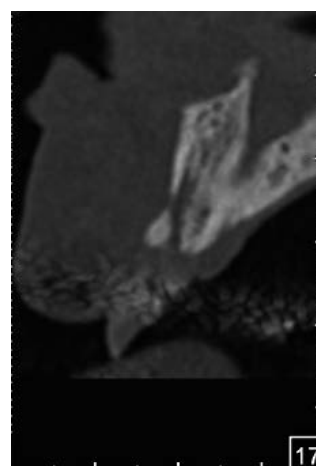


図 5-a 術前右上中切歯 CT 画像 Cross Sectional 像  
右上中切歯根尖部頬側に皮質骨を貫通し上皮に達する骨透過像が認められる。歯牙が残存していた時の根尖性歯周組織炎による骨吸収像であると考えられる。

図 5-b



図 5-b 術中右上中切歯頬側口腔内写真

右上中切歯歯槽頂の抜歯窩から SG7D を挿入した根尖骨裂開部にチップの先端が認められる。手用の鋭匙では狭い骨内のデブライドメントが不十分となるため SG7D を抜歯窩から挿入し骨面を研削する。欠損基底から近遠心、頬舌側全ての残存骨面を一層骨削合を行うと同時にキャビテーション効果によって欠損骨内の洗浄が達成される。

図 5-c

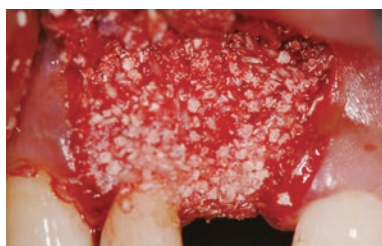


図 5-c 術中右上中切歯頬側口腔内写真  
骨移植材を骨欠損部に填入し、水平的、垂直的な骨造成を意図した。

図 5-d



図 5-d 術中右上中切歯頬側口腔内写真  
インプラント植立時骨量の不足が認められた。

図 5-e



図 5-e 術中右上中切歯頬側口腔内写真  
インプラント植立時、骨量の不足が認められたので  
タンメンブレンを用い追加の GBR を行った。

図 5-f



図 5-f 術中右上中切歯頬側口腔内写真  
減張切開を行って創面を縫合したのち、CO<sub>2</sub>レーザー  
を使用し上唇小帯の切除を行った。

図 5-g



図 5-g 術前デンタルX線写真  
術前は垂直的に高度の骨吸収が  
認められる。

図 5-h

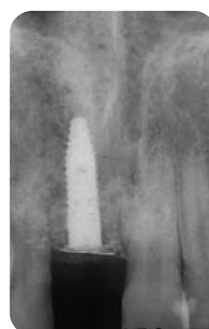


図 5-h インプラント植立時デ  
ンタルX線写真  
インプラントの周囲に十分な骨量  
の骨移植材の不透過像が認められ  
る。

## キャビテーション効果による洗浄後の GBR 術式のポイント

GBR を予定する部位は不良肉芽や感染物質がないことが必須であるため、組織のデブライドメントが必要となる。しかし解剖学的な制約がある場合が多く鋭匙やバーが骨の全面に接することが出来ない場合、SG7D を使用し骨面を一層研削することによりキャビテーション効果で当該組織の研削と洗浄が同時に行える。

## 従来法と比較した場合のピエゾの優位性

キャビテーション効果による洗浄後の GBR において従来の鋭匙とバーのみを使用すると次の問題点（欠点）が考えられる。

| 鋭匙とバーのみ使用                             | ピエゾを併用                           |
|---------------------------------------|----------------------------------|
| 嚢胞や根尖病変がある抜歯窩の搔爬が不十分になる場合がある。         | キャビテーション効果によって抜歯窩内の搔爬と洗浄が同時に行える。 |
| 下顎管や上顎洞に近接している抜歯窩の場合、搔爬が十分に出来ない場合がある。 | 下歯槽神経や上顎洞を損傷することなく抜歯窩の搔爬洗浄が可能。   |

## インプラント窩起始点の形成

図 6-a



図 6-a 初診時左下臼歯部咬合面観口腔内写真  
頬側の骨吸収により歯槽頂部は細くなっているのが認められる。

図 6-b

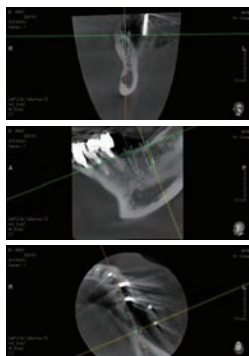


図 6-b CT サージカルステント装着時シミュレーション像  
CT コロナル画像から舌側の舌下腺窩の陥凹が大きく認められるのでインプラント植立方向に注意が必要である。

図 6-c

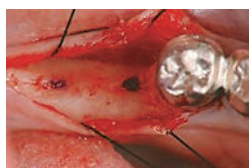


図 6-c 左下第一第二大臼歯粘膜剥離時咬合面観写真  
インプラント窩形成の起始点をマークする。

図 6-d

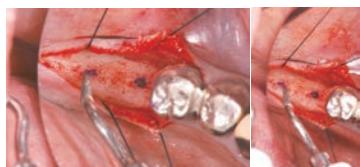


図 6-d 左下第一第二大臼歯粘膜剥離時咬合面観写真  
SG15A を使いインプラント窩形成の起始点を形成する。9-d 図左写真はマークの遠心に 9-d 図右写真は近心にチップの先端を位置させているが傾斜のある骨頂部でも微妙な起始点位置の調整が容易に行える。

図 6-e



図 6-e 左下第一第二大臼歯インプラント植立時咬合面観写真  
SG15A を起始点の形成に使い、その後所定のドリルでインプラント窩を形成しインプラントを埋入した。

図 6-f

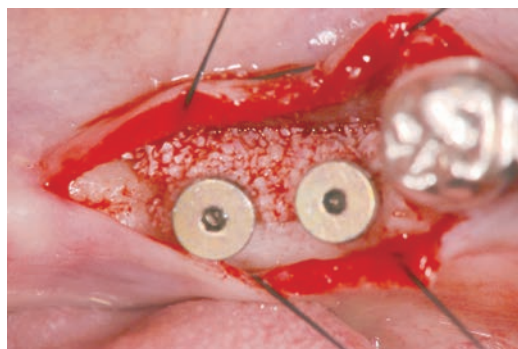


図 6-f

左下第一第二大臼歯インプラント植立時咬合面観写真  
頬側の骨量が不足していたためドリリング時に採取した自家骨と移植骨を不足部位に設置し GBR を行った。

図 6-g

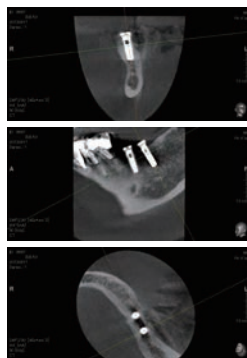


図 6-g 左下第一第二大臼歯インプラント植立時術後 CT 像  
左下第二大臼歯部のインプラントの植立方向は SG15A を使用してシミュレーション通り植立できた。

## インプラント窩起始点の形成

### 術式のポイント

歯槽頂に強い傾斜がある時や狭小な歯槽骨の場合、インプラント窩形成時の起始点の形成が不安定になるが、最初に SG15A を使用すると容易に起始点が形成でき、その後のドリリング操作が的確に行え、また位置の修正も確実に行える。

### 従来法と比較した場合のピエゾの優位性

インプラント窩起始点の形成において従来のバーのみを使用すると次の問題点（欠点）が考えられる。

| バーのみ使用                         | ピエゾを使用                        |
|--------------------------------|-------------------------------|
| 歯槽頂に強い傾斜がある時や狭小な歯槽骨の場合バーが滑り易い。 | インプラント形成窩の起始点の形成が滑りにくく的確に行える。 |
| 位置の修正に熟練を要する。                  | 位置の修正が容易に行える。                 |

最後にソケットリフトにピエゾを用いた症例を供覧する。

**I 目的：**上顎臼歯部のインプラント治療で上顎洞底までの垂直的骨量が不足の場合、サイナスリフトを行う。明視野で行われるラテラルウインドウテクニックに比較して、ソケットリフトによるサイナスリフトは盲目的に行われるためシュナイダー膜の穿孔の可能性も大きく、上顎洞底までの残存骨量が少ない場合ソケットリフトの非適応症となる場合がある。そこで今回ソケットリフトにオステオトームとピエゾエレクトリックデバイスを併用して良好な結果を得たので報告する。

**II 症例の概要：**患者は56歳女性、右側臼歯部の咀嚼障害を主訴に来院した。2004年10月に右下6、7にPOIインプラント直径3.7mm×10mm、直径4.2mm×10mmの2本のインプラントを埋入した。右上7、6は保存不能のため抜歯しを行った。2005年4月に上部構造を装着し、上顎にパーシャルデンチャーを装着し治療を終了した。その後良好に経過観察を行っていたが2008年1月に患者が右上上顎もインプラント補綴を行って欲しいと希望したためCTを撮影しインプラントを埋入した。隔壁が存在したため歯槽頂アプローチによるオステオトームテクニックとピエゾエレクトリックデバイスを併用することとした。サイナスリフトと同時にPOIインプラント直径4.2mm×10mmを2本埋入した。右上7は上顎洞底まで3.1mmであった。そこで初期固定を確実にするためチタンメンブレンとスクリューピンで固定した。2008年6月上旬部構造を装着しX線写真および口腔内写真を撮影後、治療終了とした。

**III 経過：**2011年10月（3年4ヶ月後）口腔内異常所見は確認されず、X線写真においても顕著な骨吸収やインプラント周囲炎は観察されず、経過は良好である。

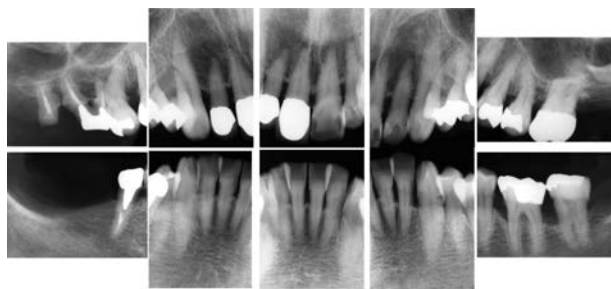
**IV 考察および結論：**ソケットリフトにオステオトームテクニックとピエゾエレクトリックデバイスを併用することによりシュナイダー膜穿孔の危険性が減少すると思われる。上顎洞底までの骨量が少な

い場合は、チタンメンブレンとスクリューピンによるインプラント体の固定が上顎洞への迷入の予防に効果的であることが示唆された。



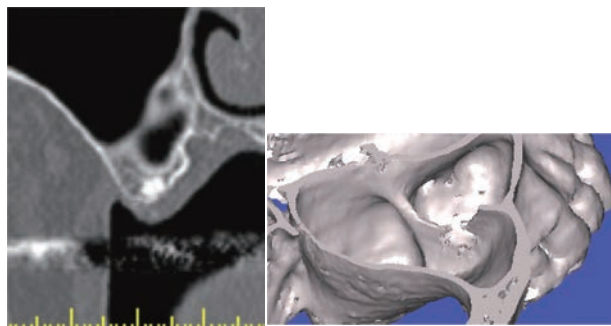
初診時口腔内写真

全顎的に不適合な補綴物と清掃不良による二次カリエスが認められる。

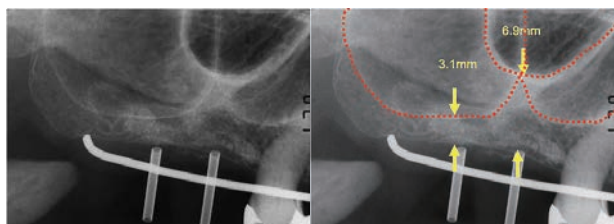


初診時デンタルX線写真

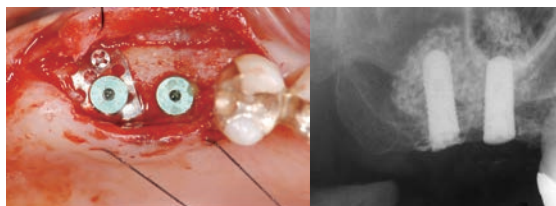
全顎的に歯肉縁下歯石と歯槽骨の吸収が認められる。右上6、7は保存不能と診断した。



CTコロナル像にて隔壁が確認された。3D合成画像においても隔壁が確認された。



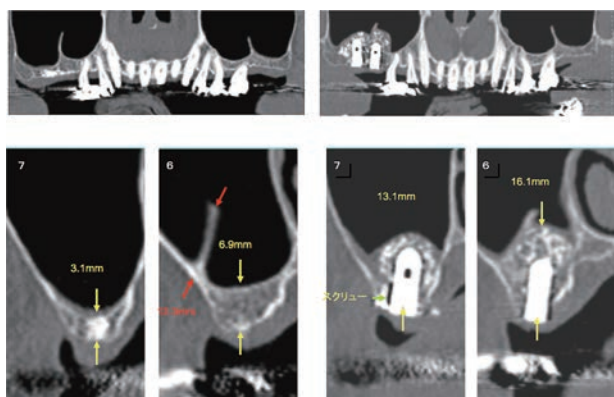
術前デンタルX線画像 ステントを装着し上顎洞との位置を確認した。



左図 インプラント埋入時の口腔内写真

右上7番は上顎洞底までの距離が3.1mmであったので、初期固定を確実にするためにチタンメンブレンとスクリーピンを使用した。

右図 インプラント埋入時のデンタルX線写真  
インプラント周囲に垂直的に十分な移植骨が認められる。



左上図 術前CTパノラミック像 右上6、7間に隔壁が認められる。

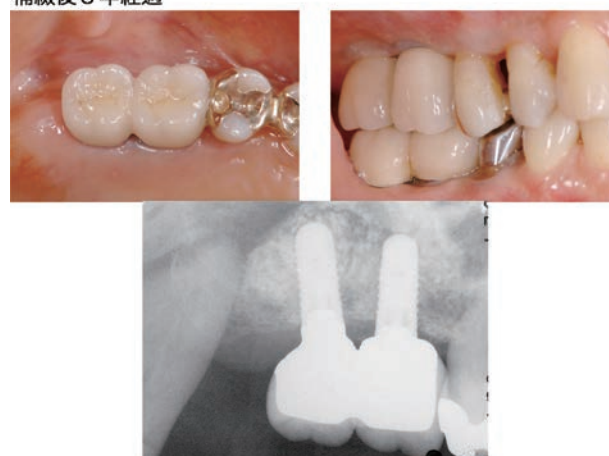
右上図 術後CTパノラミック像 右上6、7インプラント周囲に垂直的に十分な移植骨が認められる。

左下図 術前CTコロナル像 右上6番部位は歯槽頂から上顎洞まで6.9mm、右上6番部位歯槽頂から上顎洞まで13.1mmであった。

右下図 術後CTコロナル像 右上6番部位は歯槽

頂から上顎洞まで16.1mm、右上6番部位歯槽頂から上顎洞まで16.1mmであった。

#### 補綴後3年経過



左上図 補綴物装着後3年経過時の口腔内写真咬合面観

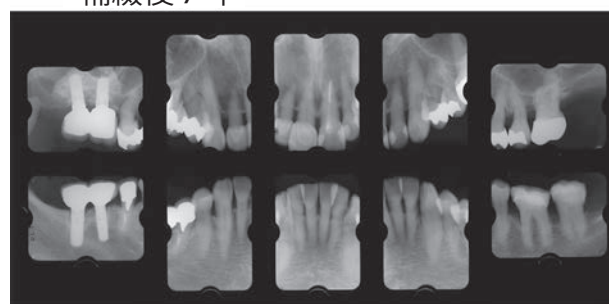
右上図 補綴物装着後3年経過時の口腔内写真側面観

インプラント周囲粘膜の炎症所見は認められなかった。

下中央図 補綴物装着後3年経過時のデンタルX線写真

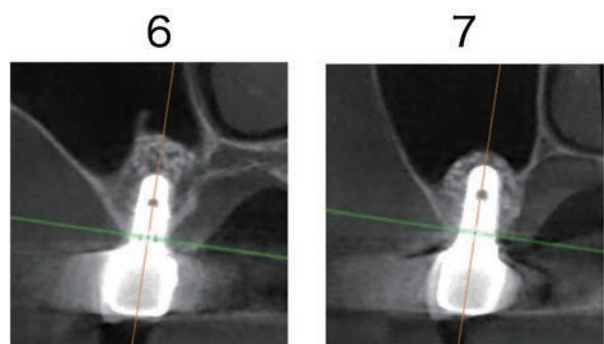
インプラント周囲の骨吸収像も認められなかった。

#### 補綴後7年



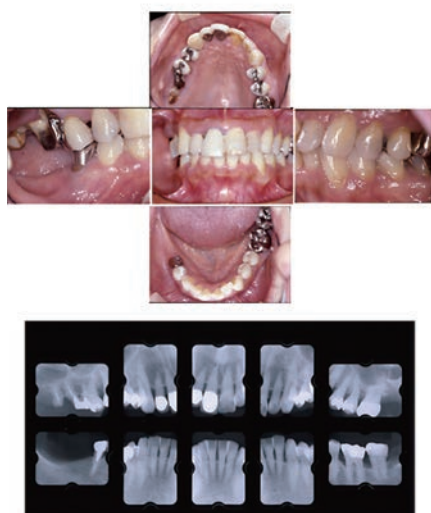
右上補綴後7年経過、右下6、7補綴後11年経過した。歯周組織の状態も良好で、歯槽硬線も明瞭に認められる。

補綴後7年 CT Coronal 像



補綴後7年経過したがインプラント周囲の造成した骨量は垂直的水平的に十分維持されているのが認められる

## 術前



術前口腔内写真とデンタル10枚法

## 補綴後7年



補綴後7年経過時の口腔内写真とデンタル10枚法

術後セルフケアとメンテナンスも継続し良好な口腔内環境を維持できている。

**IV 考察および結論：**ソケットリフトにオステオトームテクニックと Piezoelectric device を併用することによりシュナイダー膜穿孔の危険性が減少すると思われる。上顎洞底までの骨量が少ない場合は、チタンメンブレンとスクリューピンによるインプラント体の固定が上顎洞への迷入の予防に効果的であることが示唆された。

## 総括

日常臨床に CT による診断とピエゾ (Piezo-electric device) を導入することにより、

1. 軟組織への低侵襲
2. 上顎洞粘膜穿孔の危険性の軽減
3. 術中の出血が少なく視野の確保が容易
4. 外科的侵襲の軽減

等の利点を得られるが今後も知識と技術の研鑽を継続し、より治療安全の向上を目指したい。

## 参考文献

日本口腔インプラント学会誌 第25巻第3号68-512  
21・ソケットリフトにピエゾエレクトリックデバイスを用いた1症例  
福歯大・咬合修復・口腔インプラント：馬場正英，木山洋，金成雅彦，矢野尚一，城戸寛史

ピエゾのすすめ：糸瀬正通，島田昌明，山道信之，馬場正英，林美穂，吉浦由貴子，吉田博志，渡辺昌孝  
クインテッセンス出版株式会社

香月武（監著），一柳あゆみ，岩本憲一（著），負担の少ないインプラント治療／オーラルサージェリーのため超音波装置バリオサージ，クインテッセンス出版株式会社

Wallace SS, Mazor Z, Froum SJ, Cho SC, Tarnow DP. Schnaiderian membrane perforation rate during sinus elevation using piezo Surgery : clinical results of 100consecutive cases. Int. J Periodontics Restorative Dent 2007. 27(5) : 413-419

## 第23回日本歯科医学会総会・第69回九州歯科医学大会 福岡歯科大学同窓会懇親会



福岡歯科大学同窓会  
福岡県地区会  
会長 中 四良（5期）



### ●第23回日本歯科医学会総会報告

#### ・第69回九州歯科医学大会

平成28年10月21日（金）、福岡国際会議場と福岡サンパレスで第23回日本歯科医学会総会が総会史上初、九州福岡で開催された。本大会は4年に一度、歯科医学・歯科医療の最新知見・技術が一斉に披露されるもので水田祥代理事長が第23回日本歯科医学会総会の会頭を務められ、我母校が主幹校となり開催された。10月21日から23日の3日間、「歯科医療未来と夢」をメインテーマに、全国から約9,200名（公開フォーラム、市民イベントを除く）を超える歯科医師、歯科衛生士、歯科技工士、学生等が参加した。

開会講演では、山中伸弥京都大学 iPS 細胞研究所所長（教授）が「iPS 細胞研究の現状と医療応用に

向けた取り組み」と題して講演し、冒頭で山中教授が医師になるきっかけは父親から勧められたこととその父親が肝炎で亡くなったことを述べられ、その当時の医学のレベルでは対



山中伸弥教授と水田祥代会頭

処できなかったことの無念さから現在の私があることを淡々と述べられた。iPS 細胞の発見は私一人での業績ではなく奈良先端科学技術大学院大学遺伝子教育研究センター時代の3人の先生方の協力があったこと、現在の研究所でも50人余りの人たちが集まり研究を進めていることを紹介された。そして、現研究所の研究費以外にスタッフの人件費や維持費で年間3億円必要であることを明かされ、そのために市民マラソン等に出場され寄付を頂いていることを漏らされた。最後に、iPS 細胞は再生医療に注目を集めているが、創薬にも応用が期待されていることを紹介された。

次に、向井千秋東京理科大学特任副学長が、「宇宙飛行から学んだこと—有人宇宙探査と歯科医学への期待—」と題して講演し、心臓外科医から宇宙飛行士になったのは、「当たり前のことと認識していることを当たり前ではないことであると認識したい」という考えから、重力化の状態から無重力の状



第23回日本歯科医学会総会開会式

態になった時の体の変化を知りたいことから始まったと述べられた。宇宙飛行すると健康な人でも心臓・血管系変調、前庭系変調、骨の脆弱化、筋肉量減少、免疫能低下、睡眠障害、自律神経失調など病気や老化現象と同様の症状があらわれる。これらの原因を解明し、治療や予防に役立てることができると紹介された。



向井千秋東京理科大学特任副学長

そして、午後4時30分から九大フィルハーモニー・オーケストラによるオープニング演奏が行われた後、水田祥代会頭の「輝いて美しく～女性医療人へのエール～」と題して会頭講演が行われた。国を始め、社会的全体として女性医療人の離職を防ぐための環境整備への関心が高まっているが、支援する側とされる側の想いに「ずれ」があることと、環境整備だけが支援ではなく女性医療人本人が意思決定の場に参加することであると説かれた。また、職場では女性に対して評価や



会頭講演

チャンスのフェアを願うとともに育児や就業支援制度設定のみをエンドポイントとして満足するのではなく、自らが意思決定の場に躊躇することなく参加してほしいのと育児が終わったらまた医療人として人生を全うしてほしいとエールを述べられた。

一般市民を対象とした企画は、公開フォーラム「口から食べて豊かな人生」や、体験的イベント「お口と身体の健康フェスティバル～豊かな人生を歩むために～」を実施した。

日歯プログラムでは、「口から食べるということの意味～地域包括ケアにおける歯科の役割」「日本のスポーツ振興と歯科医学・歯科医療～2020年東京

オリンピックに向けて～」と題して講演・討論が行われた。また、併催した日本デンタルショー2016福岡（主催：日本歯科工商協会）では出展企業各社による最新・最先端の歯科医療機器の展示とともに、セミナーも連日開催された。

最後に、福岡学園前理事長の故田中健藏先生が、第23回日本歯科医学会総会を福岡で開催される運びをつくられたことを称えとともに水田祥代会頭をはじめとするスタッフ一同に第23回日本歯科医学会総会を盛会のうちにやり遂げられたことを心からお祝い申し上げます。

## ●第69回九州歯科医学大会福岡歯科大学同窓会懇親会

平成28年10月22日  
(土) 午後6時30分  
から、西鉄グランド  
ホテル2Fプレジールで第23回日本歯科医学会総会並びに第69回九州歯科医学大会福岡歯科大学同窓



長谷福岡県歯科医師会長

会懇親会が無事にそして盛会に執り行えることができましたことに皆様へ厚く感謝申し上げます。

本来は九州歯科医学大会に伴う懇親会でしたが、水田祥代理事長が第23回日本歯科医学会総会の会頭を務められ、我母校が主管校となり開催されましたので、全国同窓生へお声かけしましたところ、お陰様で来賓者74名、同窓生426名、懇親会実行委員会55名、総数555名の出席者になりました。盛会にで



宮口同窓会長、水田学園理事長、比嘉衆議院議員



福岡歯科大学グリークラブによる校歌斉唱

きたのは、1年前から秋山達也（7期生）懇親会実行委員長をもとに取り組み、小河清裕（8期生）会場設営担当が指揮をとり、特に16期から34期の若い世代の同窓生のご尽力のおかげです。この尊いご尽力に改めて感謝申し上げます。

また、水田祥代理事長をはじめ石川博之学長、栢豪洋医療短期大学長（歯周病学名誉教授）、成瀬悟薬理学名誉教授、羽生哲也補綴学名誉教授、佐藤敦子解剖学元教授にもご臨席賜りました。第69回九州歯科医学大会大会長の長谷宏一福岡県歯科医師会会長の祝辞、佐賀県歯科医師会会長の寺尾隆治先生（1期生）と大分県歯科医師会会長の長尾博通先生（1期生）の挨拶、そして国会審議中の中を衆議院議員比嘉奈津美先生（8期生）にもご臨席賜りました。比嘉奈津美先生は今年8月に環境大臣政務官に就任されました。この懇親会で比嘉先生の環境政務

官のご披露とお祝いそして所信のお言葉が聞けたのは幸いでした。そして、宮口巖同窓会会長（1期生）の軽妙でエスプリの利いたお言葉は水田理事長と比嘉先生のトークを際立させ会場を和やかにさせました。また、佐賀大学医学部臓器情報講座に平成27年4月に教授就任された長尾由実子先生（11期）を女性で初めての同窓の教授として紹介させて頂きました。

なお、会場に設置していたスクリーンの映像は、山口県同窓会会長の佐々木猛先生（1期生）が、ご多忙にも係らず、この祝賀会の為に学園のDVDを編集していただいたものです。お陰様で大変好評でした。この場を借りまして心より感謝申し上げます。

最後に、福岡学園前理事長の故田中健藏先生の遺された言葉「母校が誇れる大学にしましょう」を祈念し、第23回日本歯科医学会総会並びに第69回九州歯科医学大会に伴う福岡歯科大学同窓会懇親会開催報告と御礼といたします。

誠にありがとうございました。



佐賀大学医学部臓器情報講座教授  
長尾由実子先生（11期）



ジンメイプロジェクト演奏



祝いめでた

## 第69回九州歯科医学大会 in 福岡 福岡歯科大学同窓会懇親会



福岡県地区同窓会懇親会実行委員会  
委員長 秋山 達也（7期）



平成28年10月22日(土)に、西鉄グランドホテルにおいて第69回九州歯科医学大会に伴う恒例の同窓会懇親会が開催されました。前日から3日間、福岡歯科大学主幹（水田祥代会頭）で、第23回日本歯科医学会総会と日本デンタルショー併催行事が福岡市内で開催されましたので、今回は全国から同窓生の参加者を募りました。

宮口厳同窓会会長をはじめ、総勢470名を超える多くの同窓の先生方にご出席いただきました。ありがとうございました。

当日は、分刻みのタイムスケジュールの公務で多忙の中、水田祥代理事長、石川博之学長をはじめ多くの関係者の先生方もご列席いただき心より感謝申し上げます。

皆さんが学生時代を過ごした良き思い出の詰まった福岡で、地元ならではのこだわりや癒し、そしておもてなしはもちろんのこと自分たちとともに楽しんでもらおうと企画しました。

福岡ならではの催しで、学内同窓生によるグリークラブの合唱、升井先生の所属するジンメイプロジェクトの演奏、地元祭りに活躍されている小倉祇園太鼓、村岡先生をはじめとした山笠博多手一本締め、佐々木先生から作成していただいたメモリアル

DVD 上映、水谷先生の司会での抽選会と盛り上げていただきました。

ここまで、7期生で福岡県南地区出身の私は大会実行委員長という大役が務まるのか？自問自答の繰り返しでした。九地連懇親会開催はまさしく窮地に立たされた思いでした。

しかし準備を始めてこの1年間は感謝の気持ちを忘れることはありませんでした。諸先輩方からのアドバイス、同期生からの支援、そして頼もしい後輩たちに恵まれ、素晴らしいわが同窓生だと思いました。そして遠方からも多くの出席をいただきまして改めましてありがたく思いました。

皆様に母校愛を再認識していただくというコンセプトで始めた懇親会でしたが、実は自分が一番強く感じたのかもしれない。若い先生方への継承を望みます。

来年度の九地連懇親会は、10月14日に大分県での開催が予定されています。多くの同窓生の皆さんで参加をしてまた楽しみましょう。

最後に今回の実行委員として協力頂いた福岡県内の同窓会の先生方へ深く感謝致します。

皆様から良き思い出と人の温かさという財産を頂きました。



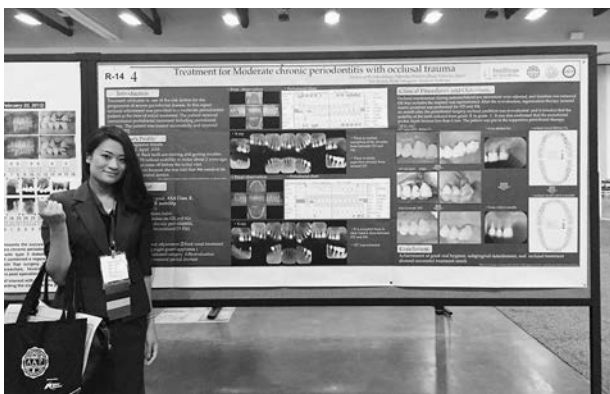
実行委員会受付の先生方

# 「American Academy of Periodontology (アメリカ歯周病学会) での発表を終えて」



口腔治療学講座  
歯周病学分野  
医員 駒井 悠里 (35期)

私は、平成24年3月に福岡歯科大学を卒業し現在は口腔治療学講座歯周病学分野に医員として在籍させて頂いております。今回、平成28年9月10日から13日までの4日間、アメリカ合衆国のサンディエゴで開催されたアメリカ歯周病学会に参加し、臨床ポスター発表に挑戦しました。初めての国際学会に参加することができ、私にとってとても貴重な経験となりましたので、その経験と感想をご報告させていただきます。サンディエゴという町は、メキシコ国境に近接したアメリカ西海岸の南方にあるリゾート地でした。昼間はカラッと晴れ、とても温暖ですが夜間になると肌寒く感じる、そんな気候でした。年間を通して雨が少なく、とても過ごしやすい地域のように感じました。学会会場である、サンディエゴコンベンションセンター付近はとても大きな繁華街であり、夜になると様々な国籍の若者が集まる、にぎやかな街でした。観光地としては、ミッドウエー博物館やアメリカ有数のリゾート海岸を持つコロナド



ポスター発表会場にて



島、東京ドーム8個分の大きさとも言われるサンディエゴ動物園など、たくさんの魅力のある大きな都市でした。

今回、私は臨床ポスター発表で「Treatment for moderate chronic Periodontitis with occlusal trauma」という演題で発表させて頂きました。この発表は、インプラントの対合となる中等度慢性歯周炎の患者さんに対して再生療法を行ったケースの予後を報告させて頂いたものです。今回の私の発表に対しての質疑応答はありませんでした。ポスター会場には、世界各国から発表者が集い、活発に討論していました。今回の学会の中で一番心に残ったことは、学会2日目の夜に開催された懇談会「Samurai night」でした。世界各国から集まる著名な先生方の中に四百名以上の日本人歯科医の先生方が参加されており、皆さん流暢な英語で歯科治療における最先端な知識、技術、材料などについて討論されていました。日本人の先生方の歯科治療に対する意識の高さを痛感しました。私も将来、最先端を追い求める向上心を忘れない、前向きな歯科医師となれる様、より頑張らなければと心が引き締められました。アメリカの歯科治療は、日本と比較して自費治療が多く、より専門性が重視されるように感じました。今後、日本の歯科業会もアメリカ同様、専門性の高い歯科医師を必要とする可能性は大いにあると思います。今回の学会での刺激は、歯周病科専門

医という目標をより強く意識させるものであったと感じました。

最後になりましたが、この臨床ポスター発表を行うにあたり何度も添削して下さいました教授、治療方針、治療途中全てにおいてご助言頂きました准教授をはじめとする医局の先生方、渡米に際し御援助頂きました同窓会会長先生をはじめとする福岡歯科大学同窓会に心から御礼申し上げます。今回のこの貴重な経験は、周囲の方々の支えとご援助があってこそのものであった事に深く感謝し、今後の臨床の場面において、より一層励んでいきたいと思いました。



会場にて参加者一同と

### 福岡歯科大学学内同窓会・学術振興事業の実施について

本事業は、福岡歯科大学学内同窓会に属する正会員、準会員を対象とする学術および研究活動を支援するものです。同窓会年会費を滞りなく納めている者が対象です。

対象項目

- 1) 研究助成金（学内同窓会正会員の研究を対象とする）
- 2) 研究奨励賞（学内同窓会正会員の論文を対象とする）
- 3) 旅費援助金（国内外で開催される国際学会の発表に対する旅費の援助）
- 4) 留学援助金（外国・国内留学への援助金）

この4つの事業により成り立っており、同窓会特別委員会により管理運営されています。平成28年1月から援助金の見直しを行い、海外留学に対して増額いたしました。同窓会で集められた大切なお金が、留学・国際学会での発表のために使われた事は、大変名誉な事です。これも一重に、同窓会員の皆様のご理解と宮口同窓会長の采配の賜物と感謝しております。これからも、本事業にご理解の上、ご支援をお願い致します。本事業の申請については、同窓会本部事務局へお尋ね下さい。

#### 福岡歯科大学同窓会・学術振興事業内訳

| 事業名   | 対 象 者              | 金 額                                                      | 申 請 書 類                       | 備 考                                   |
|-------|--------------------|----------------------------------------------------------|-------------------------------|---------------------------------------|
| 研究助成金 | 同窓会学内支部に属する正会員     | 50万円を上限とする。                                              | 様式1、様式2<br>推薦状                | 大学経理、推薦者を経て、申請者の研究費となる。               |
| 研究奨励賞 | 同窓会学内支部に属する正会員     | 3万円                                                      | 様式1、様式3<br>推薦状、別刷2部           | 本賞金は同窓会総会等において同窓会長が賞状と共に授与し、2名を限度とする。 |
| 旅費援助金 | 同窓会学内支部に属する正会員、準会員 | 正会員 国内 5万円<br>海外 10万円<br>準会員 国内 3万円<br>海外 5万円<br>を上限とする。 | 様式1、様式4<br>発表演題の受領を証明する書類を添付  | 国際学会を対象とし、原則として正規の旅費以内で援助限度額以内とする。    |
| 留学援助金 | 同窓会学内支部に属する正会員     | 国内 10万円<br>海外 30万円                                       | 様式1、様式5<br>留学先の受け入れを証明する書類を添付 |                                       |

\*平成28年1月1日より施行する。

## American Academy of Periodontology 102nd Annual Meeting



口腔治療学講座  
歯周病学分野  
大学院 有田 晴一 (35期)

私は、平成24年3月に福岡歯科大学を卒業し、現在は口腔治療学講座歯周病学分野に在籍しております。研修医過程を経てから大学院へ進み、細胞分子生物学講座分子機能制御学分野にて研究をしています。

今回、平成28年9月10日から13日までの4日間、アメリカ合衆国のサンディエゴで開催された第102回アメリカ歯周病学会共催日本歯周病学会・日本臨床歯周病学会2016年大会に同窓会学術振興事業制度



Gaslamp Quarter

の援助をいただき参加させていただきました。初めて国際学会で発表し、貴重な経験となりましたので、ご報告させていただきます。

サンディエゴは西海岸有数の世界都市でありメキシコとの国境近くに位置しています。年間を通じて温暖な気候であり、夜間こそ肌寒かったものの、南国の雰囲気が漂う海沿いの街でした。また、この土地はグアダルペ・イダルゴ条約によりメキシコからアメリカへ譲渡された背景があり、メキシコ文化にも強く触れることができます。一方繁華街であるガスランプクォーターに行くと、そのクラシカルな通りに心が躍るようなバーやレストランを中心とした飲食店がずらりと並び、夜中まで現地の方や観光客などで賑わっていました。気候やその景観、フレンドリーな人々など、サンディエゴが人を魅了してやまない理由がすぐにはわかりました。

今回は「Fundamental research on the mechanism underlying cornification in oral mucosa」という演題でポスター発表させていただきました。歯周病学の観点から歯牙周囲の角化歯肉の重要性に着目し、咀嚼粘膜の角化メカニズムを解明することを目指した研究になります。以前国内の学会の時にディスカッションさせていただいた先生と再会し、角化歯肉について日頃の臨床を織り交ぜながらお話をすることができました。このような出会いも学会ならではの時間となりました。またボス



会場にて坂上教授と



ター発表演題に多くの歯周組織再生についての基礎研究があり、幹細胞や成長因子を使用した新たな再生治療の可能性が報告されていました。日進月歩する研究の発表内容に刺激を受け、私自身も研究、臨床に邁進する意欲が湧きました。General session も数多くあり、その中でアメリカにおける歯周病罹患率の推移や地域差などについて説明され、歯周病罹患率の低下を図るために2030年を目標にデンタルフロスを普及する活動が行われていることを知りました。2014年時点の普及率は、アメリカで約60%なのに対し、日本は約20%であり、デンタルIQが高いとは言えない日本においていかに動機付けを行いプラークコントロールの改善をしていくか多くの課題を感じました。一方で、3D プリンターを用いた再生治療の可能性などの session もあり、予防や治療の考え方について多くの新しい知識を得ることができました。その他、インプラント治療が天然歯を

守るために効果的に使用できることから、インプラントの session も数多く聴くことができました。規模が大きく、全てを吸収するには時間が足りなく感じるほどでした。

初めての国際学会参加の地がサンディエゴとなり、この地の太陽や空気を肌で感じながら過ごせた有意義な数日間は忘れられないものとなりました。是非もう一度訪れたい場所の一つです。

最後に、発表の機会を与えてくださいました坂上竜資教授、吉永准教授、研究を親身にご指導していただいております山崎純教授をはじめとする分子機能制御学分野の八田准教授、内田講師、常日頃よりサポートしていただいている医局の先生方に感謝申し上げます。また、同窓会学術振興事業制度の援助によりこのような発表ができましたことを厚く御礼申し上げます。



懇親会にて参加者一同と



## 熊本地震の報告と支援へのお礼



熊本県同窓会  
大阿蘇会

会長 川寄 俊明（1期）

去る4月14日21時26分と4月16日未明の2度にわたり、震度7の地震が熊本地方で発生しました。その後も4,000回以上の余震を記録しており、現在でも頻度は少なくなりましたが余震と思われる揺れは時々続いています。

今回の地震の被害は、熊本市内と熊本市東方の益城町・西原村・南阿蘇村等に及んでいます。これらの地域では建造物の損壊などの被害は甚大ですが、地震の規模から考えると人的被害は少ない方で、半年後の集計では、家屋の崩壊などによる直接死された方が50人、その後の震災関連死と認定された方が60人、合計110人となっています。これは一回目の地震で多数が自宅を離れ避難していた事と、本震の発生時刻が深夜であったことが考えられます。

同窓会熊本支部会会員で被災したのは、被害の大小の差はありますが50名の会員に及んでいました。被害の実態は大きなところでは診療所の立て直しが必要なところが一件、その他は機器の買い替えや建



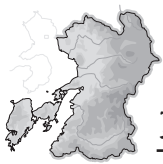
物の補修が必要なところが数十件でした。

本震後の街の様子は路上にガラスやビルの外壁等が崩れて、いたるところに道路の陥没や、橋の継ぎ目に段差ができていました。私の診療所の中は見るも無残にいろんな物が散乱しており、足の踏み場もない状況でこの先どうなるか想像も出来ないほどでした。

今回の震災で改めて感じたのは、人の温かさでした。直後から県内はもとより、全国の同窓生から温かい励ましと支援の申し出を頂きました。中には毎日のように福岡から支援物資を自ら届けていただいた同窓生もおられます。そして、同窓会本部からは多額の義援金を頂戴し心より感謝申し上げます。

まだまだ、震災以前の状態に回復したわけではありませんが、皆様のご支援に応えるべく一同力を合わせて頑張っています。今後とも宜しく願い申し上げます。





## 福歯大同窓会が私の誇り



同窓会理事  
(熊本県同窓会副会長)  
**吉永 修** (4期)

2016年4月14日21時26分、M6.5、震度7の地震が熊本に発生し、その28時間後の4月16日1時25分にもM7.3、震度7の本震が再び発生しました。熊本県民にとって「まさか」という出来事が2度起こったのです。私たちは台風に対する備えはしていましたが、地震、それもこのような大地震に対しては無防備でありました。

私は自宅、医院ともに震源地から10数キロ離れた場所ですが、それでも2回とも震度7でした。2回ともに夜であったため、自宅にいましたが立っていることが出来ず、直ちに床に伏せ地震がおさまるのを待ち続けました。その後、親戚、医院のスタッフ、同窓の友人たちに電話で連絡を取り、無事を確認し安堵しました。

最初の地震が起こった14日、夜が明けて医院に出勤し、医院の被害状況を確認し、出社してきたスタッフと患者に休診の連絡をし、医院の片付けを行いました。なのにその夜中に本震が発生し、再び大揺れに見まわれました。余震は揺れが小さいという神話が覆された瞬間に立ち会うことになりました。患者の話では高層マンションで「40インチのテレビが飛んできた。」「寝ていたらベッドから跳ね上げられ天井にぶつかって床に落ちた時骨折した。」という話も聞きました。

週が明けて18日月曜日から私たちは保健所と連絡を取り合い、避難所を巡りボランティアを開始しました。幸いにも5期の緒方先生(旧姓:佐藤)が保健所に勤務しており、市民の健康を向上させる活動をしているので、息の合ったスムーズな援助ができました。避難所では、食べ物、水、医薬品、口腔ケア用品が不足していたので、地元の歯科医師会で集められるだけの口腔ケア用品を集めたものの、絶対数が不足していました。その時、八女の大熊先生(13期)から電話があり、「支援物資を持っていきま

す。」と言われ、その日から毎日3週間にわたって、山鹿の高水間先生(18期)と2人で診療後往復6時間かけて危険を顧みず支援物資を運んでくれました。同窓会からは宮口会長の計らいで、歯ブラシ1万本が早急に熊本県歯科医師会に2人を介して届けられ、熊本中の被災者に届けることが出来ました。歯科医師会も福岡歯科大同窓会の対応の早さに驚いていました。

1か月後の5月13日に大阿蘇会理事会を開き、各地の被害状況と同窓会会員の被害状況をまとめました。会員の被害は想像以上に大きく、こういう時こそ同窓みんなで助け合い、今年を無事乗り切ろう、とみんなで誓い合いました。また5期の伊藤先生、16期の椿先生は県歯の役員をしているため、避難所の歯科検診、応急処置など会員に協力を仰ぎながら自ら率先して活動されました。

現在、熊本県の歯科医師は福岡歯科大の卒業生が多く、これほど同窓会を力強く感じたことはありません。そしてこれを機にますます結束力が高まりました。もちろん、福岡歯科大学、行政、他の大学の同窓会、他県の歯科医師会、学会、歯科業者の方々から多くの支援をいただいたからこそ、私たちは多くの活動を行うことが出来ました。心からの感謝を申し上げます。

日常後輩たちには同窓会の活動が見えておらず、実感できない人がいるのも現実です。

しかし、いざという時に一番気にかけ、拠り所となるのは同窓会であり、母校である福岡歯科大なのです。どんなに心強く感じられたか計り知れませんが、このことを肝に銘じてください。私たち熊本県民は本当に同窓会と母校に助けられました。また、この大学を卒業したこと、同窓会の一員であることがより一層誇らしく思いました。同窓会の皆さん、本当にありがとうございます。そして同窓会の一員であることを大いに誇りとして胸を張って堂々と生きてください。



震源地益城町



## 南阿蘇村での歯科医療支援 活動に参加して



咬合修復学講座  
有床義歯学分野

准教授 都築 尊 (18期)

平成28年4月14日、16日に発生した熊本県熊本地方を震源とする地震により、熊本県地方には甚大な被害が発生しました。同窓生の先生方の中には、病院やご自宅が大変な被害に遭われた先生方もおられると思います。心よりお見舞い申し上げますとともに、一日も早い復興を祈念しております。日本歯科

医師会は、九州地区連合歯科医師会（九地連）へ南阿蘇地域への歯科医療支援要請を発令し、福岡県歯科医師会、大分県歯科医師会、宮崎県歯科医師会、福岡歯科大学、九州歯科大学、九州大学からそれぞれ4名ずつ口腔機能支援チームのメンバーが出されました。チームは1週間ずつ第1陣から第4陣に分けられ、歯科医師会4名と大学4名の合同チーム計8名が1週間おきにローテーションを組みました。私はその第4陣の1人として加わり、4月24日から5月22日までの間、口腔機能支援チームの一員として南阿蘇村で活動してきました。

今回の熊本地震において、歯科へ現場入りの要請があったのは地震発生からわずか1週間後でした。これは平成16年10月の新潟県中越地震や平成23年3月の東日本大震災の時と比べて異例のスピードだったと聞いています。それほどに歯科における口腔ケアの重要性は医療界で認知されてきており、今後さ



福岡県歯科医師会と福岡歯科大学で構成された第4陣のメンバー。前列中央は地域コーディネーターの田上先生。



## 熊本地震報告



避難所にもなっている施設へ支援物資を届けている様子。義歯洗浄剤やデンタルリンスは大変喜ばれた。



最終日の全体ミーティング。奥で立って話しているのは東京医科歯科大学の中久木先生。

らに多職種連携は必至であると思われます。

第1陣から第4陣までを通して、メンバーが入れ替わりながらわずか1か月間の支援でありましたが、一貫して「被災地において誤嚥性肺炎関連死を起こさせない」という共通の目的に向かって活動を行いました。活動内容の詳細は福岡歯科大学学会雑誌に、第1陣に参加された総合歯科学分野の森田病院教授とともに活動報告<sup>1)2)</sup>を投稿させていただきましたので、そちらを参照していただくと幸いです。私に関わった時期は慢性期でしたので、主なミッションは「要観察患者の地元歯科医院への引継ぎ」と「支援物資の配給と撤収」で、現場入りした時にはすでに支援物資は揃っていたし、避難所のト

リアージ（優先割当）はすでに完成されていました。立ち上げ段階に関わられた第1陣のスタッフの方々は大変なご苦労だっただろうと推測します。

私たち第4陣の中には、東日本大震災の時に歯科医療救護班として宮城県本吉郡南三陸町で活動された経験を持つスタッフがいました。そのスタッフの東日本での失敗談や反省が、私たちの活動をうまくコントロールしてくれました。そういう意味で、東日本で得られたものが共有され、熊本に繋がりました。私たちも、この体験を教育に活かし、共有し、次にバトンを繋げていく必要があると認識しています。そのためにも、支援は一定期間のみで終わるものではなく、常に関わり続けることが重要だと思っています。



グループホームでの口腔ケア。

### 参考文献

1. 森田浩光, 常岡由美子, 亀井寛子, 加藤智崇: 2016年熊本地震における南阿蘇村への歯科医療支援活動報告(第1班). 福岡歯大誌 2016; 42: 37-42
2. 都築尊, 山口真広, 堀部晴美, 久家雅美: 2016年熊本地震における南阿蘇村への歯科医療支援活動報告(第4班). 福岡歯大誌 2016; 42: 43-46

## 中国地区会

## 「組織」



中国地区会  
会長 西谷 展（9期）

このたび同窓会中国支部支部長に就任しました。9期生の西谷展（にしやのぶ）です。

遡ること7年前、組織について考えたことがあります。広島県福山市歯科医師会の広報情報調査部委員会の理事に就任した時です。就任後間もなく広島県歯科医師会の総合委員会に出席しました。帰りの広島駅で当時の福山市歯科医師会の会長に偶然お会いしました。当時まだ会長とあまりお話をしたことがありませんでしたが、この時の出会いがその後大変役に立ちました。お酒を飲みながら「なぜ私を理事に選んだのか」「会の組織」などのお話を聞くことができ、一人ぼっちの理事ではなくこれならうまくやっていけそうな気がしました。会長のお話の中で会長と専務の役割の違いについて教えていただきました（理事になったのにこんなことも知りませんでした）。要約すると会長は、会の代表として県歯や福山市などの行政と歯科医師会との橋渡し役で、専務は会長の考えに基づき会員内の会務を執行していくとのことでした。そういえば総会の時は会長ではなく専務が多く発言をしていたのを思い出しました。また、副会長は会長の補佐で総務理事は専務の補佐役ということになると思います。各理事は、委員会と理事会との橋渡しで、委員長が委員会行事を執行する役になるようです。そして執行部は理事会に出ている役員全体を言います。三役だけでなく各理事も含まれることを認識しました。先達会は議長や専務以上の経験者で構成されているようです。複雑ですが、役割分担がなされているのを感じました。担当の先生方は掛け持ちでどなたも尽力されて

いました。

わかったつもりで理事を遂行していると、理事会では「それは会員平等にならない」とのご意見。また、委員会では、「今後の委員会でも（私が退いた後も）続行する事業なのか」などのご意見をいただきました。先輩方にお聞きし、多くの勉強になりました。そして理事のような役は誰がやってもできるようなマニュアル作りをすればよいのだろう。という結果に至りました（勘違いの部分もありますが私なりの結果ということ）。そしてある程度の範囲内では、理事の裁量で判断し行動することができることも知りました。

このような組織作りは現在所属している二つのグループに反映することができました。一つは趣味で始めたソフトバレーボールチームです。もう一つのグループは町内会です。ソフトバレーボールではキャプテン、町内会は副会長を命じられています。現在最も時間を割いているのがこの町内会副会長です。年2回の掃除当番表の作成、総会資料の作成、ごみの不法投棄に関する事柄、敬老会、忘年会親睦会、その他学区行事への参加などです。数年先には会長もやってくるでしょう。歯科医師会で学んだ会の組織のシステムがこれらをまとめる時の組織編成に役に立っています。

さて、広島県同窓会ですが、現在今井正人会長を中心に構成しています。住所等把握している会員は96名ですが、県内の同窓生の把握が困難な点が大きな問題です。また、学生の間も県人会はあるようですが、任意参加のためあまり把握できるものではありません。本学に入学して学園生活を送り、また卒業しても先輩後輩の関係が維持できる同窓会は良いところだと思います。総会などの通知が届いてない方は同窓会までご連絡ください。



福岡県南

ご挨拶



福岡県南同窓会  
会長 岡 浩司（7期）

平成27年6月27日に開催されました平成26年度定期総会にて会長を拝命いたしました7期生の岡浩司と申します。

永尾前会長の後をうけ、1年が過ぎましたが福岡県南同窓会が益々発展できるよう頑張りたいと思っております。

福岡県南同窓会とは、歯科医師会の福岡県南地区にあたる朝倉・小郡三井・浮羽・久留米・八女・大川三潞・柳川山門・大牟田の8地区の同窓生が集い活動を行っております。会員数は131名です。同窓生には、7期の首藤先生（久留米歯科医師会会長）をはじめ、多くの同窓の先生方が歯科医師会の要職につき活躍されております。

平成28年10月22日に開催されました九地連懇親会におきましては、7期の秋山先生（八女）が九地連実行委員長を務め福岡県同窓会をまとめ成功に導かれました。

このように同窓会には、素晴らしい先生方がいらっしゃいます。私の役割は、多くの同窓生が集い、先輩・後輩が隔たりなく懇親を深め、また、諸先輩から引き継いだものを若い先生に引き継いでいけるよう精進したいと思っております。

また、一昨年まで福岡歯科大学父兄後援会福岡県南支部の支部長をさせて頂いていた経験より、同窓会と父兄後援会がもっと関係を深め在校生と同窓生との間に作ってこられた絆を途切れることなくより強い絆として、若い先生方が入会しやすい同窓会にしていきたいと思っております。

最後になりましたが、本同窓会が今日まで発展を

続けることが出来たのは、会員の先生方をはじめとする多くの同窓生の皆様方の深いご理解とご支援の賜物と心より感謝いたします。今後とも福岡県南同窓会、福岡県地区同窓会ならびに福岡歯科大学同窓会が益々発展できますようご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

【新役員紹介】

|          |            |
|----------|------------|
| 会 長      | 岡 浩司（7期）   |
| 副会長      | 佐野 公成（5期）  |
| 〃        | 秋山 達也（7期）  |
| 専務理事     | 澁江 拓（13期）  |
| 常務理事     | 大楠 道生（4期）  |
| 〃        | 藤丸 幹修（14期） |
| 理事（会計担当） | 庄山 昭彦（8期）  |
| 理事（学術担当） | 江崎 和久（8期）  |
| 理事（広報担当） | 安田 誠（9期）   |
| 理事（庶務担当） | 古賀 一伸（11期） |
| 理事（企画担当） | 和田 浩利（12期） |
| 理事（厚生担当） | 井上 剛臣（20期） |
| 理事（組織担当） | 木下 滋（20期）  |
| 監 事      | 永尾 禮二（1期）  |
| 〃        | 吉木 朋道（1期）  |
| 顧 問      | 寺崎 茂（3期）   |
| 〃        | 友添 秀樹（2期）  |
| 〃        | 小林 俊宏（1期）  |
| 評議員      | 吉田 亨（11期）  |
| 〃        | 野田慎一郎（21期） |



## 福岡県東

## 同窓会会長就任のご挨拶



福岡県東同窓会  
会 長 今田 圭二 (21期)

平成28年4月より福岡県東地区同窓会会長を拝命いたしました21期生の今田圭二と申します。

まずはこの「地区同窓会だより」をお読みになられている先生方は思われたと思います。

「21期で支部長!? 誰や? 本当にや? 大丈夫とや??」

……。本当デス。当の本人が一番驚いております。大丈夫かと言われれば不安この上ない気持ちでいっぱいです。この依頼原稿が他の先生の事の代筆ではなく、私の自己紹介の文章として投稿しようとしているこの状況ですら、いまだに他人事のように感じております。

私は東地区の豊前市という福岡と大分の県境の出身です。学生時代はアメリカンフットボール部に所属していました。なかなか後輩が入部せず、現在もOB会ではほぼ一番下の後輩の位置をキープさせて頂いております。したがってとても厳しく指導していただいたと同時にそれ以上にとてもかわいがっていただきました。(と、私は勝手に思っていますが)「部活の日々」を「大学時代の宝物①」として今も心の中で大切にしています。

卒業後、九州大学第2補綴学講座に4年間お世話になり、開業医の先生のところへ2年半ほど勉強させていただいたのち、現在の豊前市で父親とともに2代目として歯科医院を営んでおります。豊前築上歯科医師会に所属して10年ほど経ちますがやはり母校の後輩がなかなか増えず、福歯大出身の1番下の後輩を歯科医師会でもしっかりキープしています。2冠です……。でもそこで頼もしいのが同窓の先輩方です! 歯科医師会会務もしっかり指導していただいていますし、プライベートでも、ゴルフや旅行、飲み事や恋愛相談などなど、一緒になってとても楽しく歯科医師会事業、地域医療に貢献しています。東地区で見渡せば同期はもちろん、後輩の先生達も色々手伝ってくれて「横、縦のつながり」というとても大切な「大学時代の宝物②」をいつも感じ

ています。

会長就任早々、とても大きなお仕事が待ち受けていました。水田学園理事長を会頭とする「第23回日本歯科医学会総会」「第69回九州歯科医学大会」「日本デンタルショー」です。実際、この原稿も9月末の締切でしたが、無理を言って大会終了まで待っていただくほど1年近くにわたり各地区執行部が構想を練って慌ただしく準備して参りました。その時も右も左もわからず東地区会長としてチョココンと座っていた私に、わかりやすく、しかも初めてお会いする上の先生方ばかりの中、優しく話しかけて下さった執行部の先生方のおかげで何とか逃げ出さず(汗)とても大きな名誉ある大会の執行部として携われたこと、無事終了できたことにととても感動しております。でも、一番下の私が言うのもおこがましく、大変失礼なのですが、確かにとって、とっても「面倒くさいお仕事」だったんです!! 各地区から毎月1~2回集まって打ち合わせ。その1か月の間に割り振りされたノルマをこなし、メールでひっきりなしに連絡。毎回レジメを作り配布資料として用意、次回までの宿題をお互い確認しあう……。きっと、歯科医師会事業やほかの会議などもそうなんだろうね。私は理事などの経験がないのでこれが理事以上の先生方の日常ならば「すごいな毎回! 身がもたんばい!」と驚嘆していました。ただ、会議を重ねて、食事や、中洲で飲んでいくうちに(ここは編集校正されるかもしれませんが)色々なお話を聞かせていただく中で感じたことがありました。結局大変なんだけどみんなの中に宿っていた気持ちは

「ウチの大学がメインでやるっちゃけん、水田さんには恥はかせられん! そんなためにみんな一丸になってがんばろーや!」

この熱い精神にほだされて頑張ってたのかなと今振り返るとそう感じています。

「母校を誇りに思う」

この「大学時代の宝物③」を思い出させてくれた先輩方と知り合えたこと、それを忘れかけてた自分に気付けたことにととても感謝しています。この場をお借りして今回携わった先生方本当にお疲れ様でした。そしてありがとうございました。そしてこれらのことを後輩たちへ伝えていこうと心に決めました。支部長になってちょっとは成長できたのかなと感じる今日この頃です。

任期中は色々ご迷惑をおかけするかもしれませんが精一杯務めさせていただきます。先に述べた「3つの宝物」を胸に頑張りますので、今後ともよろしくお願い申し上げます。

佐賀県

会長就任ご挨拶



佐賀県同窓会  
会長 浦 嘉訓 (12期)

平成28年4月2日(土)に開催されました平成27年度福岡歯科大学佐賀県同窓会総会にて、会長としてご承認いただきました。12期の浦 嘉訓です。微力ながら母校の発展・歯学の向上・会員相互の親睦を図るために、本学や本部同窓会、また各県同窓会と連携し、会務を全うしてまいりたいと考えております。

佐賀県同窓会は、約100名の会員がおり、佐賀県内でも最大の会員を有する同窓会組織となりました。厚生行事としてのサッカー観戦(サガン鳥栖)や、本学より講師をお招きしての学術講演会を開催しています。

佐賀県同窓会の誇れる所は、1期の寺尾隆治(佐賀県歯科医師会会長)をはじめみんなが仲良く団結しているところです。先輩方は後輩の面倒をよくみてくださり、後輩たちは先輩方を頼りにしています。同窓生みんなで協力して佐賀県同窓会を運営していきたいと思います。理事会(金曜会)は若手の

先生方を中心に活動しております。また、本部同窓会常務理事でもある小柳進祐先生に専務をして頂いています。私もいたらない点が多いかと思いますが、山口前会長の功績を無にしないように、誠意努力していく所存です。皆様どうぞよろしくお願いいたします。

|            |             |
|------------|-------------|
| 会 長        | 浦 嘉訓 (12期)  |
| 副会長        | 田邊 隆 (10期)  |
| 専務理事       | 小柳 進祐 (12期) |
| 常務理事       | 吉永 信秀 (10期) |
| 常務理事(専務補佐) | 酒井 正男 (14期) |
| 学術担当理事     | 北島 正弘 (12期) |
| 〃          | 江口 隆郎 (17期) |
| 広報担当理事     | 富安 紀文 (22期) |
| 〃          | 泉福 浩志 (22期) |
| 厚生担当理事     | 北島 健吾 (19期) |
| 〃          | 寺谷 烈 (18期)  |
| 会計担当理事     | 原田 大二 (23期) |
| 〃          | 秋山 兼範 (25期) |
| 監 事        | 上原 正純 (2期)  |
| 〃          | 重松 秀樹 (7期)  |
| 地区長(佐賀)    | 酒井 正男 (14期) |
| (鳥栖)       | 権藤総一郎 (12期) |
| (武雄)       | 久野 麻弓 (12期) |
| (唐津)       | 中溝 誠 (18期)  |
| 顧 問        | 寺尾 隆治 (1期)  |
| 〃          | 山口 倫仁 (7期)  |



## 大阪府

近畿ブロック連絡協議会・学術講演会・

大阪府同窓会設立20周年  
記念式典大阪府同窓会  
副会長 木下 剛一（7期）

この度、大阪府同窓会は設立20周年を迎え、これを記念して9月10日（土）に近畿ブロックとして役員連絡協議会と学術講演、大阪府同窓会としては設立20周年の記念式典及び会員懇親会をホテル阪神で開催しました。

近畿ブロックの役員懇親会では八木隆史ブロック長をはじめ各近畿の会長及び役員の先生で平成28年熊本地震への義援金と第23回日本歯科医学会総会への参加について論議されました。

学術講演では石田哲也会長が熱望した会長と同期で北九州開業の白石和仁先生（9期）を講師にお招きし「Experience & Evidence Based Periodontal Surgery～先人に習った技術を活かす～」と題してペリオの話の熱く語っていただきました。

その後、記念式典及び会員懇親会が開催されました。設立20周年と言うことで大阪府歯科医師会から太田謙司会長、深田拓司専務理事、恒例の在阪歯科大学同窓会及び校友会の各会長及び支部長、学園か

ら北村憲司常務、大学から石川博之学長、本部同総会からは宮口会長、高嶺明彦副会長、野口芳彰副会長、馬場篤子副会長、持山達郎専務理事それに八木隆史ブロック長、近畿各同窓会の会長を来賓としてお招きしました。

まずは石田哲也会長の挨拶の後、来賓の御挨拶として大阪府歯科医師会会長の太田謙司先生、福岡歯科学園の北村憲司常務理事、福岡歯科大学の石川博之学長、本部同総会からは宮口厳会長に挨拶のお言葉を頂きました。その後、在阪当番校の大阪歯科大学同窓会会長の生駒会長の乾杯の挨拶で懇親会が始まりました。

また、今回の記念式典の目玉として、近畿支部、大阪府同窓会歴代支部長及び会長の功績を称え、朝倉勉先生（2期）、寺前雅章先生（2期）、春次賢太郎先生（2期）、神谷祐行先生（4期）、山村哲也先生（6期）、橋本洋幸先生（7期）の各先生にご祝辞と謝辞を頂いた後に感謝状と記念品を贈呈しました。続いて、新入会員の星野真漢（28期）の紹介および記念品贈呈がありました。

歓談中に最初の同窓会誌を回覧したり、久しぶりに再会された方々が思い思いに旧交を深められ大変盛大な懇親会となりました。恒例の出席した同窓生による校歌斉唱の後に、副会長の私が閉会の辞を述べさせていただいて無事閉会しました。

その後、来賓の先生方と、出席されたほとんどの同窓会会員で大規模な二次会へ繰り出し、場所を繁華街に移し夜遅く？早朝近くまで懇親を深めました。



## 福岡歯科大学ヨット部 創部40周年祝賀会について



ヨット部 OB 会  
高野弘一郎（22期）

去る平成28年9月10日、西鉄グランドホテルにて、福岡歯科大学ヨット部創部40周年祝賀会が開催されました。当日は同窓会より勝俣辰也副会長、大学より岡部幸司学生部長、福岡県セーリング連盟より秋山雄治会長を始め4名の理事の方々にご臨席いただき、盛会のうちに終えることができました。

ヨット部は福岡歯科大学開学3年目の1975年に、修猷館高校ヨット部出身で3期生の浅田英文先生が中心となり、当初は愛好会として発足しました。発足当時は艇もない状態でしたが、初代顧問の元矯正学講座助教授山田勲先生のご協力により艇を購入し、やっと正式な活動ができるようになりました。その後顧問として故木山恭一先生、羽生哲也先生、

岡部幸司先生にご歴任頂き、現在は歯科保存学分野病院教授の泉利雄先生にお世話になっています。

部の活動としては、福岡市西区にあります小戸ヨットハーバーを拠点に、15名の現役部員が日々研鑽を積んでいます。ヨット競技というと、なじみのない方はエンジンやキャビンを備えたいわゆるクルーザーを想像されるかもしれませんが、当ヨット部で所有しているのは二人乗りのスナイプ級で、二枚の帆を使い、風の力のみで走ります。オールデンタルでは各校2艇をエントリーし、合計順位で競います。一昨年は悲願のオールデンタル初優勝をはたし、今年も総合3位という好成績を収めました。長い歴史の中、レースメンバーが4名しかおらず、ギリギリの状態でオールデンタルに参加したこともありましたが、最近は部員数の増加に伴って成績も安定してきており、OBとしてはうれしい限りです。

我等がヨット部の特色としましては、なんといっても現役部員同士はもちろん、OBも含めた縦横のつながりの深さです。今回も県内外から多数のOBが参加されました。歓談中はOB同士が昔話に花を咲かせたり、現役部員とOBが熱くヨット談義を重ねたりと、あっという間に時間が過ぎていきました。二次会も予想よりも多くの方が参加され、非常に楽しい夜となりました。





また、再来年には小戸ヨットハーバーにて、オールデンタルヨット部門が当校主幹で行われる予定です。現役学生諸君には今年のアメリカズカップを目の当たりにし、大いに刺激を受け、来年以降のオールデンタルでの更なる飛躍を期待したいところです。

最後になりますが、福岡歯科大学同窓会のますますのご発展を祈念いたします。

さて、今年は11月18日から20日にかけて、2017年開催の第35回アメリカズカップの予選である「ルイ・ヴィトン・アメリカズカップ・ワールドシリーズ」の第9戦が、福岡市中央区地行浜にて開催されます。アメリカズカップは1851年から現在まで続く国際ヨットレースで、その成立は近代オリンピックやサッカーワールドカップよりも早く、世界最古のスポーツトロフィーとして認知されています。アメリカズカップの歴史上、アジアでの開催は初となり、日本からはソフトバンク・チーム・ジャパンが、日本のチームとしては15年ぶりに参戦します。



勝俣同窓会副会長

## 広報からのご案内

広報委員会では次回29年度同窓会誌『背振36号』に向けて企画中です。

つきましては、下記の通り募集しています。自薦他薦は問いませんので、是非ご一報下さい。

1. **学位取得者** 今まで取得された先生で、会誌に掲載されていない方、本学以外で取得された方等。お知らせ頂きたい内容は下記の通りです。

①学位論文題目 ②取得年月日 ③学位専攻（所属・取得校）④学位番号（甲・乙別）⑤顔写真1枚

2. **巻頭フォト募集** 表紙の写真を募集しています。風景・植物・動物・抽象的な物、感動した物など何でも結構です。尚、その写真のコメントも一言お書き添え下さい。

3. **原稿募集** トーク、支部報告、OB会、個人の趣味・近況・旅行等、学会報告、結婚報告、開業報告等、何でも結構です。また、その原稿に因んだスナップ写真等も同封して頂ければ幸いです。

どしどしご応募下さい。（最後尾の原稿用紙をご利用下さい。）

※お送り頂いた写真はお返し致します。

連絡先 〒814-0193 福岡市早良区田村2-15-1 福岡歯科大学同窓会事務局まで

TEL/092-863-2966 FAX/092-863-2967 E-mail : dousoukai@cillege.fdcnet.ac.jp

## マイコン部・DTP部OB会 創設の報告



マイコン部・DTP部OB会  
角野 吉宏（16期）

マイコン部、その後名称をDTP（電子出版）部と名称を改めた当部は長い歴史を持ちながら永らくOB会が無く、会が創設されたのは3年前の事でした。

そのきっかけは今から5年前の秋の事、マイコン部の後輩にあたる先生の結婚式に出席した所、在学中顧問をしていただいていた科学の元助教授黒水健二先生にお会いしました。私の在学中、マイコン部は気の合う部員同士マイコンで遊んですごす場所でした。あくまで私の時代がそうというだけで、部室には上の代の先輩が部品を集めて手作りしたマイコ

ンが残されていて、高い技術を持たれていたことが窺われましたし、DTP部になってからはクリエイティブな活動をされているようです。当時は今よりもマイコンは高価で、繰り越しできない部費をやりくりして安い備品を探したものです。部費の足しにと学祭で占いをする事になり、数が足りないため黒水先生のマイコンまでお借りしました。企画は当たり、かなりの売り上げを上げました。しかしテントの中で、使われたマイコンのキーボードが砂をかんてしまい恐る恐る先生にお返しすると笑って許して頂いたものです。そんな思い出話をしていると「君、OB会を作ってみない？」と先生が仰りました。その時は私も軽く「そうですね！出来るといいですね！」と受け答えました。しかし、その事は私の中では忘れ去られてしまったのでした。その翌々年の正月に先生から頂いた年賀状に、OB会の件はどうなりましたか？と書かれているではありませんか。

これはまずいとそれから大急ぎで先生に頂いた部員の記録や他の先生の協力を得てリストを作成、名簿への登録をご了承頂いた先生の名前を集めてOB会名簿を作り上げました。そしてその年の9月に第



1回マイコン部・DTP部OB会懇親会することが出来ました。果たして参加者が集まるのだろうか？と心配しましたが、遠くは関西や四国、関東などの遠方からも多くの参加者が集まり、大変な盛会となりました。

その場で、会の創設が正式に決まり、毎年1回の例会が行われる事と初代会長を私が拝命することとなったのです。え？会長の仕事？名簿の更新、会計、年1回の例会の手配など会の運営を一手に引き受けることですね（笑）

その後会を重ねるうちに繋がりのなかった創設当初をご存じの先生にもお会いすることができ、当時のお話を伺うこともできました。それによると最古参の先生は4期卒の先生で、あの部室にあった自作マイコンを作られた苦労話などを伺うことが出来ました。今年の入学生が44期だそうですから、間もなく40周年を迎えることになります。

そんな長い歴史をもつクラブに、黒水先生の発起でようやくOB会が設立されました。あの時黒水先生とお会いするご縁がなければ会は設立されず、OB間の繋がりは途絶えたままとなっていた事でしょう。

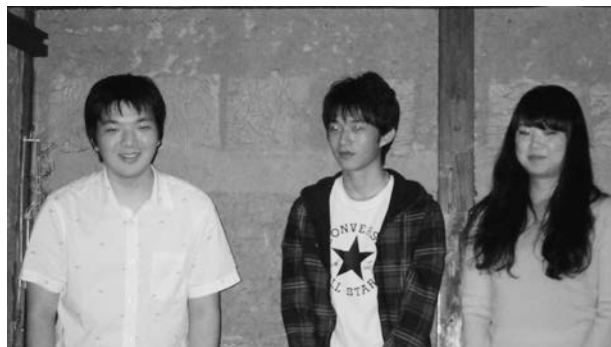
そんな偶然ともいえるきっかけで生まれた当会も今年で4年目を迎え、去る10月9日に開催された例会では現役の学生さん3名が参加してくれました。現役部員の中には創設間もないころの部員の息子さんがいるといえますから驚きです。



元生化学分野助教授黒水健二先生

名簿の上では100人を超える当会ですが、まだまだ名簿から名前が漏れている先生や連絡先不明の先生が数多くいらっしゃいます。もしもこれをご覧になって自分も部員だったのにまだ会からの連絡が来てないなと思われた先生はぜひご連絡ください。（筑紫野歯科クリニック092-925-1411 角野まで）また、例会に出席される会員はマイコン部時代のおじさん会員が中心です。来年も秋ごろに例会開催を予定していますのでDTP部OBの若い先生たちのご参加をお待ちしております。創部当初の先生方の情報もまだ不足しております。ご存じの方のご連絡お待ちしております。

最後に会の運営にご協力頂いている諸先生方に感謝いたします。ありがとうございました。



## 三期生還暦同窓会



粉 浩一（3期）

平成28年6月18日（土）、19日（日）、三期生の35周年を二日市温泉「大丸別荘」にて行いました。

これまで4回三期会を行いました。前回の30周年の時は博多駅の開業の年でしたので、懇親会を新しくなった博多駅で行い、2次会は中洲に移動しましたが一か所に集まれなくて久しぶりに会ったけど、ゆっくり話せなかったとの意見がありました。そこで今年は現役で入学した人も還暦を迎える年になりましたので、「三期生還暦同窓会」として一泊二日で行いました。参加者は宿泊26名、日帰り15名

で41名が集まりました。

最初に物故者に黙祷を捧げました。乾杯の音頭は一番遠い千葉県から来てくれた山中洋一君にしてもらいました。宴会では各自の現況報告をしてもらい、68歳になりましたので現役を退きましたという人から、まだ子供が小さいのでまだまだ頑張らなければいけませんとか、5年前の30周年の時とはかなり違った話が出ておりました。

2次会はカラオケルームに場所を移し、日帰りの人も時間が許す限り歓談する事が出来ました。3次会は部屋にもどり行い、翌朝は寝不足ぎみの朝食となっておりました。

この年になるとどうなるか分からないので次回は5年後と言わず、もっと早く2～3年後にしたいという意見が多くあり、散会となりました。

当初出席になっていた熊本の太塚志郎君と鬼塚友文君は震災の影響で出席を取り止められたのはとても残念でした。

今回の熊本を中心とした大地震にて被災されました先生には心よりお見舞い申し上げます。また1日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。



## 幻の17期生卒業アルバムを 作ってみました！



学生出席確認用の写真

大きく育ちました

### 伊藤 憲央 (17期)

時が経つのもアツという間で、気付けば卒業して20年が経過しておりました！

懐かしい思い出を振り返るための卒業アルバムですが、実ににお恥ずかしい話ですが僕達17期生は卒業アルバムが無い学年だったのです。当時のアルバム作成をしていた写真屋さんが自転車操業しており、お金が無くなり夜逃げをしたので作れないとの噂であきらめておりました。あの当時は本格的なカメラで写真撮影するには技術も要りましたし、写真はフィルムから現像してプリントする時代です。現在ではスマホでも簡単に綺麗に撮影出来ますし、パソコン画面で写真を見るとか当時では考えもつかないデジタル時代に進化しました。そこであの当時は印刷代が無く製本出来なかつただけならば、今ならフィルムスキャニングしたデータをDVDに焼いて配布するぐらいなら簡単なのではと考えました。(すでに17期生に配布しています)

当時の写真屋のオヤジを探し出し、印刷屋とも協



議して当時の写真ネガや原稿を探して頂いたのですが…、残念な事に20年前の事だけに全て処分されておりました。

悲しみに暮れていたのですが、福岡歯科大学には素晴らしい先輩が沢山おられます。各方面から17期生の写真を集めて下さったり、同窓会本部や企画課の御協力もありまして撮影していた当時の写真等が発掘されてきました。



また部活や学園祭の写真は16期生、18期生の卒業アルバムのもを使い、学生時代の出席確認用の顔写真を利用して、卒業アルバムのようなものが完成しました。

フジフィルムのフォトブックのハードタイプで製本しますと、豪華な48ページのアルバムとして仕上がりました。

秋に博多で17期生同窓会を開催したのですが、この卒業アルバムが大好評でして、連絡のつく方には



久しぶりに合う同級生の元気な姿を見て、同窓会で元気を頂きました！

注文を受けまして既に24冊完売しております。欲しい方がおられましたら連絡頂ければ代行して注文する事も出来ます。20%オフのクーポンを使えば1冊が9千円でお届け出来ますので、ご連絡お待ちしております。

(k-dental@castle.ocn.ne.jp 伊藤憲央)



同窓会誌が届く17期生には、秋のニューソフィアとともに配布済みのDVDでも卒業アルバムが注文出来るソフトを入れております。またDVDには編集した卒業アルバムムービーも入れております。秋の17期生同窓会でも上映しましたが「若い～！やせてる～！」と大爆笑の夜になりました。

## 福岡歯科大学13期生25周年同窓会



中田 宏 (13期)

我々福岡歯科大学13期生が平成3年に本学を卒業して早いもので25年の月日が流れました。気付くと私も今年50歳になって開業して21年が経過し、しみじみと歳をとったことを実感致します。

今回、13期生25周年同窓会を企画したきっかけは、同期の持山達郎先生から話がありまして平成28年10月22日（土）に九州歯科医学会に伴う福岡歯科大学同窓会懇親会が福岡県で開催されるし、今回は母校の主幹で初めて福岡の地で日本歯科医学会も開催されることから福岡県以外の先生も数多く来福されるだろうということで声掛けをして、これを機に



母校の行事を盛り上げる意味も込めまして福岡歯科大学同窓会懇親会後に場所を変えて行う運びになりました。

会場は福岡歯科大学同窓会懇親会の二次会の形で西鉄ソラリアホテル17Fトラ

ンスブルーにて行いました。

最初の福岡歯科大学同窓会懇親会では13期のテーブルが設けられ、久しぶりに旧友と酒を酌み交わしながら楽しい時間を過ごしました。その後二次会会場へ足を運ぶと懇親会では会えなかった懐かしい同窓生とまた更に話が盛り上がり楽しい1日を過ごすことができました。次回は5年後の30周年になるかもしれませんが、またの再開を約束して閉会となりました。

最後になりましたが13期生の皆様の今後の益々のご活躍と本学同窓会の今後の益々のご発展を心より祈願いたしまして、筆をおかせていただきます。



中央、比嘉奈津美先生（8期）も飛び入り参加

## 福岡歯科大学 体育学部

藤崎 誠 (1期)

1期、鹿児島の藤崎です。学籍番号73019、卒業証書は第13号です。

卒業までに6名がエスケープしました。学生時代はサッカー部でしたが、イレブンが揃ったのが3年生の時でした。その時、九州歯科大学が主管校で初めて歯学体に参加できました。とても暑い夏でした。大学サッカーリーグにも、参加する様になりましたが、なかなか勝てませんでした。また、原君(福歯大ラグビー部創設者)に誘われて、ルールもわからないまま、どんたくチームで社会人ラグビーに2回出場しました。

1期1班は6年生の登院実習時、歯科放射線科での実習態度が悪く13名全員グラウンドを走らされ、グラウンドの真ん中で大きな声で校歌を歌い、なんとか留年を免れました。

高校時、ラグビーしかしていなかった愚息が、福岡歯科大学に合格した時は、ほっと一息、落ち着きました。進級するにつれ、あと何年、あと何年と気持ちが高ぶっていきました。国家試験合格で、頭の中でモヤモヤしていた霧がパアッと一気に晴れ渡り、足かせが外れ解き放たれた様な感覚でした。マンネリ化しつつあった日々の歯科治療に、また一段と張りがでてきました。

小生、愚息を歯科医師にさせていただいた福岡歯科大学に、心より感謝しています。

藤崎 誠一 (38期)

38期、学籍番号1208070、卒業証書は第4273号です。今春、歯科医師国家試験に合格し、もう半年が経とうとしています。学生時代ラグビー部で城戸教授にお世話になっていたという事もあり、インプラント科で研修させていただいています。

歯科医師として右も左もわからないまま、5月から久留米のたかた歯科医院で院外研修が始まりました。高田院長はじめ色々な先生方やスタッフのみなさんに一つ一つ丁寧に教えていただきました。その中で、とても勉強になったことが「人体の中で一番固い組織を削る難しさ」「削った歯を元の形態に戻す難しさ」「一本の歯を治療したが為に、全顎的に不調になってしまう事のある恐ろしさ」などを学びました。



学生時の登院実習とは全く違い、歯科医師としてどうあるべきなのか考えさせられた研修になり、とても良かったです。10月から本学に戻り、また研修が始まります。様々なことを見て質問し、色々な事を吸収して、一つ一つの診断・治療に根拠をもって行えるようになっていきたいです。

「歯科医師は生涯研修である。」という言葉に胸に、多くの先輩方に指導を仰ぎ、日々の臨床に全力で努めていきたいです。

## 親子で小児歯科

石井 香（2期）

こんにちは、2期生の石井です。糸島市で小児歯科専門医として開業して早いもので25年たちました。娘の歳と同じです。私は卒業してすぐ母校の小児歯科に残り、研究、教育、臨床にたずさわっておりました。その間、周りの方々に助けられ歯学博士、小児歯科専門医を取得することができました。在職中、2人目の子供ができたなら大学生活は無理なので開業しようと決めておりました。それで、娘の誕生を機に大学を辞め、適度な田舎の前原市（現糸島市）で開業しました。その娘が25年たった今、母校小児歯科で研修医としてお世話になっております。小さい時から小児歯科の診療を見て育っているのでそれもありかと思っています。福岡歯科大学も私たちの時代に比べ格段に進歩し、見違えるように立派になりました。娘も研修期間が終わったら、母校で小児歯科専門医を目指して頑張ってほしいと思います。

石井 華子（38期）

この春、先生方や友人、家族の支えのおかげで大学を卒業、国家試験に合格しました。現在は母の後を追ひ、小児歯科にて研修させていただいております。机上の勉強とは違い、患者さんと向き合う臨床の難しさを痛感する毎日です。知識も技術も学ばなければならないことばかりです。戸惑うことも多いですが沢山のことを吸収して日々成長して行きたいです。患者さんが子供なので術者の不安がすぐ伝わってしまうので、私も母を目標に自分に自信を持って子供への対応や処置をできるようになりたいと思います。

諸先生方や母を目標に研鑽を積んで行きたいです。今後ともご指導ご鞭撻の程よろしくお願い致します。



## 生涯研修

大和 哲（2期）

地球の温暖化の影響によるものか、気候の変動が著しく成って来ました。また、世の中のテンポも速く成って来ている様に感じます。

近年国家試験が、難しく成っていると聞きます。今では国試対策関連書籍も多岐にわたり、充実していますが、これらをこなすだけでも今の学生は、大変であろうと思います。息子は「親父の頃はいい時代だったなあー」と言いますが、私も父に同じ事を言っていたのを思い出します。

息子は、今では研修病院で臨床の大変さで、悪戦苦闘をしている様ですが、私なりに少しはアドバイスも出来るので、親父の低下した権威を挽回しているところです。臨床の議論も深まり私も勉強になります。技術を磨き、将来に夢と希望を持って努力していく事を願っています。

大学の教授をはじめ、教職員の皆様のご指導をいただいた事に感謝する次第です。

同窓会をはじめ、福岡歯科大学の益々の発展を心よりお祈り申し上げます。

大和 寛明（38期）

私はこの春、無事に歯科医師の一員となることができ、とても充実した日々を過ごしております。

思い起こせば、学生時代の6年間、中国医科大学への研修に参加させていただき、部活動の主将も務めさせていただきました。いずれも私にとってとても貴重な経験を得ることができました。

さて、私は現在、九州大学病院にて臨床研修に励んでおります。学生時代に学んだ知識の大事さや実際に手を動かすことの難しさを痛感する一方で、父親をはじめとする先輩歯科医師の先生方の経験則に基づいたアドバイスの重要さやありがたさも大いに感じているところであります。

最後に、今までお世話になった先生方や同期の仲間達、先輩後輩の皆さまに感謝の気持ちを忘れず、有意義な研修生活を送るために日々精進していきたいと思っております。



## 「次世代の息子へ」

安西 洋一（3期）



今年息子が歯科医師国家試験に合格し、親として大変に喜びを感じています。

学生時代から御指導頂いた先生や先輩方、又クラブ活動や勉強を共に支えていただいた友人や同期生の皆さんにも深く感謝しています。特にラグビーと出会い、その精神が大きく人間的に成長させ、日々の練習で気力・体力・集中力や人を思いやる心と互いに助け合う心が身に付いたと思っています。卒試ぎりぎりまで練習を続けオールデンタルの試合にも出場していたと国家試験合格発表後に聞いた

たのですが、その精神力が良い結果をもたらしたのだと思います。

私も福歯大を卒業して早いもので35年が経ちました。歯科医師として歯科医療に携わらせていただき、義父の代からすると3代目として息子を社会に送り出すことが出来、少しは親としての責任を果たせた様な感じがします。

歯科医師としてのスタートラインに立った息子に、学生時代から興味のあった分野に伴った歯科及び医科の臨床・学術の生涯研鑽に励み、バランスのとれた歯科医療を提供できる様になって欲しいと思います。「常に目標を持ち、初心を忘れず、進化する努力を続けること」

最後に、福岡歯科大学同窓会の益々の発展を祈念致します。

安西 寛真（38期）

今年の春、母校である福岡歯科大学を卒業し、長く待ち望んだ歯科医師としての第一歩を踏み出しました。現在、母校の大学病院にて口腔外科で臨床研修医としての日々を送っています。

両親や祖父の影響もあり、何となく小さい頃から歯科医師になることを夢見ていました。南筑後出身の私は地元の歯科大学に進学したいと願っていたので、福岡歯科大学で学ぶことができ、ラグビーに出会い、一緒に頑張る先輩方や仲間に出会えることができて自分なりに充実した学生生活を送れたことで、母校を選んで本当によかったと思っています。

来年度からは、専攻している口腔外科の池邊教授や平木教授、医局の先生方の支えもあり、母校の大学院に進学することを決めました。

自分の意志を支えてくれる両親に感謝を伝えると共に、今まで親身に力となってくださった先生方やお世話になった方々に早く恩返しができるよう一所懸命に努力し、日々精進していくつもりです。同窓生として今後とも宜しくお願い致します。

## 「信頼される歯科医に」

藤本 健司（5期）

祖父の代から歯科医をしており、長男は4代目となるのですが、最近の歯科界の現状、私が開業している地域の過疎化による人口の減少などを考えると、歯科医になってほしいとは考えていませんでした。しかし、長男の歯科医になるという決心は固かったように思います。

高校時代は軟式野球で全国大会に行き、毎日の厳しい練習で野球づけの生活でした。大学に入って勉強はついていけるのだろうかと思分心配しましたが、高校時代に野球で鍛えられたおかげで、やる時は真剣にしていたようです。

無事国家試験に合格し、現在は福岡歯科大学で研修医としてお世話になっています。多くの先生方、先輩方にご指導いただき深く感謝しております。これからは歯科医として、様々な経験をして信頼される歯科医に成長するよう期待しています。

藤本 啓貴（38期）

平成28年3月、無事に歯科医師国家試験を合格することが出来ました。

高校生の時、私は文系を選択していたため、福岡歯科大学に入学した当初は勉強についていけるかとても不安でした。しかし、先生方の御指導や先輩、友人にアドバイスをもらいながら、1つ1つ進級していくことが出来ました。学年が上がるにつれて臨床的な学問を学んだり、実際に実習を体験して、歯科医師という職業にさらに魅力を感じ、歯科医師国家試験の勉強をする上でのモチベーションを上げるきっかけにもなったと思います。

現在は本学の補綴科にて研修させていただいています。1日1日が勉強の毎日で悪戦苦闘しながらも充実した日々を送っています。まだまだ未熟者ですが、御指導くださる先生方、今まで携わってくださった方々や家族に感謝し、信頼される歯科医師を目指して精進してまいりたいと思います。



## 社会人となった息子との学び

下田 恒久（7期）・下田 武明（37期）

私は、もうそろそろ58歳、長男は26歳となりました。この前まで、少年ラグビーと一緒にパスの練習をしていたのですが、私にとって感慨深い息子の歯科医師免許取得でした。こうやって文章にしてみると、本当に時が経つのは早いな、と考える今日この頃です。

我々の時代は、2月の国家試験後に直ぐに医局に呼び出され、標本作製や白黒写真の現像、授業用のブルーバックのスライド作成などを教え込まれ、8月頃には埋伏歯を一人で、ノミを使いながら抜いていた時代でした。当時は、患者さんも時代も、おおらかだったのでしょう。

子供たちが考えるよりも、若い頃の時間は可能性が満ちています。まさに、“鉄は熱いうちに打て”です。図らずも研修時代にその可能性を伸ばす機会を浪費することがないように願うばかりです。濃く基礎を叩き込む時間は短いということを、彼らは（自分自身の若い頃も含めて）そのことに気づかずに過ごしてしまいがちで、我々の年齢になって後悔することが多い気がします。人生において、回り道や無駄とも思えることも、血となり肉となり人格の幅に厚みを持たせ、その形成において大輪を咲かせることもあると考えられるように、息子にはなってもらいたいと思います。

開業してから、セカンドオピニオン・紹介患者さんを通じて、単なる頻度の高い外科処置よりも、一連の経過・管理が行き届く、安心感の付与や、メンテナンスの重要性を感じる日々です。

一般に工業製品など生体以外のものにおいては、大量生産しかり、1～2年で新商品の販売サイクルを繰り返し、その革新力・開発力から、安心感・ブランド力を高め続けていく、大企業の発想での解決が、最も合理的であると考えられます。しかし歯科医療は、患者さん一人一人が、それぞれの人生の主演であり、医療従事者は誰かの引き立て役であり、行けば必ず会える、安心を与える責任者がそこに居るという状況を作らなければいけません。カスタム、且つ、オリジナル生産の中小企業の発想は、自分たちが考える以上に、患者さんに安心感を与えうると考えております。

父としては、息子が無事卒業し資格を得て、ホッとしておりますが、まだまだ植えた種がやっと地上に芽吹き、出てきただけという状態ですので、私は老廃物を排出して新陳代謝を、息子は温故知新を深め吸収力を高め、同じ土俵で相撲を取って研鑽を続けてまいりたいと考えております。



私たちが、社会に出た頃では考えられなかった夢に満ちた時間を生きる（ゆとり世代なのに世の中がゆとりのない）息子たちがバトンを早く受け取れるように、私たちは大きな夢・可能性を与えていけるように、小さいながら背中を見せていきます。

## 福岡学園はいま

世の中の動きは大変に激しく、国内外では多くの困難な課題が提起されています。私共は、そのような社会教育環境のもとで、建学の精神を忘れず、中期構想の実現に努力しております。

これからも引き続き、教職員が一丸となって、厳しい倫理観としっかりした価値観、さらに目的意識を持ち、学生が意欲をもって勉学し、同窓生が誇れる母校を目指して参りたいと思います。

福岡歯科大学同窓生の皆様には、今後とも変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

以下、この一年間の学園の主なトピックスをご紹介します。

平成28年10月  
福岡学園 企画課

### ○被災地での歯科医療救護活動

平成28年4月24日から5月1日までの8日間、九州地区連合歯科医師会からの要請により、本学園教職員（歯科医師2名、歯科衛生士2名）が熊本県へ赴き、被災地での歯科医療救護活動にあたりました。

派遣された教職員らは、JMAT（日本医師会災害医療チーム）やJRAT（大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会）と協力しながら、老健施設、障害者施設および居宅の要介護高齢者などいわゆる災害弱者の口腔管理、摂食嚥下のアセスメントや嚥下指導を行い、誤嚥性肺炎による震災関連死をゼロにすることを目標に活動しました。活動期間中には、塩崎厚生労働大臣が合同ミーティングに訪れ、福岡歯科大学の加藤智崇助教にヒアリングを行いました。加藤助教は、今回の歯科支援活動の概要と災害時の口腔ケア・嚥下機能改善等も含めた口腔機能改善の必要性を説明しました。塩崎大臣は非常に興味を持たれ、安倍総理大臣にも報告されとのことでした。

また、5月15日から22日までの8日間、第二陣の

本学園教職員（歯科医師2名、歯科衛生士2名）が被災地へ赴き歯科医療救護活動にあたりました。派遣された教職員らは、避難施設や介護老人保健施設を訪問し、支援物資の補充、施設利用者の口腔内審査、口腔機能向上のための口腔体操を行うなど医療救護活動にあたりました。



治療を行う都築准教授



塩崎厚生労働大臣に説明する加藤助教

### ○学校法人福岡学園開学記念式典開催

平成28年7月27日、本館9階講堂において、開学以来初めてとなる学校法人福岡学園開学記念式典を執り行いました。

式典には、水田理事長、北村常務理事、石川福岡歯科大学長、宮口福岡歯科大学同窓会長をはじめ、学内外の関係者約250名が出席しました。理事長挨拶の後、名誉教授称号授与や永年勤続者表彰、福岡歯科大学・福岡医療短期大学最優秀教育改善賞表彰、福岡歯科大学特待生表彰、福岡医療短期大学特

別奨学生表彰が行われました。

また、福岡歯科大学同窓会 副会長 武井俊哉氏（2期生）、同大学口腔外科学分野 講師 泉喜和子氏（22期生）、同大学歯周病学分野 助教 村上弘氏（31期生）による記念講演が行われました。



開学記念式典

## ○福岡看護大学平成29年（2017年）開学決定

学校法人福岡学園が設置認可申請した「福岡看護大学」は、平成28年8月26日に文部科学省の大学設置・学校法人審議会から「可」の答申を受け、8月31日、文部科学大臣より設置が認可されましたので、計画通り平成29年（2017年）4月に開学いたします。



新校舎イメージ（2017年1月完成予定）

### 福岡看護大学の建学の精神

教育基本法及び学校教育法に基づき、看護学に關する専門の学術を教授研究し、教養と良識を備えた

有能な看護専門職を育成することを目的とし、社会福祉に貢献するとともに、看護学の進展に寄与することを使命とする。

### 学びの特色・理念

一人ひとりの尊厳を保ち、その人らしい最適な暮らし（well-being）を支える看護専門職を育成します。

### 〔看護学部概要〕

|                                                                                                                       |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| ◇名称<br>福岡看護大学 看護学部看護学科                                                                                                |
| ◇設置年月<br>平成29年（2017年）4月                                                                                               |
| ◇入学定員 100名（男女共学）                                                                                                      |
| ◇取得学位 学士（看護学）                                                                                                         |
| ◇取得可能資格<br>・看護師国家試験受験資格<br>・保健師国家試験受験資格<br>（選択制定員10名）<br>・養護教諭二種免許<br>（保健師国家試験合格後申請）<br>・第一種衛生管理者免許<br>（保健師国家試験合格後申請） |
| ◇設置場所<br>福岡県福岡市早良区田村二丁目15番1号                                                                                          |
| ◇学生納付金<br>1年次/1,800,000円<br>（入学金300,000円を含む）<br>2年次以降/1,500,000円                                                      |
| ◇奨学金制度<br>・福岡看護大学特待生制度<br>・福岡看護大学看護職育成奨学金制度                                                                           |

## ○第23回日本歯科医学会総会開催

平成28年10月21日（金）から3日間にわたり、福岡国際会議場・福岡サンパレスにおいて第23回日本歯科医学会総会（会頭：水田祥代 主幹校：福岡歯科大学）が「歯科医療 未来と夢」をメインテーマに開催されました。

総会史上初めて九州の地で開催された総会は、京都大学 iPS 細胞研究所所長の山中伸弥教授、東京理科大学 向井千秋特任副学長を迎え御講演いただい

た開会講演をはじめ、会頭講演や講演、シンポジウム、国際セッション、分科会プログラム、公開フォーラム、ポスターセッション等が行われました。総会には、歯科医師を始め、歯科衛生士、歯科技工士、学生等が参加し、最終日に行われた公開フォーラム・市民イベントでは、一般市民等が歯の衛生に関する正しい知識を学びました。

皆様のご参加をいただき、誠にありがとうございました。

## ◆福岡歯科大学◆



第23回日本歯科医学会総会開会式



公開フォーラム・市民イベント

## ○世界最先端の「デジタル化口腔顎機能記録解析教育装置」を導入

平成27年度私立学校施設整備費補助金の交付を受け、「デジタル顎運動計測装置」「インプラント埋入測定シミュレーション」「口腔内・外スキャナー」「デジタル咬合器」「CAD用3次元マウス」「デジタル顎運動解析ソフト」等を含む「デジタル化口腔

顎機能記録解析教育装置」を医科歯科総合病院第2総合診療室に導入しました。これにより、デジタル機器による診断や治療を一貫して計画的に実践する知識を学ぶことが可能となります。口腔医学について深い知識を持ち、最新のデジタル技術を駆使する歯科医師を養成するため、これらの装置は主に臨床実習で使用されます。

## ○国際交流

### ●リバプール大学歯学部と学術交流協定を締結



口腔内スキャナー



インプラント埋入測定シミュレーション

この度、福岡歯科大学はイギリスのリバプール大学歯学部と学術交流に関する協定を結びました。この協定によって同大学は、ヨーロッパで初めての提携校を持つことになりました。

リバプール大学は、イギリス・イングランド北西部の都市リバプールにあり、幾人ものノーベル賞受賞者を輩出している名門校です。また国際交流にも力を入れており、世界各国から多くの留学生を受け入れています。

10月25日、リバプール大学歯学部 歯学部長

Callum Youngson 教授が同大学を訪れ、協定書への調印が行われました。

今後、リバプール大学歯学部との間に結ばれた本協定により、両大学間での教職員や学生の訪問、教育・学術研究活動における情報交換など、各方面における活発な交流が期待されます。



#### ●マンダレー歯科大学（ミャンマー）と学術交流協定を締結

福岡歯科大学とミャンマーのマンダレー歯科大学は、学術交流の促進のため、平成28年3月8日、交流協定を締結しました。この協定により、ヤンゴン歯科大学に続いて、ミャンマー国内で2つ目の提携校を持つことになりました。

福岡歯科大学は、以前よりミャンマーへ医療援助チームを派遣しており、マンダレー歯科大学のチームと共同で手術や診察を行ったり、本学教員がマンダレー歯科大学で講演を行うなど交流を深めてきました。

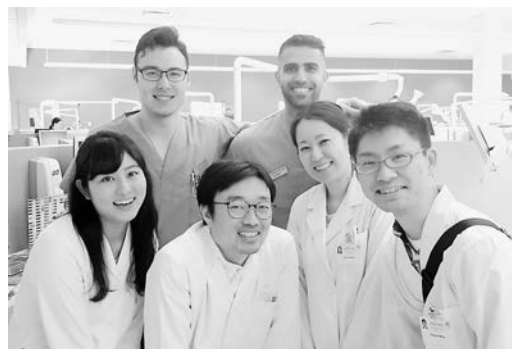
同年10月20日には国際交流の一環として、マンダレー歯科大学より教員1名が福岡歯科大学を訪れ、大学院特別講義を行いました。

この度の協定締結により、福岡歯科大学とマンダレー歯科大学の教員・研究者・学生の相互訪問によ

る教育活動協力ならびに学術研究活動協力や学術会議等への相互招待など、各方面における活発な交流が期待されます。

#### ●ブリティッシュコロンビア大学

平成28年4月17日から5月1日まで、カナダ・バンクーバーのブリティッシュコロンビア大学を福岡歯科大学教員2名、学生4名が訪問しました。この交流は、平成22年2月にブリティッシュコロンビア大学歯学部との間に結んだ提携に関する協定に基づき実施されているもので、今回で6度目を数えます。参加した学生からは、「自分で考え行動する力を身に付けることの重要性を感じた」との感想が寄せられました。



ブリティッシュコロンビア大学訪問の様子

#### ●中国医科大学口腔医学院

平成28年3月20日から26日まで、中国医科大学口腔医学院を福岡歯科大学教員2名と学生4名が訪問し、同年9月25日から10月2日まで、中国医科大学口腔医学院より学生訪問団が本学を訪れました。

今回が4回目となる中国医科大学との学生交流



中国医科大学訪問の様子

は、平成25年3月に結ばれた姉妹校協定に基づいて行われました。両校の学生にとって国際交流は大変有意義なものであり、今後更なる交流の発展が期待されます。

### ●上海交通大学口腔医学院

福岡歯科大学と上海交通大学口腔医学院との学生交流は、平成18年から毎年行われ、今回で11回目になります。

今年は、平成28年3月13日から19日まで、上海交通大学口腔医学院を福岡歯科大学教員2名と学生4名が訪問し、同年11月13日から18日まで、上海交通大学口腔医学院より学生訪問団が本学を訪れました。

このような定期的な国際交流がもたらす輪は、両国の学生にとって豊かな国際感覚を養う貴重な機会となっています。



上海交通大学訪問の様子

### ●慶熙大学校歯科大学

平成28年1月31日から2月6日まで、韓国・慶熙大学校歯科大学より学生訪問団が福岡歯科大学を訪れ、同年3月13日から19日まで、慶熙大学校歯科大学を福岡歯科大学教員1名と学生3名が訪問しました。



慶熙大学校歯科大学訪問の様子

慶熙大学校歯科大学との学生交流は平成19年から平成24年まで隔年で行われていましたが、平成25年より毎年行われるようになり、双方の学生が自国以外の歯学や生活について直接意見交換ができる、貴重な学びの機会となっています。

### ○地域連携

#### 平成28年度「健康まると福岡学園」を開催

平成28年10月29日、30日、福岡歯科大学をメイン会場に平成28年度「健康まると福岡学園」を開催しました。両日とも天候に恵まれ、2,400名を超える来場者で賑わいました。田の歯科祭・からだの科学展・講演会等の様々な催しが行われ、数多くの地域住民の方にご参加いただきました。



田の歯科祭



からだの科学展



講演会

## 福岡歯科大学学生が地域ハロウィーンパレードに参加

平成28年10月30日、福岡歯科大学学生が「七隈祭 & 地域ハロウィーンパレード2016」に参加しました。

これは、地下鉄七隈線沿線三大学連絡協議会地域連携WG設置委員会における学生による地域貢献活動の一環として初めて行われたもので、福岡大学、中村学園大学、福岡歯科大学の三大学から学生等が参加しました。

学生等は金山小学校グラウンドから福岡大学正門までの1.7キロをパレードし、沿道から声援を送る地域住民と交流を深めました。



パレードに参加する口腔歯学部生

## ○第109回歯科医師国家試験

平成28年3月18日、厚生労働省から第109回歯科医師国家試験の結果が発表されました。全国の受験者3,103名中、合格者1,973名、合格率は63.6%でした。福岡歯科大学からは今春卒業した85名及び既卒者56名、計141名が受験し、65名が合格しました。合格率は44.7%でした。

### 福岡歯科大学の過去の合格率

(順位は私立歯科大学17校中)

|       |        |       |     |
|-------|--------|-------|-----|
| 平成10年 | (第91回) | 95.0% | 1位  |
| 平成11年 | (第92回) | 86.8% | 3位  |
| 平成12年 | (第93回) | 81.1% | 2位  |
| 平成13年 | (第94回) | 92.4% | 4位  |
| 平成14年 | (第95回) | 87.0% | 5位  |
| 平成15年 | (第96回) | 98.3% | 2位  |
| 平成16年 | (第97回) | 87.0% | 3位  |
| 平成17年 | (第98回) | 63.9% | 13位 |

|       |         |       |     |
|-------|---------|-------|-----|
| 平成18年 | (第99回)  | 76.4% | 11位 |
| 平成19年 | (第100回) | 70.7% | 10位 |
| 平成20年 | (第101回) | 62.9% | 9位  |
| 平成21年 | (第102回) | 76.0% | 5位  |
| 平成22年 | (第103回) | 80.5% | 2位  |
| 平成23年 | (第104回) | 67.2% | 7位  |
| 平成24年 | (第105回) | 66.9% | 8位  |
| 平成25年 | (第106回) | 69.5% | 8位  |
| 平成26年 | (第107回) | 59.3% | 9位  |
| 平成27年 | (第108回) | 57.0% | 11位 |
| 平成28年 | (第109回) | 63.6% | 13位 |

## ○生涯研修の充実

福岡歯科大学では平成23年12月に開院した口腔医療センターを生涯研修の中核施設として、歯科医師等の資質の保持・向上に向けた研修を積極的に開催しています。平成27年度は、「口腔インプラント初級講習会」、「在宅歯科医療に役立つ知識」、「福岡歯科大学 生涯研修セミナー」、「すぐに役立つ最新のNiTi Fileを用いた根管形成法の実践」、「歯周検査・スケーリングと歯周外科手術の基本と応用」の5つのプログラムを実施し、延べ60名の方が参加されました。

平成28年度は、「口腔インプラント初級講習会」、「在宅歯科医療に役立つ知識」を実施しております。

今後も、歯科医学・歯科医療技術の進展や社会環境の変化に対応し、社会のニーズに応えることの出来る歯科医師等の育成・支援を目指して、様々な生涯研修を開催しますので、是非ご参加ください。



生涯研修

## ◆医科歯科総合病院◆

### ○地域連携

平成28年6月5日、福岡県歯科医師会館において、「第41回福岡市民の健康を歯と口から守る集い」（福岡市歯科医師会等と共催）が開催されました。医科歯科総合病院からは、口腔外科、小児歯科、禁煙相談、口臭予防等の相談コーナー等を開設し、多くの方にご利用いただきました。

今後も、同病院の理念である安全で質の高い、思いやりのある医療を提供するとともに、豊かな人間性を備えた有能な医療人の育成に努め、地域の患者様に満足されるよう、病院機能の維持と向上にさらに努力して参ります。



福岡市民の健康を歯と口から守る集い

### ○「リハビリテーション科」を標榜

福岡歯科大学では、「口腔医学」の理念に基づき口腔の健康を通して全身の健康を守る歯科医師を養成するため、歯科だけではなく、内科、外科をはじめとする一般医学の充実に取り組んできました。その一環として、平成28年5月25日から医科歯科総合病院にリハビリテーション科を標榜いたしました。同科では、日本整形外科学会整形外科専門医や日本



リハビリをサポートする専門医・理学療法士

整形外科学会認定運動器リハビリテーション医・理学療法士が十分な診断・評価のもとに、患者の皆様の状態に合ったリハビリテーション・プログラムを提供いたします。

### ○西鉄バス乗り入れ運行開始

医科歯科総合病院玄関前への西鉄バスの乗り入れが、平成28年6月18日から開始されました。病院玄関前のバスの乗り入れは、患者の皆様へのアンケートやご意見箱に寄せられるご意見のなかで数多くあげられていたもので、病院側と西日本鉄道株式会社が協議を行った結果、6月のダイヤ改正から運行が始まりました。

病院玄関前ロータリーには、「歯科大病院」という名称でバス停が新設され、藤崎・天神・博多駅方面と病院を結ぶバスが、平日は1日あたり合計37便運行します。通院に大変便利になっておりますので、ぜひご利用ください。



病院玄関前「歯科大病院」バス停新設

## ◆福岡医療短期大学◆

### ○第25回歯科衛生士国家試験

平成28年3月28日、厚生労働省から第25回歯科衛生士国家試験の結果が発表されました。福岡医療短期大学・歯科衛生学科からは卒業生86名（既卒者3名）が受験し、合格者は84名、合格率は97.7%でした。なお全国の合格率は96.0%でした。

今回も昨年同様、国家試験対策として国試問題集の出題範囲を限定した演習試験を実施し、各回の成績不振者に対して、放課後と土曜日に補習を行いました。また、演習ならびに模擬試験の成績不振者には冬期休暇中はもとより、国家試験直前まで特訓補習を実施しました。

## ◆社会福祉法人学而会◆

### ○特別養護老人ホームサンシャインセンター開設

本学園が母体となって設立した社会福祉法人学而会が、福岡市早良区干隈に建設していた「サンシャインセンター」が平成28年1月27日に竣工しました。同施設は、2003年10月に開設されたサンシャインプラザ（早良区田村）に続いて、同法人で2施設目の全個室（ユニットケア）型特別養護老人ホームとなり、入所サービス（定員70名）、短期入所サービス（定員10名）を提供しています。



サンシャインセンター

## ◆受賞など◆

### ○水田祥代理事長が世界小児外科学会連合「The Lifetime Achievement Awards」を受賞

本学園の水田祥代理事長が、世界小児外科学会連合（WOFAPS）から小児外科医学の進歩・発展に貢献した個人へ贈られる「The Lifetime Achievement Awards」を受賞しました。

水田理事長は、長年小児外科医学の臨床・研究に取り組み、数々の顕著な業績を挙げ、日本国内のみならず、小児外科医学の充実・発展に寄与した功績が評価され、この度の受賞となりました。

平成28年5月23日にヒルトン福岡シーホークにて世界小児外科学会連合（WOFAPS）総会が開催され、表彰式で同賞の贈呈が行われました。



世界小児外科学会連合総会 授賞式

### ○水田祥代理事長に女性で初めてとなるヨーロッパ小児外科学会（EUPSA）の名誉会員の称号授与

本学園の水田祥代理事長に、ヨーロッパ小児外科学会（EUPSA）から「EUPSA HONORARY MEMBER（名誉会員）」の称号が授与されました。

水田理事長は、長年小児外科医学の臨床・研究に取り組み、小児腫瘍学や小児の肝疾患、新生児の手術などにおいて数々の顕著な業績を挙げ、小児外科医学の充実・発展に寄与した功績が評価され、この度、日本人で2人目の称号授与となりました。

ミラノで平成28年6月18日（現地時間）に開催されたヨーロッパ小児外科学会総会にて、称号の授与が行われました。



ヨーロッパ小児外科学会総会にて

### ○水田祥代理事長に「Honorary Fellowship of the American College of Surgeons」の称号授与

本学園の水田祥代理事長に、米国外科学会（ACS）から外科医学の分野において国際的に貢献

された方々や医学分野において優れた人道的活動を行ってきた方へ贈られる「Honorary Fellowship of the American College of Surgeons」の称号が授与されました。

水田理事長は、長年小児外科医学の臨床・研究に取り組み、数々の顕著な業績を挙げ、日本国内のみならず、国際的にも小児外科医学の充実・発展に寄与した功績が評価され、この度、日本人小児外科医として初めての称号授与となりました。

ワシントンで平成28年10月16日（現地時間）に開催され米国外科学会にて、同賞の贈呈が行われました。



米国外科学会 授与式にて

## ○福岡歯科大学学生が第23回日本歯科医学会総会でDSP 優秀賞を受賞！

平成28年10月23日、福岡サンパレスにおいて開催された第23回日本歯科医学会総会デンタル・スチューデント・プレゼンテーション（DSP）表彰式で、福岡歯科大学学生の薬師寺正道さんがDSP 優秀賞を受賞しました。

### 【演題】

「細胞老化に対するクロロゲン酸の効果」



DSP 表彰式 参加者集合写真



プレゼン発表をする薬師寺正道さん

## ◆人 事◆

（平成27年11月1日～平成28年10月31日）

### ■新理事紹介



えびい えつこ 理事  
海老井 悦子 理事

平成27年11月に開催された理事会の議決により、海老井悦子氏が学校法人福岡学園の新理事・評議員に選任されました。

任期は平成29年8月2日までとなります。

### ■名誉教授

平成28年7月27日に執り行われた学校法人福岡学園開学記念式典において、北村憲司常務理事、松浦正朗前教授に福岡歯科大学名誉教授の称号が授与されました。

北村名誉教授は、平成6年に福岡歯科大学教授に就任され、平成21年2月から2期6年にわたり同大学大学長を務め、現在は学校法人福岡学園常務理事として学園の発展・向上に尽力されております。



北村 憲司  
名誉教授



松浦 正朗  
名誉教授

また、松浦名誉教授は、平成10年に福岡歯科大学教授に就任後、同大学医科歯科総合病院長、同大学口腔医療センター初代センター長、学校法人福岡学園理事・評議員を歴任し、平成25年3月に同センター長を退かれるまでの約14年間、学園の発展に寄与されました。

## ■新役職教員等紹介

### ●医科歯科総合病院 病院長補佐



樋口 勝規  
病院長補佐

福岡歯科大学医科歯科総合病院の管理運営体制強化のため新設された同病院病院長補佐に樋口勝規氏が就任されました。任期は平成28年4月1日から平成29年3月31日までです。

また、同氏は、平成28年7月19日に行われた第501回理事会において、評議員として選任されました。

### ●医科歯科総合病院 副病院長



篠原 徹雄 副病院長



高橋 裕 副病院長

任期満了に伴い、平成28年2月16日に開催された第495回理事会において、福岡歯科大学医科歯科総合病院副病院長に高橋裕氏、篠原徹雄氏が選任されました。任期は平成28年4月1日から平成30年3月31日までです。

また、評議員在任中の高橋氏に加え、篠原氏も平成28年3月15日に行われた第496回理事会において、評議員として選任されました。

### ●医科歯科総合病院 病院教授・病院准教授

福岡歯科大学医科歯科総合病院において、診療体制の充実を図るため病院教授・病院准教授・病院講

師の称号が新設されました。この称号は、優れた医療技術、診断能力等により顕著な臨床実績を有する医師・歯科医師に与えられるもので、平成28年4月1日付けで4名の歯科医師に付与されました。

- ・ 泉 利雄（歯科保存学分野）
- ・ 森田 浩光（総合歯科学分野）
- ・ 馬場 篤子（成育小児歯科学分野）
- ・ 山田 和彦（総合歯科学分野）



森田 浩光 病院教授



泉 利雄 病院教授



山田 和彦 病院准教授



馬場 篤子 病院准教授

## ■教授紹介

【平成27年12月1日付】



山下 潤朗  
定員外教授

やました じゅんろう  
山下 潤朗 教授

（口腔顔面美容医療センター）

〈略歴〉

北海道大学卒、東京医科歯科大学歯科補綴学専攻課程、同博士課程、ミシガン大学修士課程修了。平成27年12月1日、福岡歯科大学口腔顔面美容医療セン

ター定員外教授に就任。前職：Assistant Professor, University of Michigan。博士（歯学）。

〈抱負〉

歯ぐきの治療、入れ歯、インプラント、かぶせものが専門です。健康で、見た目にも自信がもてる美

しい口もとを創るために、患者さんとよく話し合い  
ベストな治療法を提供しています。

【平成28年2月1日付】



おおの じゅん 教授

(再生医学研究センター)

〈略歴〉

城西歯科大学(現 明海大学)  
卒。同大学口腔病理学講座助  
手、カリフォルニア大学サンフ

ランシスコ校皮膚科研究室研究員、明海大学口腔病  
理学講座助手を経て、福岡歯科大学病態構造学分野  
講師に就任。平成28年2月1日、同大学再生医学研  
究センター任期付教員(教授)に昇任。博士(歯  
学)。

〈抱負〉

平成28年2月1日に再生医学研究センターの教授  
を拝命致しました。大学院生の研究拠点として、本  
センターが益々発展するように努力致します。よろ  
しくお願い致します。

【平成28年7月1日付】



やまの たかふみ 貴史 教授

(耳鼻咽喉科学分野)

〈略歴〉

福岡大学医学部卒。福岡大学  
病院耳鼻咽喉科入局、福岡大学  
病院、九州がんセンター、福岡  
大学筑紫病院勤務、福岡歯科大学耳鼻咽喉科学分野  
講師、准教授を経て、平成28年7月1日同分野教授  
に昇任。博士(医学)。

〈抱負〉

嚥下・音声分野について造影検査などに基づいた  
リハビリテーションや手術治療を積極的に行ってい  
きます。また、歯性上顎洞炎に対する鼻内視鏡手術  
の啓蒙も進めていきます。

【平成28年10月1日付】



ひらき あきみつ 昭光 教授

(口腔腫瘍学分野)

〈略歴〉

九州大学歯学部歯学科卒。同  
大学歯学部附属病院研修医、同  
大学歯学部附属病院医員、麻生  
飯塚病院歯科口腔外科医長代理、佐世保共済病院歯  
科口腔外科医長、九州大学病院顔面口腔外科助教、  
熊本大学大学院生命科学研究部総合医薬科学部門感  
覚・運動医学講座歯科口腔外科学分野講師、福岡歯  
科大学口腔腫瘍学分野准教授を経て、平成28年10  
月1日同分野教授に昇任。博士(歯学)。

〈抱負〉

総合病院や医学部附属病院など多施設で経験して  
きたことを生かして最良の治療を提供し、また患者  
様にわかりやすく、安心して治療を受けて頂ける診  
療科をめざしております。

## 採用

【平成28年4月1日付】

進 正史〔細胞生理学分野・講師〕

大久保つや子〔福岡看護大学設置準備室・設置準備員〕

青木 久恵〔福岡看護大学設置準備室・設置準備員〕

門司真由美〔福岡看護大学設置準備室・設置準備員〕

寒水 章納〔福岡看護大学設置準備室・設置準備員〕

三好 麻紀〔福岡看護大学設置準備室・設置準備員〕

【平成28年7月1日付】

内田 邦敏〔分子機能制御学分野・講師〕

【平成28年8月1日付】

中村 恵子〔口腔医療センター・講師〕

【平成28年10月1日付】

吉田 理恵〔福岡看護大学設置準備室・設置準備員〕

## 昇任

【平成27年11月1日付】

香川 豊宏〔画像診断学分野・准教授〕

【平成28年4月1日付】

牧野 路子〔高齢者歯科学分野・講師〕

石井 健士〔生化学分野・講師〕

橋口 一成〔生化学分野・講師〕

末松美保子〔保健福祉学科・教授〕

古野みはる〔保健福祉学科・准教授〕

【平成28年5月1日付】

都築 尊〔有床義歯学分野・准教授〕

吉田 兼義〔有床義歯学分野・講師〕

【平成28年7月1日付】

横上 智〔口腔医療センター・講師〕

【平成28年10月1日付】

八田 光世〔分子機能制御学分野・准教授〕

## ■新任客員教員

【平成28年4月1日付】

窪田 恵子〔客員教授〕

大久保つや子〔客員教授〕

中島富有子〔客員准教授〕

青木 久恵〔客員准教授〕

## ■新任臨床教員

【平成28年4月1日付】

白井 義英〔臨床教授〕

鬼塚 得也〔臨床教授〕

中島 稔博〔臨床准教授〕

## ○本田武司顧問が退任



本田武司顧問が平成27年12月31日付けで退任されました。

本田氏は、昭和50年福岡歯科大学講師に着任後、助教授を経て、平成6年同大学教授に就任。教育・臨床・研究にあたら

れる一方、同大学附属病院長、同大学長を歴任。平成21年度2月より学校法人福岡学園理事を、平成27年2月より顧問を務められ、40年間学園の発展に尽力されました。

〈メッセージ〉

多くの皆様方にお世話になりながら40年と10カ月を過ごした本学を去るに当たり、4千人を超える立派な歯科医師を世に送り出すための一助を担うこと

が出来たことを誇りに感じています。

これからも社会の要請にこたえられる立派な歯科医師の養成ができる大学であってほしいと願っています。

## ○厚谷彰雄顧問が退任



厚谷彰雄顧問が平成28年3月31日付けで退任されました。厚谷氏は、平成18年1月に学校法人福岡学園事務局長に着任後、平成27年5月より同法人顧問を務められ、学園の発展に尽力されました。

〈メッセージ〉

私は、高校を出てから本学退任までの50年、本当に多くの人に助けられ、励まされ、なんとかやってこられました。そして、大好きな福岡の地を、その長い旅路の終着駅にできることを、今は亡き田中先生をはじめ皆さまに、心より感謝申し上げたいと思います。今後は、「口腔医学で生涯健康」を目指す本学のサポーターとして応援を続けていきます。

## ■退職

【平成28年3月31日付】

石橋 一成〔生化学分野・准教授〕

伊東理世子〔生化学分野・講師〕

【平成28年4月30日付】

青木 将虎〔口腔医療センター・講師〕

【平成28年8月31日付】

木村敬次リチャード〔障害者歯科学分野・講師〕

## 健康まるごと福岡学園 「第42回田の歯科祭」



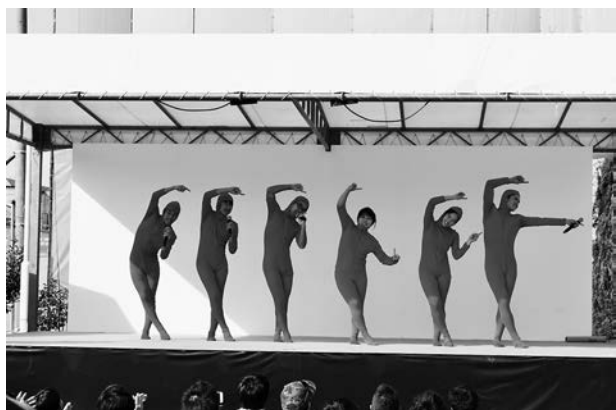
学園祭実行委員長  
4年 豊田 真顕

第42回学園祭実行委員長を務めさせていただきました豊田真顕と申します。

今年度の学園祭は多くの方々にお越しいただきまして大変賑やかなものとなりました。学園祭の運営にあたり、協力していただいた全ての方に感謝を申し上げます。

自分は元々、みんなで集まり賑やかに過ごすのが好きな性格でもありますし、入学した当初から大学の学園祭に興味がありました。そして同じ部活の先輩から声を掛けて頂いたことをきっかけに実行委員として学園祭に携わることとなりました。

我が校の学園祭は他大学の学園祭とは大きく異なります。学生が一丸となり、学園祭を盛り上げ、楽しむのは同じですが、私たちの学園祭に必要なのが地域の方々との交流です。一人でも多くの人に学園祭に足を運んでもらい、一緒に楽しむことをきっかけとし、今の歯科治療や予防に興味を持ってもらう糸口としていくことが学園祭の最も重要な目的であると思います。



そのため、お笑いライブやビンゴ大会、露店などのお祭り要素に加え、無料歯科相談などの歯科大ならではのイベントも実施しているのです。このようにバラエティーに富んだラインナップの学園祭ですが、その分、様々な仕事が沢山あり、それに伴う問題も山積みです。楽しいことが好きで入ろうと思った学園祭実行委員ですが、楽しいことに苦勞は付き物なのだと身を持って感じました。これまでも実行委員会の委員として奮闘した3年間を過ごしましたが、その3年間で得たものは多く、充実したものでした。それぞれの年で違った実行委員長の元で仕事をし、学園祭を作り上げていく中で、毎年、同じように見えて全く違った学園祭ができているように感じました。それはその年の実行委員長の色が出ているのだろうと思い、実行委員最後の年である4年目は、自分らしい学園祭を作りたいな、と強く思うようになりました。

そして幸運にも今回、憧れていた学園祭実行委員長を務めさせていただきましたが、実感したのは的確な指示を出しまとめることの大変さ。一実行委員にはない大きな責任や膨大な量の仕事の大変さは想像以上のものでした。今年は昨年までの反省点を踏まえ、また、委員会の人数も少なかった為、例年よりも早く準備に取り掛かりました。何よりも慎重に取り組んだことは学園祭に参加していただく地域の方々への連絡の徹底でした。上記で述べた通り、我が校の学園祭は地域の方々とのつながりによって成り立っていると自分は感じていた為、そこを最も重視しました。その甲斐もありまして大きなミスをし

ることもなくスムーズに進めることができ、結果として多くの地域の方々にお越しいただき、イベントも例年になく盛り上がったと思います。

今回このような経験から改めて地域の方々とのつながりを感じることができました。そして学園祭実行委員長を務めさせていただいたことにより将来、必ず役に立つであろう非常に多くの貴重な経験をすることができました。本当に感謝しています。

最後になりましたが、学園祭運営にあたり援助していただいた宮口同窓会長を始め、同窓会の皆様には感謝申し上げます。学務課、企画課の方々には迷惑ばかりかけながら、多くの支援をしていただき本当にお世話になりました。また、昨年の実行委員の先輩方や先生方並びに実行委員の先輩方や先生方の助言にも本当に助けられました。そして実行委員会メ

ンバーの皆さん、頼りない自分に最後までついてきてくれてありがとう。本当にこのメンバーでやることができてよかったです。

自分は来年、学祭の運営に携わる事が無い事を考えると少し寂しい気もしますが、頼れる後輩たちが実行委員にはたくさんいるので、来年、再来年、と学園祭をさらに盛り上げて行って欲しいです。



昇格



平成28年5月1日

咬合修復学講座  
有床義歯学分野

准教授 都 築 尊（18期）

平成28年5月1日付で咬合修復学講座有床義歯学分野の准教授を拝命いたしました。母校を巣立っていく歯科医師が社会に貢献し世界で活躍することをビジョンとして掲げ、教育、臨床、研究に邁進していく所存です。分不相応なのは百も承知ですが、「立場は人を創る」という言葉を信じて生涯学習を続けていく所存ですので、今後とも同窓の皆様のご指導ご鞭撻のほど宜しくお願い申し上げます。



平成28年5月1日

咬合修復学講座  
有床義歯学分野

講師 吉 田 兼 義（28期）

平成28年5月1日付で有床義歯学分野の講師を拝命いたしました。平成23年4月に有床義歯学分野の助教として採用され、同窓の大先輩である高橋裕教授のもと、教育、臨床、研究に携わってまいりました。

まだまだ若輩ものでございますが、今後とも大学の理念である「口腔医学」に沿って福岡学園、福岡歯科大学および福岡歯科大学同窓会の発展のために微力ではございますが精一杯尽くしていきたいと考えております。

今後とも、より一層のご指導・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



平成28年7月1日

口腔医療センター

講師 横 上 智（29期）

平成28年7月1日付で口腔医療センターの講師に任命されました。これからも古賀千尋センター長のもと、諸先生方と協力し、臨床、研究、教育に励み、口腔医療センターならびに大学の発展に貢献できるよう努力いたします。今後とも同窓の先輩方をはじめ皆様の御指導、御鞭撻のほどよろしくお願いします。

称号



平成28年4月1日  
福岡歯科大学医科歯科総合病院  
(小児歯科)  
病院准教授 馬場 篤子 (12期)

平成28年4月1日付で水田祥代理事長先生より福岡歯科大学医科歯科総合病院の病院准教授の称号を頂戴いたしました。これも、宮口会長を始め同窓生の皆様のご支援の賜物と、感謝しております。今後も母校の発展に貢献できますよう精進してまいります。



平成28年4月1日  
総合歯科学講座総合歯科学分野  
(総合歯科)  
病院准教授 山田 和彦 (13期)

この度、平成28年4月1日付で水田理事長先生から福岡歯科大学医科歯科総合病院「病院准教授」の称号を頂きました。今後とも医科歯科総合病院の診療体制の充実を図るとともに大学病院の特長を活かした診療が提供できる様尚一層精進していきたいと思っております。今後とも同窓の皆様のご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

本学学位取得者 (甲)



福岡歯科大学  
成長発達歯学講座  
矯正歯科学分野  
藤田 隆寛 (33期)

博士 (歯学) (甲第271号)

平成28年3月12日

学位論文題名

Microfibril-associated glycoprotein-1 controls human ciliary 20nule development in vitro

## 学位取得者紹介

---



福岡歯科大学  
咬合修復学講座  
口腔インプラント学分野  
谷 口 祐 介 (33期)

博士（歯学）（甲第272号）

平成28年 3 月12日

学位論文題名

Effect of zirconia implants with surface roughness created with laser on osseointegration  
(レーザーによるジルコニアインプラントの粗面化がオッセオインテグレーションに及ぼす影響)



福岡歯科大学  
総合歯科学講座  
総合歯科学分野  
瀬 野 恵 衣 (33期)

博士（歯学）（甲第273号）

平成28年 3 月12日

学位論文題名

Lupus-like oral mucosal lesions in mercury-induced autoimmune response in Brown Norway rats  
(ブラウンノルウェーラットにおける水銀誘導型自己免疫反応によるループス様口腔粘膜病変)



福岡歯科大学  
成長発達歯学講座  
矯正歯科学分野  
陶 山 大 輝 (33期)

博士（歯学）（甲第274号）

平成28年 3 月12日

学位論文題名

Differentiation of rat dermal mesenchymal cells and calcification in three-dimensional cultures  
(三次元培養におけるラット真皮由来間葉系細胞の分化と石灰化物形成)



福岡歯科大学  
成長発達歯学講座  
成育小児歯科学分野  
戸 田 雅 子 (33期)

博士（歯学）（甲第275号）

平成28年 3 月12日

学位論文題名

Osteogenic potential for replacing cells in rat cranial defects implanted with a DNA/protamine complex paste  
(ラット骨欠損モデルにおける DNA/ プロタミン複合体埋入による骨原生細胞の動態)



福岡歯科大学  
成長発達歯学講座  
成育小児歯科学分野  
比 嘉 ありさ (33期)

博士（歯学）（甲第276号）  
平成28年 3 月12日  
学位論文題名  
Intracellular Signaling Pathway Activation via  
TGF- $\beta$  Differs in the Anterior and Posterior  
Axis During Palatal Development



福岡歯科大学  
成長発達歯学講座  
成育小児歯科学分野  
田 村 翔 悟 (33期)

博士（歯学）（甲第277号）  
平成28年 3 月12日  
学位論文題名  
Effects of fibrillin application on periodontal  
ligament regeneration in mouse model of tooth  
replantation



福岡歯科大学  
口腔治療学講座  
歯周病学分野  
丸 尾 直 樹 (32期)

博士（歯学）（甲第278号）  
平成28年 3 月12日  
学位論文題名  
Differentiation of apical bud cells in a newly  
developed apical bud transplantation model  
using GFP transgenic mice as donor



福岡歯科大学  
総合歯科学講座  
高齢者歯科学分野  
野 口 哲 司 (32期)

博士（歯学）（甲第279号）  
平成28年 3 月12日  
学位論文題名  
Insomnia and depression impair oral-health  
related quality of life in the old-old

# 会 務 報 告

(自 平成27年 4 月 1 日～至 平成28年 3 月31日)

|            |                                                                              |                                      |                 |
|------------|------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------|-----------------|
| 4 / 3 (金)  | 福岡歯科大学入学式                                                                    | 本学園                                  | (宮口会長)          |
| 4 / 4 (土)  | 平成26年度佐賀県同窓会総会                                                               | ホテルマリターレ創世                           | (宮口会長)          |
| 4 / 5 (日)  | 第 5 回 ICOI Fellowship 養成コース(4)                                               | 本学園 4 階実習室                           | (学術委員会・インプラント科) |
| 4 / 9 (木)  | 平成26年度監査                                                                     | 同窓会室                                 | (監事、会計委員会)      |
| 4 / 18 (土) | 福岡県北同窓会総会・学術講演会・懇親会                                                          | ホテルニュータガワ<br>(宮口会長、神田副会長、持山専務)       |                 |
| 4 / 19 (日) | 平成27年度第 1 回学術委員会                                                             | 福岡市歯科医師会館 1 階談話室                     | (学術委員)          |
| 4 / 19 (日) | 平成27年度第 1 回理事会/水田祥代先生<br>福岡学園理事長ご就任祝賀会                                       | 福岡県歯科医師会館/西鉄グランドホテル<br>(本部役員/地区会長)   |                 |
| 4 / 21 (火) | 法人理事会・臨時評議員会                                                                 | 本学園<br>(宮口会長、武井・高嶺副会長、高橋顧問)          |                 |
| 4 / 24 (金) | 第 6 学年激励会                                                                    | 学生食堂                                 | (武井副会長)         |
| 5 / 11 (月) | 平成27年度第 2 回学術委員会                                                             | 福岡県歯科医師会館 4 階 第 3 会議室<br>(学術委員会)     |                 |
| 5 / 14 (木) | 松延彰友先生九歯大同窓会会長退任慰労会                                                          | 京都「つる屋」                              | (宮口会長、高嶺副会長)    |
| 5 / 17 (日) | 第 5 回 ICOI Fellowship 養成コース(5)                                               | 本学園 5 階講義室                           | (学術委員会・インプラント科) |
| 5 / 24 (日) | 東北大学歯学部創立50周年 同窓会発足<br>40周年記念式典・祝賀会                                          | ホテルメトロポリタン仙台                         | (宮口会長)          |
| 5 / 26 (火) | 法人理事会・評議員会/ガーデン研修会                                                           | 本学園                                  | (宮口会長、武井・高嶺副会長) |
| 5 / 30 (土) | 第 2 回地区会会長会議、平成26年度定時評<br>議員会・定時総会、本学学長石川博之先生<br>特別講演会・比嘉なつみ先生衆議院議員当<br>選祝賀会 | ホテル日航福岡                              |                 |
| 5 / 30 (土) | 第31回全国歯科大学同窓会・校友会学術担<br>当者連絡会                                                | 桜門会館                                 | (江崎・森・田口理事)     |
| 5 / 31 (日) | 平成27年度福岡歯科大学同窓生対象オーブ<br>ンキャンパス                                               | 本学園<br>(宮口会長、高嶺・野口副会長、持山専務、芝池理事)     |                 |
| 6 / 6 (土)  | 平成27年度大阪府同窓会総会・懇親会                                                           | すたんど割烹 日本                            | (芝池理事)          |
| 6 / 13 (土) | 大分県同窓会総会・学術講演会・懇親会                                                           | 大分トキハ会館                              | (武井副会長)         |
| 6 / 13 (土) | 福岡県西同窓会総会・懇親会                                                                | 西鉄イン/レストラン&バー「BLOSSO」<br>(宮口会長、持山専務) |                 |
| 6 / 16 (火) | 法人理事会                                                                        | 本学園                                  | (宮口会長)          |
| 6 / 20 (土) | 沖縄県同窓会総会・懇親会                                                                 | ザ・ハナテラス                              | (宮口会長、馬場副会長)    |
| 6 / 20 (土) | 関東同窓会総会・学術講演会・懇親会                                                            | 東武ホテルレバント東京                          | (高橋顧問)          |
| 6 / 20 (土) | 平成26年度熊本県同窓会「大阿蘇会」定時<br>総会・懇親会                                               | ホテル日航熊本                              | (岩本副会長)         |
| 6 / 25 (木) | 2015年度スキルアップセミナー (1 回)                                                       | 福岡県歯科医師会館視聴覚室                        | (学術委員会)         |
| 6 / 27 (土) | 広島県同窓会総会・懇親会                                                                 | リーガロイヤルホテル                           | (深井副会長、高橋顧問)    |
| 7 / 11 (土) | 山口県同窓会総会・学術講演会・懇親会                                                           | セントコア山口                              | (武井副会長)         |
| 7 / 11 (土) | 鹿児島県同窓会総会・学術講演会・懇親会                                                          | 鹿児島県歯科医師会館                           | (宮口会長)          |

|           |                               |                                                   |                 |
|-----------|-------------------------------|---------------------------------------------------|-----------------|
| 7/13 (月)  | 平成27年度第3回学術委員会                | 福岡市歯科医師会館支部室                                      | (学術委員会)         |
| 7/14 (火)  | 第6学年激励会                       | 学生食堂                                              | (矢野・中副会長)       |
| 7/18 (土)  | 羽生哲也名誉教授叙勲祝賀会                 | ホテル日航福岡                                           | (宮口会長、勝俣副会長)    |
| 7/21 (火)  | 法人理事会                         | 本学園                                               | (宮口会長)          |
| 7/25 (土)  | 第62回全国歯科大学同窓・校友会懇話会           | リーガロイヤルホテル<br>(木村・高嶺・馬場副会長、持山専務、石田大阪府同窓会長)        |                 |
| 8/22 (土)  | 福岡歯科大学2期生卒業35周年記念「元気で集まろう会Ⅳ」  | ホテルニューオータニ博多                                      | (宮口会長)          |
| 8/23 (日)  | 中部・東海地区同窓会総会・懇親会              | 東海東京証券ミッドランド・プレミアサロン<br>(木村副会長)                   |                 |
| 8/27 (木)  | 2015年度スキルアップセミナー(2回)          | 福岡県歯科医師会館                                         | (学術委員会)         |
| 8/29 (土)  | 佐賀県同窓会学術講演会                   | ホテルニューオータニ佐賀                                      | (小柳常務)          |
| 8/29 (土)  | 四国地区同窓会総会・学術講演会・懇親会           | 松山全日空ホテル                                          | (武井・岩本副会長、持山専務) |
| 9/4 (金)   | 九歯大・九大との学術担当者連絡会              | 竹茂                                                | (岩本副会長、杣常務理事)   |
| 9/5 (土)   | 宮崎県同窓会夏期総会・学術講演会・懇親会          | ホテルスカイタワー宮崎<br>(宮口会長、馬場副会長、佐藤理事)                  |                 |
| 9/12 (土)  | 近畿ブロック役員連絡協議会・懇親会             | ホテル阪神                                             | (宮口会長、高嶺・馬場副会長) |
| 9/12 (土)  | 九州歯科大学福岡県同窓会福岡支部レクレーション       | ホテルマリノアリゾート福岡                                     | (武井・神田・中副会長)    |
| 9/13 (日)  | 第6回 ICOI Fellowship 養成コース(1)  | 本学園 5階講義室                                         | (学術委員会・インプラント科) |
| 9/14 (月)  | 平成27年度第4回学術委員会                | 福岡市歯科医師会館支部室                                      | (学術委員会)         |
| 9/27 (日)  | 12校会議並びに日歯会長の時局講演会            | ホテルグランドパレス                                        | (宮口会長、千原副会長)    |
| 9/27 (日)  | 九州歯科大学同窓会「第7回リーフの会」           | ホテルアルモニーサンク                                       | (馬場副会長)         |
| 9/29 (火)  | 法人理事会・評議員会                    | 本学園<br>(宮口会長、武井・高嶺副会長、高橋顧問)                       |                 |
| 10/1 (木)  | 比嘉なつみを囲む集い                    | NBC                                               |                 |
| 10/4 (日)  | 第6回 ICOI Fellowship 養成コース(2)  | 本学園 5階講義室                                         | (学術委員会・インプラント科) |
| 10/10 (土) | 大阪歯科・福岡歯科・九州歯科大学各同窓会懇談会・懇親会   | 仲むら(熊本)<br>(宮口会長、持山専務、吉永理事、伊藤熊本県同窓会副会長、椿熊本県同窓会理事) |                 |
| 10/18 (日) | 高知県同窓会学術講演会・懇親会               | マルミ歯科商店                                           |                 |
| 10/21 (水) | 法人理事会                         | 本学園                                               | (宮口会長)          |
| 10/22 (木) | 2015年度スキルアップセミナー(3回)          | 福岡県歯科医師会館                                         | (学術委員会)         |
| 10/24 (土) | 広島大学歯学部創立50周年記念式典・講演会         | ANA クランプラザホテル<br>(宮口会長、今井広島県同窓会長)                 |                 |
| 10/31 (土) | 福岡県南同窓会学術講演会                  | 久留米歯科医師会館                                         |                 |
| 11/1 (日)  | 第6回 ICOI Fellowship 養成コース(3)  | 本学園 5階講義室                                         | (学術委員会・インプラント科) |
| 11/11 (水) | 第6学年激励会                       | 学生食堂                                              | (武井副会長)         |
| 11/14 (土) | 第68回九州歯科医学大会(沖縄県大会)に伴う本同窓会懇親会 | パシフィックホテル<br>(宮口会長、武井・岩本・矢野・高嶺・馬場副会長、持山専務)        |                 |
| 11/16 (月) | 平成27年度第4回学術委員会                | 福岡県歯科医師会館第2会議室                                    | (学術委員会)         |
| 11/17 (火) | 法人理事会・評議員会                    | 本学園<br>(宮口会長、武井・高嶺副会長、高橋顧問)                       |                 |
| 11/25 (水) | 日本歯科・九州歯科・福岡歯科・大阪歯科4歯科大学懇談会   | 大阪歯科大学同窓会                                         | (宮口会長、持山専務)     |

|           |                                 |                                                  |
|-----------|---------------------------------|--------------------------------------------------|
| 11/27 (金) | 長崎県人会「卒業生送別会」                   | 西鉄ソラリアホテル (宮口会長)                                 |
| 11/29 (日) | 東京歯科大学同窓会創立120周年記念式典・講演会・記念祝賀会  | 東京歯科大学水道橋校舎新館 血脇記念ホール (勝俣副会長)                    |
| 12/5 (土)  | 九州歯科大学福岡県同窓会福岡支部忘年懇親会           | 稚加榮 (武井・岩本副会長、持山専務、中福岡県西同窓会長)                    |
| 12/6 (日)  | 第3回 JUC 発表会                     | 福岡電気ビル 共創館 (宮口会長)                                |
| 12/13 (日) | 福岡歯科大学学会総会                      | 本学園 (岩本副会長、他役員)                                  |
| 12/15 (火) | 法人理事会・忘年会                       | 本学園 (宮口会長)                                       |
| 12/23 (水) | 本田武司顧問叙勲祝賀会                     | ホテルオークラ福岡 (宮口会長他)                                |
| 12/28 (月) | 仕事納め                            |                                                  |
| 1/5 (火)   | 仕事始め                            |                                                  |
| 1/17 (日)  | 第6回 ICOI Fellowship 養成コース(4)    | 口腔医療センター (学術委員会・インプラント科)                         |
| 1/18 (月)  | 平成27年度学術委員会                     | 福岡県歯科医師会館支部室 (学術委員会)                             |
| 1/19 (火)  | 法人理事会                           | 本学園 (宮口会長)                                       |
| 1/24 (日)  | 福岡歯科大学小児歯科同門会創立40周年記念式典         | 西鉄グランドホテル (宮口会長、岩本副会長)                           |
| 1/24 (日)  | 第32回全国歯科大学同窓会・校友会学術担当者連絡会第2回準備会 | 医歯薬出版(株) 第3、4会議室 (粉・葛西常務理事)                      |
| 1/24 (日)  | 東京医科歯科大学歯科同窓会名刺交換会              | ホテルメトロポリタン エドモンド(千原副会長)                          |
| 2/5 (金)   | 福岡県北同窓会慶熙大学との国際交流会              | 真空管 (尾崎顧問)                                       |
| 2/13 (土)  | 福岡県東同窓会総会・学術講演会・懇親会             | 福岡県歯科医師会館5階 視聴覚室 (宮口会長、武井副会長、佐々木理事)              |
| 2/14 (日)  | 第33回臨床セミナー                      | 口腔医療センター (学術委員会)                                 |
| 2/16 (火)  | 法人理事会                           | 本学園 (宮口会長)                                       |
| 2/21 (日)  | 第6回 ICOI Fellowship 養成コース(5)    | 本学園 5階講義室 (学術委員会・インプラント科)                        |
| 2/28 (日)  | 沖縄県同窓会学術講演会                     | ネストホテル (高嶺副会長)                                   |
| 3/5 (土)   | 平成28年度近畿ブロック連絡協議会・懇親会           | ホテルアバローム紀の国                                      |
| 3/5 (土)   | 第29回学術講演会前準備、講師との懇親会            | 福岡県歯科医師会館大ホール/白つぐ (学術委員会)                        |
| 3/6 (日)   | 第29回学術講演会/学術委員会反省会              | 福岡県歯科医師会館大ホール/松風 (学術委員会)                         |
| 3/12 (土)  | 平成27年度九州5大学歯学部同窓会連絡協議会          | 小倉ステーションホテル「勝山の間」 (宮口会長、岩本・神田副会長、持山専務、小柳常務、鬼塚理事) |
| 3/12 (土)  | 第38回卒業式/謝恩会                     | 本学園/ホテルニューオータニ博多 (宮口会長/武井副会長)                    |
| 3/13 (日)  | 中国ブロック会議・懇親会                    | 広島グランヴィアホテル (深井副会長)                              |
| 3/15 (火)  | 法人理事会・評議員会・懇親会                  | 本学園 (宮口会長、武井・高嶺副会長、高橋顧問)                         |
| 3/18 (金)  | 第109回歯科医師国家試験合格発表               |                                                  |
| 3/18 (金)  | 日本歯科医師連盟 参与会議及び懇親会              | 歯科医師会館/中国飯店 (宮口会長)                               |
| 3/25 (金)  | 福岡歯科大学医科歯科総合病院歯科医師臨床研修了慰労会      | ホテルマリノアリゾート福岡 (宮口会長他)                            |
| 3/25 (金)  | 九歯大・九大との学術担当者連絡会                | 竹茂 (岩本副会長、粉・葛西常務)                                |
| 3/25 (金)  | 西村まさみを励ます会                      | ホテルグランドパレス九段下 (千原副会長)                            |

一般会計

平成27年度 福岡歯科大学同窓会会計収支決算書

自 平成27年4月1日

至 平成28年3月31日

単位：円

収入の部

| 款 | 項 | 科 目            | 予 算 額      | 決 算 額      | 予算との差額     | 執 行 率   | 備 考              |
|---|---|----------------|------------|------------|------------|---------|------------------|
| 1 |   | 会費・入会金         | 25,500,000 | 21,060,000 | -4,440,000 | 82.6%   |                  |
|   | 1 | 会員             | 23,000,000 | 18,570,000 | -4,430,000 | 80.7%   | 会費及び入会金          |
|   | 2 | 準会員            | 2,500,000  | 2,490,000  | -10,000    | 99.6%   | 入会金              |
| 2 |   | 学術             | 1,730,000  | 1,929,000  | 199,000    | 111.5%  |                  |
|   | 1 | 講演会            | 960,000    | 1,128,000  | 1,032,000  | 1175.0% | 第29回学術講演会/企業出展料  |
|   | 2 | 臨床セミナー         | 280,000    | 152,000    | -128,000   | 54.3%   | 第33回臨床セミナー       |
|   | 3 | 2015スキルアップセミナー | 490,000    | 649,000    | 159,000    | 132.4%  | 2015年度スキルアップセミナー |
| 3 |   | 雑収入            | 801,000    | 1,209,956  | 408,956    | 151.1%  |                  |
|   | 1 | 預金利息           | 1,000      | 1,120      | 120        | 112.0%  | 一般会計分利息          |
|   | 2 | 広告料            | 700,000    | 880,000    | 180,000    | 125.7%  | 同窓会誌広告           |
|   | 3 | その他            | 100,000    | 328,836    | 228,836    | 328.8%  | 祝儀、寄付金、同封手数料他    |
|   | 4 | 前受金            |            |            | 0          |         |                  |
|   |   | 小 計            | 28,031,000 | 24,198,956 | -3,832,044 | 86.3%   |                  |
| 4 |   | 繰入金収入          | 0          |            | 0          |         |                  |
|   | 4 | 繰入金収入          | 0          |            | 0          |         |                  |
| 5 |   | 前年度繰越金         | 9,198,651  | 9,198,651  | 0          |         |                  |
|   | 1 | 前年度繰越金         | 9,189,651  | 9,189,651  | 0          |         |                  |
|   |   | 合 計            | 37,229,651 | 33,397,607 | -3,832,044 | 89.7%   |                  |

支出の部

| 款  | 項 | 科 目        | 予 算 額      | 決 算 額      | 予算との差額    | 執 行 率  | 備 考                             |
|----|---|------------|------------|------------|-----------|--------|---------------------------------|
| 1  |   | 人件費        | 3,730,000  | 3,480,023  | 249,977   | 93.3%  |                                 |
|    | 1 | 人件費        | 3,730,000  | 3,480,023  | 249,977   | 93.3%  |                                 |
| 2  |   | 通信費        | 660,000    | 1,001,692  | -341,692  | 151.8% |                                 |
|    | 1 | 通信費        | 660,000    | 1,001,692  | -341,692  | 151.8% |                                 |
| 3  |   | 事務費        | 750,000    | 621,390    | 128,610   | 82.9%  |                                 |
|    | 1 | 事務費        | 750,000    | 621,390    | 128,610   | 82.9%  |                                 |
| 4  |   | 連絡会議費      | 3,350,000  | 2,645,761  | 704,239   | 79.0%  |                                 |
|    | 1 | 連絡会議費      | 3,350,000  | 2,645,761  | 704,239   | 79.0%  |                                 |
| 5  |   | 広報印刷費      | 2,020,000  | 1,976,699  | 43,301    | 97.9%  |                                 |
|    | 1 | 広報印刷費      | 2,020,000  | 1,976,699  | 43,301    | 97.9%  |                                 |
| 6  |   | 慶弔費        | 380,000    | 241,074    | 138,926   | 63.4%  |                                 |
|    | 1 | 慶弔費        | 380,000    | 241,074    | 138,926   | 63.4%  |                                 |
| 7  |   | 学術費        | 2,280,000  | 2,380,107  | -100,107  | 104.4% | 第29回学術講演会、第33回臨床セミナー、スキルアップセミナー |
|    | 1 | 学術費        | 2,280,000  | 2,380,107  | -100,107  | 104.4% |                                 |
| 8  |   | 渉内費        | 4,700,000  | 4,842,228  | -142,228  | 103.0% |                                 |
|    | 1 | 渉内費        | 4,700,000  | 4,842,228  | -142,228  | 103.0% |                                 |
| 9  |   | 渉外費        | 4,450,000  | 4,481,395  | -31,395   | 100.7% |                                 |
|    | 1 | 渉外費        | 4,450,000  | 4,481,395  | -31,395   | 100.7% |                                 |
| 10 |   | 雑費         | 100,000    | 21,631     | 78,369    | 21.6%  |                                 |
|    | 1 | 雑費         | 100,000    | 21,631     | 78,369    | 21.6%  |                                 |
| 11 |   | 予備費        | 2,000,000  | 0          | 2,000,000 | —      |                                 |
|    | 1 | 予備費        | 2,000,000  | 0          | 2,000,000 | —      |                                 |
| 12 |   | 積立金        | 4,500,000  | 4,500,000  | 0         | 100.0% |                                 |
|    | 1 | 名簿積立金      | 600,000    | 600,000    | 0         | 100.0% |                                 |
|    | 2 | 退職金積立金     | 200,000    | 200,000    | 0         | 100.0% |                                 |
|    | 3 | 備品積立金      | 200,000    | 200,000    | 0         | 100.0% |                                 |
|    | 4 | 周年記念準備基金   | 1,000,000  | 1,000,000  | 0         | 100.0% | 同窓会記念事業の積立金                     |
|    | 5 | 学園改修等協力積立金 | 2,500,000  | 2,500,000  | 0         | 100.0% | 学園施設改修等・事業協力基金                  |
|    |   | 小 計        | 28,920,000 | 26,192,000 | 2,728,000 | 90.6%  |                                 |
| 13 |   | 次年度繰越金     | 8,309,651  | 7,205,607  | 1,104,044 | 86.7%  |                                 |
|    | 1 | 次年度繰越金     | 8,309,651  | 7,205,607  | 1,104,044 |        | 平成28年度繰越金                       |
|    |   | 合 計        | 37,229,651 | 33,397,607 | 3,832,044 | 89.7%  |                                 |

## 平成27年度積立金会計収支決算書

自 平成27年4月1日  
至 平成28年3月31日

単位：円

| 退 職 金 積 立 金   |           |
|---------------|-----------|
| 過年度積立金        | 4,348,904 |
| 本年度積立金        | 200,000   |
| 利息（西日本シティ／野芥） | 713       |
| 合 計           | 4,549,617 |

| 基 本 財 産 積 立 金      |            |
|--------------------|------------|
| 過年度積立金             | 58,956,955 |
|                    | 0          |
| 計上利息（普通・定期預金利息90％） | 10,078     |
| 合 計                | 58,967,033 |

| 備 品 積 立 金     |           |
|---------------|-----------|
| 収 入           |           |
| 過年度積立金        | 1,377,575 |
| 本年度積立金        | 200,000   |
| 利息（西日本シティ／野芥） | 229       |
| 合 計           | 1,577,804 |

| 名 簿 積 立 金    |           |
|--------------|-----------|
| 収 入          |           |
| 過年度積立金       | 1,025,792 |
| 本年度積立金       | 600,000   |
| 利息（西日本シティ／原） | 185       |
| 合 計          | 1,625,977 |

| 周年記念準備基金      |           |        |           |
|---------------|-----------|--------|-----------|
| 収 入           |           | 支 出    |           |
| 過年度積立金        | 6,107,538 | 残高証明書  | 324       |
| 本年度積立金        | 1,000,000 |        |           |
| 利息（西日本シティ／野芥） | 961       | 合 計    | 324       |
| 合 計           | 7,108,499 | 次年度繰越金 | 7,108,175 |

| 学園改修等協力金             |            |                 |            |
|----------------------|------------|-----------------|------------|
| 過年度積立金               | 23,499,466 | 残高証明書・通知票再発行手数料 | 102        |
| 本年度積立金               | 2,500,000  |                 |            |
| 利息（ゆうちょ銀行／郵便振替・定額貯金） | 255,934    | 合 計             | 102        |
| 合 計                  | 26,255,400 | 次年度繰越金          | 26,255,298 |

特別会計

平成27年度福岡歯科大学同窓会特別支援事業収支決算

(平成27年度 福岡歯科大学同窓会共催 第6回 ICOI Fellowship 養成コース)

自 平成27年4月1日  
至 平成28年3月31日

単位：円

収入の部

| 款       | 項 | 科 目 | 予 算 額     | 決 算 額     | 予算との差額    | 備 考   |
|---------|---|-----|-----------|-----------|-----------|-------|
| 1       |   | 参加費 | 4,000,000 | 5,300,000 | 1,300,000 |       |
|         | 1 | 参加費 | 4,000,000 | 5,300,000 |           | 11名参加 |
| 2       |   | 雑収入 | 1,000     | 443       | - 557     |       |
|         | 1 | 雑収入 | 1,000     | 443       |           | 預金利息  |
| 小 計     |   |     | 4,001,000 | 5,300,443 | 1,299,443 |       |
| 3       |   | 繰入金 | 2,727,266 | 2,727,266 |           | 前期繰越  |
|         | 1 | 繰入金 | 2,727,266 | 2,727,266 |           |       |
| 小 計     |   |     | 2,727,266 | 2,727,266 | 0         |       |
| 収 入 合 計 |   |     | 6,728,266 | 8,027,709 | 1,299,443 |       |

支出の部

| 款       | 項 | 科 目   | 予 算 額     | 決 算 額     | 予算との差額      | 備 考                   |
|---------|---|-------|-----------|-----------|-------------|-----------------------|
| 1       |   | 人件費   | 400,000   | 1,210,000 | - 810,000   |                       |
|         | 1 | 人件費   | 400,000   | 1,210,000 |             | 研修医アシスタント・バイト代        |
| 2       |   | 通信費   | 200,000   | 5,471     | 194,529     |                       |
|         | 1 | 通信費   | 200,000   | 5,471     |             | 案内郵送料等                |
| 3       |   | 会場費   | 10,000    | 27,000    | - 17,000    |                       |
|         | 1 | 会場費   | 10,000    | 27,000    |             | 口腔医療センター              |
| 4       |   | 講演費   | 3,060,000 | 3,776,035 | - 716,035   |                       |
|         | 1 | 講師料   | 2,000,000 | 1,902,240 | 97,760      | 講師・インストラクター・礼金・交通費    |
|         | 2 | 材料費   | 800,000   | 1,589,090 | - 789,090   | 材料・機材費                |
|         | 3 | 昼食費   | 100,000   | 184,981   | - 84,981    | 弁当、飲物                 |
|         | 4 | 印刷費   | 60,000    | 59,724    | 276         | 案内パンフレット印刷費           |
|         | 5 | その他   | 100,000   | 40,000    | 60,000      | 同窓会役員交通費、他            |
| 5       |   | 事務費   | 400,000   | 0         | 400,000     | ICOI 本部手数料            |
|         | 1 | 事務費   | 400,000   | 0         |             |                       |
| 6       |   | 会議費   | 300,000   | 687,830   | - 387,830   |                       |
|         | 1 | 会議費   | 300,000   | 687,830   |             | 出張費、懇談会               |
| 7       |   | 雑費    | 300,000   | 45,244    | 254,756     |                       |
|         | 1 | 雑費    | 300,000   | 45,244    |             | 雑貨、消耗品                |
| 8       |   | 予備費   | 300,000   | 0         | 300,000     |                       |
|         | 1 | 予備費   | 300,000   | 0         |             |                       |
| 9       |   | 学会関連費 | 100,000   | 56,160    | 43,840      |                       |
|         | 1 | 学会関連費 | 100,000   | 56,160    |             | 学会チラシ                 |
| 10      |   | 大学関連費 |           | 461,034   | - 461,034   |                       |
|         | 1 | 大学関連費 |           | 461,034   |             | 大学開催の講演会実施の為の講師招聘費・通訳 |
| 小 計     |   |       | 5,070,000 | 6,268,774 | 1,198,774   |                       |
| 7       |   | 繰越金   | 1,658,266 | 1,758,935 | 100,669     |                       |
|         | 1 | 繰越金   | 1,658,266 | 1,758,935 |             | 28年度繰越                |
| 支 出 合 計 |   |       | 6,628,266 | 8,027,709 | - 1,399,443 |                       |

# 福岡歯科大学同窓会会則

## 第1章 総 則

### 第1条 名 称

本会は、福岡歯科大学同窓会と称する。

### 第2条 組 織

1. 本会は、福岡歯科大学（大学院を含む）を卒業（修了）した者及び福岡歯科大学在校生で組織する。
2. 本会は、各地区、学校法人福岡学園勤務の同窓との連携を計り、会務運営の円滑を期待するために地区会、学内同窓会を置くことができる。
3. 地区会の区割り及び学内同窓会、その他必要な事項については別に規則を定める。

### 第3条 目 的

本会は歯科界、並びに母校の発展に寄与し、併せて会員の福祉及び会員相互の親睦を図ることを目的とする。

### 第4条 事 業

本会は、第1章第3条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. 母校の発展に関すること。
2. 会員の福祉増進及び親睦に関すること。
3. 歯科医学の向上に関すること。
4. その他本会の目的に関すること。

### 第5条 事務局

本会は事務局を福岡市早良区田村2丁目15-1福岡歯科大学内に置く。

## 第2章 会 員

### 第6条 会 員

本会は次の会員を以って組織する。

1. 正会員 福岡歯科大学（大学院を含む）卒業（修了）者で、第2章第7条第1項を満足するものとする。
2. 準会員 福岡歯科大学在校生。

### 第7条 会員の権利と義務

1. 会員は居住、又は就業する地域の地区会都道府県同窓会に所属することを原則とする（但

し、学内同窓会に所属する会員は、この限りではない）。

2. 会員は本会の主催する事業に参加し、本会の発行する機関誌及び印刷物の頒布を受け、若しくは購入することができる。
3. 会員は総会に出席し、意見を述べることができる。
4. 会員は、総会並びに評議員会の決定事項を遵守する義務を有する。
5. 会員は、住所を異動した場合、所属の都道府県同窓会を経由して本会に届け出なければならない。
6. 会員が死亡又は除名されたときは、本会会員の身分を失ったものとする。
7. 会員が本会を退会するときは、その旨を記載した書面を本会に提出しなければならない。
8. 正会員は、総会において議事を審議し、議決権を有する。また役員になることができる。
9. 準会員は、本校在学者とし、正会員としての権能は有しない。

## 第3章 名誉会長・名誉会員・

## 特別会員・臨床研修会員

### 第8条 名誉会長・名誉会員・特別会員・臨床研修会員

本会に名誉会長、名誉会員、特別会員、臨床研修会員を置くことができる。また、前項の会員は、本会の研修会等に出席し学術研究を発表し、あるいは本会の会誌及び刊行物の配布を受けまたは購入することができる。本条の会員は前項のほか、正会員の権利を有しない。但し、本会員の正会員で名誉会員に推薦された者はこの限りではない。

1. 名誉会長は、会長が母校の学長を推薦する。任期は、学長としての在任期間とする。
2. 名誉会員は、母校並びに本会に対して特に功労があった者を評議員会の議決を経て会長が推薦する。
3. 特別会員は、退職した母校の教授、または母

校並びに本会に対して特に功労があった者を理事会の議決を経て会長が推薦する。

4. 臨床研修会員は、他大学卒業の歯科医師法に定める臨床研修歯科医師で、本学で臨床研修を行っている者を会長が推薦する。また、会員の資格は臨床研修の期間とする。

## 第4章 会費及び負担金

### 第9条 会費及び負担金

1. 会員は本会所定の入会金、会費、及び負担金を本会へ納入しなければならない。
2. 入会金、会費及び負担金の額ならびに支払いの方法は、総会で決める。

### 第10条 会費の減免

本会の会員にして長期疾病及び災害等により本会所定の会費の支払いが極めて困難な者は、支部の申請に基づき理事会の議を経て、復帰するまでの期間を前提として会費を減免、またはその納入を猶予することができる。

### 第11条 会費の返還

本会に納入された入会金、年会費及び負担金はいかなる理由があっても返還しない。

### 第12条 負担金その他

本会は、評議員会、総会の承認を経て負担金を徴収することができる。

## 第5章 役員

### 第13条 役員の種別と定数

本会に次の役員を置く。

1. 会 長 1名
2. 副会長 若干名
3. 理 事 若干名
4. 監 事 3名以内

### 第14条 役員の選出

1. 会長、監事は選挙規則に従い、評議員会において正会員の中から選出する。但し、監事は他役員を兼任できない。
2. 副会長、理事、委員は会長が指名する。
3. 理事の内、1名を専務理事、若干名を常務理事とする。

### 第15条 役員の職務

1. 会長は本会を代表し、会務を総理する。
2. 会長は総会、評議員会、理事会、委員会、地区会長会議を招集する。
3. 会長は、理事会の決議を要する事柄でありながら、緊急必要事項については専決することができる。但し、後日理事会へ報告しなければならない。
4. 副会長は会長を補佐し、会長に事故ある時または欠けた時は会長の職務を代行する。
5. 専務理事は、会長の旨を受け会務を掌理し、会長及び副会長共に事故ある時または欠けた時はその職務を代行する。
6. 常務理事は、会長の旨を受けその担当業務を掌理して専務理事を補佐する。
7. 各前号に定める以外の理事は、会長の旨を受けて会務を分掌して会長を補佐する。
8. 監事は本会の業務と会計を監査し、評議員会、総会に報告しなければならない。

### 第16条 役員の任期

1. 会長、監事及び役員、委員の任期を2年とする。但し、再任を妨げない。
2. 役員は任期満了後も、後任が選出されるまでは、その職務を行う。

### 第17条 役員の補充

副会長、理事の欠員が生じた時は、本会会則5章第14条に従い補充することができる。その任期は前任者の残留任期とする。

### 第18条 顧問

本会は、顧問を置くことができる。顧問は会長が推薦し委嘱する。顧問の任期は、委嘱した会長の在任期間とする。

## 第6章 評議員

### 第19条 評議員

1. 本会に評議員を置く。
2. 評議員は第13条で規定する役員と兼ねることができない。

### 第20条 選任等

1. 評議員は正会員で地区会、学内同窓会より選出される。

2. 評議員の選任数は、地区会、学内同窓会における1月末日現在の本会会員50名までに対して1名、50名を超える場合は、50名までごとに1名の割合で加えた数の評議員を上限として選出するものとする。
3. 地区会、学内同窓会は評議員に変更がある場合は、速やかに本会に報告しなければならない。
4. 評議員の任期は2年とし、選任された年の4月1日に始まる。

#### 第21条 職務及び権能

1. 評議員は評議員会に出席し、地区会、学内同窓会の同窓会会員の意見を反映させると共に、その決定事項を地区会、学内同窓会の同窓会会員に報告しなければならない。
2. 評議員は、評議員会で会則その他の規定で定められていることを審議し、又は、本会の目的、事業について意見を述べることができる。

#### 第22条 職務代理及び代行

評議員に事故ある時または欠けた時は、当該地区より評議員会の議長宛に委任状を提出するか、または当該地区より代理人は書面をもって指定し届ける事とする。代理人は、評議員と同等の権利と義務を有する。

## 第7章 会 議

#### 第23条 会議の種類

本会の会議は、総会・評議員会・常務理事会・理事会・委員会・地区会会長会議とする。但し、会長は必要に応じ会議を開催することができる。

## 第8章 総 会

#### 第24条 構成・種別及び開催等

1. 総会は正会員を以って構成し、議決、報告及び承認する。
2. 総会は定時総会と臨時総会とする。
3. 定時総会は毎年1回原則として5月に開催する。
4. 臨時総会は、会長が必要と認めた場合に開催する。

#### 第25条 招 集

1. 評議員の3分の2以上又は監事から、臨時総会の招集の要求があった場合は、会長はできるだけ早く臨時総会を招集しなければならない。
2. 会長は総会を招集しようとする時は、事前に日時、場所及び会議の目的を示した書面を以って会員に知らせなければならない。

#### 第26条 総会の権能

総会では、次の事項を承認又は議決し会員へ報告しなければならない。

1. 評議員会の決議承認事項
2. 会務全般にわたる事項
3. その他、総会において必要と認めた事項

#### 第27条 議長及び副議長

総会の議長及び副議長は出席正会員の中から選出する。

#### 第28条 委任規定

議事規則は、別に定める。

## 第9章 評 議員 会

#### 第29条 構成・種別及び召集

評議員会は評議員を以って構成する決議機関である。

1. 評議員会は定時評議員会と臨時評議員会とする。
2. 定時評議員会は総会開催前に会長が招集する。
3. 臨時評議員会は会長が必要と認めた時、あるいは全評議員の4分の1以上の要求があった時に招集する。
4. 評議員会は、委任状を含む全評議員の3分の2以上の出席で成立する。

#### 第30条 意見陳述

役員は評議員会に出席して意見を述べるができるが、表決に加わることはできない。

#### 第31条 評議員会の権能と総会への上程

評議員会では次の事項を行い承認又は議決を経てこれを総会へ上程する。

1. 会則及び諸規則改正の審議
2. 会長選出
3. 前年度会計報告の審議並びに承認

4. 前年度会務及び事業報告の審議並びに承認
5. 新年度予算案の審議並びに承認
6. 役員の承認
7. 入会金、会費及び負担金の金額並びに徴収方法の決定
8. 本会の目標達成に必要な事業で経費を要するものの承認
9. その他の必要と認める事項

#### 第32条 議長及び副議長

評議員会の議長及び副議長は評議員で互選する。

#### 第33条 委任規定

議事規則は別に定める。

### 第10章 常務理事会

#### 第34条 常務理事会の構成

常務理事会は、会長、副会長、専務理事、常務理事を以って構成し会長が随時必要な場合にこれを招集する。

#### 第35条 権能

常務理事会は、常務会務並びに緊急を要する会務に関することを執行する機関であり、会長がこれを招集する。

1. 常務理事会で処理した事項は、理事会に報告しなければならない。

### 第11章 理 事 会

#### 第36条 理事会の構成及び招集

1. 理事会は、本会の会務全般を執行する機関であり、会長がこれを招集する。
2. 理事会は、会長、副会長、専務理事、常務理事、理事、委員を以って構成し、会長が随時必要な場合にこれを招集する。

#### 第37条 理事会の権能

理事会は本会の業務に必要な事項の審議を行う。

1. 総会及び評議員会の招集に関する事項とこれに付議する事項
2. 会費の減免に関する事項
3. その他本会の運営業務執行に関する事項

#### 第38条 監事の権能

監事は随時出席して意見を述べるができるが表決に加わることはできない。

### 第12章 委 員 会

#### 第39条 委員会

1. 会長は、必要に応じて理事会の同意を得て、委員会を置くことができる。
2. 委員会は、理事会の議を経て会長が委嘱した委員で構成する。
3. 委員会の種類、構成、活動は必要に応じ理事会で決定する。
4. 会長は随時必要な場合にこれを招集することができる。

#### 第40条 委員会の事業

委員会は、会務処理の円滑を図るため次の事業部を置き、常務理事が各委員会を統括する。

1. 総務
2. 福祉厚生
3. 組織
4. 広報
5. 学術
6. 企画・情報
7. 会計

#### 第41条 臨時委員会

1. 会長は、特別な行事及び重要な問題が生じた時に理事会の承認を経て臨時委員会を設置することができる。
2. 会長が委員長を指名し、会長及び委員長が必要に応じ委員を選任する。

#### 第42条 特別委員会

1. 会長は、特別な行事及び重要な問題が生じたときに評議員会の承認を経て特別委員会を設置することができる。
2. 会長が委員長を指名し、会長及び委員長が必要に応じ委員を選任する。

### 第13章 地区会会長会議

#### 第43条 地区会会長会議

本会議は、会長が必要と認めたとき随時開催することができる。

## 第14章 選挙管理委員会

### 第44条 選挙管理委員会

1. 本会に選挙管理委員会を置く。
2. 選挙管理委員会は、選挙管理委員をもって組織する。
3. 選挙管理委員会の構成及び任務その他必要なことは、選挙規則で定める。

## 第15章 会計及び財産

### 第45条 会計年度

本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

### 第46条 財産の構成

本会の財産は、次にあげるものをもって構成する。

1. 入会金
2. 年会費
3. 寄付金
4. 前年度の繰越金
5. その他の収入

### 第47条 財産の管理

本会の財産は、会長が代表としてこれを管理し、毎年その状況を評議員会、総会で報告しなければならない。

### 第48条 経費の支弁

本会の経費は、財産をもって支弁する。

### 第49条 委任規定

本規則に定める以外の財産の管理及び会計に関する規則は別に定める。

## 第16章 賞 罰

### 第50条 表 彰

会員で本会に功労のあった者、及び医療界に貢献した者は、評議員会の議決によって表彰することができる。

### 第51条 処 罰

会員で本会の目的趣旨に反し、またはその体面を汚したものは総会の議決によって適当な処置を講ずる。

## 第17章 会則の改正

### 第52条 会則の改正

本会則の改正には、評議員会及び総会において出席者の3分の2の賛成を以って議決されることを要する。

〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成20年5月24日から施行する。
3. この規則は平成23年5月28日から施行する。
4. この規則は平成26年4月1日から施行する。

# 福岡歯科大学同窓会地区会設置規則

第1条 本規則は本会会則第1章第2条第3項により定める。

1. 地区会は、地区会会長を選出できる。
2. 地区会に都道府県同窓会を置くことができる。

第2条 地区会の目的

1. 会務運営の円滑を期するため地区会を置く。
2. 地区会は当該地域内の都道府県同窓会、本部同窓会及び母校の発展に関する協議を行う機関とする。

第3条 地区会、都道府県同窓会の設置

各地区においては下記のように7地区（ブロック）に分割し地区の中に都道府県同窓会を置く。但し、福岡県に限っては4分割設置し、関東地区においてはこの限りでない。

福岡県地区会

（福岡県東、福岡県西、福岡県南、福岡県北）  
同窓会

九州地区会

（長崎県、佐賀県、熊本県、大分県、宮崎県、  
鹿児島県、沖縄県）同窓会

中国地区会

（山口県、広島県、島根県、鳥取県、岡山県）  
同窓会

四国地区会

（愛媛県、高知県、香川県、徳島県）同窓会

近畿地区会

（兵庫県、大阪府、京都府、奈良県、滋賀県、  
和歌山県）同窓会

中部地区会

（福井県、岐阜県、愛知県、三重県、石川県、  
富山県、長野県、静岡県）同窓会

関東地区会

（関東以北の都道府県を含む）

第4条 地区会の任務

1. 地区会は評議員を選出する。
2. 地区会は次の事項を本会に届けなければならない。

（1）役員の名簿

（2）会員の異動

（3）会員の死亡、若しくは不慮の災害が生じた場合

第5条 地区会会長

地区会会長は、地区会から選出し、本部会長が指名する。

地区会会長は地区会を代表して次の任務を行う。

1. 地区会会長は地区の同窓会会員を掌握し、その融和と親睦を図る。
2. 地区会会長は本部との連絡を密にし、地区会の決定事項、実施した事項及び本会本部に対する要望事項、その他必要な事項を本部会長に報告しなければならない

第6条 都道府県同窓会会長

都道府県同窓会会長は、都道府県同窓会会員から選出し、本部会長が指名する。

都道府県同窓会会長は都道府県同窓会を代表して次の任務を行う。

1. 都道府県同窓会会長は都道府県同窓会会員を掌握し、その融和と親睦を図る。
2. 都道府県同窓会会長は地区会、本部との連絡を密にし、都道府県同窓会の決定事項、実施した事項及び地区会、本部に対する要望事項、その他必要な事項を地区会会長に報告しなければならない。

第7条 会議

1. 地区会会長は、必要に応じて会議を開催することができる。
2. 地区会会長は、会議に本部役員の出席が必要な場合、必要な役員を招聘することができる。
3. 近隣の地区会との協議が必要な場合は、合同で開催することができる。

〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成20年5月24日から施行する。
3. この規則は平成26年4月1日から施行する。
4. この規則は平成28年6月11日から施行する。

# 福岡歯科大学同窓会学内同窓会規則

第1条 本規則は本会会則第1章第2条第3項により定める。

1. 学内同窓会は、学内同窓会会長を選出することができる。

## 第2条 組織

1. 学内同窓会は、福岡歯科大学（大学院を含む）を卒業（修了）したもの、準会員及び学内勤務会員で組織する。

## 第3条 学内同窓会の目的

1. 会務運営の円滑を期するため学内同窓会を置く。
2. 学内同窓会は、本部同窓会及び母校の発展に関する協議を行う。

## 第4条 学内同窓会の任務

1. 学内同窓会は評議員を選出する
2. 学内同窓会は次の事項を本会に届けなければならない。
  - (1) 会員の名簿
  - (2) 会員の異動
  - (3) 会員の死亡、若しくは不慮の災害が生じた場合

## 第5条 会員

### 学内同窓会正会員

本会正会員で学校法人福岡学園勤務の者。

### 準会員

本会の準会員

## 第6条 学内勤務会員

学校法人福岡学園に5年以上勤務で、学内同窓会会長が推薦し本部理事会の議決を得て、会長が指名した者で、会費は正会員に準ずる。但し、正会員としての権能を有しない。

## 第7条 学内同窓会会長

学内同窓会会長は、学内同窓会会員から選出し本部の会長が指名する。学内同窓会会長は学内同窓会を代表して次の任務を行う。

1. 学内同窓会会長は学内同窓会会員を掌握し、その融和と親睦を図る。
2. 学内同窓会会長は本部との連絡を密にし、学内同窓会の決定事項、実施した事項及び本会に対する要望事項、その他必要な事項を本部長に報告しなければならない。

## 〔附 則〕

1. この規則は平成26年4月1日から施行する。

# 福岡歯科大学同窓会総会議事規則

## 第1章 会議の開閉

- 第1条 この規則は、本会会則第8章第28条に基づいて定めるものとする。
- 第2条 議事日程に記載した事項の議事が終わったときは、議長は散会を宣告する。会議を終わらない場合でも、議長は、過半数の賛成を得て延会又は散会をすることができる。
- 第3条 議長が会議を宣告する前、又は散会若しくは延会を宣告した後は、何人も議事について発言することはできない。
- 第4条 議事日程には、会議の日時及び会議に付する事項並びにその順序を記載しなければならない。

## 第2章 議 事

### 第1節 審 議

- 第5条
1. 審議中発言せんとする会員は、手を挙げ議長の許しを得て発言しなければならない。
  2. 二人以上発言を求めたときは、議長はその発言の順序を決めることを要する。
- 第6条 すべての問答は、議長に向かってしなければならない。
- 第7条 一議案の審議中は、他の議案について発言することはできない。
- 第8条 発言は、個人の事柄にわたってはならない。
- 第9条
1. 会員が発議しようとするときは、その理由を付し、建議を添え、5人以上の賛成者とともに連署して会議の2週間前までに会長に提出しなければならない。
  2. 動議は、5人以上の賛成者を得て提出することができる。
  3. 議長は、第1項・第2項に規定する発議及び動議について議場に諮り、出席者の過半数の賛成を得た場合、これを議題とすることができる。

### 第2節 決 議

- 第10条 出席者は特別の理由がない限り、可否いずれかの数に加わらなければならない。

- 第11条 議長表決をとるときは、表決に附する事項を明らかにしなければならない。議長表決に附する事項を宣言した後は、何人も議案について発言することはできない。
- 第12条 賛否は出席者の過半数で決める。賛否を決める方法は、議長が適宜決める。賛否が同数のときは議長が決める。
- 第13条 修正案は、原案より先に賛否を決めなければならない。同一の議案について数個の修正案が提出された場合は議長が採決の順序を決める。その順序は、原案に最も遠いものから先に採決する。
- 第14条 修正案が全部否決されたときは、原案について賛否を決める。
- 第15条 修正案及び原案が共に過半数の賛成を得なかった場合は、委員会を設置して更に修正案を提出させることができる。
- 第16条 議決の条項中、字句の整理を議長に委任することができる。
- 第17条 討論終結及び散会、休憩の合議は、討論を用いないで議長が決める。
- 第18条 議長は、議事を妨げると認めるものがあるときは、退場を命ずることができる。
- 第19条 議長は、議事整理のためやむを得ないときは出席者の発言を止め又は中止することができる。

## 第3章 議 事 録

- 第20条 議事録には次の事項を記載する。
1. 総会の名称と開会の年月日時
  2. 出席者の氏名
  3. 会議に附した議案の題目
  4. 議題となった動議及び発議者の氏名
  5. 議決事項
  6. 賛否の数を計算したときはその数
  7. 議長において必要と認めた事項
- 第21条 議事録は、議長の指名した会員2人がこれに署名捺印しこれを本会に保管する。

### 〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成26年4月1日から施行する。

# 福岡歯科大学同窓会評議員会議事規則

## 第1章 総 則

### 第1条 趣 旨

この規則は、本会会則第9章第33条に基づいて定めるものとする。

### 第2条 氏名点呼

開議の時刻に至るときは、執行部はその席に着き、出席評議員の氏名を点呼する。

### 第3条 会議の開閉

1. 議長は、前条による氏名点呼の結果、定足数に達していることを確認したときは、開会を宣言する。
2. 会議の閉会は議長が宣言する。

### 第4条 欠席の届出

1. 評議員が欠席しようとするときは、予め議長に委任状と共に届けなければならない。
2. 評議員は、出席できないときは、その職務を代理する代理人を議長に届け出なければならない。

## 第2章 議 事

### 第5条 議題の宣言

議長は、会議に付する案件を議題とするときは、その旨を宣言する。

### 第6条 一括議題

議長は、必要があると認められるときは、2件以上の案件を一括して議題とすることができる。

### 第7条 案件の説明と質問

会議に付する案件は会議において提出者の説明を聞き、質問がある時は質問を行わせ、質問が終わった時は討論に付しその終結の後、表決に付する。

第8条 議決案件の条項、字句及び数字等の整理評議員会は、議決の結果生じた条項、字句、数字、その他の整理については議長に委任することができる。

## 第3章 発 言

### 第9条 発言の許可等

1. 評議員が発言しようとするときは、挙手により議長を呼び自己の地区名と姓名を告げ、議長の許可を得なければならない。
2. 2人以上の挙手により発言を求めたときは、議長は先に挙手をした者と認めた者を指名して発言させる。
3. 評議員の発言は、すべて議長に向かってこれをなさなければならない。

### 第10条 発言内容

1. 発言はすべて簡明を旨とし、重複を避け、議題外にわたり又はその範囲を超えてはならない。
2. 議長は、その発言が前項の規定に反すると認めるときは注意をし、なお従わないときは発言を禁止することができる。
3. 評議員は、議題になっている案件に限り、質問をすることができる。

### 第11条 発言時間

1. 議長は、必要があると認めるときは予め発言時間を定めることができる。
2. 前項により、発言時間の定めをした場合に、評議員の発言がその予定時間を超えたときは、議長は注意し、又は発言の中止を命ずることができる。

### 第12条 議事進行に関する発言

1. 議事進行に関する発言は、議題に直接関係あるものについて、又は議事進行上の問題について、質問し、注意し、又は希望を述べるものでなければならない。
2. 議事進行の発言が、その趣旨に反すると認めるときは、議長は直ちに制止しなければならない。

### 第13条 議長の発言及び討論

1. 議長が討論しようとするときは、案件朗読後評議員席に着き代理者を議長席に着かせなければならない。

2. 議長が討論したときは、その議題の表決が終わるまで議長席に復することができない。

#### 第14条 質疑又は討論の終結

質問又は討論が終わったときは、議長はその終結を宣告する。

1. 発言が尽きないときは、評議員から質疑又は討論終結の動議を提出することができる。
2. 前項の動議が提出されたときは、議長は直ちに表決しなければならない。

## 第4章 議 決

#### 第15条 表決事項の宣告

議長は、議決しようとするときは、議決に付する議案又は動議の内容を宣告しなければならない。

#### 第16条 挙手による表決

表決は、挙手により議長はその多少を認定して可否を宣告する。

#### 第17条 修正案の採決の順序

1. 修正案は、原案より先に採決しなければならない。
2. 同一の議案について数個の修正案が出された場合は、議長が採決の順序を定める。  
その順序は原案に最も遠いものから採決する。
3. 修正案がすべて否定されたときは、原案について採決しなければならない。

## 第5章 発議と動議

#### 第18条 発 議

評議員会において評議員が議案を提出しようとするときは、提案理由を付し、5人以上の賛成者とともに連署して、開催日の2週間前までに会長に提出することができる。

#### 第19条 動 議

動議は、5人以上の賛成者を得て提出することができる。

## 第6章 議 事 録

#### 第20条 議事録の作成

議長は、評議員会の会期ごとに議事録を作成しなければならない。

#### 第21条 議事録署名人

議事録は、議長及び当日議長の指名した出席評議員2名がこれに署名捺印し、これを本会に保管する。

#### 〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成26年4月1日から施行する。

# 福岡歯科大学同窓会監査規則

## 第1章 総 則

第1条 本会会則第5章第15条第8項の規定に基づいて監事が行う監査は、この規則に定めるところによる。

第2条 監査は会務運営と財産管理の全般について、その実態を正確に把握し運営の合理化と業務の改善に資すると共に過誤を防止し、財産の保全を図ることを目的とする。

第3条 監事は、前条の目的を達成するため経理の適正と財産の保全の監査を行う。

第4条 監査は、公平不偏なる態度をもって事実に基づいて行い、想像推察によって事象を判断してはならない。

## 第2章 監査の方法・種別及び時期

第5条 監査の方法は、書類監査と実地監査とする。

第6条 監査の種別は、定時監査と臨時監査に分かれ、次の各号によることとする。

(1) 定時監査は年1回、4月に行う

(2) 臨時監査は必要と認めた場合

第7条 実地監査は年1回以上行うものとする。

第8条 監事は監査を実施するために役員又は事務局に対し、帳簿、諸報告書及び諸統計その他必要な資料の提出を命じ、又は事実の説明その他監査に必要な事項を要求することができる。

第9条 監査は、書類、帳簿、証拠書類等の記録に基づき、突合わせ、分析、実査、質問、立会い等必要と認める監査手段を選択適応して実施する。又、監査手段の選択適応については、その重要性、範囲、日数、効果等を勘案して決定する。

## 第3章 監査報告

第10条 監事は、監査の都度、監査報告書を次により作成し、会長に提出するとともに、評議員会及び総会に監査の実地状況及び結果などを総括し、文書により報告するものとする。

第11条 会長は監査の結果に基づき対策及び措置を必要とするときは、速やかに理事会にはかり措置するものとする。

第12条 監事の監査報告書は、本会の運営管理全般に関し、有効な改善を計るための重要な資料とするものである。

## 第4章 補 則

第13条 役員の任期満了の年の年度会計決算書の監査は、新任監事で行い、旧監事が立会いするものとする。

### 〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成26年4月1日より施行する。

# 福岡歯科大学同窓会財産管理及び会計規則

## 第1章 総 則

### 第1条 趣 旨

この規則は本会会則第47条に基づいて定めるものとする。

### 第2条 財産管理及び会計の責任者

1. 財産管理及び会計の最終責任者は、会長とする。
2. 会長は、財産管理及び会計について直接的責任を会員に対して負うものとし、会計担当役員がこれを補佐する。

### 第3条 予算統制

本会のすべての収入及び支出は、予算に基づいて統制を行う。

### 第4条 予算期間

予算は単年度予算とする。

### 第5条 予備費の設置

1. 不時の支出に充てるため予備費を設けることができる。

### 第6条 決算剰余金の次年度繰越

各会計年度において決算上剰余金を生じたときは、次年度に繰り越すものとする。

## 第2章 財産の管理

### 第7条 会計の資金区分

本会の会計は、次の資金区分による。

#### (1) 一般会計資金

本会の経常的な事業活動に使用される資金

#### (2) 積立会計資金

引当資金としての積立資金

#### (3) 別途会計資金

別途の事業資金

### 第8条 会計相互間の貸借の禁止

各会計相互間の貸借を禁ずる。ただし、評議員会の承認を得た場合はこの限りではない。

### 第9条 運用収益金

各会計の運用収益金は、各会計に繰り入れるものとする。

### 第10条 寄付金品の使途

使途を決めて寄付された金品はその使途に用

い、決められていないものは評議員会に諮って使途を決める。

### 第11条 取引銀行・有価証券・固定資産

1. 次の事項は、会長が理事会の議を経て行う

(1) 取引銀行の新設及び変更

(2) 有価証券（電話債券を除く）の取得、売却、貸付、入質

(3) 固定資産の購入、改良、売却、除去、賃借、入質

2. 前項の規定にかかわらず、次の事項は評議員会の承認を要する。

(1) 多額の積立金の取引銀行の新設及び変更

(2) 不動産の購入、改良、売却、除去、賃借、入質

### 第12条 金銭の定義

1. この規則で金銭とは、現金、預金および合同運用信託をいい、現金とは通貨のほか、小切手、郵便為替証書、振替貯金証書などをいう。

2. 公社債、債権などの有価証券及び手形は金銭に準ずるものとして扱う。

### 第13条 資金の範囲

本会において資金の範囲とは、次に掲げるものとする。

(1) 第12条に規定する金銭

(2) 短期間において入金或いは支払うべきことが確実な、未収、未払金等の債権債務

### 第14条 固定資産の定義

1. この規則で固定資産とは次に掲げるものをいう。ただし、時の経過によりその価値を減少する償却資産については、耐用年数が1年以上で1単位当たり取得価格が償却資産課税額のものを用いる。

(1) 有形固定資産

土地、建物（建物付属設備含む）・構築物・備品（機械装置、車両運搬具、器具含む）

(2) 無形固定資産

借地権・施設利用権・電話加入権など

2. 第1項の規定にかかわらず、次に掲げる資産は、会計書類上固定資産として仕訳する。

(1) 長期預託を目的とした預金・合同運用信託、

長期保有を目的とした有価証券など。

#### 第15条 固定資産の取得価格

固定資産の取得価格は次の各号による。

- (1) 購入によるものは、購入価格に付帯費用を加算した金額
- (2) 交換によるものは、交換に際し提供した物件の帳簿金額
- (3) 贈与によるものは、評価額

#### 第16条 物品の定義

この規則で物品とは、事務用品等で耐用年数1ヶ月以上で、1単位当たり取得価格が5千円以上、償却資産課税額未満のものをいう。

### 第3章 会 費

#### 第17条 入会金及び年会費

正会員、準会員、勤務会員の入会金及び年会費は次のとおりとする。

1. 入会金 30,000円
2. 年会費 10,000円

#### 第18条 支払方法

1. 本会所定の入会金、会費並びに負担金は所属の地区会支部同窓会を経由して本会に支払わなければならない。但し、所属の地区会支部同窓会を経由することが困難な場合には、直接本部に会費を支払うことを妨げない。
2. 準会員、勤務会員は、本会所定の入会金を本会に支払わなければならない。

### 第4章 会費の減額及び免除

#### 第19条 会費の免除

1. 本会の会員にして、通算40年を経過し、本会則第2章第7条第1項の義務を果たしているものについては、当該所属地区会支部同窓会長の報告により理事会の承認を経て、その会費を全額免除する。
2. 臨床研修会員は、年会費は正会員の2分の1とし、入会金は免除とする。
3. その他の特別会員・名誉会長・名誉会員は、会費、入会金は徴収しない。
4. 前項のほか会員のうち特別な事情ある者に対しては、理事会の決定により、会費を減免することができる。

### 第5章 予算の編成と執行

#### 第20条 予算編成

予算編成は、会長が理事会の議を経てこれを行う。

#### 第21条 予算科目

1. 予算は、収支の性質、目的に従い、款、項の科目に区別する。
2. 予算科目は、事業計画との関連を明瞭に表示する名称を用いる。

#### 第22条 予算の補正

規程予算の変更を必要とするときは、会長は理事会の議を経て予算の補正を行い、評議員会の承認を求める。

#### 第23条 款相互間の流用の禁止

予算の執行にあたって、各款の予算金額は、相互に流用してはならない。

#### 第24条 予算執行上の理事会付議事項

次の事項は、会長が理事会の議を経て行い、次の評議員会で報告する。

- (1) 同一款内における各項の予算の流用
- (2) 緊急の必要にもとづく軽微なる予算の変更

### 第6章 決 算

#### 第25条 決算の作成時期

会長は、毎会計年度終了後2ヶ月以内に会計担当役員に決算書類の作成を求め、会長に提出する。

会長は理事会でこの決算書類を審議、監事の認証を得て、評議員会及び総会の承認を求める。

### 第7章 補 則

#### 第26条 委 任

この規則の施行についての必要な事項は、会長が理事会の議を経て定める。

〔附 則〕

1. この規則は平成16年5月29日から施行する。
2. この規則は平成24年5月26日から施行する。
3. この規則は平成26年4月1日から施行する。

# 福岡歯科大学同窓会福祉共済規則

## 第1章 総 則

第1条 この規則は、本会会則第1章第4条第2項に基づいて規定する。

第2条 本共済は、福岡歯科大学同窓会会員を以って組織し、会員相互扶助の精神に基づき、福祉厚生をはかることを目的とする。

第3条 前述の目的達成の為、次のことを行う。  
弔慰金、慰労金、会員の療養、火災、天災その他、福祉厚生に関して必要な給付を行う。

## 第2章 給 付

〈給付〉

第4条 給付の有無並びに支給額は理事会において決定する。

〈弔慰金〉

第5条 会員死亡に対しては弔慰金、弔花、弔電を贈る。但し5万円を上限とする。

第6条 名誉会員および特別会員の死亡に対しては弔慰金、弔花、弔電を贈る。

〈会員の療養〉

第7条 会員が入院加療の場合は次の通りとする。  
(入院後2ヶ月以内に都道府県同窓会会長を通して診断書を本部に提出)

イ. 1ヶ月以上 3万円

〈火災〉

第8条 火災見舞金は、次の通りとする。(火災発

生後6ヶ月以内に都道府県同窓会会長を通して本部に通知)

イ. 全焼又は総面積の50%以上 3万円

ロ. 総面積の50%未満 2万円

〈天災、その他〉

第9条 水害等の天災に対する見舞金は、次の通りとする。(災害発生後6ヶ月以内に都道府県同窓会会長を通して本部に通知)

イ. 全壊又は総面積の50%以上の破壊 3万円

ロ. 床上浸水又は総面積の50%未満の破壊 2万円

〈会長先決〉

第10条 会長は、緊急必要事項については応急の処分をすることができる。但し、後日理事会への報告が必要である。

〈会則改正〉

第11条 本共済の規則改正は理事会の承認を経て改正される。

## 〔附 則〕

1. この改正規則は、昭和59年5月より施行する。
2. この改正規則は、昭和61年5月より施行する。
3. この改正規則は、昭和63年5月より施行する。
4. この改正規則は、平成2年5月より施行する。
5. この改正規則は、平成10年5月より施行する。
6. この改正規則は、平成19年5月より施行する。
7. この規則は、平成22年5月29日より施行する。
8. この規則は、平成26年4月1日より施行する。

# 福岡歯科大学同窓会選挙規則

## 第1条 趣 旨

この規則は、本会会則第5章第14条第1項に基づいて定めるものとする。

## 第2条 選挙方法

選挙管理委員会が評議員会に委嘱する。

## 第3条 選挙管理組織

1. 選挙管理委員長を同窓会会長が指名し、評議員会の承認を得る。
2. 選挙管理委員長は選挙管理委員を若干指名することができる。

## 第4条 選挙管理委員長の任期

任期は2年とする。

## 第5条 選挙権

福岡歯科大学同窓会の評議員とする。

## 第6条 被選挙権

1. 福岡歯科大学同窓会正会員とする。
2. 重複立候補の禁止  
候補者は会長と監事の重複立候補はできない。
3. 選挙事務関係者の立候補制限  
選挙管理委員長、選挙管理委員は、その在職中に候補者となることはできない。立候補する場合は、その職を辞することとする。

## 第7条 選挙期日

選挙管理委員会が指定する日

## 第8条 選挙の告示

選挙は選挙期日の2ヶ月前に選挙管理委員会が告示する。

## 第9条 立候補の届出

選挙の告示から1ヶ月以内に郵送かあるいは文書で選挙管理委員会に届ける。

## 第10条 立候補の辞退

文書を選挙管理委員会の定める期日迄に選挙管理委員会に届ける。

## 第11条 当選人

1. 有効投票の最多数を得た者。

2. 得点が同数ならば（最多数同志）決選投票とする。

3. 候補者が定員数以内の場合には、投票を行わず、当該候補者をもって当選人と定める。なお、定員に足りないときには、別段の方法をとることができる。

## 第12条 当選人決定の告知及び告示

当選人が決定したら、選挙管理委員会は直ちに当選人の住所、氏名及び得票数、各候補者の得票数を会員に報告しなければならない。

## 第13条 当選の効力発生

当選人の住所、氏名の告示のあった日から生ずる。

## 第14条 選挙に際しては次の細則をもうける。

1. 選挙運動の期間  
立候補の届出より選挙の前日まで。
2. 選挙運動  
選挙管理委員会の指示に従う。
3. 選挙立会人  
候補者は選挙立会人を1人指名して、前日迄に選挙管理委員会に届け出る。
4. 開票の指定及び告示  
選挙管理委員会が指名及び告示する。

## 第15条 選挙規則の改正

選挙規則の改正は、選挙管理委員会が審議し、評議員会の承認を得るものとする。

## 〔附 則〕

1. この規約は、昭和54年3月より施行する。
2. この改正規約は、昭和58年5月より施行する。
3. この改正規約は、昭和62年5月より施行する。
4. この改正規約は、平成19年5月29日より施行する。
5. この規則は、平成22年5月29日より施行する。
6. この規則は、平成26年4月1日より施行する。

## 編集後記

リオデジャネイロ・オリンピックも無事に閉会し、皆様が応援に費やした日々も終わりました。ドイツの哲学者ハンス・レンクは「より速く・より高く・より強く」の標語に、「より美しく・より人間らしく」を加えるべきと論じています。「人間自らの力」で技術の革新はめまぐるしいものですね。

さて、今年は、4年に一度の日本歯科医学大会が九州で初めて福岡歯科大学が主幹で行われ、九州歯科医学大会福岡歯科大同窓会懇親会は、500名以上の同窓生が集まり、1期生からのアルバム上映会は、とても懐かしく大盛況でした。

会員の先生方、学園の先生方及び在校生の皆様、はじめまして、今回、広報担当常務理事を担当することとなりました14期の劉中憲です。私も歯科大の門をたたき1984年から2005年までの約21年間（歯科学生・研修医・大学院・旧小児歯科学講座・旧予防歯科講座・口腔衛生講座）大学にお世話になり、今年で「パンダ小児歯科医院」を開院して10年が経ちました。多くの先生方にお世話になり波乱万丈な人生の現在進行形ですが、研修会等で、大学・学会・歯科医師会の同窓生の先生方とお会いできるのを楽しみにしております。名刺交換の際には、原稿依頼をお願いすることがあるかと思いますが、その際はどうぞよろしくお願いいたします。

本誌の「親子で頑張る同窓生」のコーナーに掲載しておりますように、ご子弟が母校を卒業され、同

窓生二世となられた先生方も年々増加しております。大学で学んだこと、懐かしかった大学生活・クラブ活動・研修医時代・研究・大学院などを親子で共有できることは素晴らしいことだと思います。6月に行われました「同窓生対象のオープンキャンパス」では、顔馴染みの先輩、同級生、後輩のご子弟が参加され「お父さんやお母さんはこの教室・講座におったとよ」と話しとても懐かしく思いました。参加は受験生だけではなくありません。小学生から高校3年生、社会人においても参加できますので、将来の二世の誕生に是非、足をお運びください。

今回の「背振35号」は、トピックスとして母校主幹の日本歯科医学大会総会、また、4月に発生した平成28年熊本地震に関する報告、開学記念行事として初めて開催された記念講演など、大変盛りだくさんの内容をご執筆いただくことができました。原稿執筆を快くお引き受けいただきました会員、学園・大学関係各位の皆様、お忙しい中ありがとうございました。また、広告掲載いただきました企業各位のご協力に感謝いたします。

時と共に変化し、スマートなデザインを強調する同窓会誌「背振」を今後とも会員の皆様方のご理解とご協力を節にお願いいたします。



常務理事 劉 中憲（14期）

### 『背振』 第35号

福岡歯科大学同窓会誌

2016年12月22日発行

発行責任者 宮口 厳

編集責任者 劉 中憲

福岡歯科大学同窓会

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15-1

TEL (092) 863-2966 FAX (092) 863-2967

E-mail dousoukai@college.fdcnet.ac.jp

URL <http://www.fdcnet.ac.jp/col/collink/alumnus/index.html>

印刷所 大同印刷株式会社

〒849-0902 佐賀市久保泉町大字上和泉1848-20

TEL (0952) 71-8520(代) FAX (0952) 71-8528

### 会誌編集委員会

#### 広報委員会

|      |            |
|------|------------|
| 常務理事 | 白本 光七（2期）  |
| 常務理事 | 劉 中憲（14期）  |
| 理事   | 佐藤 毅（3期）   |
| 理事   | 廣瀬 武尚（4期）  |
| 理事   | 三箇 正賢（18期） |
| 理事   | 後藤加寿子（21期） |
| 理事   | 重富 澄保（24期） |
| 理事   | 廣松 亮（32期）  |
| 理事   | 熊谷 徹弥（36期） |

#### 企画・情報委員会

|      |            |
|------|------------|
| 常務理事 | 小柳 進祐（12期） |
| 理事   | 田中 靖彦（12期） |
| 理事   | 荒瀬 陽一（12期） |
| 理事   | 吉岡 和彦（25期） |
| 理事   | 田代 剛（26期）  |

弔慰金  
制度

医師  
賠償責任  
補償制度

休業  
補償制度

70歳までの  
収入あんしん  
補償制度

ファミリー  
お見舞金  
制度

個人  
賠償責任  
補償制度

学術  
講演会

傷害  
補償制度

しっかりとした  
安心を。



**医療共済会**

〒454-0011

名古屋市中川区山王1丁目7番24号 山王ビル

フリー  
ダイヤル

0120-351153

ホームページで  
簡単!資料請求!!

<http://www.ikyousai.jp>

医療共済会 |

検索

Thinking ahead. Focused on life.

100+  
Years  
A Century of Innovation



## Veraview X800

New Frontier of the X-ray

ベラビュー X800は、CT撮影に加えパノラマ/セファロ撮影を1台で可能にしたAll-in-oneタイプのX線診断装置。高解像度、ボクセルサイズ80μmのCT撮影を実現。CT撮影は、水平にX線を照射することで、アーチファクトの少ない画像を取得できます。さらに、高精細な360度CT撮影モードとハイスピードで低照射線量の180度CT撮影モードを搭載し、診断目的に合わせた撮影を行うことができます。

## Debut



発売 株式会社 モリタ 大阪本社: 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 T 06-6380 2525 東京本社: 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 T 03-3834 6161  
お問い合わせ: お客様相談センター 歯科医療従事者様専用 T 0800-222 8020 (フリーコール) 製造販売・製造 株式会社 モリタ製作所 京都市伏見区東浜南町680 〒612-8533 T 075-611 2141  
販売名: ベラビュー X800 標準価格: 9,600,000円~ (消費税別) 2016年10月21日現在 一般的名称: デジタル式歯科用パノラマ・新撮撮影X線診断装置  
機器の分類: 管理医療機器(クラスII) 特定保守管理医療機器 医療機器承認番号: 228ACBZX00008000  
詳細な製品情報につきましては、こちらを参照ください。 [http://www.dental-plaza.com/article/veraview\\_x800](http://www.dental-plaza.com/article/veraview_x800)



## 三井住友建設

<http://www.smcon.co.jp/>

これからも、いつまでも、カタチを伝えていきます。  
技術の進化とは自然への帰化。私たちは、最先端の技術力を  
活かし、人々と地球を優しく結びつけるものと考えます。私たち  
が提案する都市は今まで以上に人間らしく、そしてあたたかい。  
三井住友建設は未来を見つめています。



# 未来の都市は、地球に優しい。



ヘッドとギアを一体化(ソリッド)した PMTC用コードレスハンドピース

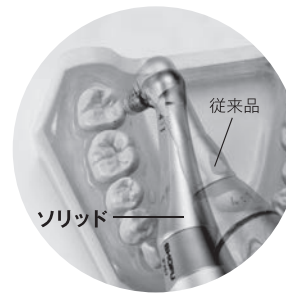
## メルサージュ プロ ソリッド

歯科用電動式ハンドピース 一式 ¥93,000

管理医療機器 医療機器認証番号 226ABBZX00034A01 特定保守管理医療機器  
価格は2016年11月現在の標準医院価格(消費税抜き)

軽く、長時間操作でも疲れにくいコードレスタイプ  
口腔内の視野が広がり、  
さらに的確な PMTC をサポートします。

超コンパクトヘッドで  
届きやすさ&操作性UP



ソリッド



DLCコーティング ダブルシールド

ヘッドへのクリーニングペーストの侵入を防ぐ  
ダブルシールド防塵シールを採用。



世界の歯科医療に貢献する

# 株式会社 松風

●本社:〒605-0983京都市東山区福福上高松町11・TEL(075)561-1112(代)

●支社:東京(03)3832-4366 ●営業所:札幌(011)232-1114/仙台(022)713-9301/名古屋(052)709-7688/大阪(06)6330-4182/福岡(092)472-7595

<http://www.shofu.co.jp>

# いつもリサイクルの 最先端に 私たちはいます。



### 純金積立(ゴールドクラブ)

横浜金属ゴールドクラブで  
純金積立をしませんか?



### ジュエリー買取

貴金属精錬業だからこそ  
どこよりも高値買取致します。

### 歯科材リサイクル

歯科医院・技工所様から発生する歯科材  
スクラップを回収・買取いたします。

#### インターネット特典

ホームページをご覧になられたお客様  
**精錬基本料金を  
無料サービス**

納期  
20日以内の  
お支払い



ESTABLISHMENT 1958

YOKOHAMA METAL CO., LTD.

## 横浜金属商事株式会社

【横浜金属グループ】  
本社/〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台3-5-2 峡の原工業団地内  
Tel:042-774-5481 Fax:042-773-7266  
本社・仙台・埼玉・東京・名古屋・大阪・広島・福岡・札幌(営)・函館(営)・釧路(営)・  
北陸(営)・四国(営)

- 日本経済団体連合会会員
- 一般社団法人 金地金流通協会正会員
- 株東京工業品取引所 銀地金受渡供用品指定ブランド
- 株東京工業品取引所 銀地金指定鑑定業者
- L.M.E(ロンドン金属取引所) 銀地金公認ブランド
- JIS 日本工業規格表示認可工場
- ISO 9001 認証取得(横浜金属株)
- ISO14001 認証取得(横浜金属商事株環境R部)

# 0120-70-4580

横浜金属グループは貴金属リサイクルを通じて地球環境の保全に貢献しています。

# osada **OPAL** comfort

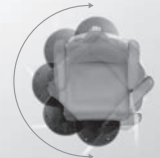
オサダオパルコンフォート

OSADA ELECTRIC CO.,LTD.

全てのの人に優しい「ケアフリーユニット」  
オサダのオパルコンフォート

乗り降りへの  
おもいやり

チェア回転  
側面、後方からでも乗り降りができる様に  
180°回転します。



安心感への  
おもいやり

サポートアーム  
安心して乗り降りがで  
きます。



座り心地への  
おもいやり

後チルト  
円背の患者さんでも無理の  
ない姿勢で治療が受けら  
れます。



うがいのしやすさへの  
おもいやり

鉢自動回転  
うがいをする際はチェアと連動して鉢が自動で  
出て来るので、楽な姿勢でうがいできます。



カラーバリエーションも多数揃えて  
あります。レザー色と本体色は異な  
る同系色になります。

認証番号: 226AHBZX00022000  
税抜価格: ¥4,572,000～

製造販売元

**長田電機工業株式会社**

〒141-8517 東京都品川区西五反田 5-17-5  
TEL: 03 (3492) 7651 FAX: 03 (3492) 7506

<http://osada-group.jp/>

※詳しい資料ご希望の方は、商品名、掲載誌名を明記の上、本社お客様センター宛にご請求ください。  
※この広告掲載商品は改良の為、予告なしに仕様を変更することがありますので予めご了承ください。  
製造販売元/長田電機工業株式会社



## ご存知ですか？

アサヒプリテック(株)だからできること

AMS (アサヒメタルアカウントシステム) という

金・白金・パラジウム・銀を、

それぞれ今より高く売却する方法があること

アサヒプリテック(株)の分析能力が、

世界的に評価されているということ

## 小さな資源を、 あらたな資産へ

gold

silver

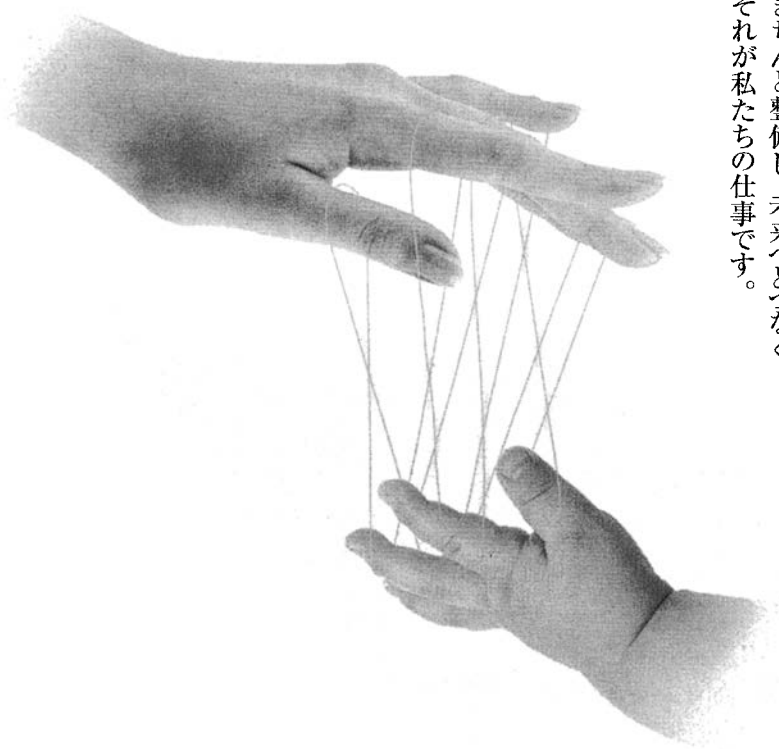


ASAHI PRETEC

**アサヒプリテック株式会社**

貴金属事業部/〒100-0005 東京都千代田区丸の内 1-7-12 サビアタワー TEL (03) 6270-1831 FAX (03) 6270-1825 URL: <http://www.asahipretec.com>

■営業所/札幌・青森・仙台・新潟・北関東・関東・横浜・甲府・静岡・名古屋・北陸・大阪・神戸・岡山・広島・四国・福岡・鹿児島・沖縄



エネルギーがつくりだす  
未来の環境を  
あなたに。  
未来を明るく  
照らします。

世の中には、いろいろな電気の道が走っています。  
その道をいろいろなカタチにしながら、  
きちんと整備し、未来へとつなぐ。  
それが私たちの仕事です。

HOT LINE OF HUMAN RELATIONS

設計・施工／電気設備工事（屋内・屋外）、空調・給排水衛生設備工事

株式 佐 電 工  
会社

本 社／佐賀市天神1丁目4番3号 0952-23-4144  
福岡支店／福岡市早良区祖原21番2号 092-821-3033

信頼・安心・真心のサポート

**FINE**

総合リスク産業  
有限会社

**ファイン**

代表取締役

吉村 大二郎

〒818-0132 太宰府市国分1-13-26

TEL (092) 918-1230 FAX (092) 918-1231

【取扱保険会社】

- ・三井住友海上火災保険(株)
- ・三井住友海上あいおい生命保険(株)
- ・メットライフ生命保険(株)
- ・オリックス生命保険(株)

リスクマネジメント業務・保険に関するコンサルティング・交通事故相談

# HI-ZAC

ハイザック

口臭防止 歯周病予防

## お口のニオイ物質 VSC を抑制

こんな方・こんな時に

- ・口腔内疾患による口臭でお悩みの方
- ・歯周病を予防したい方
- ・すぐにニオイを抑えたいときに
- ・今までの口臭ケアで物足りない方



製造発売元／福地製薬株式会社 滋賀県蒲生郡日野町寺尻824



発売元 (株)ビーブランド・メディコーデンタル

大阪営業所：大阪市東淀川区西淡路5-20-19  
TEL：06-6370-4182 FAX：06-6370-4184

# 歯科技工の未来を創造します。

株式会社 **GIKO**®

[本社]

〒816-0811 福岡県春日市春日公園7-82

TEL：092-591-6519 FAX：092-501-0773

[御笠川工場]

〒816-0912 福岡県大野城市御笠川|2-8-11

TEL：092-580-8020 FAX：092-580-8022

Mail：info@labogiko.jp <http://www.labogiko.jp>

歯周疾患治療剤

# ヒノポロン® 口腔用軟膏

ヒノキチオール・ヒドロコルチゾン酢酸エステル・アミノ安息香酸エチル 配合剤

HINOPORON Oral Ointment

処方箋医療品 注意-医師等の処方箋により使用すること

包装 5g×1本 5g×10本 5g×20本



効能・効果、用法・用量、禁忌を含む使用上の注意等につきましては「製品添付文書」をご参照ください。

製造販売元[資料請求先]



昭和薬品化工株式会社

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-17-11 <http://www.showayakuhinkako.co.jp>

お問い合わせ先:0120-648-914 <受付時間>9:00~17:30(土・日・祝日・当社休日を除く)

HPA42M-16MPW01

Kawaryo Group



## 歯科用スクラップを どうしていますか？

現在、環境問題は、地球規模となり、人々の生活に大きく関わっています。  
一人一人ができること、市や国ができること、スケールは様々ですが、  
企業ができることのひとつとして、限りある資源を大切に  
そして有効に利用していくことがあります。  
このリサイクルについて、独自のシステムを開発、構築し、  
環境保全や人々に喜ばれる事業を目指しています。

貴金属及び歯科用撤去冠のリサイクル

(株)ICAWARYO九州

0120-920-942

<http://www.kawaryo-q.co.jp> [info@kawaryo-q.co.jp](mailto:info@kawaryo-q.co.jp)

- 九州本社/〒860-0052 熊本県熊本市西区田崎本町10-4  
TEL 096-356-2578 FAX 096-274-1221
- 福岡営業所/〒812-0053 福岡県福岡市東区箱崎1-11-11F  
TEL 092-409-2418 FAX 092-409-2427
- 鹿児島営業所/〒891-0113 鹿児島県鹿児島市東谷山6丁目33-18  
TEL 099-297-6938 FAX 099-297-6935
- 沖縄営業所/〒901-2214 沖縄県宜野湾市我如古2-7-12  
TEL 098-897-4002 FAX 098-988-0248

### Kawaryo Group Organization

(株)ICAWARYO PGM

〒431-1103

静岡県浜松市西区湖東町5850-2F

(株)サンコー大阪

〒578-0911

大阪府東大阪市中新開2-4-23

ユタカ(株)

〒604-8455

京都市中京区西ノ京藤ノ木町5-3

(株)ピージーエム・プラス

〒770-0006

徳島県徳島市北矢三町3-1-55

# 感染予防

Miele  
PROFESSIONAL

## 洗浄はミーレ

500ℓ / 分の循環水量による強力な洗浄力!

ミーレジェットウォッシャー PG8591/PG8581



### 洗浄力

循環水量 500ℓ / 分と様々なモニタリング機能による  
確実な洗浄

### 充実の標準装備

軟水化装置、DOS モジュールを標準で内蔵装備

### ハンドピース内部の洗浄・水分除去

PG8581: ハンドピース内部の洗浄と余熱乾燥機能。  
PG8591: ハンドピース内部の洗浄とホットエアによる  
強制乾燥機能

### ISO 規格適合

ウォッシャー・ディスインフェクターに関する ISO 規格  
『ISO15883/1』『ISO15883/2』に適合

#### ■ ミーレジェットウォッシャーは3タイプ



**PG8591**

大容量タイプ  
ドライプラス  
(ホットエア  
乾燥機能)



**PG8581**

大容量タイプ  
エコドライ  
(余熱乾燥機能)



**G7831**

省スペースタイプ

製造販売届出番号 1482X10032000016, 1482X10032000017, 1382X10032000010 一般医療機器

## 滅菌はリサ

W&H

チャンバーは22ℓの大容量!

クラス B オートクレープ リサ

### エコドライプラス機能

被滅菌物の量に応じて乾燥時間を自動的に調節

### ファストサイクル機能

緊急時の滅菌に対応  
(未包装のハンドピース 0.6kg まで)

### 22ℓの大容量チャンバー

チャンバーサイズは従来機種より30%アップ  
しかも滅菌時間は約 31 分

### EN 規格適合

小型オートクレープに関する EN 規格  
『EN13060』に適合



#### ■ クラス B オートクレープ リサは2タイプ



**リサ 22ℓ**

大容量タイプ



**リサ 17ℓ**

省スペースタイプ

医療機器認証番号 22BALBZX00008000, 221005ZX01084000 管理医療機器 特定保守管理医療機器



白水貿易株式会社 福岡営業所

〒812-0013 福岡市博多区博多駅2-18-30 八重洲博多ビル5F

TEL (092) 432-4618 FAX (092) 432-4617

福岡デンタル販売株式会社

〒813-0034 福岡市東区多の津4-7-5 KNセンタービル

TEL (092) 629-1491 FAX (092) 629-1494

上質で落ち着きある空間。



■ 空室情報のご案内・オンライン予約ができます。

<http://www.grand-h.jp>

西鉄グランドホテル

検索

西鉄グランドホテル

〒810-8587 福岡市中央区大名 2 丁目 6-60

TEL. 092-781-0711

退屈知らず、くつろぎ上手。



■ 空室情報のご案内・オンライン予約ができます。

<http://www.solaria-h.jp>

ソラリア西鉄ホテル

検索

ソラリア西鉄ホテル

〒810-0001 福岡市中央区天神 2 丁目 2-43

TEL. 092-761-6500

株式会社 西鉄シティホテル



良質を感じる空間の先に、  
極上の心地よさ。

■JR博多シティ(博多駅)から徒歩3分! ■お得な情報満載! 最新情報は、今すぐホームページをチェック! ご予約はホームページが大変便利でお得です。

 **ホテル日航福岡**  
〒812-0011 福岡市博多区博多駅前2-18-25

ご予約・お問合せ

**092-482-1111** (代表)

ホテル日航福岡

検索



チラシ・カタログ・ポスターから専門書・自費出版物まで、  
すぐにお見積り致します。

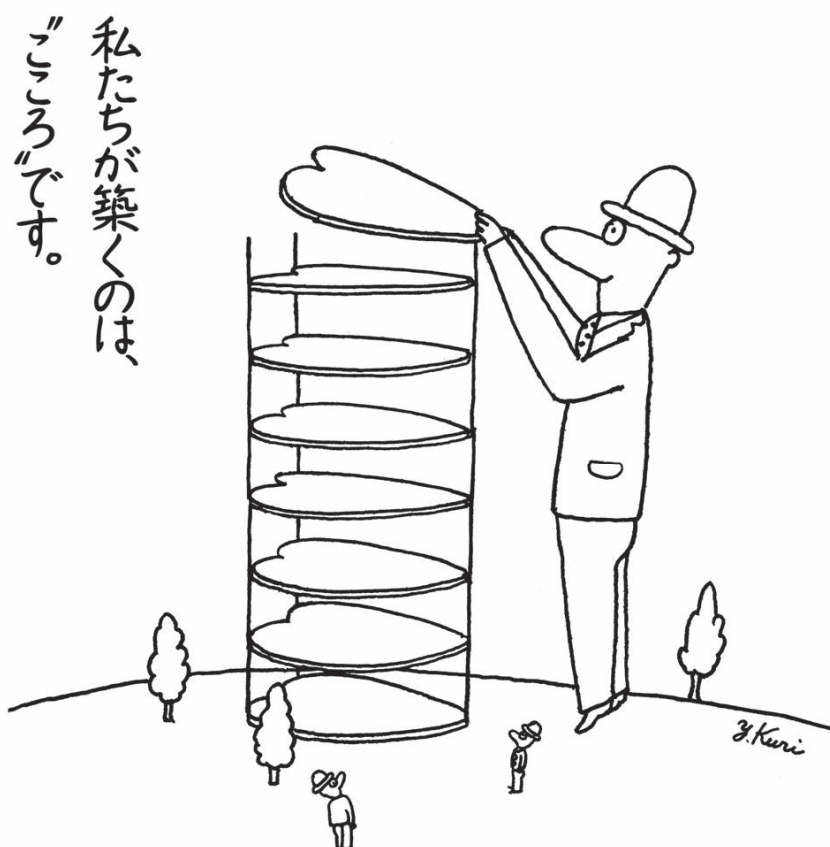


**大同印刷株式会社**

〒849-0902 佐賀市久保泉町大字上和泉1848-20

TEL(0952)71-8520 FAX(0952)71-8528

<http://www.daidou-jp.com>



今、人は地球について考えています。

そして、自然のことを想っています。

地球があつて、緑にあふれ、人々が生活する

私たちはそんな基本的なことから考えたい。

私たちのふるさと。地球にやさしい技術の確立。

熊谷組の変わらぬテーマです。



# 熊谷組

代表取締役社長 樋口 靖

執行役員九州支店長 梶山 雅生

本 社

〒162-8557 東京都新宿区津久戸町2-1

TEL: 03-3260-2111

九州支店

〒810-0004 福岡市中央区渡辺通4-10-10

TEL: 092-721-0011

<http://www.kumagaigumi.co.jp>

## 福岡歯科学園女子専用寮

### 田 奈 加 荘

#### 「田奈加荘」閉館のお知らせとお礼

福岡歯科大学開学時以来、多くの学生各位にご利用いただき、また大学当局始め多くの方々にご助力をいただきまして、44年間今日まで、お支え頂きましたことを厚く御礼申し上げます。誠にありがとうございました。

私も、76歳となり妻君子共々、脊柱管狭窄症で、体力が落ちましたことから、閉館を決意いたしました。女子寮2棟を経営いたしております息子原田紀一が、既に20年以上の経験を積んでいております。

子供ができれば、男子寮を再建し、更なる発展充実を図るようお願いいたします。どうぞ応援のほど、よろしくお願い申し上げます。

### クレモンフェラン壱番館

1996年女子学生専用寮として開業。

\*管理人住み込み \*食事付き \*オートロックシステム \*全内廊下  
\*ワンルームマンションタイプで各室風呂、トイレ（独立、ウォシュレット）、電磁ミニキッチン、超広回転ハンガー付クローゼット、エアコン、雨戸付、ケーブルテレビ端子、インターネット使い放題（無料）

\*入寮費 150,000円 \*寮費 74,000円、年払 72,000円×12

所 在 地：814-0174 福岡市早良区田隈 2-35-23

電話・FAX：092-862-7002

管 理 人：原田紀一

### クレモンフェラン貳番館

2001年女子学生専用寮として開業。

\*管理人住み込み \*食事付き \*鉄筋コンクリート3階建  
\*指紋式オートロックシステム \*インターネット使い放題（無料）  
\*壱番館設備に加えシャンプードレッサーも設置しました。

\*1室9坪 \*入寮費 180,000円

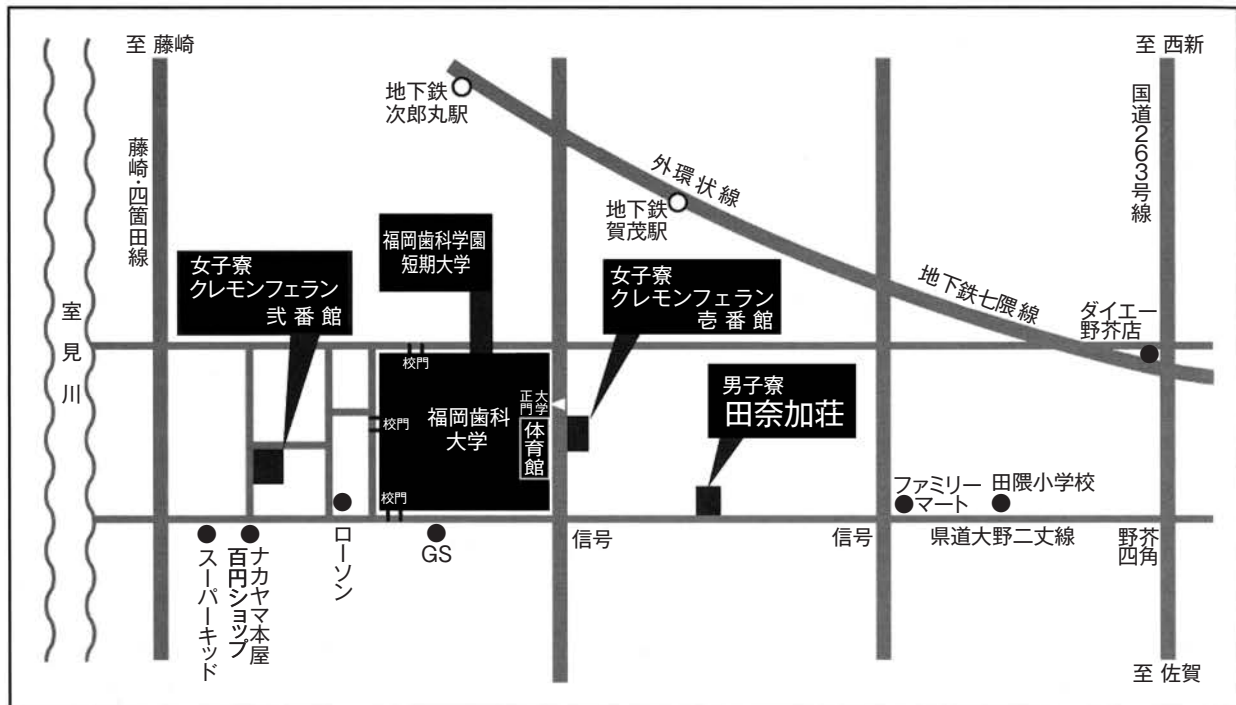
\*寮費 88,000円（含 水道料）、年払 86,000円×12

所 在 地：814-0175 福岡市早良区田村 2-9-35

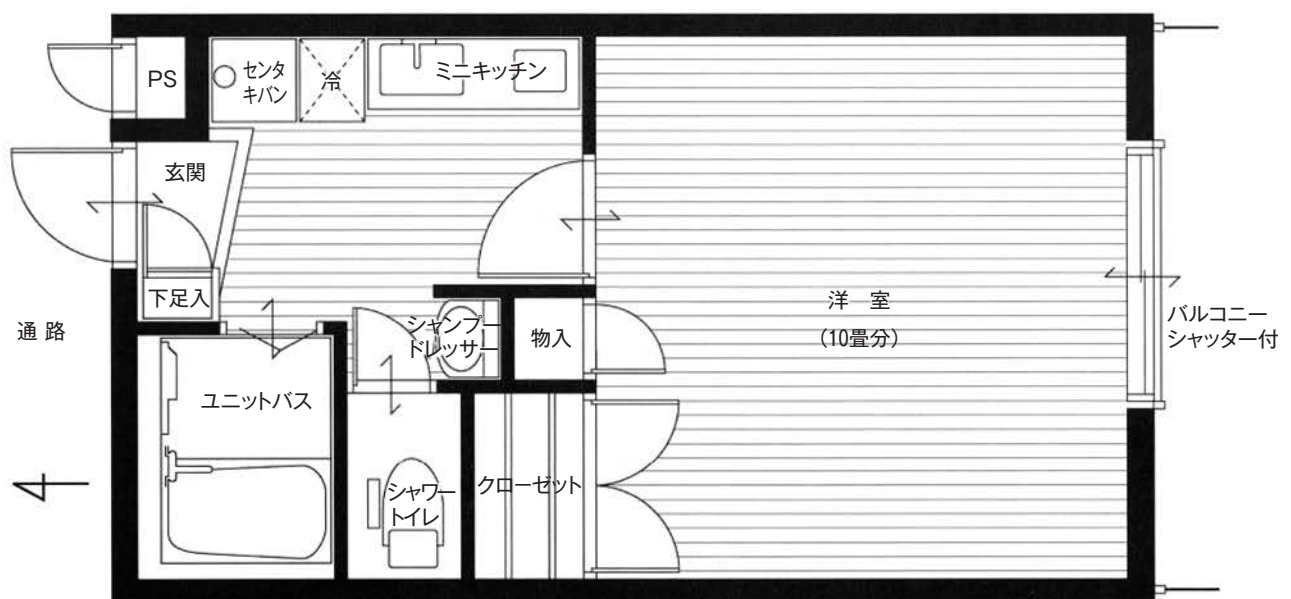
電話・FAX：092-862-6933

管 理 人：原田紀一

# 田奈加荘・クレモンフェラン壺番館 ・クレモンフェラン式番館近隣図



## クレモンフェラン式番館



平成17年4月1日より「個人情報の保護に関する法律」が施行されました。福岡歯科大学同窓会では、個人情報取扱事業者の算定には満たないものの、これに準じて皆様の個人情報の保護に努めて参ることが末永い我々の利益になるものと考えております。

福岡歯科大学同窓会における個人情報の取得・利用・保管は、下記のルールに基づいて行っています。皆様におかれましては、同窓会活動にご理解とご協力をいただきますよう、宜しくお願い申し上げます。

### 「福岡歯科大学同窓会における個人情報の取扱」

1. 同窓会事務局に登録される皆様の情報は、氏名／卒業年（期）／自宅住所／自宅電話番号／勤務先／勤務先電話番号です。また、勤務先などが定まっていない若い卒業生においては、帰省先の登録が行われています。その他にメールアドレス、元所属クラブ等といったことが登録されています。
2. 収集した個人情報は、同窓生名簿の作成や同窓会会誌発送時の宛名出力など同窓会活動の付帯業務に使用する事を目的としており、それ以外の利用については、各種委員会並びに同窓会役員会との協議の上、やむを得ない事由に限定して利用いたします。
3. 提供先は、同窓会会員（在校生を含む）福岡歯科大学現・旧職員や広告主とし、原則としてそれ以外に頒布いたしません。尚、広告主様につきましても個人情報保護の観点から、慎重な取り扱いを協定いたします。
4. 収集した個人情報を第三者へ委託並びに再委託する場合は、各種委員会にて業者等を守秘義務履行を基本に選定し、理事会において決定いたします。
5. 収集した個人情報について、委託先も含め、機密保護には万全をつくします。
6. ご自分の情報は、任意です。ただし提供されない場合は、同窓会から各種案内（会誌、大学広報誌、学術案内、同期会等）が出来なくなる場合があります。また、同窓会名簿にも氏名のみ掲載となります。
7. ご自分の情報を照会したい場合は、同窓会事務局までご連絡ください。ご本人であることが確認できた場合に限り開示いたします。その際、ご自分の情報の訂正または削除を希望される場合はそれに応じます。

※この件についてのお問い合わせは下記までお願いいたします。

福岡歯科大学同窓会

福岡市早良区田村2丁目15-1

〒814-0193 TEL092-863-2966

FAX092-863-2967



福岡歯科大学同窓会主催第34回臨床セミナー

# 「デジタル デンティストリーの 今と未来を体験する」

最近、デジタルデンティストリーという言葉が歯科界でよく目にするようになりました。デジタルの名の通りコンピューターを用いて歯科医療を行うわけですが、その応用は多岐にわたります。コンピューター画像診断から補綴物製作、患者の診療情報管理に至るまで幅広く普及してきています。特に補綴、インプラント分野での発展はめざましく、開業医の臨床から大学の研究に至るまで非常に注目されています。

そこで今回のセミナーでは、日本最先端の CAD/CAM 機器を有する福岡歯科大学で、開業医、大学職員、技工士の異なる立場からデジタルデンティストリーの現状と今後の展望をお話したいと思います。実際のハンズオンでは口腔内スキャナーに触れ、補綴物の製作過程を見学してもらいデジタルデンティストリーを身近に感じてもらう理解を深めて頂きたいと思います。

日時 2017年2月5日(日) 9:30~15:30

場所 福岡歯科大学医科歯科総合病院3F  
臨床実習室、CAD/CAM実習室

福岡市早良区田村2-15-1 ☎ 092-801-0411(代)



まつ なが たつ あき  
**松永興昌**

松永歯科クリニック院長  
咬合修復学講座 臨床教授

「補綴臨床における  
デジタルデンティストリー  
の現状とキーポイント」



はま なか いっ ぺい  
**濱中一平**

咬合修復学講座  
有床義歯学分野 助教

「部分床義歯における  
デジタルデンティストリー  
の現状と今後の方向性」



いっ し こう た  
**一志恒太**

福岡歯科大学医科歯科総合病院  
中央技工室 歯科技工士

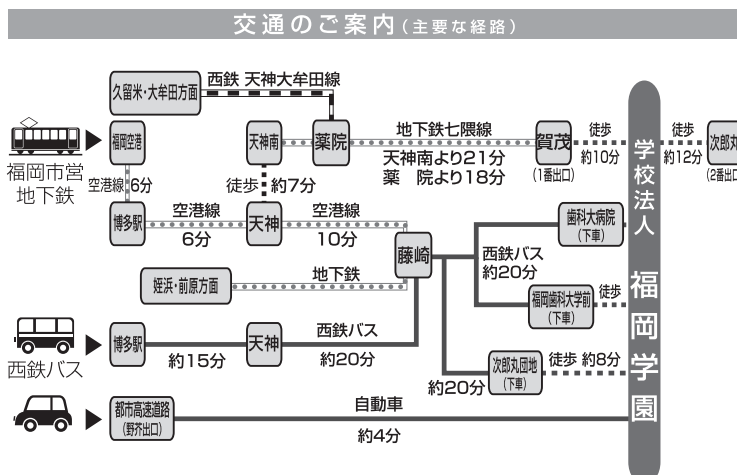
「歯科技工からみた  
デジタルデンティストリー  
と歯科医師との連携」

募集定員 | 20名 締 切 | 2017年1月30日(月)

受講料 | ①福岡歯科大学同窓会平成28年度会費納入者 ..... 1名 6,000円  
②その他歯科医師 ..... 1名 8,000円  
③スタッフ(衛生士、技工士) ..... 1名 4,000円

振込先 | 口座名 「福岡歯科大学同窓会」

西日本シティ銀行 野芥支店 (普) 0089209 ゆうちょ銀行 郵便振替 1740-6-19047



※日曜日は休館のため、入口は守衛室一か所のみとなりますのでご注意ください。

## 申 込 先

参加申込みに必要な事項をご記入の上、福岡歯科大学同窓会事務局迄、お申し込み下さい。人数に制限があるため、事務局より受講確認の返信を致します。その後指定口座へ受講料のお振り込みをして下さい。入金と受講確認をもって参加登録と致します。

### 福岡歯科大学同窓会事務局

〒814-0193 福岡市早良区田村2丁目15-1 Tel：092-863-2966 Fax：092-863-2967

E-mail：dousoukai@college.fdcnet.ac.jp

## 福岡歯科大学同窓会主催 第34回臨床セミナー 参加申込書

# FAX 092-863-2967

(□に✓をしてください)

|                              |                                                                                                                                 |      |
|------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------|
| 参 加<br>申 込 者                 | ふりがな                                                                                                                            |      |
|                              | <input type="checkbox"/> ①福岡歯科大学 ____期卒 <input type="checkbox"/> ②その他____大学____期卒 <input type="checkbox"/> ③スタッフ（ 衛生士 ・ 技 工 士 ） |      |
| 振 込 者 名                      | ふりがな                                                                                                                            |      |
| ※申込者と振込者が異なる場合は振込者名もご記入ください。 |                                                                                                                                 |      |
| 連絡先<br>ご住所                   | <input type="checkbox"/> 診療所 <input type="checkbox"/> 自 宅                                                                       | 診療所名 |
|                              | 〒                                                                                                                               |      |
| TEL<br>FAX                   | TEL                                                                                                                             | FAX  |
| E-mail                       | PC                                                                                                                              | 携帯   |

※特に変更のある方お知らせ下さい。

## 福岡歯科大学同窓会「同窓生名簿」登録届け

卒業期 \_\_\_\_\_ 期卒 \_\_\_\_\_ 地区同窓会（所属支部） \_\_\_\_\_ 性別（男・女） \_\_\_\_\_

郵送物送り先の希望 → 1. 自宅 2. 勤務先 3. 帰省先

ふりがな  
氏 名

ふりがな  
旧 姓

メールアドレスをご記入頂くと、福岡大同窓会メールマガジン（メール配信）よりホットニュースが受けられます。

|                |                  |                                     |
|----------------|------------------|-------------------------------------|
| E-Mail<br>アドレス |                  | メルマガ： 1 希望 2 希望しない<br>( P C ・ 携 帯 ) |
|                | 1. 掲載する 2. 掲載しない |                                     |

名簿掲載を希望しない場合は☑を入れてください

掲載の有無



|          |        |                       |  |  |
|----------|--------|-----------------------|--|--|
| 1<br>自宅  | 住 所    | 〒                     |  |  |
|          | Tel 番号 |                       |  |  |
|          | Fax 番号 |                       |  |  |
| 2<br>勤務先 | 住 所    | 〒                     |  |  |
|          | 勤務先名   | (開業・勤務医・教職・大学院・研修医・他) |  |  |
|          | Tel 番号 |                       |  |  |
|          | Fax 番号 |                       |  |  |

以下は名簿に記載されません。特に郵送物を帰省先に指定の方、また、住所等が不明になった時は帰省先に送ることがあります。

帰省先（〒 \_\_\_\_\_）

電話 \_\_\_\_\_ fax \_\_\_\_\_

元所属クラブ \_\_\_\_\_

### (Fax 送信 092-863-2967)

## 福岡歯科大学同窓会誌用原稿用紙

FAX 092-863-2967

[illegible]

